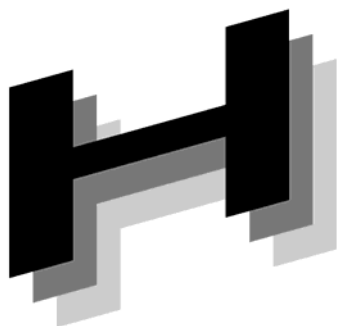




Japanese



Association of



Healthcare



Information



Systems Industry

医療情報交換仕様

J A H I S
放射線データ交換規約
Ver. 1.1

平成 17 年 4 月

保健医療福祉情報システム工業会

メッセージ交換委員会
医用画像システム委員会

JAHIS放射線データ交換規約

まえがき

国内においては、従来HIS(病院情報システム)と放射線部門情報管理システムのデータ交換において、メーカー間での統一はもとより、同一メーカーにおいても導入ユーザによってその仕様が異なり、接続するにあたり多くの手間を要している。保健医療福祉情報システム工業会(JAHIS)は、この問題に対処すべく、医用画像システム委員会においてデータ交換項目の標準化の検討を開始した。

本規約は、医用画像システム委員会での検討結果をベースにしたものをベースに放射線部門に関わる標準的なメッセージ交換規約をめざし検討をおこなった。2003年10月に、すでにJAHISより発行されていた「臨床検査データ交換規約」「処方データ交換規約」との共通部分の整合性を考慮し、HL7V2.4に準拠した「放射線データ交換規約 Ver.1.0」が発行されている。Ver.1.1は、Ver.1.0をもとにHL7 2.5での変更点を反映させたものである。また、Ver.1.1では、放射線検査項目の汎用的なコードとして、JJ1017 Ver3.0の組み込みについての指針も記載した。

本規約が医療資源の有効利用、保健医療福祉サービスの連携・向上を目指す医療情報標準化とデータ交換円滑化に多少とも貢献できれば幸いである。

2005年4月

保健医療福祉情報システム工業会
メッセージ交換委員会
医用画像システム委員会

<< 告知事項 >>

本規約は関連団体の所属の有無に関わらず、規約の引用を明示することで自由に使用することができるものとします。ただし一部の改変を伴う場合は個々の責任において行い本規約に準拠する旨を表現することは厳禁するものとします。

本規約ならびに本規約に基づいたシステムの導入・運用についてのあらゆる障害や損害について、本規約作成者は何らの責任を負わないものとします。ただし、関連団体所属の正規の資格者は本規約についての疑義を作成者に申し入れることができ、作成者はこれに誠意をもって協議するものとします。

Copyright©2005 保健医療福祉情報システム工業会

Copyright©2005 日本HL7協会

Copyright©2005 Health Level Seven Inc. .

目 次

1.	はじめに	5
2.	HL7概要	6
3.	主な用語	7
4.	放射線データ交換規約の対象範囲	8
5.	関連情報詳細	10
5. 1	HL7メッセージについて	10
5. 2	フィールドについて	10
5. 3	メッセージ区切り文字	14
5. 4	データ型	16
5. 5	患者プロファイルコードについて	46
5. 6	検査結果コメントの扱い	47
6.	放射線検査依頼・放射線検査結果メッセージ構文	52
6. 1	患者情報照会(QRY/ADR)	52
6. 2	患者情報通知(ADT/ACK)	53
6. 3	放射線検査依頼照会(OSQ/OSR)	54
6. 4	放射線検査依頼(ORM/ORR)	56
6. 5	放射線検査結果照会(QRY/ORF)	58
6. 6	到着確認報告、放射線検査結果(ORU/ACK)	60
7.	セグメント詳細	63
7. 1	MSH メッセージヘッダセグメント	63
7. 2	NTE 注釈・コメントセグメント	67
7. 3	PID 患者識別セグメント	69
7. 4	PV1 来院情報セグメント	76
7. 5	ORC 共通オーダセグメント	81
7. 6	OBR 検査要求セグメント	97
7. 7	OBX 検査結果セグメント	105
7. 8	MSA メッセージ識別セグメント	110
7. 9	ERR エラー情報セグメント	112
7. 10	QRD 照会定義セグメント	116

7. 11 QRF 照会フィルタセグメント	120
付録 1. 検査依頼メッセージの例	123
付録 2. JJ1017 V3.0の使用方法	154

1. はじめに

病院の放射線部門では様々な画像検査機器が画像を生成するが、その画像情報を画像管理システム（PACS：Picture Archiving and Communication System）において一元的に管理し・保管し、統一した方式で参照したりする必要性がある。そのため20年ほど前から標準規格DICOM（Digital Imaging and Communications in Medicine）の作成と普及活動が行われてきている。現在では殆どの放射線画像診断装置はこの標準規格に準拠した形式と方式で画像を生成することができ、その画像情報を管理するPACSが普及してきている。そのシステム構築に向けてDICOMの果たした役割は大きいといえる。

放射線検査においては、DICOMと比較して、HL7（Health Level Seven）の普及は残念ながらまだまだの段階である。従来、検体検査のユースケースを元に開発されたHL7は放射線検査には向かないという評価があったということもあるが、実際にいくつかの例外を除いて、HL7による放射線検査オーダーの構築はあまり見られない。

放射線検査項目に関しては、MEDIS-DCを中心とした標準コード作成の作業が進められている。JJ1017委員会（DICOM MWM/MPPSの日本適用のガイドを作成した委員会。主査は浜松医大の木村先生。）で作成した放射線検査項目コードをMEDIS-DCへ標準案として提出し、並行して放射線医学関係の学識経験者にその内容の検討をお願いしている段階である。Ver1.1では、IHE-Jコネクタソンやフィールドでの実装がしやすいよう、JJ1017マスタ（Ver3.0）に準拠してメッセージサンプルを記している。

政府が出した電子カルテのグランドデザインを背景に電子カルテ構築が加速している。グランドデザインの中では標準規格・コードを用いたシステム構築を推奨している。電子カルテシステムと放射線部門で使用される情報システムとの間では、標準コードを使用して、DICOMとHL7といった標準規格による接続が望まれている。

1999年に米国で始まったIHE（Integrating the Healthcare Enterprise）の活動では、DICOMとHL7を使用してシステム間接続を行う際に、規格の解釈の違いによる問題を解決するために、DICOMやHL7の解釈や実際の使い方をフレームワークとして決めている。そのフレームワークに従えばマルチベンダーのシステムの比較的容易に構築できるというところを目指しているのである。IHEは、当初、放射線部門中心の活動であった。その分野で評価を受け、現在では電子カルテを目指したITインフラや循環器部門、検体検査部門、処方部門にまでその活動を広げている。ただ、米国と日本での放射線検査依頼のワークフローや検査情報の詳細度の違いにより、米国で検討された内容が日本での運用にそのまま適用することは難しい部分もある。

上述の状況を背景に、今回、放射線検査に関するHL7の適用を検討し、ここに保健医療福祉情報システム工業会（JAHIS）標準として放射線検査向けにHL7のガイドラインを作成した。このJAHIS標準が活用されHL7の普及が促進されることを期待する。

2. HL7概要

(HL7とは)

ヘルスケア関連情報の電子的データ交換のための応用規約であり、また、規約の制定団体の名称でもある。異なるベンダの異なるシステム間のインタフェースとなる標準的書式である。本規約はOSI手順の第7層であるアプリケーション層に由来してHL7と名付けられたものであり、物理的規約は制定していない。

(なぜ標準化なのか)

基本的目的は増大する医療費の削減と医療の質の向上である。それは医療費の効率化のためコスト計算を明らかにするとともにヘルスケア品質の計測化による質の向上を目指すものである。

1960年代は単独処理で他との接続は必要なかったが、1970-85年にかけて部門システムとの接続が始まり、1985年以降様々なシステム間で接続が要望され、インタフェース標準化の必要性が増大している。病院単独から病院の統廃合も手伝ってヘルスケア共同体が拡大し、今日のヘルスケアは病院を中心に事務所、製造業、販社、支払者、診療所、政府機関が一体となった情報連携が必要で、かつ患者を取り巻くすべての部門とのトランザクションが通信で出来ることが必要となってきた。

技術の進歩、通信環境の進歩、場所の多様化、システムの巨大化が背景となり標準化されたデータ交換が可能であり不可欠となっている。

(HL7の歴史)

1987年3月ペンシルバニア大学病院にて初会合、3-4ヶ月かけV1.0のドラフトができた。V1.0は1987年10月に発表され全体的なインタフェースと入退院、オーダエントリ、オーダ照会がふくまれる。患者会計の重要性が認識されていたが時間的制約で含まなかった。以後1988年9月にV2.0、1990年にV2.1が発表された。1991年にはANSIのメンバとなり、1992年にはANSI HISPP(Healthcare Informatics Standards Planning Panel)の起草メンバとなった。1994年にはANSIに認知された標準化組織となった。1994年末V2.2を発表し、最新版は2003年のV2.5である。さらにオブジェクト指向のV3.0が検討されている。

(HL7の組織)

HL7は会員制の組織であり会員は意見を反映させることができる。即ちHL7の情報源は会員の意見である。HL7の使用は会員であることを問わないが、HL7からのタイムリーな情報提供はない。理事会と作業グループがあり会員が参加できるし、作業グループに参加しなくても案に対して意見を述べるができる。また医療提供者顧問と工業会顧問のアドバイスを受ける。会員には、医療機関、コンピュータ会社、医療関連会社、コンサルタント会社などがある。また米国以外の国々の会員もいる。会員数は増加しており現在1500を越える会員数である。

(HL7プロトコル概要)

HL7はOSI第7層(アプリケーション層)での規約であり、データの型や要素、要素の構成やグループ、コードや用語、機密保持、管理規約などが定義される。HL7の包含する対象はV2.1では入退転院、患者基本情報、オーダ、検査報告、財務的处理、照会などである、さらにV2.2では、マスタファイル更新、V2.3では、文書管理、予約、患者紹介、患者看護が追加された。

HL7の基本的体系は、メッセージタイプID付電文で構成され、複数セグメントで論理的意味をなすメッセージとなる。メッセージ(例えば入退転)は、具体的なきっかけとなる事象(例えば患者入院)により、データ構成要素(例えば患者名)からなるセグメント(例えば患者属性)の集合として構成される。メッセージ交換は会話的にもバッチ処理的にも行われるものである。

(他の標準化組織との関連)

ASTM E1238検査システム間データ交換をもとに検査関連をまとめているので互換性がある。HL7を含めた標準化団体の調和を図るためANSIでは、HISPP (現HISB)部門を設置し、NCPDP(薬剤情報)、ACR/NEMA(画像DICOM)、IEEE MEDIX(医療情報記述交換)、ASTM(検査関連臨床情報交換)、ASC X12(会計保険情報の電子データ交換)と協調している。また国際的にもCEN-TC251(European Committee for Standardization Technical Committee 251)などと連絡を取り合っている。これら協調は重複の縮小、標準化のスピードアップ、コスト低減、国際関係の促進、政府によらない開発、販売者の共同作業の促進などのため必要なことである。

(日本HL7協会他国内の標準化組織との関連)

日本HL7協会が1998年7月に設立された。これを受け、JAHISでもHL7標準化規約の日本国内における普及を日本HL7協会と協力し、進めている。

3. 主な用語

トリガーイベントTrigger Event: メッセージの交換を始めるきっかけとなる事象をトリガーイベントという。HL7は、実際のヘルスケア現場でのシステム間データ通信の必要性に応じた事象を受けて書かれている。例えば、「患者が入院」というトリガーイベントは、その患者についての情報を幾つかの他のシステムに伝送する必要を引き起こすであろう。それらメッセージ型とトリガーイベントコードは一对多の関係である。

メッセージMessage: 1つのメッセージは、システム間で転送されるデータの意味のある最小単位である。これは定義された順序のセグメントの集合からなる。各々のメッセージはその目的を定義するメッセージタイプを持つ。例えば、ADT(入退転)メッセージタイプはあるシステムから別なシステムに患者の入退転データの一部を伝送するために使用される。各々のメッセージに含まれる3文字のコードがそのタイプを識別する。

セグメントSegment(record): セグメントはメッセージの1つの側面について記述するもので、データ要素(フィールド)の論理的集合体である。各々のセグメントはセグメントIDと呼ばれる3文字のコードで識別される。メッセージ中のセグメントは必要なものと任意のものとある。それらはメッセージ中一回だけ出現する場合と繰り返しが許される場合とある。たとえば、単一のオーダ関連情報はOBRセグメントとして送られ、検査関連情報は別のOBXセグメントとして送られることがある。

フィールドField: 診断名などといったセグメント中の一つの意味付けされた属性であり、フィールドには基本属性をさらに詳細に記したデータ成分の集合を含むことがある。

フィールド成分Field components: フィールドへの入力要素として、成分という識別可能な部分を含むことがある。たとえば患者名は、姓、名、ミドルネーム(イニシャル)として記録されるが、それぞれの要素は別個のエンティティであり、成分区切り文字により分離される。成分はさらに副成分で構成される場合もある。

メッセージ区切り文字Message Delimiters: メッセージを構成するにあたっては、定義された文字が使用される。それらは、セグメントターミネータ、フィールドセパレータ、成分セパレータ、副成分セパレータ、反復セパレータ、そしてエスケープ文字である。

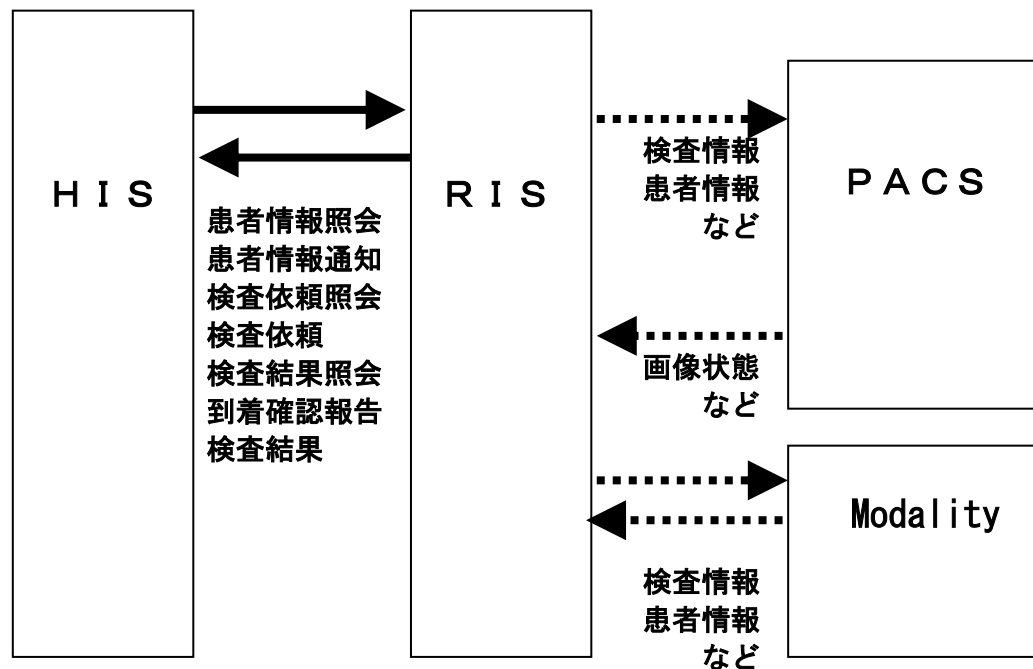
依頼者Placer(Requestor): 検査群を依頼(要求)する人あるいは部門。たとえば、検体検査、X線、バイタル・サインなどを依頼する医師、実施者、病院、または病棟部門など。

実施者Filler(Producer): 依頼・要求された検査を実施する(オーダに応える)人または部門のことである。診断部門、放射線部門、その患者についての検査結果を報告する看護提供者を含む。放射線検査室は検体検査の実施者(検査オーダに応える人)であり、看護部門はバイタルサイン観察などの実施者(バイタルサインの測定を依頼するオーダに応える人)である。

病院情報システム(HIS) Hospital Information System: ADT(入院、退院、転院)機能など、通常、検査室の外部の機能をサポートするデータ管理システム。

4. 放射線データ交換規約の対象範囲

放射線データ交換規約は下図「システム間情報伝達イメージ」の範囲を対象とする（実線矢印部が対象、破線矢印部は対象外）。また、取り扱うメッセージタイプ及びトリガーイベントを表「メッセージとトリガーイベント」に示す。



システム間情報伝達イメージ

メッセージとトリガーイベント

メッセージ定義	メッセージ タイプ	トリガーイベント	イベント タイプ
①患者情報照会	QRY→ ←ADR	患者の問合せ	A19
②患者情報通知	ADT→ ←ACK	入院/来院の通知	A01
		患者を転送する	A02
		患者の登録	A04
		外来患者を入院患者に変更する	A06
		入院患者を外来患者に変更する	A07
		患者情報の更新	A08
		入院/来院通知を取り消す	A11
		転院の取り消し	A12
③放射線検査依頼照会	OSQ→ ←OSR	オーダ状態に対する問合せ	Q06
④放射線検査依頼	ORM→ ←ORR	一般オーダメッセージ	O01/O02

メッセージ定義	メッセージ タイプ	トリガーイベント	イベント タイプ
⑤放射線検査結果照会	QRY→ ←ORF	検査結果の照会	R02, R04
⑥到着確認報告、放射線検査結果	ORU→ ←ACK	検査結果メッセージ	R01

本規約では上記のメッセージタイプ及びイベントタイプをサポートし、Q R Y等は標準的に使用する範囲を規定する。

患者管理のイベントは患者の登録(A04)及び患者情報の更新(A08)を通常使用し、その他のイベントは双方の取り決めによる。

「メッセージタイプ」欄の矢印(→、←)は、メッセージの応答関係を表す。上側の矢印(→)が最初のメッセージの送信を意味し、下側の矢印(←)が最初のメッセージに対する応答メッセージの送信を意味する。

メッセージの概要

- ① 患者情報照会 (QRY/ADR)
患者情報をQRYメッセージで問合せ、それに対する回答をADRメッセージで返す。
- ② 患者管理 (ADT/ACK)
患者に関する各種イベントの情報をADTメッセージで通知し、それに対する応答をACKメッセージで返す。
- ③ 放射線検査依頼照会 (OSQ/OSR)
放射線検査依頼のオーダ情報をOSQメッセージで問合せ、それに対する回答をOSRメッセージで返す。
- ④ 放射線検査依頼 (ORM/ORR)
放射線検査依頼のオーダ情報をORMメッセージで通知する。それに対する応答をORRメッセージで返す。
- ⑤ 放射線検査結果照会 (QRY/ORF)
放射線検査結果をQRYメッセージで問合せ、それに対する回答をORFメッセージで返す。
- ⑥ 到着確認報告／放射線検査結果 (ORU/ACK)
到着確認報告又は放射線検査結果をORUメッセージで通知し、それに対する応答をACKメッセージで返す。

5. 関連情報詳細

5.1 HL7メッセージについて

メッセージ(例えば放射線検査依頼)は具体的な事象トリガーイベント(例えばオーダー)により発生し、メッセージヘッダーセグメント(MSH)で始まり、データ構成要素フィールド(例えば患者名)からなるデータをもったセグメント(例えば患者属性)の集合として構成される。これらはコード化規則による区切文字で区切られた可読的な可変長メッセージであり、下記のように構成される。

メッセージ : MSH セグメント <CR>
 xxx セグメント <CR>
 yyy セグメント <CR>
 zzz セグメント <CR>

セグメント : セグメントID | フィールド1 | フィールド2 | フィールド3 | … <CR>

フィールド : エレメント1 ^ エレメント2 ^ エレメント3 ^ …

5.2 フィールドについて

フィールドは文字列である。

システムが実際にアプリケーション内でどのようにデータを保管するかについて、HL7は関与しない。特に注記しないかぎり、HL7データフィールドはnull値を採ることがある。 null値を送ること、つまり2個の二重引用符（“”）として送ることと、オプションのデータフィールドを省略することとは異なる。メッセージ内容が新規レコードを作成するためでなくデータベース内のレコードを更新するために使われるとき、その相違は出てくる。 値を送信しない(すなわち省略する) 場合、古い値はそのままである。 null値を送る場合は、古い値はnull値に変更されるべきである。

本規格のさまざまな章にセグメント属性テーブルが含まれている。 これらのテーブルは、そのセグメント内のデータフィールドとその使用上の特徴を一覧・記述している。 セグメントを定義する際、以下の情報が各フィールドについて述べられている。 :

5.2.1 (セグメント内の)位置

セグメント内のデータフィールドの順序位置。 セグメント属性テーブルでは、この情報はSEQというコラムにある。

この番号は、セグメント定義テーブルに続くテキストコメントで示されるデータフィールドの説明を参照するために使われる。

5.2.2 最大長

1つのデータフィールドの1反復が占めることができる文字の最大数。 セグメント属性テーブルでは、この情報はLENというコラムにある。

フィールドの長さは標準であるが、施設独自の根拠で変更することができる。後に定義する成分セパレータと副成分セパレータは文字数として計算される。最大長は1つの発生長さなので、反復セパレータは、最大長を計算するときには含めない(章5.2.5 反復 を参照)。 複合データタイプは最も大きな成分データタイプの最大長より短い最大長を持つてはならない。

最大長が非常に大きな数の意向を伝える必要があるときは、ユーザに警告すべく値65536で表す。 この規定は64Kと略記したHL7 バージョン 2.4 以前の慣例に代わる。

V 2.5で最大長はデータ型に帰する。HL7表0440 - データ型を参照。

5.2.3 データタイプ (データ型)

データフィールドの内容に対する制限。セグメント属性テーブルでは、この情報はDTというコラムにある。もしフィールドのデータタイプが不定なときは、“varies”が注記される。

HL7によって定義された多くのデータタイプがある。これらについては

5.4 Data types データ型で説明する。

JAHIS仕様の本規約書では「データ型」とも呼んでいる。

5.2.4 オプション指定

セグメント内のデータフィールドが、必須なのか、オプションなのかまたは条件付きなのかを示す。セグメント属性テーブルでは、この情報はOPTというコラムにある。

HL7での指定は以下のとおりである。

- R — 必須。
- O — オプション。
- C — トリガーイベントおよびその他のフィールド条件による。
セグメント属性表に続くフィールド定義(説明)では、このフィールドの条件を定義するアルゴリズムを指定すべきである。
- X — 対象のトリガーイベントでは使用されない。
- B — HL7の前のバージョンへの後方互換性のために残した。セグメント属性テーブルに続くフィールド定義(説明)では、先のバージョンのため選択フィールドであると表示すべきである。

注：バージョン2.3以上のために：各セグメント定義テーブルに続くセグメントフィールド定義中でフィールドの選択性を明示的に文書化するのがよい；セグメント内のフィールドの選択性がトリガーイベントに依存して変わる場合、その選択性も明示的に文書化するのがよい。

注：多数の成分あるいは副成分を含んでいる、HL7データタイプによって定義されたフィールドについては、正式のセグメント属性テーブルに続く詳細なフィールド定義(説明)中で与えられた成分あるいは副成分の選択性を指定しなければならない（さらに「5.3 Message Delimitersメッセージ区切り文字」、

5.4 Data types データ型を参照すること）。

JAHIS仕様(本規約書)での取り扱いは以下のとおりである。（R～BはHL7に同じ。）

セグメント属性テーブルでは、この情報はJapanというコラムにある。

- R — 必須。
- O — オプション。
- C — トリガーイベントおよびその他のフィールド条件による。
セグメント属性表に続くフィールド定義(説明)では、このフィールドの条件を定義するアルゴリズムを指定すべきである。
- X — 対象のトリガーイベントでは使用されない。
- B — HL7の前のバージョンへの後方互換性のために残した。セグメント属性テーブルに続くフィールド定義(説明)では、先のバージョンのため選択フィールドであると表示すべきである。
- N — 通常、使用しない。施設内でのみ使用する。

5.2.5 反復

そのフィールドが反復されるかどうかを示す。セグメント属性テーブルでは、この情報はRP/#というコラムにある。

指定は以下のとおりである。

- Nまたは空白 — 反復なし。
- Y — 無限回または現場で決定した回数だけフィールドが繰り返される。

(整数) ー フィールドは、整数で指定された最大回数まで繰り返す。

繰り返しのそれぞれが、そのフィールドの最大長で指定した文字数を含めることができる（「5.2.2 最大長」を参照）。

使用上の注意：空白をそのフィールドが任意に反復してよいと解釈してはならない。

5.2.6 テーブル

データフィールド定義で説明されているテーブルの表題中の番号(4桁)は、そのコード化値セットのHL7識別子を意味する。

HL7はテーブルを3つの方法、つまり、使用者、HL7、外部により定義している。

使用者定義テーブル(User-defined Tables)： ユーザまたは施設で定義された値を持つテーブルである。これは PV1-3-Assigned patient location のように確実なフィールドを与え、施設ごとに異なる値を持つ。このようなテーブルは規格では定義していないが、実現を容易にするために使用者定義テーブル番号が割り当てられる。HL7はしばしば施設が皮切りとして使えそうな推奨値を発行している（例えばテーブル0001性別）。ISデータタイプは、このようなテーブルで使う値をコード化するのによく使われる。このようなテーブルのなかには、共通のマスタファイルを参照するテーブルもあるということに注意されたい（例えばテーブル0302 Point of cure）。

JAHIS仕様の本規約書では「使用者定義テーブルnnnn」と表現している。

HL7テーブル(HL7 Tables)： HL7テーブルはHL7によって定義/発行された値の集合である。これらはそのテーブルを含むメッセージの解釈に影響を及ぼすのでHL7規格に含まれる。これらの値は現場で再定義してはならないが、現場で定義した値を含めるためにテーブル自身を拡張することができる。特にこのことは、HL7テーブル0003－イベント型のケースに適用されている。IDデータタイプは、HL7テーブルで使う値をコード化するのに最もよく使われる。

JAHIS仕様の本規約書では「HL7テーブルnnnn」または「テーブルnnnn」と表現している。

外部テーブル(External Tables)： 外部テーブルは他の標準または組織によって定義/発行されたものである。例えばLOINCコードを使って検査結果を符号化する。CEデータタイプはこれらのフィールドの値を表すために使用される。

9000とそれ以上のテーブル番号はHL7が発行する外部定義テーブルのために予約している。そのようなテーブルは、外部の機関が制定する概念やコードを、HL7と他の標準化機関との間で規格化要求し合意を得た場合に発生する。これらはHL7が他の機関に代わってHL7規約と共に発行される。しかし、これらはHL7規約より頻繁に改訂されるかもしれない。

はい／いいえ標識テーブル (Yes/no indicator table)

はい／いいえ (Yes/No) の実際の使用は、説明内容に敏感である。各々の章ではそれぞれの文脈での意味で詳述される。

テーブル 0136 – Yes/no indicator はい／いいえ標識

Value	Description
Y	Yes はい
N	No いいえ

5.2.7 ID番号

規格の全体にわたるデータフィールドを一意的に識別する小さな整数。セグメント定義では、この情報はITEM#というコラムにある。

5.2.8 名称

フィールドの記述的な名前。セグメント属性テーブルでは、この情報は ELEMENT NAME というコラ

ムにある。

同じ名前が複数のセグメント中で使用される場合、それは同じデータタイプおよび意味を同じID番号と同様に各セグメントが持っていなければならない。この慣行から発生する曖昧さを扱うため、フィールドがここで引用される場合は、セグメント名および位置が常に含まれなければならない。

5.3 Message Delimitersメッセージ区切り文字

メッセージを構成するときに、セグメントターミネータ、フィールドセパレータ、成分セパレータ、副成分セパレータ、反復セパレータ、エスケープ文字の特殊文字が使われる。セグメントターミネータは必ずキャリッジ・リターン(16進0D)である。その他の区切り文字はMSHセグメントで定義される。つまり、フィールド区切り文字は4番目の文字位置で定義され、それ以外の区切り文字は、フィールド区切り文字に続くフィールドであるコード化文字フィールドで定義される。MSHセグメントで定義される区切り文字は、メッセージ全体に適用される。特に理由がなければ、図2-1の区切り文字を推奨する。

図 2-1. Delimiter values 区切り文字の値

文字位置	区切り文字	推奨値	用法
-	Segment Terminator セグメントターミネータ	<cr> hex 0D	セグメントレコードを終了する。 この値は、導入者によって変えることができない。
-	Field Separator フィールドセパレータ または フィールド区切り文字		セグメント内で2個の隣接データフィールドを分離する。 それはまたセグメント内の冒頭のデータフィールドとセグメントIDを分離する。
1	Component Separator 成分セパレータ	^	データフィールド内の隣接成分を分離する。 成分の使用法は、関連するデータフィールドの記述に述べられている。
2	Repetition Separator 反復セパレータ	~	反復の認められたデータフィールドにおいて、複数のデータを分離する。
3	Escape Character エスケープ文字	\(¥)	テキストフィールド(ST, TX, FTタイプまたはEDタイプの第4成分)では、エスケープ文字が使用できる。これを表す単一の文字は、MSHセグメントのコード化文字フィールドで指定する。このフィールドはオプションであり、エスケープ文字を使わないメッセージではこの文字は省略できる。しかし、副成分セパレータがメッセージの中で使われるならば、この指定は存在せねばならない。
4	Subcomponent Separator 副成分セパレータ	&	データフィールド内の使用が認められた隣接副成分を分離する。 副成分が無いときは、省略できる。

文字位置 1～4 は、各セパレータを表現するキャラクタを定義する (MSHセグメントの) コード化文字フィールド内の指定位置である。

注：区切り文字で囲まれる文字列中でASCII以外の文字セットを使用した場合(escape, invoke)、区切り文字に先立ちASCII文字セットにもどすこと。もし区切り文字が検出された場合は文字セットはASCIIヘリセットしたものとする。

テキストフィールドでのエスケープシーケンスの使用

TX, FT, ST または CF 型等のフィールドを符号化する場合、エスケープ文字を使用してテキストフィールドの特殊処理部を伝えることができる。エスケープ文字は、表示可能な任意の ASCII 文字で、MSH-2 符号化文字のエスケープ文字要素に指定する。本節の説明のためには、文字\を使用して、メッセージに指定するエスケープ文字とする。エスケープシーケンスは、エスケープ文字とそれに続く 1 文字のエスケープ・コード ID、0 個以上のデータ文字、それにもう 1 つのエスケープ文字から構成される。エスケープシーケンスの中の子エスケープシーケンスは禁止する。

詳細は、HL7 節 2.10、「テキストフィールドでのエスケープシーケンスの使用」を参照。

特殊文字： フィールド区切り、成分区切り、副成分区切り、反復区切り、およびエスケープ文字をテキストフィールド内に表現するために、以下のエスケープシーケンスが定義されている：

\F\	フィールド区切り (フィールドセパレータ)
\S\	成分区切り (成分セパレータ)
\T\	副成分区切り (副成分セパレータ)
\R\	反復区切り (反復セパレータ)
\E\	エスケープ文字

例： MSH-2 で | ^~¥& | の時、¥9, 800 は次の様に記述する。
¥E¥9, 800

推奨しない/規格外のエスケープシーケンス： HL7では下記のエスケープシーケンスが定義されているが、本規約ではその使用を推奨しない。 利用する場合は、適用施設/アプリケーション間の取り決めが必要である。 尚、これらのエスケープシーケンスを受信したことで本来実行すべき処理を中断することがないように配慮すべきである。

FT、STおよびXTデータ型のためのマルチ文字セットをサポートするエスケープシーケンス

\Cxyy\ \Mxyyzz\

本規約では MSH-18で ~ISO IR87 を指定するので、文字セットのエスケープシーケンスを必要としない。

強調表示

\H\ \N\

表示等の表現は受信側アプリケーションで扱うこととする。

16進法

\Xdd...dd\

このデータの扱い/解釈はHL7規格の範囲外であり、本規約でも規定できない。

フォーマット化テキスト

\ sp<数>\ \ br\ \ fi\ \ nf\
\ in<数>\ \ ti<数>\ \ sk<数>\ \ ce\

(報告書等の) 書式制御は受信側アプリケーションで扱うこととする。

ローカル

\Zdd...dd\

このデータの扱い/解釈はHL7規格の範囲外であり、本規約でも規定できない。

エスケープ文字の例外的解釈

エスケープ文字は他の表示可能な文字、区切り文字と違って、その一文字だけでは意味を成さない。 エスケープシーケンスは一对のエスケープ文字を使い、前項に示す記述以外の使い方をしない。 しかし、下記に示すケースが想定され、本節ではその場合の解釈を示す。 説明では、文字 \ を使用して、メッセージに指定するエスケープ文字とする。

一对のエスケープ文字の間にエスケープ・コード ID、データ文字がない場合：

表示可能な文字 \ と見なす。 つまり、\E\ を記述したのと同じとする。

記述例	解釈
\\	\ (エスケープ文字)
\\E\\	\\ (エスケープ文字が 3 個)

エスケープ文字の後のエスケープ・コード ID が前項以外である場合：

一对のエスケープ文字の間を無視する。 つまり、そのエスケープシーケンスを無視する。
受信アプリケーションは警告を発するべきである。

記述例	解釈
\\ABC\	省略またはnull (受信アプリケーションに害のない処理)

エスケープ文字が対を成さない場合：

フィールドの終わりでそのエスケープシーケンスが完結したと見なす。
但し、受信アプリケーションは警告を発するべきである。

記述例	解釈
...X0506XY	...16進数の05,06 (最後のXYは16進数のデータの筈だが誤りである。その処置は本規約では規定外。)
...S	...^ (\S\ と見なされる。)
...	... (最後の \ のみは無視する。)

5.4 Data types データ型

図 2-2. HL7表 0440 - データ型

データ型	データ型名称	長さ	コメント
英数			
ST	文字列	199	
TX	テキストデータ	65536	
FT	フォーマットされたテキスト	65536	
SRT	ソート順	15	
数値			
CQ	単位付き複合数量	500	CQは他のデータ型に埋め込まれた場合正式には表現できない。よってこの使用はセグメントフィールドに限られる。
MO	金額	20	
NM	数値	16	
SI	シーケンス ID	4	
SN	構造化数値	36	
識別子			
ID	HL7 表用の符号化値	Variable	
IS	ユーザ定義表用の符号化値	20	
VID	バージョン識別子	973	
HD	階層指定	227	
EI	エンティティ識別子	427	
RP	参照ポインタ	273	
PL	個人の位置	1230	
PT	処理型	3	
日付/時間			
DT	日付	8	
TM	時間	16	
TS	タイムスタンプ	26	
コード値			
CE	符号化要素	483	v 2.3.1 時で CNE と CWE と取り替えられた。 v 2.5 時では下位互換性のみのために保持された。
CNE	例外無し符号化	705	
CWE	例外有り符号化	705	
CF	フォーマットされた値付きの符号化要素	65536	
CK	チェックディジット付き複合 ID		削除
CN	複合化 ID 番号と名前		削除。v 2.3 で XCN に変更
CX	チェックディジット付き拡張複合 ID	1913	
XCN	拡張された複合 ID 番号と名称	3002	v 2.3 で CN から変更

データ型	データ型名称	長さ	コメント
一般			
CM	複合		削除。v 2.5 ではいくつかの新しい明瞭なデータ型となった。 ここでは、本書で使用するデータ型のみ記載した。
DLD	退院の場所と日付	47	
EIP	エンティティ識別子のペア	855	
ELD	エラー場所および説明	493	
ERL	エラー場所	18	
MOC	金額およびチャージコード	504	
MSG	メッセージ型	15	
NDL	場所と日付を備えた名称	835	
PRL	親結果リンク	755	
SPS	標本のソース	4436	
患者属性			
AD	住所	415	v 2.3 で XAD に変更
FN	姓	194	PN もしくは PN を含むデータ型 (PPN, XCN, XPN) 中にのみ出現
PN	個人名		削除
SAD	住所(町名)	184	XAD データ型中にのみ出現
TN	電話番号	199	削除 内向的
XAD	拡張住所	631	v 2.3 で AD から変更
XPN	拡張された個人名	1103	v 2.3 で PN から変更
XON	機関に関する拡張された複合名称と ID 番号	567	
XTN	拡張された通信番号	850	v 2.3 で TN から変更
専門/章は特定			
波形			
CD	チャネル定義	581	波形データ用のみ。
MA	多重化された配列	65536	波形データ用のみ。
NA	数値配列	65536	波形データ用のみ。
ED	暗号化されたデータ	65536	バイナリデータの ASCII MIME-エンコーディング をサポート
価格データ			
CP	複合価格	543	.
患者管理/財政情報			
FC	保険種別	47	
拡張照会			
QSC	照会選択の基準	219	

データ型	データ型名称	長さ	コメント
QIP	照会入力変数リスト	212	
RCD	行列定義	19	
DLN	運転免許証番号	66	
JCC	職種コード/クラス	292	
VH	来院時間	41	
カルテ/情報管理			
PPN	実施者のタイムスタンプ	2993	TS を結合した XCN と等価
時系列			
DR	日付/時間の範囲	53	
RI	反復間隔	206	
SCV	スケジューリング種類と値の対	41	スケジューリングデータ用のみ。第 10 章参照
TQ	タイミング/量	1209	v 2.5 では、下位互換性のためにのみ保持される。
放射線			
ZRD	放射線検査用薬剤やフィルムの情報	250	

Data types データ型解説

ST 文字列データ

文字列データは、左詰めにされこれに空白がうしろに続いてよい。任意の表示可能な(印刷可能な)ASCII文字(20から7Eまでの16進値)である。例：|almost any data at all|

TX テキスト・データ

文字列データは、使用者に対しターミナルまたはプリンターによって表示するためにある。文字列に先行空白を挿入した方が使用者が見やすいということもあるので、文字列は必ずしも左詰めにするわけではない。この種のデータは表示することが目的なので、表示装置を制御するためのエスケープ文字シーケンスを含むことがある。先行空白文字を挿入し、後書き空白を取り除くとよい。 例：|leading spaces are allowed.|

TXデータは表示するためにあるので、反復区切文字をTXデータ・フィールドで使うと、それは一連の反復行がプリンターまたはターミナル上に表示されることを意味する。したがって反復区切文字は、パラグラフ・ターミネータまたはハード・キャリッジ・リターンとみなされる。(そのテキスト内にCR/LFが挿入されたように表示される)。

受信システムでは、任意の大きさの表示ウィンドウに合わせるためテキストを繰り返し区切り文字間でワードラップするが、反復区切文字で始まる行はすべて新たな行になる。

FT 書式付テキスト・データ

このデータ型は、書式を埋め込み追加することで文字列データ型を拡張したものである。これらの書式は固有であり、フィールドの使用環境から独立している。文字列データ(ST)フィールドとFTフィールドとの違いは、長さが任意(64kまで)であることと、エスケープ文字で囲まれた書式を含むことである。 例：|.sp\ (skip one vertical line)|

SRT ソート依頼

Components: <sort-by field ソートフィールド(ST)> ^ <sequencing 配列(ID)>

ソートされるレスポンスとソート方法をこのパラメータで指定する。

第1成分はソートされるレスポンスのフィールドを識別する。よいレスポンスでは、これは

ソートされるべきカラム名になる。 セグメント・パターンや表示応答ではソートされるべきセグメントフィールド名になる。(セグメントフィールド名定義についてはQIPデータタイプの「セグメントフィールド名(ST)」を参照。)

第2成分はフィールドかパラメータにより識別しソートする。 HL7テーブル0397を参照する。

テーブル0397ー汎用IDタイプ

Value	Description
A	Ascending 昇順
AN	Ascending, case Insensitive 大小文字区別無し昇順
D	Descending 降順
DN	Descending, case Insensitive 大小文字区別無し降順
N	None

CQ 単位付き合成量

Components: <数量(NM)>^<単位(CE)>

第1成分は数量である。第2成分はその数量の単位である。デフォルトの単位で検査を測定した場合、その単位は送信する必要ない。その単位がISO+単位であるなら小文字の省略形を使用するとよい。その単位がANSIまたはローカル定義のものならその単位と出典を記録しなければならない。

例:

|123.7^kg| kilograms is an ISO unit

|150^lb&&ANSI+| weight in pounds is a customary US unit defined within ANSI+.

MO 金額

Components: <quantity (NM)> ^ <denomination (ID)>

第1成分は数量で金額を表わし、第2成分はその数量を表す際の貨幣単位である。貨幣単位成分の値はISO-4217に指定されている。貨幣単位を指定しない場合、MSH-17国コードを使用しデフォルトを決定する。例: |99.50^USD|ここでUSDは、米国ドルを表すISO 4217コードである。

NM 数字

ASCII数字列として表記される数字は、オプションの先行符号(+または-)、数字、そしてオプションの小数点から構成される。符号がない場合、その数値は正数であると仮定される。小数点がない場合、その数値は整数であると仮定される。 例: |999| |-123.792|
先行ゼロまたは小数点の後の後書きゼロは無意味である。01.20と1.2という2つの数値は同一である。オプションの先行符号(+または-)およびオプションの小数点(.)を除いては、数字以外のASCII文字は許されない。したがって、値“<12”は、文字列データ型としてコード化しなければならない。

SI シーケンスID

NMフィールド形式の正整数。このフィールドの使用方法は、それが現われるセグメントとメッセージを定義している章で定義する。

SN 構造化数値

Components: <comparator比較演算子 (ST)> ^ <num1 (NM)> ^ <separator/suffixセパレータ/サフィックス (ST)> ^ <num2 (NM)>

構造化した数値データタイプは、条件を伴った数値の臨床検査結果を表現するため使用される。これによって受信システムは成分を別々に格納することができ、数値のデータベース照会の使用が容易になる。

比較演算子は、超「>」、未満「<」、以上「>=」、以下「<=」、等しい「=」、等しくない「<>」、デフォルトは等しい「=」である。

<num1>および<num2>が値を持つ場合、セパレータ/サフィックスは必須である。セパレータが「-」である場合、その範囲は両端を含む。例えば、<num1>-<num2>は、<num1><= x <= <num2>であるような一連の数値Xを示す。

num1は数値。num2は数値またはヌルであり測定によって異なる。

セパレータ/サフィックスは、「 - 」、「 + 」、「 / 」、「 . 」、「 : 」。

例： |>^100| (greater than 100)、|^100^200| (equal to range of 100 through 200)
|^1^228| (ratio of 1 to 128, e.g., the results of a serological test)
|^2^+| (categorical response, e.g., occult blood positivity)

ID HL7定義コード化値

この種のフィールドで使う値は、正当な表の値から引用される以外はSTフィールドで使う書式規則に従う。IDフィールドの例として性別などがある。

IS 使用者定義コード化値

このフィールドの値は、使用者定義テーブルから引用され、STフィールドの書式規則に従う。ISデータ型に関連したHL7テーブル番号があるものとする。例えば事象理由コードである。

VID バージョン識別子

Components: <version ID (ID)> ^ <internationalization code(CE)> ^ <international version ID (CE)>

第1要素はHL7バージョンを表記するために使用。取りうる値はHL7テーブル0104を参照。
第2要素はISO3166国コードで国際支部の国を表記する。ISO3166テーブルに従い、3文字のコードを国コードと扱う。
第3要素に各国支部がUSのバージョンに対し支部バージョンを持つ場合そのバージョン番号を表記する。

HD 階層的デジグネータ

Components: <namespace ID (IS)> ^ <universal ID (ST)> ^ <universal ID type (ID)>

HDデータタイプは他のデータタイプ構成要素の一部として用いられる。それは、ローカルで定義されたアプリケーション識別子や公に割り当てられたUIDのいずれかとして使用される。HDは、HL7の初期の版でISデータ型を使用したフィールドの中で使用される。その場合、第一成分のみである。HDデータ型の第1の成分が存在する場合、第2と第3の成分はオプションである。第3成分が存在する場合、第2成分も存在せねばならない。
HDの第2の成分、汎用ID(UID)は、第3の成分、汎用IDタイプ(UIDタイプ)によって定義される書式の文字列である。UIDはUIDタイプ内で時間が経過しても一意になるよう定義されている。UIDタイプによって定義された各UIDは、UIDを構築する特に列挙された計画のうちの1つに属さなければならない。UID(第2の成分)は、第3の成分によって定義された汎用ID構文規則に従わなければならない。

テーブル0301－汎用IDタイプ

Value	Description
DNS	インターネットで指定された名前。ASCII文字あるいは整数値のいずれか。
GUID	UUIDと同じ。
HCD	CENヘルスケアコード体系デジグネータ(DICOMで 사용되는識別子はこの割当計画に従う)。
HL7	将来のHL7登録計画のためにリザーブ。
ISO	国際標準化機構オブジェクト識別子
L、M、N	ローカルで定義されたコード体系のためにリザーブ。
ランダム	一般的にランダムビットのbase64コード化文字列。一意性は、ビットの長さに依存する。メール・システムは、ランダムビットおよびシステム名の組合せから、ASCII文字列の「一意的な名」を生成することが多い。明らかに、そのような識別子はbase64文字集合によって束縛されない。
UUID	DCE 汎用一意性ID
x400	X400 MHS書式ID
x500	X500 ディレクトリ名

例：

```

1.2.34.4.1.5.1.5.1,1.13143143.131.3131.1^ISO
14344.14144321.4122344.14434.654^GUID
falcon.iupui.edu^DNS
40C983F09183B0295822009258A3290582^RANDOM
LAB1 Local use only: an HD that looks like an IS data type.
PathLab^UCF.UC^L A locally defined HD in which the middle component is
itself structured. This can be considered the
combination of 'PathLab' with the locally defined
UID system "L".
LAB1^1.2.3.3.4.6.7^ISO An HD with an ISO "Object Identifier" as a suffix,
and a locally defined system name.
^1.2.344.24.1.1.3^ISO An HD consisting only of an ISO UID.

```

EI エンティティ識別名

Components: <entity identifier (ST)> ^ <namespace ID (IS)> ^ <universal ID (ST)> ^ <universal ID type (ID)>

エンティティ識別名は、識別子の指定されたシリーズ内の与えられたエンティティを定義する。

指定されたシリーズ、すなわち割り当て権限は、成分2～4によって定義される。割り当て権限は階層的指名者データ型(HD)である。しかし、それは3つの個別の成分としてEIデータ型の中で定義され、これは通常単一の成分として定義されるのとは異なる。これはいくつかの既存のデータ分野の成分としてのEIの使用と下位互換性を維持するためである。そうでなければ、成分2～4は「HD 階層的デジグネータ」の中で定義される。階層的指名者は、与えられたHL7導入を通じて一意的である。

第1成分、エンティティ識別名は、識別子のシリーズ内で一意的であるよう定義され、割り当て権限によって作成され、これは階層的指名者によって定義され成分2～4で表わされる。

RP 参照ポインタ

Components: <pointerポインタ (ST)> ^ <application IDアプリケーションID (HD)> ^ <type of dataデータの型 (ID)> ^ <subtypeサブタイプ (ID)>

このデータ型は、別のシステムに保存されているデータの情報を伝送する。このデータ型には、そのシステムに保存されているデータを一意に識別する参照ポインタ、そのシステムの識別、およびデータの型が含まれる。

ポインタ： データを保存するシステムが割り当てる一意なキー。そのキーはSTデータ型であり、データを識別しそのデータにアクセスするのに使う。

アプリケーションID： HDデータ型でありデータを保存するシステムの一意な名前。依頼者(または実施者)アプリケーションIDに同じ。アプリケーションIDは扱うHL7メッセージシステムを通じて一意でなければならない。

参照されるデータのタイプはHL7テーブル0191に示される。

テーブル 0191 – 参照されるデータのタイプ

Value	Description
AP	Other application data, typically uninterpreted binary data (HL7 V2.3 and later)
AU	Audio data (HL7 V2.3 and later)
FT	Formatted text (HL7 V2.2 only)
IM	Image data (HL7 V2.3 and later)
Multipart	MIME multipart package
NS	Non-scanned image (HL7 V2.2 only)
SD	Scanned document (HL7 V2.2 only)
SI	Scanned image (HL7 V2.2 only)
TEXT	Machine readable text document (HL7 V2.3.1 and later)
TX	Machine readable text document (HL7 V2.2 only)

サブタイプは、参照されるデータのタイプのための書式を宣言するので、HL7テーブル0291 – 参照されるデータのサブタイプを参照すること。

テーブル 0291 - Subtype of referenced data

Value	Description
BASIC	ISDN PCM audio data
DICOM	Digital Imaging and Communications in Medicine
FAX	Facsimile data
GIF	Graphics Interchange Format
HTML	Hypertext Markup Language
JOT	Electronic ink data (Jot 1.0 standard)
JPEG	Joint Photographic Experts Group
Octet-stream	Uninterpreted binary data
PICT	PICT format image data
PostScript	PostScript program
RTF	Rich Text Format
SGML	Standard Generalized Markup Language (HL7 V2.3.1 and later)
TIFF	TIFF image data
x-hl7-cda-level-one	HL7 Clinical Document Architecture Level One document
XML	Extensible Markup Language (HL7 V2.3.1 and later)

PL 患者所在

Components: <point of care看護単位 (IS)> ^ <room病室 (IS)> ^ <bedベッド (IS)> ^ <facility施設 (HD)> ^ <location status場所の状態 (IS)> ^ <person location type所在場所タイプ (IS)> ^ <building建物 (IS)> ^ <floor階 (IS)> ^ <location description場所の詳細 (ST)>

このデータ型は医療施設内の個人の所在場所を特定するため使用される。どのコンポーネントに値を付けるかはサイトの必要性によって異なる。それは患者の所在場所を特定するため使用されることが最も多いが、しかし医療施設内の患者以外の個人を指すことやその場所の状態を表現する場合もある。

看護単位とは診療室や病棟など部門をいう。場所の状態でベッドのあき状況などを表示する。所在場所のタイプをコードで表現する。

注：成分の順序によって、以前のバージョンのHL7と互換性がある。下位互換性の制約がない場合、成分の階層構造オーダーは次のようになる：<所在場所タイプ(IS)> ^ <施設(HD)> ^ <階(IS)> ^ <看護単位(IS)> ^ <病室(IS)> ^ <ベッド(IS)> ^ <場所の詳細(ST)> ^ <場所の状態(IS)>。

PT 処理タイプ

Components: <processing ID (ID)> ^ <processing mode (ID)>

このデータ型は、HL7アプリケーションがHL7メッセージの処理をするべきか否か示す。処理IDで、メッセージが生成、訓練あるいはシステムデバッグかどうか定義する値。有効な値については「HL7テーブル0103－処理ID」を参照すること。処理モードで、メッセージが文書累積の処理あるいはイニシャルロードの一部かどうか定義する。有効な値については「HL7テーブル0207－処理モード」を参照すること。

DT 日付

常に書式YYYY[MM[DD]]で表記、桁数により精度が規定される。 例：|19880704|

TM 時間

Format: HH[MM[SS[.S[S[S[S]]]]]] [+/-ZZZZ]

以前のHL7バージョンでは、24時間表記法による書式HHMM[SS[.SSSS]][+/-ZZZZ]を常に使用していた。表記する桁数で精度が規定される。秒指定(SS)はオプションである。存在しない場合、分までの精度と解釈される。小数の秒指定は同様にオプションである。小数の秒は、秒より高い精度の時間を必要とする場合に送信される。分、時間、またはそれ以上の時間単位を小数で表記することはできない。発信者の時間帯は、万国標準時(以前はグリニッジ標準時として知られていた)からのオフセットとしてオプションで送られることがある。発信者の時間帯が特定のTMフィールドに存在しないが、MSHセグメントの日時フィールドの一部として含まれる場合は、MSH値がデフォルトの時間帯として使われる。それ以外の場合、その時間は発信者の現地時間を参照するものと解釈される。真夜中は0000と表記する。

例：

|235959+1130| 1 second before midnight in a time zone eleven and half hours ahead of Universal

Coordinated Time (i.e., east of Greenwich).
|0800| Eight AM, local time of the sender.
|093544.2312| 44.2312 seconds after Nine thirty-five AM, local time of sender.

TS タイムスタンプ

Format: YYYY[MM[DD[HHMM[SS[.S[S[S[S]]]]]]] [+/-ZZZZ] ^<精度>

日付と時間を含む、イベントの正確な時間から成る。書式はつぎのようである。

YYYYLLDD[HHMM[SS[.SSSS]]][+/-ZZZZ]^<精度>

タイムスタンプの日付部は日付フィールドの規則に従う。時間部は時間フィールドの規則に従う。表記する桁数により精度が規定される。すなわち、誕生日として使われるとき、HHMM部が省略されれば日付であり、HHMM部を0000とすると、まさに明けようとしているその日の真夜中(0時0分)になる。HL7コード化規則の中で使われる特定のデータ表記はISO 8824-1987(E)との互換性がある。オプションの精度は下位互換性のためにあり、その日時の精度を示す(Y = 年、L = 月、D = 日、H = 時間、M = 分、S = 秒)。例:

|17760704010159-0600| 1:01:59 on July 4, 1776 in the Eastern Standard Time zone.

|17760704010159-0500| 1:01:59 on July 4, 1776 in the Eastern Daylight Saving Time zone.

|198807050000| Midnight of the night extending from July 4 to July 5, 1988 in the local time zone of the sender.

|198807050000^D| Same as prior example, but precision extends only to the day. Could be used for a birthdate.(=|19880705|)

HL7規格では、すべてのシステムが日常的に時間帯オフセットを送るよう強く推奨するが、強制はしない。HL7システムではすべて時間帯オフセット受け入れる必要があるが、その実装はアプリケーションに任される。多くのアプリケーションの場合、関心ある時間はその発信者の現地時間である。たとえば、東部標準時間帯にあるアプリケーションが12月11日午後11:00にサンフランシスコで入院が発生したという通知を受けた場合、その入院を12月12日ではなくて(現地時間の)12月11日に発生したものとして扱うのがよい。

この規則における例外は、臨床システムが、互いに近くに存在しながら時間帯の異なる複数の病院で収集された患者データを処理する場合である。そのようなアプリケーションは、そのデータを共通の表記に変換することがある。同じような問題は、サマータイムとの切り替え時にも発生する。HL7は、情報の送信時に時間帯情報を含めるようにすることで対応する。しかし、ここで検討した処理のどちらを受信システムが採用するかは指定しない。

CE コード化値

Components: <identifier識別子 (ST)> ^ <textテキスト (ST)> ^ <name of coding systemコーディング方式名 (IS)> ^ <alternate identifier代替識別子 (ST)> ^ <alternate text代替テキスト (ST)> ^ <name of alternate coding system代替コーディング方式名 (ST)>

例: |54.21^Laparoscopy^I9^42112^^AS4|

|F-11380^CREATININE^I9^2148-5^CREATININE^LN|

このデータ型は、コード、およびそのコードと関連するテキストを送る。この型は、次に述べる通り、代替成分を含め6個の成分を持つ:

識別子: 後ろの<text>によって参照される項目を一意に識別する文字列(コード)。異なるコーディング方式では、異なる要素を持つ。

テキスト: 問題としている項目の名前または記述。たとえば、心筋梗塞とかX線撮影所見など。そのデータ型は文字列(ST)である。

コーディング方式名: コーディング方式には一意な識別子が割り当てられる。この成分は、識別子成分内で使われているコーディング方式を識別するのに役立つ。識別子成分とコーディング方式名成分の組合せは、データに対して一意なコードである。ここに指定されるコーディング方式の例は、ICD-9、ICD-10、SNOMEDなどである。各方式には一意な識別文字列が与えられる。ここにHL7テーブルを使用する場合、HL7テーブル番号をnnnnとしHL7nnnnとして定義する。

代替成分: 3つの代替成分は、上記と同様、代替方式または現地コーディング方式を定義するためにある。代替テキスト成分が存在せず、代替識別子が存在すると、代替テキストはテキスト成分と同じであると解釈される。代替コーディング方式成分が存在しない場合、それはローカル定義の方式であると解釈される。

注記： このデータ型では2組の等価コードを表現しているが、それはCE型フィールドの反復とは意味が違っている。反復を用いる場合は、いくつかの明瞭なコード(明瞭な意味を持つコード)を送信するのが普通である。

CNE 例外なしコード化値

Components: <identifier識別子 (ST)> ^ <textテキスト(ST)> ^ <name of coding systemコーディング方式名 (IS)> ^ <alternate identifier代替識別子 (ST)> ^ <alternate text代替テキスト (ST)> ^ <name of alternate coding system代替コーディング方式名 (IS)> ^ <coding system version ID コーディング方式バージョン ID(ST)> ^ <alternate coding system version ID 代替コーディング方式バージョンID(ST)> ^ <original textオリジナルテキスト(ST)>

第1成分はユニークな文字のつながり（コード）である <テキスト>を参照するための識別項目である。異なるコード化の要素を持つ。

第2成分は問題の項目の名前を記述。例えば心筋梗塞あるいはX線の印象。そのデータタイプは文字列である。これは識別子にコーディング方式によって割り当てられるテキストである。

第3成分のそれぞれのコーディング方式には一意な識別子を割り当てられる。この成分は識別子成分で使われて符号体系を識別するのに役立つ。

識別子成分とコーディング方式名成分の組合せはデータ項目に一意なコードである。それぞれの方式は一意な識別文字列を持っている。

使用者定義テーブル0396—コーディング方式(HL7-節7.18.1参照)—が許されている値を含んでいる。このテーブルは「ASTM E1238-94、診断、処置、検査、薬剤ID、健康結果」コーディング方式を含み、HL7-節7.2.5のテーブルで識別される。必要に応じて、他の方式が追加される。

コード集合を発行するいくつかの機関が1つ以上を著作する。

それから、ユニークであるコーディング方式はコーディング権限機関の名前とそのコードセットあるいはテーブルの名前の結合である。

HL7 テーブルが CE データタイプのために使われるとき、コーディング方式名成分は nnnn が HL7 テーブル番号である HL7nnnn と定義される。同様に、ISO テーブルが ISOnnnn と命名される。そこでは nnnn は ISO テーブル番号である。

第4成分は上の「識別子」に類似している。データタイプCNEの「使用上の注意」を参考。

第5成分は上記の「テキスト」に類似している。データタイプCNEの「使用上の注意」を参考。

第6成分は上記の「コーディング方式の名前」に類似している。データタイプCNEの「使用上の注意」を参考。

第7成分は第1成分-第3成分によって識別されるコーディング方式のためのバージョンIDである。それは概念的に第1成分-第3成分に属して、そして逆方向互換性の理由だけのためにここで現われる。

第8成分は第4成分-第6成分によって識別されるコーディング方式のためのバージョンIDである。それは（データタイプCEの第6成分を参照）概念的に代替りのコンポーネントのグループに帰属して、そして逆方向互換性の理由だけのためにここで現われる。

第9成分は特定のコードの前に自動化されたプロセスあるいは人に利用可能であったオリジナルのテキストは割り当てられた。この部品はオプションである。

使用上の注意：

第1成分-第3成分と第7成分：識別子は必要とされて、そして正当なコードであるに違いない。コーディング方式はあるいは存在していて、そして許されたコーディング方式のセットから値を持っていないかではない、あるいはもし存在していないなら、それはコードが「HL7 コーディング方式」を意味するという状態で、もしそれが高く評価されたならと比べて同じ意味を持つと解釈されるであろう。

使用者定義テーブル0396—コーディング方式(HL7-節7.18.1参照)—が許されている値を含んでいる。もしコーディング方式が「HL7 コーディング方式」以外のどんな方式でもあるなら、バージョンIDが実際のバージョンIDで高く評価されなくてはならない。

もしコーディング方式が「HL7 コーディング方式」であるなら、バージョンIDは実効値を持っているかもしれない、あるいは存在しないかもしれない。もしバージョンIDが存在しないなら、それはメッセージヘッダで HL7 バージョン番号と比べて同じ値を持っていると解釈されるであろう。

コードのテキスト記載は任意である、しかし、それがメッセージを正確度のために、特にイン

タフェース検査とデバッグの間に再検討することがより容易であるようにするので、その使用は奨励されるべきである。

第9成分：これは、特定の規約が割り当てられる前に、自動化されたプロセスあるいは人に利用可能であったオリジナルのテキストである。この部品はオプションである。

第4成分-第6成分と第8成分：これらの成分はオプションである。
記述されるように、それらはローカルであるか、あるいはユーザによって見られるコードを表すために使われる。

もし存在しているなら、第4成分-第6成分と第8成分は第1成分-第3成分と第7成分の記述と同じ使用規則と翻訳に従う。

もし両方ともが存在しているなら、第4成分と第1成分のアイデンティファイアは正確に同じ意味を持つべきである、すなわち、それらは正確な同義語であるべきである。

CNE 使用法ノート：必要とされるか、あるいは義務的なコードされたフィールドが必要とされるとき、CNE データタイプは使われるべきである。

使用者定義テーブル0396—コーディング方式—が許されている値を含んでいる。
このテーブルは「ASTM E1238 -94、診断、処置、検査、薬剤、健康結果」コーディング方式を含む。

HL7 テーブルが CE データタイプのために使われるとき、コーディング方式名成分は nnnn が HL7 テーブル番号である HL7nnnn と定義される。

それらの使用法のガイドラインがHL7-チャプター7、節7.1「序論と概要」で説明される。

例:1. もしOBXセグメントの値タイプ(Value Type)フィールド(2を順番に並べる)が型CNEであると定義され、deに生ませられた値型が数だったならば、値型フィールドの最短の表現は現在のIDフィールド・シンタックスと同一でしょう：

```
OBX|1|NM|718-7 ^ Hemoglobin ^ LN||13.4|GM/DL|14-18|N||S|F<cr>
```

テキストを含んでいたのと同じOBXセグメントのより冗長な表現は、次のとおりでしょう：

```
OBX|1|NM ^ Numeric|718-7 ^ Hemoglobin ^ LN||13.4|GM/DL|14-18|N||S|F<cr>
```

テキストとコーディング方式を含む同じOBXセグメントのさらに冗長な表現は、次のとおりでしょう：

```
OBX|1|NM ^ Numeric ^ HL70125|718-7 ^ Hemoglobin ^ LN||13.4|GM/DL|14-18|N||S|F<cr>
```

データを作成したオリジナルのシステムの中で使用されるコードに関する情報を保持するために、スキーム・データをコード化する選択肢を含んでいることができるかもしれません：

```
OBX|1|NM ^ Numeric ^ HL70125 ^ NUM ^ Number ^ 99LAB|718-7 ^ Hemoglobin ^ LN||13.4|GM/DL|14-18|N||S|F<cr>
```

上記のものに加えて、人が使用されている語いのバージョンを捕らえ、HL7バージョンが“2.3.1”およびスキーム・バージョンをコード化する99LABだった場合“1.1”だった、フィールド?hは次のように現われるでしょう。

```
OBX|1|NM ^ Numeric ^ HL70125 ^ NUM ^ Number ^ 99LAB ^ 2.3.1 ^ 1.1|718-7 ^ Hemoglobin ^ LN||13.4|GM/DL|14-18|N||S|F<cr>
```

更に、もし人が値フォーマットの“user seen”テキストを含みたく、ユーザがデータ・エントリ・スクリーン上のフィールド・タイプとして“Decimal”を見たならば、フィールドは次のように現われるでしょう：

```
OBX|1|NM ^ Numeric ^ HL70125 ^ NUM ^ Number ^ 99LAB ^ 2.3.1 ^ 1.1 ^ Decimal|718-7 ^ Hemoglobin ^ LN||13.4|GM/DL|14-18|N||S|F<cr>
```

最終的に、ユーザは本来のIDの代わりに略記号を使用し、別名のIDとして長い書式を使用することができた。

```
OBX|1|NM ^ ^ ^ NUM ^ Number ^ 99LAB ^ ^ 1.1 ^ Decimal|718-7 ^ Hemoglobin ^ LN||13.4|GM/DL|14-18|N||S|F<cr>
```

2. もし値タイプ・フィールドがCNEフィールドとして定義されていたならば、および希望の値タイプが値セットの中になかった場合、有効なOBXインスタンスを作成することができない。例えば、もし検査システムが内部値タイプの“Decimal Range”を持っていれば、HL7テーブル0125に利用可能な対応する値タイプがないので、有効なOBXインスタンスを作成することができない。次の事例は正しくない。CNEフィールドのすべての有効なインスタンス中で、IDフィールドは、指定されたテーブルからの有効な値を持っていなければならない。

正しくない(有効なIDがない)

OBX|1|^ ^ ^ DR ^ Decimal Range ^ 99LAB ^ ^ 1.1 ^ Decimal Range|718-7 ^ Hemoglobin ^ LN||13.4|GM/DL|14-18|N||S|F<cr>

3. コーディング・スキームがHL7テーブルのID以外である場合、コーディング・スキームはHL7-チャプター7の中で指定されたコーディング・スキームから得られる有効なスキームでなければならない。例えば、もしOBXセグメントの検査項目フィールド(OBX-3)がCNEフィールドとしてタイプされ、LOINCバージョン1.0kが検査項目に対するソースとして使用されていたならば、次のOBX事例は有効でしょう:

OBX|1|NM|718-7 ^ Hemoglobin ^ LN ^ ^ ^ 1.0k||13.4|GM/DL|14-18|N||S|F<cr>

しかしながら、コーディング・スキーム指示“LOCAL”が、有効なコーディング・スキームのIDリストに載っておらず、また、それも有効で“local”なコーディング・スキームのIDを作成のためにHL7-チャプター7に記述された規則に順応しないので、次のOBX事例は正しくないであろう。

正しくない(無効なコーディング・スキーム)

OBX|1|NM|9587-2 ^ Hemoglobin ^ LOCAL ^ ^ ^ 1.0k||13.4|GM/DL|14-18|N||S|F<cr>

ローカルのコーディング・スキーム“99LAB”を使用する有効なOBXインスタンスは、“99LAB”がHL7-チャプター7に記述されるるようにローカルのコーディング・スキームを指定するための規則に適合しているので、許可される。有効なOBX事例は以下のように表わされる:

OBX|1|NM|9587-2 ^ Hemoglobin ^ 99LAB ^ ^ ^ 6.5||13.4|GM/DL|14-18|N||S|F<cr>

コーディング・スキームがHL7テーブルのID以外である場合、最終的には、バージョン番号は存在しなければならない。たとえコーディング・スキームLN(LOINC)が有効でも、有効なバージョン番号が抜けているので、次のOBX事例は正しくない:

正しくない(見当たらないバージョン番号)

OBX|1|NM|718-7 ^ Hemoglobin ^ LN||13.4|GM/DL|14-18|N||S|F<cr>

CWE 例外を含むコード化値

Components: <identifier識別子 (ST)> ^ <textテキスト(ST)> ^ <name of coding systemコーディング方式名 (IS)> ^ <alternate identifier代替識別子 (ST)> ^ <alternate text代替テキスト (ST)> ^ <name of alternate coding system代替コーディング方式名 (IS)> ^ <coding system version ID コーディング方式バージョン ID(ST)> ^ <alternate coding system version ID 代替コーディング方式バージョンID(ST)> ^ <original textオリジナルテキスト(ST)>

第1成分: 文字のつながり (コード) それはユニークに <テキスト>によって参照されて項目を識別する。異なったコード化方式がここで異なった要素を持つであろう。

第2成分: 問題の項目の名前あるいは記載。例えば、myocardial 梗塞あるいはレントゲン写真印象。

第3成分: それぞれのコーディング方式がユニークな識別子を割り当てられる。

このコンポーネントは識別子コンポーネントで使われて符号体系を識別するのに役立つであろう。

識別子成分とコーディング方式名成分の組合せはデータ項目に一意なコードである。それぞれの方式は一意な識別文字列を持っている。

使用者定義テーブル0396(HL7-節7.18.1参照)-コーディング方式-が許されている値を含んでいる。テーブルは「ASTM E1238 -94、診断、処置、検査、薬剤ID、健康結果」と、ASTM-7.1.4でテーブルで識別されるように、コードしている「コード化方式」を含む。必要に応じて、他の方式が追加される。

コード集合を発行するいくつかの機関が1つ以上を著作する。

それから、ユニークであるコーディング方式はコーディング権限機関の名前とそのコードセットあるいはテーブルの名前の結合ある。

HL7 テーブルが CE データタイプのために使われるとき、コーディング方式名成分は nnnn が HL7 テーブル番号である HL7nnnn と定義される。

同様に、ISO テーブルが ISO nnnn と命名されるであろう、そしてそこで nnnn は ISO テーブル番号である。

第4成分：上の「識別子」に類似している。データタイプCWEの「使用上の注意」を参照。

第5成分：上記の「テキスト」に類似している。データタイプCWEの「使用上の注意」を参照。

第6成分：上記の「コーディング方式の名前」に類似している。データタイプCWEの「使用上の注意」を参照。

第7成分：これは第1成分-第3成分によって識別されるコーディング方式のためのバージョンIDである。それは概念的に構成する第1成分-第3成分のグループに帰属して、そして逆方向互換性の理由だけのためにここで現われる。

第8成分：これは第4成分-第6成分によって識別されるコーディング方式のためのバージョンIDである。それは概念的に代替りの成分のグループに帰属する（見なさい、と0が指摘する、上記の「テキスト」に類似している。データタイプCWEの「使用上の注意」を参照。

第9成分：特定の規約が割り当てられる前に、自動化されたプロセスあるいは人に利用可能であったオリジナルのテキスト

使用上の注意：こちらは一般に送られるフィールドがコード、しかしどこにコードが卓越したインスタンスであるいはサイト契約によって除かれるかもしれないか使っている。

使われているコーディング方式がテキストでコンセプトを記述するためにコードを持っていないとき、卓越した事例が起こる。

1) Coded : 識別子はコーディング方式から正当なコードを含んでいる。

コーディング方式はあるいは存在していて、そして許されたコーディング方式のセットから、あるいはもし存在していないなら値を持っていないなくてはならない、それはコードが「HL7 コーディング方式」を意味するという状態で、もしそれが高く評価されたならと比べて同じ意味を持つと解釈されるであろう。

使用者定義テーブル0396-コーディング方式が許されている値を含んでいる。

テーブルは「ASTM E1238-94、診断、処置、検査、薬剤ID、健康結果」と、ASTM-7.1.4でテーブルで識別されるように、コードしている「コード化方式」を含む。

もしコーディング方式が「HL7 コーディング方式」以外のどんな方式でもあるなら、バージョンIDが実際のバージョンIDで高く評価されなくてはならない。

もしコーディング方式が「HL7 コーディング方式」であるなら、バージョンIDは実効値を持っているかもしれない、あるいは存在しないかもしれない。もしバージョンIDが存在しないなら、それはメッセージヘッダで HL7 バージョン番号と比べて同じ値を持っていると解釈されるであろう。

テキスト記述は任意である、しかしその使用はテストの間のそしてデバッグするメッセージの判読性で支援に奨励されるべきである。

例 1a : CWE 値と値が SNOMED ・インターナショナルから取られる（とき・から・につれて・ように）、観測識別子が LOINC コードと観測値である OBX 部分が送られている。

```
OBX|1|CWE|883-9^ABOGroup^LN|1|F-D1250^Type  
0^SNM3^^^^3.4||N||F<cr>
```

例 1b : 観測識別子が LOINC コードと観測値である OBX 部分が CWE 値として送られている、そして値は（現在仮説の）HL7 テーブルから取り出される。

```
OBX|1|CWE|883-9^ABOGroup^LN|1|0^Type 0^HL74875^^^^2.3.1||N||F<cr>
```

2) Uncoded : テキストが高く評価される、識別子は値を持っていない、そしてコーディング方式とバージョンIDがオプション1のために論じられると比べて同じ規則に従う。

例 2 : 検査結果IDをLOINCコードとする OBXセグメントと検査結果が CWE値として送られており、そして、正しい臨床結果「Wesnerian」が許容値の中に見いだされなかったことのテキストとして送られる。

```
OBX|1|CWE|883-9^ABO Group^LN|1|^Wesnerian^SNM3^^^^3.4||A||F<cr>
```

3) データ消失：コーディング方式の名前は「HL7 CE 状態」である、バージョンIDが1レアルいずれかであるバージョン、あるいはもし存在していないなら、それはメッセージヘッダでバージョンと比べて同じ意味を持っている、そして識別子は許された CE フィールド statuses の1人からその値を取る。

許された CE フィールド statuses のコードは下に示されて、そして HL7 用語の一部として

テーブルで維持されるであろう。

コードのテキスト記載は任意である。

例 3：検査結果IDをLOINCコードとするOBXセグメントと検査結果が LCE値として送られており、この検査がされなかったことから送られることができる値がない。

```
OBX|1|CWE|883-9^ABOGroup^LN|1|NAV^NotAvailable^
HL70353^^^2.3.1|||N||F<cr>
```

第9成分：これは、特定の規約が割り当てられる前に、自動化されたプロセスあるいは人に利用可能であったオリジナルのテキストである。このフィールドは任意である。

第4 - 6成分&第8成分：成分4-6&8は任意である。

それらはローカルまたはユーザによって見られたコードを表すために使われる。

もし存在しているなら、第4 - 6成分と第8成分は（CWE データタイプの）第1 - 3成分と第7成分の記述と同じ使用規則と翻訳に従う。

もし両方ともが存在しているなら、第4成分と第1成分でのアイデンティファイアは正確に同じ意味を持つべきである；すなわち、それらは正確な同義語であるべきである。

例 4：検査結果IDをLOINCコードとするOBXセグメントと検査結果が CWE値として送られており、結果は SNOMED インターナショナルから得られる。

ユーザによって見られたフィールドは（99LAB）が送信しているシステムで使ったローカルなコーディング方式を表すために使われている。

```
OBX|1|CWE|883-9^ABOGroup^LN|1|F-D1250^Type0^SNM3^0^0type
Blood^99LAB^3.4^||||F<cr>
```

CWE 使用法のサマリが値がない種々の国家のために状態値のテーブルで指摘する：データタイプが（そのために）使われるべきである CWE は任意である、あるいはもうではなく公認の値セットの一部である項目のためのテキストを送ることは許されるフィールドをコードした。

標準的な状況で、識別子は値セットからコードで高く評価される。

もしフィールドの値が知られているが、値セットの一部ではないなら、テキストと識別子が値を持っていない（とき・から・につれて・ように）、値は送られる。

もしフィールドが未知の状態を持っているなら、フィールドの3番目のフォームが（上にデータ消失を見なさい）使われる、そしてフィールドのための適切な状態は許された statuses のテーブルから選択される。

コードが存在しないとき、HL7テーブル0353を利用する。

テーブル 0353 - CWEステータス

Value	Description
U	Unknown 無し
UASK	Asked but Unknown 返答無し
NAV	Not available 利用可能でない
NA	Not applicable 適用可能でない
NASK	Not asked 問い合わせなし

テキスト変更子がコードに伴うかもしれないところに、HL7 メッセージの「フィールド」はデータタイプ CWE のことであるであろう、そして繰り返すことを許されるであろう。

フィールドの最初のインスタンスは、オプション1に従って、使われるであろう；すなわち識別子は正当なコードを持っているであろう。

繰り返すフィールドの2番目のインスタンスは使われるであろう、オプション2に従って、すなわち、テキスト記載は自由なテキスト変更子の値をとるであろう。

CF 書式付コード化値

Components: <identifier識別子 (ID)> ^ <formatted text書式付テキスト (FT)> ^ <name of coding systemコーディング方式名 (IS)> ^ <alternate identifier代替識別子 (ID)> ^ <alternate formatted text代替書式付テキスト (FT)> ^ <name of alternate coding system代替方式名 (IS)>

このデータ型は、コード、およびそのコードと関連する書式付テキストを送る。このデータ型は、レポートの詰め込みテキスト部に使用する書式付テキスト(たとえば、単純胸部X線について標準的に記述された放射線所見など)を初めて送る場合に使用する。受信システムは、この情報を保存し、次のメッセージではその識別子だけを送信すればよい。このデータ型のもう一つの考えられる使用法は、書式付テキストを含むマスターファイル・レコードを送ることである。主要成分、代替成分とも、第2成分および第5成分が書式付テキスト・データ型

であるという点を除いて、CEデータ型の場合と全く同様に定義される。

例：

OBX||CF|71020^CXR^CPMC||79989^H\Description:\N\sp\|ti+4\Heart is not enlarged. There is no evidence of pneumonia, effusion, pneumothorax or any masses.
\sp+3\H\Impression:\N\sp\|ti+4\Negative chest.^CPMC

CK チェックディジット付き複合ID

Components: <ID number ID番号 (NM)> ^ <check digitチェックディジット (NM)> ^ <code identifying the check digit scheme employedチェックディジット方式 (ID)> ^ < assigning authority割当権限者(HD)>

このデータ型は、たとえばPID-3-患者ID(内部ID)など、通常チェックディジットを含むフィールドで使われる。現場で、あるCKフィールドにチェックディジットを使っていない場合、第2、第3成分はNullである。

例： |128952^6^M11^ADT01|

このデータ型のチェックディジットは、メッセージ処理システムが追加生成するわけではない。それは、送信アプリケーション内で使われる識別番号に含まれる。送信アプリケーションが識別番号内にチェックディジットを含まない場合、この成分はnullとすべきである。

チェックディジット方式は、HL7テーブル0061 — チェックディジット方式で定義する。

テーブル0061—チェックディジット方式

値	記述
NPI	Check digit algorithm in the US National Provider Identifier
ISO	ISO 7064: 1983
M10	Mod 10 アルゴリズム
M11	Mod 11 アルゴリズム

Mod10チェックディジットを計算するためのアルゴリズムは以下の通り

あなたが識別子=12345を持つと仮定する。右側から数えて奇数桁、つまり531を考える。この数を2倍して1062を得る。右から数えて偶数桁、すなわち42を取り、これに1062を付けたして421062を得る。この数字の6桁すべてを加算して15を得る。15の次に大きい10の倍数からこの数を減ずる、つまり20-15により5を得る。これがMod10である。401の場合のMod10チェックディジットは0である；9999の場合は4である；99999999の場合は8である。

Mod11チェックディジットを計算するためのアルゴリズムは以下の通り。

用語

d = 1の位から始まり、以降10の位、100の位、... と続く各位の数字

w = 1の位から始まり、以降10の位、100の位、... と続く各位の重み。Wの値は2、3、4、5、6、7、2、3、4、5、6、7、... と続く(6桁単位で繰り返す)

c = チェックディジット

計算

(ステップ1) m = 1の位から開始し、それぞれの位について計算した(d * w)の合計

d = 1の位から最高桁の位までの各桁の数字

w = 1の位から始まり、6桁単位で繰り返す2から7までの各桁の重み

(ステップ2) c1 = m mod 11

(ステップ3) c1 = 0の場合はc1 = 1に置き換える。

(ステップ4) c = (11 - c1) mod 10

例: if the number is 1234567, then the mod 11 check digit = 4

計算は以下の通り

$$\begin{aligned} m &= (7*2)+(6*3)+(5*4)+(4*5)+(3*6)+(2*7)+(1*2) \\ &= 14 + 18 + 20 + 20 + 18 + 14 + 2 \\ &= 106 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} c1 &= 106 \bmod 11 \\ &= 7 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} c &= (11 - c1) \bmod 10 \\ &= 4 \bmod 10 \\ &= 4 \end{aligned}$$

上記以外のチェックディジットは、現場双方の取り決めにより使うことができる。

CN 複合ID番号および名前

Components: <ID number ID番号(ST)> ^ <family name 姓(FN)> ^ <given name 洗礼名 (ST)> ^ <second and further given names or initials thereof 中間名のイニシャルあるいは名前(ST)> ^ <suffix (e.g., JR or III) サフィックス (ST)> ^ <prefix (e.g.,DR) プレフィックス(ST)> ^ <degree (e.g., MD) 学位 (IS)> ^ <source table ソーステーブル (IS)> ^ <assigning authority 割当権限者(HD)>

Subcomponents of family name: <surname (ST)> ^ <own surname prefix (ST)> ^ <own surname (ST)> ^ <surname prefix from partner/spouse (ST)> ^ <surname from partner/spouse (ST)>

コード値およびテキスト名により人物を識別するフィールド。特定のフィールドでは、それぞれの現場でIDまたは名前を省略することができる。

例: |12372^RIGGINS^JOHN^""^""^""^MD^ADT1|
|12372^^^^^^ADT1|
|^RIGGINS^JOHN^""^""^""^MD|

第1成分は第8の成分によって定義された使用者定義テーブルによりコード化されたID。第1の成分が存在する場合、ソーステーブルあるいは割当権限者が評価されねばならない。

第2成分は姓を表す。

第3成分は洗礼名を表す。

第4成分は中間名のイニシャルあるいは名前を表す。

第5成分は名前のサフィックスを指定するため使用される（例えばジュニアあるいは3世）。

第6成分は名前のプレフィックス指定するため使用される（例えばDr）。

第7成分は学位を指定するため使用される（例えばMD）。推奨値については「使用者定義テーブル 0360 - 学位」を参照すること。

第8成分の推奨値については「使用者定義テーブル0297－CN・IDソース」を参照すること。

第1の成分を描写するため使用される。

使用者定義テーブル0297－CN・IDソース

Value	Description
	No suggested values defined 推奨できる値はない

第9成分：このバージョンでは、オプションの9番めの成分、割当権限者を加えた。それはHDデータタイプである。

CX チェックディジット付拡張複合ID

Components: <ID (ST)> ^ <check digit チェックディジット (ST)> ^ <code identifying the check digit scheme employed チェックディジット方式 (ID)> ^ < assigning authority 割当権限者 (HD) > ^ <identifier type code IDタイプコード (IS)> ^ < assigning facility 割当施設 (HD) > ^ <effective date 有効日付(DT)> ^ <expiration date 満了日付 (DT)>

例: |1234567 ^ 4 ^ M11 ^ ADT01 ^ MR ^ University Hospital|

ID：CKデータ型と同様、ただしSTデータ型がNM・データ型の代わりに許可される。

チェックディジット：CKデータ型と同様、ただしSTデータ型がNM・データ型の代わりに許可される。このチェックディジットはメッセージ処理で追加されるものではなく、送信アプリケーションの中で使用される識別番号の一部である。送信アプリケーションが識別番号中にチェックディジットを含んでいない場合、この値はヌルであるのがよい。

識別子タイプコード：IDのタイプに対応するコード。ある場合には、「割当権限」成分への修飾語としてこのコードを使用してもよい。

使用者定義テーブル0203－識別子タイプ

Value	Description	Value	Description
AM	アメリカン・エクスプレス	MS	マスターカード
AN	勤定番号	NE	米国雇用者ID
BA	銀行勤定番号	NH	米国保健計画ID
BR	出生登録番号	NI	米国個別ID
BRN	品種登録番号	NNxxx	米国個人ID XXX=ISOテーブル3166の3文字(アルファベット)の国コード
DI	ダイナースクラブ・カード	NPI	米国プロバイダーID
DL	運転免許証番号	PEN	年金番号
DN	医師番号	PI	患者内部ID

Value	Description	Value	Description
DR	ドナー登録番号	PN	個人番号
DS	ディスカバー・カード	PRN	プロバイダー番号
EI	従業員番号	PT	患者外部ID
EN	雇用者番号	RR	鉄道退職番号
FI	設備ID	RRI	地方登録ID
GI	保証人内部ID	SL	滞在許可
GN	保証人外部ID	SR	滞在登録ID
HC	保健証番号	SS	社会保障番号
JHN	管轄区域の保健番号(カナダ)	U	無指定
LN	免許番号	UPIN	メディケア/HCFAの汎用医師ID
LR	地方登録ID	VN	訪問回数
MA	メディケイド番号	VS	ビザ
MC	メディケア番号	WC	WIC ID
MCN	マイクロチップ番号	WCN	労働者番号
MR	医療記録番号	XX	組織ID

XCN 拡張複合IDと名前

Components: <ID number ID番号 (ST)> ^ <family name姓 (FN)> ^ <given name 洗礼名 (ST)> ^ <second and further given names or initials thereof セカンドネームまたはイニシャルの頭文字(ST)> ^ <suffix接尾辞 (e.g., JR or III) (ST)> ^ <prefix接頭辞 (e.g., DR) (ST)> ^ <degree学位 (e.g., MD) (ST)> ^ <source table ソーステーブル (IS)> ^ <assigning authority割当て権限者 (HD)> ^ <name type code名前タイプコード(ID)> ^ <identifier check digitチェックディジット (ST)> ^ <code identifying the check digit scheme employedチェックディジット方式 (ID)> ^ <identifier type code識別タイプコード (IS)> ^ <assigning facility割当て施設 (HD)> ^ <name representation code名前表示コード(ID)> ^ <name context 名前コンテキスト(CE)> ^ <name validity range名前有効範囲(DR)> ^ <name assembly order 名前の組み立て指示(ID)>

コード値およびテキスト名により人物を識別するフィールド。第1成分は、第8の成分で示されるテーブルに従ったIDである。第2成分から第7成分は人物名を表すPNフィールドである。第8成分は、第1成分で使われるソーステーブルを指定する。特定の現場では、それぞれの現場でIDまたは名前を省略することができる。名前タイプコードについては、XPN－拡張人名を参照。識別タイプコードは「使用者定義テーブル0203－識別子タイプ」を参照すること。第10成分と第15成分は必須である。

例: |^中田^隆^^^^^^L^^^^||
|^TORANOMON^ICHIRO^^^^^^L^^^^A~虎ノ門^一郎^^^^^^L^^^^||

CM 複合フィールド

他の有意データフィールドと組合せるフィールド。それぞれの部分は成分と呼ばれる。CMフィールドの特定成分は、そのフィールド記述の範囲内で定義される。HL7 V2.5ではいくつかの新しい明瞭なデータ型となった。以下に本書で使用されているデータ項目についての構成を記載している。詳細については、HL7 V2.5の2.Aを参照されたい。

DLD 退院先と日付

Components: <退院先 (IS)> ^ <発行日付 (TS)>

EIP 実体識別子ペア

Components: <依頼者割当識別子 (EI)> ^ <実施者割当識別子 (EI)>

ELD エラー個所および記述

Components: <セグメントID (ST)> ^ <セグメント連番 (NM)> ^ <フィールド位置 (NM)> ^ <エラーを特定するコード(CE)>

ERL エラー位置

Components: <セグメントID (ST)> ^ <セグメント連番 (NM)> ^ <フィールド位置 (NM)> ^ <フィールド繰り返し番号(NM)> ^ <成分番号(NM)> ^ <副成分番号(NM)>

MOC 金額および請求コード

Components: <金額 (MO)> ^ <請求コード (CE)>

MSG メッセージタイプ

Components: <メッセージコード (ID)> ^ <トリガーイベント (ID)> ^ <メッセージ構造 (ID)>

NDL 日付と位置を伴う名前

Components: <名前 (CNN)> ^ <開始日付/時間 (TS)> ^ <終了日付/時間 (TS)> ^ <ケアの場所 (IS)> ^ <病室 (IS)> ^ <病床 (IS)> ^ <施設 (HD)> ^ <位置の状態 (IS)> ^ <患者位置タイプ (IS)> ^ <建物 (IS)> ^ <階 (IS)>

PRL 親結果リンク

Components: <親検査識別子 (CE)> ^ <親検査副識別子 (ST)> ^ <親検査の値の記述 (TX)>

SPS 検体採取場所

Components: <検体採取場所の名前またはコード (CWE)> ^ <添加物 (CWE)> ^ <検体採取方法 (TX)> ^ <部位 (CWE)> ^ <部位修飾子 (CWE)> ^ <検体採取方法修飾子コード (CWE)> ^ <検体の役割 (CWE)>

AD address 住所

Components: <street address 行アドレス (ST)> ^ <other designationその他の表示 (ST)> ^ <city 都市 (ST)> ^ <state or province州あるいはプロビンス (ST)> ^ <zip or postal code ZIPまたは郵便番号 (ST)> ^ <country国 (ID)> ^ <address type アドレスタイプ (ID)> ^ <other geographic designation 他の地理的な表示 (ST)>

例: |10 ASH LN^#3^LIMA^OH^48132|

第1成分は個人あるいは施設の道路あるいはメーリングアドレス。施設を参照するとき、この最初のコンポーネントは施設名を指定するために使われる。個人に関連して使われるとき、このコンポーネントはアドレスの最初の行を指定する。

第2成分はアドレスの2行目。一般に、それはアドレスを修飾する。例: 555号室、あるいは4階。施設を参照するとき、このコンポーネントは番地を指定する。

第3成分は都市名

第4成分は州あるいはプロビンスはその国の公式の郵便コードによって表わすのがよい。

第5成分はZIPまたは郵便番号はその国の公式のコードによって表わすのがよい。

米国のZIPの形式は99999[ー9999]の形式であり、カナダの郵便番号の形式はA9A9A9である。日本の形式は999-9999である。

第6成分はアドレスの国を定義する。ISOの3166は、使用できる国コードの一覧表を提供し、3つのパートに分かれている。HL7は3文字の(アルファベット順の)書式が国コードのために使われることを明示する。

第7成分のタイプはオプションであり、HL7テーブル0190ーアドレスタイプによって定義される。

テーブル0190ーアドレスタイプ

Value	Description
BA	Bad address 良くないアドレス
N	Birth (nee) (birth address, not otherwise specified) 出生地 (旧姓地)
BDL	Birth delivery location (address where birth occurred) 出身地
F	Country Of Origin 出生国
C	Country Of Temporary 臨時国
B	Firm/Business 会社 / ビジネス (勤務地)
H	Home 自宅
L	Legal Address
M	Mailing 郵便宛先
O	Office 職場 (事業所)
P	Permanent
RH	Registry home. Refers to the information system, typically managed by a public health agency, that stores patient information such as immunization histories or cancer data, regardless of where the patient obtains services.
BR	Residence at birth (home address at time of birth) 出生時の住宅 (出生の時間におけるホームアドレス)

第8成分は他の地理的な表示は郡、自然生態地域、標準大都市統計圏などを含んでいる。

FN family name 姓

Components: <surname (ST)> ^ <own surname prefix (ST)> ^ <own surname (ST)> ^ <surname prefix from partner/spouse (ST)> ^ <surname from partner/spouse (ST)>

このデータタイプは人の姓のフルの仕様書を許す。

適切である場合は、それはその人のパートナーあるいは配偶者のそれから、その人の名前がいずれかの名前から要素を含むかもしれないケースでその人自身の姓を区別する。

更にメッセージでは姓接頭辞(例えば“バン”あるいは“ドゥ”)と性ルートを区別することができる。

注意：PN と他の PN を含んでいるデータ型 (PPN、XCN、XPN) にだけ現われる。

第1成分はその人の姓の原子の要素。最も西洋の使用法で、これはその人の姓である。

第2成分はゲルマン語のための国際化使用法。この部品はオプションである。

第3成分は旧姓を現す。

第4成分はゲルマン語のための国際化使用法。この部品はオプションである。

第5成分はその人のパートナーあるいは部分から同じぐらい著名な配偶者の姓から得られるその人の姓 (たいていの西洋の使用法、姓で) の部分がその人の自身の姓から生じた。この部品はオプションである。もしその人の姓の部分がその人のパートナーあるいは配偶者の姓から得られないなら、このコンポーネントは高く評価されない。さもないと、もしパートナーあるいは配偶者の姓が合法的にその人の姓に似合って、(あるいは含む) ために変化したなら、これはこのような変更の前にすぐにパートナーあるいは配偶者の姓である。

PN person name 人名

Components: <family name 姓 (FN)> ^ <given name 洗礼名 (ST)> ^ <second and further given names or initials thereof 中間名のイニシャルあるいは名前 (ST)> ^ <suffix (e.g., JR or III) サフィックス (ST)> ^ <prefix (e.g., DR) プレフィックス (ST)> ^ <degree (e.g., MD) 学位 (IS)>

Subcomponents of family name: <surname (ST)> & <own surname prefix (ST)> & <own surname (ST)> & <surname prefix from partner/spouse (ST)> & <surname from partner/spouse (ST)>

名前は複数のフリーテキスト成分から成る。PNフィールドの最大長は、成分セパレーターを含めて48文字である。送信システムは大文字と小文字の混合、またはすべて大文字を送ることができる。必要なら、受信システム側ですべて大文字に変換してもよい。

例： |SMITH^JOHN^J^III^DR^PHD|

第1成分は姓について記す。

第2成分は洗礼名を表す。

第3成分は中間名のイニシャルあるいは名前を表す。

第4成分はサフィックス(名前接尾語)を指定するため使用される (例えばジュニアあるいは3世)。

第5成分はプレフィックス(名前接頭辞)を指定するため使用される (例えば、Dr.)。

第6成分は学位 (例えば、Md.) を指定するため使用される。 推奨値については「使用者定義テーブル 0360 - 学位」を参照すること。

国際化の注:一部の国々では、表意文字あるいは表音 (音声の) 文字セットを使用しているので、アルファベットフォーマットの他にこれらのフォーマットの片方または両方で名前を送信することが、ときどき必要である。異なる文字セット間を切り替えるには、JIS X0202-ISO 2022のような文字セットを使用するが、これは異なる文字セット間および単一バイトとマルチ・バイトの文字表現の間を切り替える。名前フィールドを繰り返す場合、名前の異なる反復はこれらの異なる文字セットによって表わされてもよい。詳細は以下のとおりである。

(さらにHL7節2.10.2、「FT、STおよびXTデータ型のためのマルチ文字セットをサポートするエスケープ」を参照。)

「HL7は、日本の文字のための下記基準をサポートする：

JIS X0201

対象ISO-IR13 (日本の片仮名)

対象ISO-IR14 (日本のローマ字)

JIS X0208 対象ISO-IR87 (日本の漢字、平仮名および片仮名)

JIS X0212 対象ISO-IR159 (補足的な日本の漢字)

HL7は欧州の文字のための下記基準をサポートする：

ISO-8859 (1-9) 対象ISO-IR100、101、109、110、144、127、126、138および148。

文字セットは、HL7の中でASCII、8859/1.8859/2、JAS2020およびJIS X0202として引用されている。DICOMは、形式「ISO-IRxxx」の、ISO 2375の中にレイアウトされたコードを使用する。HL7はこの命名法をサポートするが、それは相互操作性を促進するためである。

HL7は、ISO 646 : 1990 (ISO IR-6) の国際参照バージョンの基本のG0セットを、文字列に対するデフォルト文字レパートリーとして使用する。これは単一のバイト文字セットであり、ASCIIと同一である。

PNあるいはXPNフィールドの各反復はデフォルト文字セットから始まると仮定される。別の文字セットを使用することになっている場合、HL7に定義されたエスケープであって文字セットを宣言するため使用されるものが、反復の初めになければならない。また、HL7に定義されたエスケープであってデフォルト文字セットを始めるため使用されるものが、反復の終わりになければならない。さらに注意すべきことは、いくつかの文字セットを単一の反復内に混ぜ合わせてもよいが、反復がデフォルト文字セットへの復帰で終わることが条件であるということである。

アプリケーションは、その適合文およびフィールド・MSH-18文字セットの中でどの文字セットをアプリケーションがサポートするか明示しなければならない。送信および受信アプリケーションは、エスケープするために文字セット名（すなわちISO-IRxxx）をマップするか知っているかと仮定されている。

例えば、多くの日本語のメッセージでは、ローマ字（すなわちローマ文字）、片仮名（外国の単語の発音表現）、平仮名（日本語の単語の発音表現）および漢字（絵文字）の混合がある。そのようなメッセージは、4つの文字セットがMSHの中で指定されることを要求する。

名前の国際化のための参考文献

1. "Understanding Japanese Information Processing" by Ken Lunde, O'Reilly Press
2. "DICOM Supplement 9 : Multi-Byte Character Set Support", ACR-NEMA
3. ANSI X3.4:1986 ASCII character set
4. ISO 646:1990 Information Processing - ISO 7-bit coded character set for information interchange
5. ISO/IEC 2022:1994 Information Technology - Character code structure and extension techniques
6. ISO 2375:1986 Data Processing - Procedure for the registration of escape sequences
7. ISO 6429:1990 Information Processing - Control functions for 7-bit and 8-bit coded character sets
8. ISO 8859 (1-9) Information Processing - 8-bit single-byte coded graphic character sets - parts 1-9
9. ENV 41 503:1990 Information systems interconnection - European graphic character repertoires and their coding
10. ENV 41 508:1990 Information systems interconnection - East European graphic character repertoires and their coding
11. JIS X 0201-1976 Code for Information Exchange
12. JIS X 0212-1990 Code of the supplementary Japanese Graphic Character set for information interchange
13. JIS X 0208-1990 Code for the Japanese Graphic Character set for information interchange
14. RFC 1468 Japanese Character Encoding for Internet Messages

この方法はDICOMと整合している。

DICOMによってサポートされた文字レパートリーは、補遺9の第5部、節62E1の中で定義されている。それによれば、「テキストまたは文字列である値は、図形および制御文字から構成される

ことができる。図形文字セットは、そのコード化と無関係に、文字レパートリーと呼ばれる。アプリケーションエンティティがDICOM規格を使用してデータを交換したい元来の文脈に依存して、異なる文字レパートリーが使用されている。DICOMによってサポートされた文字レパートリーはISO 8859の中で定義されている。」

さらに、DICOMは、日本語のための次の文字レパートリーをサポートする：

JIS X0201－1976－情報交換のためのコード

JIS X0208－1990－情報交換のための日本の図形文字セットのコード

JIS X0212－1990－情報交換のための補足の日本の図形文字セットのコード

SAD street address 番地

Components: <street or mailing address (ST)> ^ <street name (ST)> ^ <dwelling number (ST)>

注意：XAD データタイプにだけ現われる。

第1成分は個人あるいは施設の道路あるいはメーリングアドレス。施設を参照するとき、この最初のコンポーネントは施設名を指定するために使われる。個人に関連して使われるとき、このコンポーネントはアドレスの最初の行を指定する。

TN 電話番号

米国とそれに準ずる国で使用する場合、電話番号は常に以下の形式で表す。

Format: [NN] [(999)]999-9999[X99999][B99999][C any text]

オプションの最初の2桁は国コードである。オプションのX部は内線番号である。オプションのB部は呼出番号コードである。オプションのC部は、After 6:00などのようにコメントとして使うことができる。テキスト・フィールドにはなんの制限もないが、10文字を越える値は受信システムにより切り捨てられることがある。施設の電話システムが変わることを想定して、内線番号と呼出番号の長さは、ローカルの取り決めにより拡張することができる。

例 |(415)925-0121X305|
|234-4532CWEKENDS|

XAD 拡張住所

Components: <street address町名 (SAD)> ^ <other designation他の表示 (ST)> ^ <city都市 (ST)> ^ <state or province州あるいはプロビンス (ST)> ^ <zip or postal code ZIPあるいは郵便番号 (ST)> ^ <country国 (ID)> ^ <address type (ID)> ^ <other geographic designation他の地理的な表示 (ST)> ^ <county/parish code郡/教区コード (IS)> ^ <census tract国勢調査標準地域 (IS)> ^ <address representation code住所表示コード (ID)> ^ <address validity range 住所有効範囲(DR)>

例： |1234、Easy St. ^ Ste. 123 ^ San Francisco ^ CA ^ 95123 ^ USA ^ B ^ ^ SF ^ |

他の表示では町名を修飾する。例：Suite 555あるいは4階など。住所・タイプはオプションであり、HL7テーブル0190－アドレスタイプによって定義される。他の地理的な表示は国、バイオリジョン、SMSAなどを含んでいる。Name/address representation codeはHL7テーブル0465の値を使用。

XPN 拡張人名

Components: <family name姓 (FN)> ^ <given name 洗礼名 (ST)> ^ <second and further given names or initials thereof 中間名のイニシャルあるいは名前 (ST)> ^ <suffix (e.g., JR or III) 接尾辞 (ST)> ^ <prefix (e.g., DR) 接頭辞 (ST)> ^ <degree (e.g., MD) 学位 (ST)> ^ <name type code名前タイプコード (ID)> ^ <name representation code名前表示コード (ID)> ^ <name context名前コンテキスト (CE)> ^ <name validity range 名前有効範囲(DR)> ^ <name assembly order 名前の組み立て指示(ID)>

第7成分と第8成分は必須である。

例： |Smith^John^J^III^DR^PHD^L|

|日本^太郎^^^^D^I~にほん^たろう^^^^D^P~ NIHON^Tarou^^^^D^A|

上にリストしたように、名前は複数のフリーテキスト成分から成る。送信システムは大文字と小文字の混合、またはすべて大文字を送ることができる。必要なら、受信システム側ですべて大文字に変換してもよい。名前タイプコードで法律上の名前や現地名などを示す。取りうる値はHL7テーブル0200 - 名前タイプを参照。一般的に法的な名前は現在の既婚の名前と同じである。

テーブル 0200 - Name type 名前タイプ

Value	Description
A	Alias Name 別名
B	Name at Birth 出生時の名前
C	Adopted Name 養子名
D	Display Name 表示名称
I	Licensing Name 許可された名前
L	Legal Name 法律名前
M	Maiden Name 旧姓
N	Nickname /"Call me" Name/Street Name
P	Name of Partner/Spouse (retained for backward compatibility only)
R	Registered Name (animals only) 動物の登録名
S	Coded Pseudo-Name to ensure anonymity 匿名性を確保するためのコード化された偽名
T	Indigenous/Tribal/Community Name 現地での/部族での/社会での名前
U	Unspecified 不明

学位は使用者定義テーブル0360の値を使用。

使用者定義テーブル 0360 - 学位

Value	Description
AAS	Associate of Applied Science 応用科学系準学士
AA	Associate of Arts 文系準学士
ABA	Associate of Business Administration 経営管理学準学士
AE	Associate of Engineering エンジニアリング準学士
AS	Associate of Science 理系準学士
BA	Bachelor of Arts 文学士
BBA	Bachelor of Business Administration 経営管理学士
BE	Bachelor of Engineering エンジニアリング士
BFA	Bachelor of Fine Arts 美術士
BN	Bachelor of Nursing 看護師
BS	Bachelor of Science 理学士
BSL	Bachelor of Science – Law 理学士ー法則
BT	Bachelor of Theology 神学士
CER	Certificate 証明書
DIP	Diploma 卒業証書
DBA	Doctor of Business Administration 経営管理学博士
DED	Doctor of Education 教育博士
PharmD	Doctor of Pharmacy 薬学の医者
PHE	Doctor of Engineering エンジニアリング博士
PHD	Doctor of Philosophy 哲学博士
PHS	Doctor of Science 科学博士
MD	Doctor of Medicine 医学博士
DO	Doctor of Osteopathy 骨学博士
HS	High School Graduate 高校卒業生
JD	Juris Doctor 法学博士
MA	Master of Arts 文学修士
MBA	Master of Business Administration 経営学修士
MCE	Master of Civil Engineering 土木工学修士
MDI	Master of Divinity 神学修士
MED	Master of Education 教育修士
MEE	Master of Electrical Engineering 電気工学修士
ME	Master of Engineering エンジニアリング修士
MFA	Master of Fine Arts 美術学修士

MME	Master of Mechanical Engineering 機械工学修士
MS	Master of Science 理学修士
MSL	Master of Science – Law 理学修士－法則
MT	Master of Theology 神学のマスター
NG	Non-Graduate 非卒業生
SEC	Secretarial Certificate
TS	Trade School Graduate 専門学校卒業生

名前表示コードでは、データ項目によって提供される名前の表現を指示する。この成分は受信者にヒントを提供する。それにより、なにが送られており、なにを表示できるかに関する選択を行うことができる。

テーブル0465 - Name representation 名前表示コード

Value	Description
I	Ideographic (i.e., Kanji) 表意文字(漢字)
A	Alphabetic (i.e., Default or some single-byte) シングルバイト英数字
P	Phonetic (i.e., ASCII, Katakana, Hiragana, etc) 表音文字(ASCII,仮名)

XON 拡張複合組織IDと名称

Components: <organization name組織名 (ST)> ^ <organization name type code組織の名前タイプ (IS)> ^ <ID number ID番号 (NM)> ^ <check digitチェックディジット (NM)> ^ <code identifying the check digit scheme employedチェックディジット方式 (ID)> ^ <assigning authority割当て権限者 (HD)> ^ <identifier type code識別子タイプ (IS)> ^ <assigning facility ID 割当て施設ID (HD)> ^ <name representation code 名前表示コード(ID)>

例：|HL7 Health Center ^ L ^ 6 ^ M11 ^ HCFA|

組織の名前タイプでは、法的な名前、表示する名前などを表わす。

使用者定義テーブル0204－組織の名前タイプ

Value	Description
A	別名
L	法的な名前
D	表示する名前
SL	株式取引所に登録する名前

XTN 拡張電話番号

Components: [NNN国番号] [(999地域)]999局番-9999番号 [X99999] [B99999] [C any text] ^ <telecommunication use code通信使用コード (ID)> ^ <telecommunication equipment type通信機器 (ID)> ^ <email address電子メール (ST)> ^ <country code国番号 (NM)> ^ <area/city code地域市外局番 (NM)> ^ <phone number電話番号 (NM)> ^ <extension内線番号 (NM)> ^ <any text (ST)>

例：(415) 555-3210 ^ ORN ^ FX ^

テーブル0201－通信使用コード

Value	Description
PRN	主要な自宅番号
ORN	他の自宅番号
WPN	勤務先番号
VHN	別荘番号
ASN	留守電話応答サービス番号
EMR	緊急番号
NET	ネットワーク(電子メール)アドレス
BPN	ポケットベルの番号

テーブル0202－遠隔通信機器タイプ

Value	Description
PH	電話
FX	ファックス
MD	モデム
CP	携帯電話
BP	ポケットベル
INTERNET	インターネットアドレス：通信使用コードがNETである場合のみ使用
X.400	X.400電子メールアドレス：通信使用コードがNETである場合のみ使用

注：成分5～9は、定形の形式で第1の成分の基本機能を反復する。そしてローカルおよび世界の電話番号の両方が表現できる。電話番号のための形式は、定形形式を使用することを推奨し、第1の成分は下位互換性のために残される。

CD チャネル定義

Components: <channel identifier (CM)> ^ <waveform source (CM)> ^ <channel sensitivity/units (CM)> ^ <channel calibration parameters (CM)> ^ <sampling frequency (NM)> ^ <minimum/maximum data values (CM)>

ディジタル波形データを標識付けするために、このデータ型を使用する。

MA 多重化された配列

Components: <sample 1 from channel 1 (NM)> ^ <sample 1 from channel 2 (NM)> ^ <sample 1 from channel 3 (NM)> ... ~ <sample 2 from channel 1 (NM)> ^ <sample 2 from channel 2 (NM)> ^ <sample 2 from channel 3 (NM)> ... ~

このデータ型はチャンネルマルチプレックスの波形データ(例えばアナログディジタル変換器または他のディジタル信号源からのディジタル化された値)を表現する。

NA 数値の配列

このデータ型は一連(配列)の数値を表わすために使用され、各々はNMデータ型をである。

ED カプセル化データ

Components: <source application (HD)> ^ <type of data (ID)> ^ <data subtype (ID)> ^ <encoding (ID)> ^ <data (ST)>

このデータ型は、カプセル化されたデータをソース・システムから目的地システムへ送信する。それは、ソース・システムの識別、データのタイプ、データのコーディング方式およびデータ自身を含んでいる。このデータ型は、RP参照ポインタデータ型に似ているが、このデータ型は一方のシステム上のデータを指すべき代わりに、そのシステムへ送られるべきデータを含んでいる。

ソースアプリケーションはデータのソースであったシステムを識別する一意的な名前である。データのタイプならびにサブタイプはテーブル0191参照されるデータのタイプ、HL7テーブル0291参照されるデータのサブタイプを参照。

コーディング方式は、それが存在する場合、表示可能なASCII文字として二進法データの連続のオクテットを常に表わす。とりうる値はHL7テーブル0299コーディング方式を参照。

テーブル0299ーコーディング方式

Value	Description
A	コーディングはない。データは表示可能なASCII文字である。
Hex	16進法のコーディング。連続するペアの16進数字は連続する単一オクテットを表わす。
Base64	MIME(多目的インターネットメール拡張)標準のRFC1521によって定義されるコーディング。4つの連続するASCII文字が、二進法データの連続する3つのオクテットを表わす。Base64は、米国ASCIIの65文字サブセットを利用し、これを構成するのは大文字および小文字の英字、数字「0」から「9」まで、「+」、「/」および「=」である。

MIMEインターネット標準のRFC1521により、Base64を以下のように定義する。24ビットの入力グループ(3つのオクテット)を横切って左から右に進むので、各6ビットのグループは印刷可能な64文字の配列としてを使用する。指標によって参照された文字が、コード化された文字列に置かれる。これらの文字は、HL7テーブル0290ーMIME base64コード化文字に示され、普遍的に表現可能なように選択される。

24ビット未満がデータの終わりで入力グループにおいて利用可能な場合、特別の処理を実行する。十分なコーディング量はデータの終わりで常に完成される。24入力ビット未満が入力グループにおいて利用可能な場合、6ビット・グループの整数を形成するために、右側にゼロビットを付け加える。

入力データのない出力フィールド文字は文字「=」に設定される。コード化された出力はすべてオクテットの整数であるので、次の場合だけが発生する：

- (1) 入力の最終量は24ビットの不可欠な倍数である；ここで、コード化された出力の最終単位は「=」のパディングなしの4文字の不可欠な倍数になる、
- (2) 入力の最終量はちょうど8ビットである；ここで、コード化された出力の最終単位は2つの「=」

パッド文字が後続する2文字になる。あるいは、
(3)入力の最終量はちょうど16ビットである；ここで、コード化された出力の最終単位は1つの「=」パッド文字が後続する3文字になる。

テーブル 0290 - MIME base64 コード化文字

Value/Code	Value/Code	Value/Code	Value/Code
0 A	17 R	34 l	51 z
1 B	18 S	35 j	52 0
2 C	19 T	36 k	53 1
3 D	20 U	37 i	54 2
4 E	21 V	38 m	55 3
5 F	22 W	39 n	56 4
6 G	23 X	40 o	57 5
7 H	24 Y	41 p	58 6
8 I	25 Z	42 q	59 7
9 J	26 a	43 r	60 8
10 K	27 b	44 s	61 9
11 L	28 c	45 t	62 +
12 M	29 d	46 u	63 /
13 N	30 e	47 v	
14 O	31 f	48 w	(pad) =
15 P	32 g	49 x	
16 Q	33 h	50 y	

コード化されたオクテットが、なんらかのコーディング方法によって解釈され、それが暗黙のものかまたは表わされたデータ型で指定されるものを超えるとき(例えば目的地アプリケーション上の、16ビットあるいは32ビット・二進法の語の中のそれらのオーダリング)、それは目的地アプリケーションによって決定され、この規格の範囲外である。
ソースアプリケーションから目的地アプリケーションまで送信されるべきデータを構成する表示可能なASCII文字。もしコード化された二進数であれば、セクション2.8.14.2「データのタイプ」によってコード化される。

CP — composite price 複合価格

Components: <price 価格(MO)> ^ <price type価格タイプ (ID)> ^ <from value 始点の値(NM)> ^ <to value 終点の値(NM)> ^ <range units範囲単位(CE)> ^ <range type 範囲タイプ(ID)>

Subcomponents of price: <quantity (NM)> & <denomination (ID)>

注意：このデータタイプは、与えられたセグメント内の反復フィールドを定義するために頻繁に使用される。

例： |100.00&USD^UP^0^9^min^P~50.00&USD^UP^10^59^min^P~10.00&USD^UP^60^999^P~50.00&USD^AP~200.00&USD^PF~80.00&USD^DC|

第1成分は唯一必須成分；小数点を通常含んでいる。MO・データタイプの各成分がここでは副成分であることに注意すること。

第2成分はコード化された値、データタイプID。有効な値については、「HL7テーブル0205—価格タイプ」を参照すること。

テーブル0205—価格タイプ

Value	Description
AP	administrative price or handling fee 管理上の価格あるいは取り扱い料金
DC	direct unit cost 直接の単位原価
IC	indirect unit cost 間接の単位原価
PF	professional fee for performing provider 実行提供者に対する専門の料金
TF	technology fee for use of equipment 機器の使用に対する技術料金
TP	total price 価格の合計
UP	unit price, may be based on length of procedure or service 単価、手続きまたはサービスの長さに基づいてもよい。

各々はNM・データタイプである；一緒になって「範囲」を指定する。範囲を時間あるいは量のいずれかとして定義することができる。例えば、範囲は、手続きの最初の10分が1つの価格を持つことを示すことができる。データタイプの別の反復は、別の価格で手続きの次の10～60分の料金を課すことを明示するために、範囲を使用することができる；手続きの最後の反復は60分からN分までを第3の値に指定することができる。

もし<価格タイプ>成分がTPである場合、両方<始点の値>および<終点の値>の両方がヌル (null) であることに注意すること。

第3成分は上記の始点の値を参照すること。

第4成分は上記の始点の値を参照すること。

第5成分はコード化された値、データタイプCE。時あるいは量のいずれかの単位の標準のテーブルによって定義されたもの。(例えば、HL7-節7.1.4「コード体系」のテーブルを参照すること)。これは、範囲、例えば秒、分、時間、日、量(例えばカウント)に関連した単位について記述する；それは、<始点の値>および<終点の値>が存在するとき、必要とされる。

Subcomponents of range units: <identifier (ST)> & <text (ST)> & <name of coding system (IS)> & <alternate identifier (ST)> & <alternate text (ST)> & <name of alternate coding system (IS)>

第6成分は有効な値については、「HL7テーブル0298—CP範囲タイプ」を参照すること。

テーブル0298—CP範囲タイプ

Value	Description
P	Pro-rate. Apply this price to this interval, pro-rated by whatever portion of the interval has occurred/been consumed 比例配分。この間隔にこの価格を適用する。発生／消費した間隔の部分によって比例配分される。
F	Flat-rate. Apply the entire price to this interval, do not pro-rate the price if the full interval has not occurred/been consumed 定額。この間隔に価格全体を適用する。価格全体が発生／消費しない場合価格の比例配分をしない。

FC — financial class 会計クラス

Components: <financial class 会計のクラス (IS)> ^ <effective date 発効期日 (TS)>

この成分は、人に割り当てられた会計のクラスを含んでいる。

推奨値については「使用者定義テーブル0064—会計クラス」を参照すること。

使用者定義テーブル0064—会計クラス

Value	Description
	No suggested values defined 推奨できる値はない

この成分は、第1の成分中で指定された会計のクラスへの、人の割当の発効期日／時間を含んでいる。

QSC — query selection criteria 問い合わせセレクト条件

Components: <segment field name セグメントフィールド名 (ST)> ^ <relational operator 比較演算子 (ID)> ^ <value 値 (ST)> ^ <relational.conjunction 比較論理積 (ID)>

例: @PID.5.1^EQ^EVANSI

定義: このフィールドは、問合せ応答で返されるべき行に資格を与える条件を示す。

(このフィールドは問合せの対応するSQL表現中の「WHERE」句と同じ情報を伝えるが、フォーマットのされ方は異なっている。)

第1成分は修飾語として参加しているフィールドの名前(通常「キー」)。フィールドに名前を付ける方法については、データタイプQIPの第1成分の「セグメントフィールド名(ST)」を参照すること。

第2成分:有効な値については「HL7テーブル0209—比較演算子」を参照すること。

テーブル0209—比較演算子

Relational operator	Value
EQ	Equal 等しい
NE	Not Equal 等しくない
LT	Less than より小さい
GT	Greater than より大きい
LE	Less than or equal 以下
GE	Greater than or equal 以上
CT	Contains 含む
GN	Generic 一般

第3成分はフィールドがそれに対して比較される値。

第4成分は「HL7テーブル0210—比較論理積」を参照すること。比較論理積は以下のように定義される:資格を得る行を選択するために複数の比較がされる場合、結合子はこれらの比較文を連結

する。

テーブル0210－比較論理積

Relational conjunction	Note
AND	Default
OR	

- ・文字列に適用されたとき、関係オペレータLT、GT、LEおよびGEはアルファベットの比較を意味する。
- ・「総括的な」比較は、指定された文字列の初めが選択文字列と一致するレコードを選び応答に含める。
- ・反復フィールドがオペランドとして指定される場合、そのいずれかのフィールド条件が一致すれば、応答メッセージ中に含めるための行に資格を与える。
- ・ANDはORに優先する。より高度で複雑な条件は、埋め込みの問合せ言語メッセージあるいはストアプロシジャ問合せメッセージとして問合せが表現されることを要求する。

QIP — query input parameter list 問い合わせ入力パラメータリスト

Components: <segment field name セグメントフィールド名 (ST)> ^ <value1 (ST) & value2 (ST) & value3 値1&値2&値3 (ST) ... >

例: |@PID.5.1^EVANS|

定義: このフィールドは、ストアードプロシジャーへ渡されるパラメータである名前と値の一覧表を含んでいる。

第1成分はセグメントフィールド名を含んでいる。

フィールド名の命名ルール: フィールドのためのHL7セグメントIDと連結された「@」記号によって、フィールドが指定される。フィールドが成分に分割される場合、名前の後に「.nn」を付けてもよいが、これは特定の成分を識別するためである（「.3」のサフィクスはフィールドの第3の成分を示す）；そうでなければ、全体のフィールドが仮定される。フィールドがさらに副成分に分割される場合、名前の後に「.nn.mm」を付けるが、それは相対的な位置によって要求された成分および副成分を識別するためである。

施設特定のフィールドを使用してもよいが、それらが文字「Z」から始まることが条件である。この場合、既存のHL7セグメントIDとセグメント番号に矛盾しない施設特定のセグメントIDとセグメント番号が定義されねばならない。

このフィールドに対する値は、この仕様の機能特定の章に定義されている。

注: 「@」が、「MSH-2コード化文字」の中で定義された区切記号文字のうちの1つとして使用されている場合、それはエスケープされねばならない。（HL7-節2.10.1「フォーマットコード」を参照）

第2成分はフィールド値を含んでいるか、あるいは「値1&値2&値3...」の形式の値を含んでいる。

単一値パラメータは、第2の成分に単一の副成分だけを含んでいる: したがって副成分の区切記号は必要ではない (例えば<フィールド名> ^ <値>)。値の単純な一覧表 (すなわち次元の配列) を、単一値の代わりに渡してもよいが、各値は区切記号で分離する: 「<フィールド名> ^ <値1&値2&...>」

RCD — row column definition 行・列定義

Components: <segment field name HL7セグメントフィールド名 (ST)> ^ <HL7 data type HLデータタイプ (ID)> ^ <maximum column width 最大コラム幅 (NM)>

例: PID-5の「姓」コンポーネントの値を含んでいる。データが最大幅の20桁
|@PID.5.1^ST^20|

定義: このフィールドの各反復は3つの成分から成る:

第1成分はHL7セグメントフィールド名であって、これはコラムを占めるフィールドを識別する (セグメントフィールド名の付け方については、(データタイプQIP-第1成分を参照))。

第2成分は3文字のHL7データタイプ。HL7テーブル0440に従う有効な値のためのデータ型。

第3成分は最大コラム幅であって、返信システムによって決まるもの (これはHL7定義の最大フ

フィールド長と異なるかもしれない)。

DLN — driver's licence number 運転免許証番号

Components: <license number (ST)> ^ <issuing state, province, country (IS)> ^ <expiration date (DT)>

運転免許証番号、発行地、有効期限を表す。

JCC — job code/class 職種コード／種類

Components: <job code (IS)> ^ <job class (IS)>

職種と雇用種別を表す。

VH — visiting hours 来院時間

Components: <start day range 開始曜日 (ID)> ^ <end day range 終了曜日 (ID)> ^ <start hour range 開始時刻 (TM)> ^ <end hour range 終了時刻 (TM)>

定義: このデータタイプは患者の居場所に来院できる時間を含んでいる。最初の2つの成分に対する有効な値については、「HL7テーブル0267—曜日」を参照すること。

第1成分は来院時間範囲の開始の曜日。値については、「HL7テーブル0267—曜日」を参照すること。

第2成分は来院時間範囲の最後の曜日。来院時間範囲の開始の曜日。値については、「HL7テーブル0267—曜日」を参照すること。

テーブル0267—曜日

Value	Description
SAT	Saturday 土曜日
SUN	Sunday 日曜日
MON	Monday 月曜日
TUE	Tuesday 火曜日
WED	Wednesday 水曜日
THU	Thursday 木曜日
FRI	Friday 金曜日

第3成分は来院時間範囲の最初の曜日の開始時間（第1の成分の「開始曜日」を参照）。

第4成分は来院時間範囲の最後の曜日の終了時間（第2の成分の「終了曜日」を参照）。

PPN — 実行者およびタイムスタンプ

Components: <ID number (ST)> ^ <family name (FN)> ^ <given name (ST)> ^ <second and further given name or initials thereof (ST)> ^ <suffix (e.g., JR or III) (ST)> ^ <prefix (e.g., DR) (ST)> ^ <degree (e.g., MD) (ST)> ^ <source table (IS)> ^ <assigning authority (HD)> ^ <name type code (ID)> ^ <identifier check digit (ST)> ^ <code identifying the check digit scheme employed (ID)> ^ <identifier type code (IS)> ^ <assigning facility (HD)> ^ <date/time action performed (TS)> ^ <name representation code (ID)> ^ <name context (CE)> ^ <name validity range (DR)> ^ <name assembly order (ID)>

このデータ型はTSデータ型につながれたXCNデータ型と等価なものであり、誰がいつアクションを実行したかを記録するために使用する。ヌルでない場合、実行者およびタイムスタンプの両方の値が設定されねばならない。

DR 日付／時間の範囲

Components: <range start date/time 開始日付／時刻 (TS)> ^ <range end date/time 終了日付／時刻 (TS)>

YYYY[MM[DD[HHMM[SS[.S[S[S[S]]]]]]]] [+/-ZZZZ] & <精度>

第1成分は指定された範囲内での最も早い日付／時間（時刻スタンプ）を含んでいる。

第2成分は指定された範囲内での最新の日付／時間を含んでいる。

TS（時刻スタンプ）データタイプによって精度の指定ができることに注意すること。

RI 繰り返し間隔

Components: <repeat pattern 繰り返しパターン (IS)> ^ <explicit time interval 明確な時間間隔 (ST)>

定義: このフィールドは、繰り返す予約の間隔を含んでいる。デフォルト設定は、成分の値がない場合、予約がただ一度のみ生じることを示す。このフィールドの定義は、HL7 4章の節4.4.2

「時間間隔成分 (CM)」の中で与えられた量／タイミングフィールドの間隔成分の定義と等価である。

第1成分は使用者定義テーブル0335-繰り返しパターン ー によって定義される。

それ以上の詳細については、5.5節内「エラー! 参照元が見つかりません。」を参照。

第2成分は第1の副成分中でコードによって参照される実時間を明示的に列挙し、そのフォーマットはHHMM、HHMM、HHMM、...である。実際の管理時間が組織内で変わる場合、第2の副成分が第1の副成分を明確にするために使用される。詳細は、5.5節内「エラー! 参照元が見つかりません。」を参照すること。

SCV scheduling class value pair 予約クラスと値

Components: <parameter class パラメータクラス (IS)> ^ <parameter value パラメータ値 (ST)>

HL7予約の章に関してのみ使用される。

定義: このフィールドが使用されるのは、パラメータと優先権を実施者 (予約管理) アプリケーションに伝えるためであり、内容は適切な時間予約枠、資源、場所あるいは実施者 (予約管理) 上書き基準を選択して予約することである。

第1成分は実施者 (予約管理) アプリケーションに渡されつつあるパラメータあるいは優先権を識別するコードである。推奨値については「使用者定義テーブル0294-時間選択基準パラメータ・クラス・コード」を参照のこと。

使用者定義テーブル0294-時間選択基準パラメータ・クラス・コード

Parameter	Class Description: Valid Values
好ましい開始	予約要求、サービスあるいは資源のための好ましい開始時間。24時間時計表記法を使用するフォーマットHHMMの中の任意の法的な時間仕様
好ましい終了	予約要求、サービスあるいは資源のための好ましい終了期間。24時間時計表記法を使用するフォーマットHHMMの中の任意の法的な時間仕様
月曜	月曜が予約するのに好ましい日かそうでないかを示すもの。OK=好ましい予約日、NO=この曜日は好ましくない。
火曜	火曜が予約するのに好ましい日かそうでないかを示すもの。OK=好ましい予約日、NO=この曜日は好ましくない。
水曜	水曜が予約するのに好ましい日かそうでないかを示すもの。OK=好ましい予約日、NO=この曜日は好ましくない。
木曜	木曜が予約するのに好ましい日かそうでないかを示すもの。OK=好ましい予約日、NO=この曜日は好ましくない。
金曜	金曜が予約するのに好ましい日かそうでないかを示すもの。OK=好ましい予約日、NO=この曜日は好ましくない。
土曜	土曜が予約するのに好ましい日かそうでないかを示すもの。OK=好ましい予約日、NO=この曜日は好ましくない。
日曜	日曜が予約するのに好ましい日かそうでないかを示すもの。OK=好ましい予約日、NO=この曜日は好ましくない。

第2成分はそのパラメータに対する実際のデータ値である。

例えば、実施者 (予約管理) アプリケーションが優先権パラメータが渡され、好ましい開始時間、好ましい終了期間、および週の好ましい日を指定して予約することを可能にする場合、それは次のパラメータ・クラス・コードおよび有効なデータセットを定義する。

TQ タイミング数量

Components: <quantity数量 (CQ)> ^ <interval時間間隔 (CM)> ^ <duration継続時間 (ST)> ^ <start date/time開始日時 (TS)> ^ <end date/time終了日時 (TS)> ^ <priority優先度 (ST)> ^ <condition条件 (ST)> ^ <textテキスト (TX)> ^ <conjunction連結 (ID)> ^ <order sequencingオーダーシーケンス化(CM)> ^ <occurrence duration発生持続(CE)> ^ <total occurrences発生からの合計 (NM)>

サービスの実施時期とその頻度を指定する。

【放射線】放射線では第6成分の優先度のみを使用する。

Priority component 優先度成分 (ST)

定義: 要求の緊急度を述べる。次の値が提案される(優先度のデフォルトはRである):

S	= 緊急	最も高い優先度で
A	= できるだけ早く	Sオーダーの後
R	= ルーチン	デフォルト
P	= 術前	
C	= 返信	
T	= タイミングがクリティカル	要求は、要求された時間に最も近いことが重要であるという意味である。 たとえば、抗生物質血中濃度である
PRN	= As Needed	

値『T』（タイミングクリティカル）の程度は次のように明示できる：

Format:

TS<integer>	=	秒以内で
TM<integer>	=	分以内で
TH<integer>	=	時間以内で
TD<integer>	=	日以内で
TW<integer>	=	週以内で
TL<integer>	=	月以内で

オーダーの連続指定の場合、これらの値は、先行オーダーから後に続くオーダー全部に対してタイミングの重要性を規定する。優先度成分を反復する場合はスペースで区切る。

ZRD 放射線検査用薬剤やフィルムの情報（名称、コード、量）

Components：<識別子（ST）> ^ <テキスト（ST）> ^ <コーディング方式名（IS）>

^ <数量（NM）> ^ <単位（CE）> ^ <フィルム分割数（NM）>

定義：放射線検査メッセージ用のデータ型ZRDは、オーダーや検査実施のメッセージの中で、検査に使用されるあるいはされた薬剤やフィルムの量を記述するためのデータ型である。

ZRD指定の成分を、以下に述べる。

識別子（ST）

定義：薬剤やフィルムのマスターコードを指定する。

テキスト（ST）

定義：薬剤やフィルムの名称を指定する。

コーディング方式名（IS）

定義：薬剤やフィルムのコードと名称を定義しているマスターの識別情報を記述する。

数量（NM）

定義：薬剤やフィルムの量を指定する。

単位（CE）

Subcomponents：<識別子> & <テキスト> & <コーディング方式名> & <代替識別子> &
<代替テキスト> & <代替コーディング方式名>

定義：薬剤やフィルムの量を表す際の単位を設定する。

単位略号（MERIT-9 処方オーダー Ver1.1 より）

値	内容
TAB	錠
CAP	カプセル
G	グラム
MG	ミリグラム
MCG	マイクログラム
L	リットル
ML	ミリリットル
UNT	単位
AMP	管、アンプル
BAG	袋
BTL	瓶
HON	本
KO	個
PCK	包
SHT	枚

5.5 患者プロフィールコードについて

放射線検査依頼では患者の手術歴やアレルギーなどの情報が必要である。HL 7であらかじめ用意されているものがあればそれを活用するが、存在しない項目については以下のような項目コードを定義して、OBXセグメントに記載することを考える。

コーディングシステム名は‘JSHR’を設定する。

検体検査の項目に関しては、より細かく分類された標準コードが存在するが、ここでは放射線部門で参照するマクロなレベルのコードを定義する。その両者のコード変換に関してどのサブシステムで行うかは施設毎に考慮すべきものとなるだろう。

使用者定義テーブル — Observation Identifier 検査項目

Value	Description
01-01	身長
01-02	体重
02-01	造影剤副作用
02-02	気管支喘息
02-03	腎機能障害
02-04	胃部の手術歴
02-05	大腸の手術歴
02-06	胆嚢の手術歴
02-07	その他腹部の手術歴
02-08	体内ペースメーカー
02-09	体内金属
03-01	HBs抗原
03-02	HCV抗体
03-03	TPHA法
03-04	STS法
03-05	ツ反
03-06	TB塗抹
03-07	TB培養
03-08	HIV抗体
03-09	HTLV-I抗体
03-10	MRSA
03-11	クレアチニン値
03-12	BUN値

使用者定義テーブル — Observation Value 検査値

Value	Description
0	—
1	擬陽性
2	+
3	++
4	+++
U	不明
SV	Severe 重度
MO	Moderate 中程度
MI	Mild 軽度
U	Unknown 不明
A	A
B	B
O	O
AB	AB

*検査中はOBX-11 を I (保留) で表現する

5.6 検査結果コメントの扱い

検査結果コメントを必要とする場合、必要とするOBXに続いてNTEでコメントするか、検査項目IDを接尾辞で修飾することによりOBXを追加する方法がある。コメントの性格が明確になる後者の方法を推奨する。以下にその方法について解説する。

OBXに伴う叙述的報告について

放射線科などの部門から送信される読影レポートは通常、多くの副成分から構成される(たとえば胸部X線レポートは、記述、診断、指導から構成することができる)。心電図などのその他の検査には、そのような類似の成分だけでなく数値検査(左心室拡張期の直径など)も含まれる。外科病理学レポートには、採取部位、概略記述、詳細記述および各検体の仮診断など複数の検体・レポート関連情報を含むことができる。

HL7は、叙述的報告共通成分に使う検査IDを構築するためのコード接尾辞を定義した(図7. 1を参照)。そのような成分に使う検査項目は、適切な接尾辞を検査群ID(どのようなコーディング方式の場合でも先行OBRの「OBR-4-検査群ID」内のID)に連結することで得られる。たとえば、胸部X線診断用の検査IDは、胸部X線検査ID(CPT4の場合、71020)、副成分区切り文字、それに接尾辞“IMP”から構成される(つまり71020&IMPになる)。

送り手と受け手が合意した場合、結果セグメントの“検査ID”成分は、先行OBRの検査IDと同じならば、オプションで省略することができるだろう。この場合、結果セグメントのOBX-3-検査項目内には&IMP、&RECなどと記述して、&と接尾辞だけを送信すればよい。

図 7-1. Observation ID suffixes 検査項目接尾辞

Coded Results	Suffix	Type
Diagnostic Impression 所見	IMP	CE
Recommendation 指導	REC	CE
Confirming Procedures 処置確認	CNP	CE
Procedure Medication 投薬治療	MED	CE
Anatomic Site 部位	ANT	CE
Device/Instrument 機器/器具	DEV	CE
Serial # Device/Instrument 機器/器具の連番	SER	ST
Bulk Text Reports テキスト・レポート		
Gross Or General Description Of The Study 検査の概略記述または概要	GDT	TX or FT
Microscopic Or Secondary Description 詳細または2次の記述	MDT	TX or FT
Technician's Comment 医療技術者のコメント	TCM	TX or FT
Addendum Note 追加メモ	ADT	TX or FT
Other その他		
Diagnosis Onset Date/Time 診断開始日時	ITM	TS
Diagnosis Resolution Date/Time 診断終了日時	RTM	TS
Comparison Study 比較検査	CMS	CE
Comparison Date/Time 比較日時	CMT	TS
Comparison Results 比較結果	CMR	CE
Comparison Change 比較変化	CMC	CE
Predicted Value 推定値	PRD	ST
Percent Predicted 推定率	PPR	ST
After Drug Observed 投薬後観察	AFD	ST
Predicted Value After Drug 投薬後推定値	ADP	ST
Percent Predicted After Drug 投薬後推定率	APP	ST
Timing Information タイミング	TIM	TS
Channel Definition Data チャンネル定義	CHN	CD
Waveform Digital Data 波形デジタルデータ	WAS	NA or MA
Waveform Annotation 波形注釈	ANO	CE
Radiology 放射線用		
Film フィルム	ZFM	ZRD

叙述的報告の共通成分に使う検査IDを定義するための接尾辞の解説

Diagnostic impressions 所見(IMP)

接尾辞がIMPの場合結果は診断か所見でありCEデータ型として保管される。僧帽弁脱出症と大動脈弁狭窄症などの複数の別個の診断が報告されている場合、それぞれの診断は個別のOBXセグメントで送るべきである。1個のコード化結果セグメントに複数のコードが含まれて

いるのは、そのようなコードが主要診断の修飾子である場合に限られる。つまり主要診断に関する追加詳細情報を報告するためであり、全く異なる診断を報告するためではない。所見用コード化データ型が存在するからといって、報告部門でそのような所見をすべて実際にコード化しなければならないということではない。所見は書き取りテキストとして送信できるが、テキストは、CEデータ型の第2成分で送信することにより、コードを区別すべきである、つまり、テキストの前には成分区切り文字を記述すべきである(たとえば、うっ血性心不全のように)。複数のテキスト所見が報告されている場合、個別のOBXセグメントで報告し、それらのテキスト所見が別個の所見であることを示すべきである。

Recommendations 指導(REC)

接尾辞がRECの場合、その値はCE結果であり、反復テスト、フォローアップ、あるいは治療に関する読影医師の指導を表わしている。たとえば、疑わしい病変結果がマンモグラフィ上で見られたら、読影医師は、6か月以内にマンモグラフィを再実施するかあるいは直ちに穿刺生検を実施するよう指導することができる。指導手順は、コードとして、および(もしくは)コード化識別子構造のテキスト記述として記録する。複数のフォローアップ検査が推奨されている場合、そのような指導はそれぞれ個別のRECで送られる。

Confirming procedure 処置確認(CNP)

処置確認OBX接尾辞は、IMP OBXに報告された診断を確定するのに使用される追加検査を識別する。たとえば、電子顕微鏡を使って外科病理学診断を確定する場合、電子顕微鏡「OBX-3-検査項目」用識別子は、処置確認を表す接尾辞の付いた検査IDの値フィールドとして保管されるだろう。処置確認は、外科病理学レポートにおいて最も重要である。しかし処置確認は内視鏡検査などのサービスでも使用され、処置確認として生検や培養などを実施したと記録することもできる。

Procedure medication 処置投薬治療(MED)

接尾辞MEDの付いたOBX-3-検査項目は、造影剤の投薬、生理反応を引き起こすことを目的とした投薬(ストレス試験などを実施するために)、あるいは事前投薬など、手順の一部として投薬を実施した場合その薬剤に関する情報が含まれていることを示す。患者が複数の投薬を受ける場合、それぞれの薬剤は個別のOBX投薬セグメントで報告すべきである。伝送システムで投薬にコードを利用できる場合、そのようなコードはOBX-3-検査項目の第1成分として記録する。薬剤名と(または)投薬量は、OBX-5-検査結果値の第2成分に含むことができる。

Anatomic site 解剖部位(ANT)

単一レポートに複数部位についての検査を含むような診断観察がある。たとえば患者が胆嚢手術に伴い虫垂切除術を受けた場合、両検体に対する病理学者の病理診断は通常、1つのレポートの単一検体番号に含まれるだろう。それぞれ個別の部位は、接尾辞ANT(OBX-3-検査項目)を持つ個別のOBXセグメントとして報告されることになる。

Devices 装置(DEV)

要求があれば、検査の実施に使用した器具あるいは装置を検査の追加“結果”として転送することができる。この場合、OBX-3-検査項目の接尾辞はDEVである。たとえば、臨床検査室の自動化装置、放射線科の画像装置とそのモデル番号、病棟の自動血圧測定器など。装置の識別子はいずれコードとして指定されることが予想されるので、コード化された入力値として装置を指定する。とりあえず当初は、装置関連情報のほとんどをCE識別子の第2成分のテキストとして転送すると期待される。

Serial# Device / Instrument 機器/器具の連番(SER)

必要に応じ、検査に使用した機器や器具の製造番号などの連番を表記する場合に用いる。

Gross or general description 概略記述もしくは一般記述(GDT)

一般記述を表す接尾辞により、診断検査の記述成分が識別される。解剖病理学の場合には、一般記述は検体についての概略記述に適用される。記述が複数のパラグラフから成る場合、受信コンピューター側でパラグラフをパラグラフとして表示できるようにするため、パラグラフは反復区切り文字により分離すべきである。レポートが簡潔に表現できる通常検査やEKG検査などの場合は、診断セグメントですべての情報を表現し尽くしていれば、レポート用記述セグメントを含む必要はないだろう。

Secondary or microscopic description 2次的記述もしくは詳細記述(MDT)

ほとんどの検査では2次的記述は必要ないだろう。しかし、外科病理学の場合には、詳細記述はレポートの独立箇所として存在する。それは顕微鏡を通して見られるような顕微鏡組織検査について記述する。詳細記述は、OBX-3-検査項目の接尾辞にMDTを指定したセグメントで送られるだろう。

Technician comment 医療技術者コメント(TCM)

医療技術者がコメントを記述するのに使用するフリーテキストであり、OBX-3-検査識別子の接尾辞がTCMである結果セグメントに保管される。このコメントの内容は通常、処置を実施する際の技術情報である。

Addendum note 追加情報メモ(ADT)

オリジナルの叙述の後に追加情報として加えられ、レポートの個別のラベル付きセクションとして送られる情報を報告するのに使用する。

Diagnosis (problem) onset date-time 診断(プロブレム)開始日時(ITM)

プロブレムが存在するとはじめて認識された日時を記録するのに使用。

Diagnosis (problem) resolution date-time 診断(プロブレム)終了日時(RTM)

プロブレムが治療されたか軽減した日時を記録するのに使用。

Comparison study 比較検査(CMS)

診断レポートの読み手が現在の検査結果を以前の検査結果と比較する場合、この接尾辞により、比較検査の性質を個別の結果として報告することができる(つまり検査IDの接尾辞がCMSであるセグメントを持つOBXセグメント)。他の任意の比較値が転送されていれば、他の比較OBXセグメント内の検査IDによりテストが識別されるので、通常これは必要とされない。

Comparison date-time 比較日時(CMT)

診断処置の読み手が以前の検査結果と現在の検査結果を比較する場合、この接尾辞により、以前の検査の日時を個別の結果として現行レポートで報告することができる。

Comparison results 比較結果(CMR)

診断処置の読み手が、現在の結果を同じ患者に関する以前の結果と比較する場合、この接尾辞により、以前の結果(診断)を個別の結果として現行レポートで報告することができる。

Comparison change 比較変化(CMC)

診断部門が現在の検査と以前の検査の比較を報告する場合、この接尾辞を使って変化の程度を個別の結果としてレポートに報告する。(たとえば、大幅に悪化、悪化、最小限悪化しないこと、変化なし、少し回復、回復、非常に回復、正常に回復)現行の書き取りレポートでは、比較に関する情報は通常、検査記述に含まれる。上に列記した比較接尾辞の規定は、この情報を個別の成分として送信しなければならないという意味ではない。単に比較変数を使用できるという意味である。システム側で個別のレポート成分としてこの情報を転送したい場合、これらの接尾辞により所望の比較を選択することができる。

Predicted 推定(PRD)

多くの肺活量測定の場合がそうであるように、検査に推定値がある場合、この接尾辞により推測と実測定が区別される。最大肺活量を表すAS4コードは94010. 1である。推定される最大肺活量は94010. 1&PRDになるだろう。

Percent of predicted 推定率(PPR)

これは(実測)/(推測)により計算される観察である。最大肺活量の場合、推定率は94010. 1&PPRとなるだろう。

After drug observed 投薬後検査(AFD)

投薬の前後に検査を実施する場合がある。これは特に肺活量測定で生じる。投薬前検査は基本IDにより識別される。投薬後測定は接尾辞「AFD」により識別される。最大肺活量に基本コード「AS4」を使用して、投薬後結果は94010. 1&AFDとして特定されるだろう。

Predicted value after drug 投薬後推測値(ADP)

投薬後推測値は、接尾辞「ADP」により識別される。上記のパターン例に従い、94010. 1&ADP

となるだろう。

Percent predicted after drug 投薬後推測率(APP)

投薬後の推測率は、基本単位コードへ接尾辞「APP」を適用することで識別される—— 最大肺活量にAS4コードを使用して94010. 1&APPとなる。

Timing Information タイミング情報(TIM)

TIM属性OBX結果セグメントは、波形チャンネルをグループ化する与えられた検査サブIDにおいて、第1のデータポイントの日付および時間を確立する。波形データの時間シーケンスでギャップがある場合、これは、同じ検査サブIDを備えた事後のWAV属性結果セグメントに先立ち、新しいTIM属性結果セグメントの送信によって示されるべきである。

Channel Definition Data チャンネル定義データ(CHN)

CHN属性OBX結果セグメントは、デジタルでサンプリングされた時系列波形のための1つ以上の記録チャンネルを定義する。OBX-5—検査値フィールドは補足チャンネルを定義するために反復することがある。

Waveform Digital Data 波形デジタルデータ(WAV)

WAV属性OBX結果セグメントは、実際の波形データ(アナログ/デジタル変換器(ADC)またはサンプリングされた時系列デジタルデータ)を送信するためである。WAV属性結果セグメントは、それらの対応チャンネル定義(CHN属性OBX結果セグメント)に検査サブIDを介して関係している。CHN属性結果セグメントの中で定義されたチャンネルの数は、それに関連したWAV属性結果セグメントに含まれていた、多重化データのチャンネルの数を指定する。すべてのチャンネルに対する多数の連続の時間での波形データの与えられたセットは、単一のWAV属性結果セグメント中で送信される(ただし検査値フィールドの長さがOBXセグメントの最大定義フィールド長さの65536を超過しなければである)。または多数の連続のWAV属性結果セグメント中で送信される。このときは、おそらく他の種類の点在した結果セグメントとともにである(例えば注釈、すなわちコメントを含んで)。

WAV属性結果セグメントのデータ型はNA(数値の配列)またはMA(多重化される配列)である。NAデータ型を使用すると、データ値は「チャンネルブロック」、すなわち「多重化されていない」書式で記録される。各チャンネルのためのデジタルサンプルは、成分の区切記号を使用して分離される。また、連続のチャンネルは、反復区切記号を使用して分離される。MAデータ型を使用すると、データ値は「多重化チャンネル」の書式で記録される。すなわち、第1時間サンプルの値(すべてのチャンネル)が最初に送信される。次に第2時間サンプルの値(すべてのチャンネル)が送信される。以下同様にすべてのサンプルが送信されるまで続く。各チャンネルのデジタルデータは成分区切記号によって分離される。また、連続のデータは反復区切記号によって分離される。チャンネル多重化書式が使用できるのは、多重化チャンネルがすべて同じ有効なサンプリング周波数を持っているときだけである。

Waveform Annotation 波形注釈(ANO)

ANO属性OBXセグメントが使用されるのは、波形注釈(波形記録中に与えられたときに関連したコード化された入力)を送信するためである。ANO属性結果セグメントは、それらの対応するチャンネル定義(CHN属性OBX結果セグメント)に対して、検査サブIDを介して参照される。CHN属性結果セグメントの中で定義されたチャンネルの数は、それに関連した任意のANO属性結果セグメントに含まれる注釈のチャンネルの数を指定する。

ANO属性結果セグメントのデータ型はCEである。連続のチャンネルへの注釈コード化入力は、反復区切記号を使用して分離される。隣接する反復区切り記号が使用されるのは、チャンネルの注釈コード化入力が多重チャンネルの結果セグメントの中にないときである。値については使用者定義テーブル0317を参照。

使用者定義テーブル 0317 - Annotations

Value	Description
9900	ペーススパイク
9901	SASマーカー
9902	感知マーカー
9903	ビートマーカー
9904	etc

Film フィルム (ZFM)

接尾辞ZFMの付いたOBX-3-検査項目は、放射線検査において使用されるフィルムの情報が含まれていることを示す。患者が複数のフィルムを使用する場合は個別のOBXで、該当する撮影をしているOBRに関連するように記載すべきである。

フィルムのタイプやサイズや枚数はデータ型 ZRD を使用してOBXで記述する。

6. 放射線検査依頼・検査結果メッセージ構文

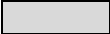
6.1 患者情報照会(QRY/ADR)

患者情報の問合せはQRYメッセージを使用し、応答には患者管理(ADR)応答を使用する。
QRY/ADRメッセージは以下のセグメントで構成される。QRFは通常使用しない。

6.1.1 QRY/ADR - 患者の問合せ イベント (A19)

患者の問合せ (A19) は患者情報の問合せ及び問合せに対する応答を返すイベントである。

QRY/ADR 患者情報照会メッセージ

		 は未使用セグメント
QRY	Query	
MSH	Message Header	
QRD	Query Reader	
[QRF]	Observ Result/Record Response	
ADR	ADT Response	
MSH	Message Header	
MSA	Message Acknowledgment	
[ERR]	Error	
QRD	Query Definition	
{		
PID	Patient Identification	
PV1	Patient Visit	
[PV2]	Patient Visit - Additional Info.	
[{ AL1 }]	Allergy Information	
}		
[DSC]	Continuation Pointer	

注: []は省略可能、{ }は繰返し可能を示す。

- MSHはメッセージに一つ必須である。
- MSAはメッセージに一つ必須である。
- PIDは一連の患者情報の応答に1個必須である。患者情報がまとめて伝送される場合、PIDが患者毎の区切りとなる。

6.2 患者情報通知(ADT/ACK)

患者情報の通知には患者管理メッセージ（ADT）を用い、その場合のセグメントと構文規則は以下のとおりである。

6.2.1 ADT/ACK 患者管理メッセージ イベント(A01、A02、A04、A06、A07、A08、A11、A12)

患者管理メッセージは下記の各イベントで使用する。

イベントA01は入院／来院の通知をするイベントで使用する。

イベントA02は患者の転送をするイベントで使用する。

イベントA04は患者の登録をするイベントで使用する。

イベントA06は外来患者を入院患者に変更するイベントで使用する。

イベントA07は入院患者を外来患者に変更するイベントで使用する。

イベントA08は患者情報の更新をするイベントで使用する。

イベントA11は入院／来院の通知を取り消すイベントで使用する。

イベントA12は患者の転送を取り消すイベントで使用する。

通常はA04及びA08のイベントを使用し、それ以外のイベントは双方合意の場合のみ使用できる。

ADT/ACK 患者管理メッセージ

 は未使用セグメント

ADT	ADT Message
MSH	Message Header
PID	Patient Identification
PV1	Patient Visit
[PV2]	Patient Visit - Additional Info.
[{ AL1 }]	Allergy Information
ACK	General Acknowledgment
MSH	Message Header
MSA	Message Acknowledgment
[{ ERR }]	Error

注： []は省略可能、{ }は繰返し可能を示す。

- MSHはメッセージに一つ必須である。
- PIDはメッセージに一つ必須である。
- EVNは、HL7 V2.4の2.13に以下の記載があり、これを根拠に日本HL7協会の技術委員会メンバーは「EVNは省略可能」と判断している。
すなわち、EVNセグメントは以前のバージョンの互換性を保つためにあるという解釈である。

The event code in the second component of MSH-9-message type is redundantly shown elsewhere in some messages. For example, the same information is in the EVN segment of the ADT message. This is for compatibility with prior versions of the HL7 protocol. Newly-defined messages should only show the event code in MSH-9-message type.

6.3 放射線検査依頼照会(OSQ/OSR)

放射線検査依頼の照会時には、放射線検査依頼照会メッセージ(OSQ)を用い、それに対する応答には放射線検査依頼照会応答メッセージ(OSR)を使用する。その場合のセグメントと構文規則は以下のとおりである。

6.3.1 OSQ/OSR – 放射線検査依頼照会 イベント (Q06)

放射線検査依頼照会 (Q06) は放射線検査依頼のオーダ状態の問合せ及び問合せに対する応答を返すイベントである。

OSQ 放射線検査依頼照会メッセージ

 は未使用セグメント

OSQ	Order Status Query
MSH	Message Header
QRD	Query Definition
[QRF]	Query Filter
[DSC]	Continuation Pointer

OSR 放射線検査依頼照会応答メッセージ

 は未使用セグメント

OSR	Order Status
MSH	Message Header
MSA	Message Acknowledgement
[{ ERR }]	Error
[{ NTE }]	Notes and Comments (for ERR)
QRD	Query Definition
[QRF]	Query Filter
[	
PID	Patient Identification
[{ NTE }]	Notes and Comments (for PID)
[PV1	Patinet Visit
[PV2]]	Patient Visit 2
[{ AL1 }]	Allergy
{	
ORC	Order Common
[{	
TQ1	Timing/Quantity
[{ TQ2 }]	Timing/Quantity Order Sequence
}]	
[	
OBR	Observations Request
[{ NTE }]	Notes and Comments (for OBR)
[{	
OBX	Observation/Result
[{ NTE }]	Notes and Comments (for OBX)
}]	
]	
]	
[DSC]	Continuation Pointer

注: []は省略可能、{ }は繰り返し可能を示す。

- MSHはオーダの出力単位(メッセージ)に一つ必須である。
- QRD、QRFは問い合わせメッセージに含まれる同一セグメントをエコーバックする。
- PID以降は、問い合わせの結果が異常であるときは省略される。
- ORCを含む以降のブロックは、問合せ結果に該当するオーダの数だけ繰り返す。
- TQ1、TQ2 はV2.5で追加されたが【放射線】では基本的に使用しない。優先度に関してはOBR-27を使用する。

6.4 放射線検査依頼(ORM/ORR)

放射線検査の依頼時には一般オーダーメッセージ(ORM)を用い、それに対する応答には一般オーダー肯定応答メッセージ(ORR)を使用する。その場合のセグメントと構文規則は以下のとおりである。

6.4.1 ORM 一般オーダーメッセージ(放射線検査依頼) イベント (O01)

一般オーダーメッセージ（放射線検査依頼）（O01）は放射線検査の依頼をするイベントである。

ORM 放射線検査依頼メッセージ

ORM	General Order Message
MSH	Message Header
[EVN]	Event Type
[{ NTE }]	Notes and Comments (for Header)
PID	Patient Identification
[{ NTE }]	Notes and Comments (for Patient ID)
PV1	Patient Visit
[PV2]	Patient Visit 2
[{ AL1 }]	Allergy
{	
ORC	Order Common
[OBR	Observation Request
[{ NTE }]	Notes and Comments (for OBR)
[{	
OBX	Observation/Result
[{ NTE }]	Notes and Comments (for Results)
}]	
]	
}	

は未使用セグメント

注： []は省略可能、{ }は繰り返し可能を示す。

- MSHはオーダーの出力単位(メッセージ)に一つ必須である。
- PID～AL1まではHL7では省略可能になっているが、【放射線】では1患者の一連のオーダーに1個必須とする。オーダーがまとめて伝送される場合MSHがオーダーの区切りとなる。
【放射線】基本的に放射線検査のアレルギー情報は、患者プロフィールとしてOBXに記載することとする。アレルギー情報は放射線検査の禁忌情報として使用されるために、その他の禁忌情報（例えば検体検査結果情報など）とともに、OBXに記載することとする。メッセージの中で禁忌情報が分散しないように考慮したことによる。
- PV1はHL7の文法上は省略可能になっているが、【放射線】ではオーダー時の入外区分に使用するため必須とする。

6.4.2 ORR - 一般オーダ肯定応答メッセージ（放射線検査依頼応答） イベント（O02）

一般オーダ肯定オーダメッセージ (O02) は放射線検査依頼に対する応答をするイベントである。

ORR 放射線検査依頼応答メッセージ

ORR	General Order Acknowledgment Message
MSH	Message Header
MSA	Message Acknowledgment
[{ ERR }]	Error
[{ NTE }]	Notes and Comments (for Header)
[PID	Patient Identification
[{ NTE }]	Notes and Comments (for Patient ID)
{	
ORC	Order Common
OBR	Observation Request
[{ NTE }]	Notes and Comments (for OBR)
}	
]	

 は未使用セグメント

注： []は省略可能、{ }は繰返し可能を示す。

6.5 放射線検査結果照会(QRY/ORF)

検査結果照会時には問合せメッセージ(QRY)を用い、応答は放射線検査結果メッセージ(ORF)を使用する。その場合のセグメントと構文規則は以下のとおりである。

6.5.1 QRY/ORF – 放射線検査結果の照会 イベント (R02, R04)

放射線検査結果照会 (R02) で放射線検査結果の照会をし、放射線検査結果 (R04) は問合せ結果を返すイベントである。

QRY/ORF 放射線検査結果照会メッセージ

		 は未使用セグメント
QRY	Query	
MSH	Message Header	
QRD	Query Definition	
QRF	Query Filter	
ORF	Observational Report	
MSH	Message Header	
MSA	Message Acknowledgment	
QRD	Query Definition	
[QRF]	Query Filter	
{ [PID	Patient ID	
[{ NTE }]]	Notes and Comments (for Patient ID)	
{		
[ORC]	Order Common	
OBR	Observation request	
[{ NTE }]	Notes and comments (for OBR)	
[{		
TQ1	Timing/Quantity	
[{ TQ2 }]	Timing/Quantity Order Sequence	
}]		
{		
[OBX]	Observation/Result	
[{ NTE }]	Notes and Comments (for OBX)	
}		
{ [CTI] }	Clinical Trial Identification	
}		
}		
[{ ERR }]	Error	
[DSC]	Continuation Pointer	

注： []は省略可能、{ }は繰返し可能を示す。

- CTIは本規約書では扱っていない。 HL7チャプター7を参照。
- TQ1、TQ2 はV2.5で追加されたが【放射線】では基本的に使用しない。優先度に関してはOBR-27を使用する。

照会使用上の注意事項

QRD および QRF セグメントに含まれる主題フィルタは、照会システムと付随的なシステ

ムの間のローカル契約によって定義される。

さまざまなセグメント（PID を含んで）中のセット・ID・フィールドは、階層の 1 つのレベルに送信された 1 つの種類のセグメント数を数えるために使用される。

6.6 到着確認報告、放射線検査結果(ORU/ACK)

到着確認報告時、及び放射線検査結果報告時には検査結果メッセージ(ORU)を用いる。
イベントタイプは、到着確認メッセージ、検査結果メッセージとも 'R01'である。
到着確認メッセージと検査結果メッセージとの区別は、次のOBRセグメントの(OBR-25)結果状態で行う。(OBRセグメントの項参照)

到着確認メッセージ : 'I'
検査結果メッセージ : 'A','R','F'

6.6.1 到着確認報告

到着確認報告時には検査結果メッセージ(ORU)を用い、その場合のセグメントと構文規則は以下のとおりである。

ORU/ACK - 検査結果メッセージイベント (R01)

検査結果メッセージイベント (R01) は到着確認報告又は放射線検査結果を通知するイベントである。

	 は未使用セグメント
ORU	Observational Results
MSH	Message Header
{	
PID	Patient Identification
[{ NTE }]	Notes and Comments(for PID)
[PV1]	Patient Visit
{	
[ORC]	Order Common
OBR	Observations Request
[{ NTE }]	Notes and Comments(for OBR)
[{	
TQ1	Timing/Quantity
[{ TQ2 }]	Timing/Quantity Order Sequence
}]	
[{	
OBX	Observation/Result
[{ NTE }]	Notes and Comments(for OBX)
}]	
}	
}	
[DSC]	Continuation Pointer
ACK	Acknowledgment
MSH	Message Header
MSA	Message Acknowledgment
[{ ERR }]	Error

注: []は省略可能、{ }は繰返し可能を示す。

- MSHは到着確認の出力単位に先頭に一つ必要である。
- PIDは少なくとも1個必須である。

- 基本的にひとつの検査依頼に対して、ひとつの到着確認のメッセージが送信される。
- TQ1、TQ2 はV2.5で追加されたが【放射線】では基本的に使用しない。優先度に関してはOBR-27を使用する。

6.6.2 放射線検査結果

放射線検査結果報告時には検査結果メッセージ(ORU)を用い、その場合のセグメントと構文規則は以下のとおりである。

ORU/ACK - 検査結果メッセージイベント (R01)

検査結果メッセージイベント (R01) は到着確認報告又は放射線検査結果を通知するイベントである。

①ORU/ACK 放射線検査結果メッセージ

ORU	Observational Results	
MSH	Message Header	
{		
PID	Patient Identification	
[{ NTE }]	Notes and Comments(for PID)	
[PV1]	Patient Visit	
{		
[ORC]	Order Common	
OBR	Observations Request	
[{ NTE }]	Notes and Comments(for OBR)	
[{		
TQ1	Timing/Quantity	
[{ TQ2 }]	Timing/Quantity Order Sequence	
}]		
[{		
OBX	Observation/Result	
[{ NTE }]	Notes and Comments(for OBX)	
}]		
}		
}		
[DSC]	Continuation Pointer	
ACK	Acknowledgment	
MSH	Message Header	
MSA	Message Acknowledgment	
[{ ERR }]	Error	

注: []は省略可能、{ }は繰返し可能を示す。

- MSHは検査結果の出力単位に先頭に一つ必要である。
- PIDは1患者の一連の検査結果に1個必須である。検査結果がまとめて伝送される場合、PIDが患者毎の区切りとなる。
- OBRは検査依頼の情報とともに検査の状況や実施者の情報をセットして通知するため必須である。
- ORCは放射線検査オーダ番号をセットして通知するため必須である。
- TQ1、TQ2 はV2.5で追加されたが【放射線】では基本的に使用しない。優先度に関してはOBR-27を使用する。

7. 関連セグメント詳細

7.1 MSH - Message Header Segmentメッセージヘッダセグメント

MSHセグメントは、メッセージの構文の目的、発信源、宛先、特性を定義する。

MSH属性

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RP/#	ITEM #	ELEMENT NAME	NOTE
1	1	ST	R	R		00001	Field Separator フィールド区切文字	
2	4	ST	R	R		00002	Encoding Characters コード化文字	
3	227	HD	O	O		00003	Sending Application 送信アプリケーション	
4	227	HD	O	O		00004	Sending Facility 送信施設	
5	227	HD	O	O		00005	Receiving Application 受信アプリケーション	
6	227	HD	O	O		00006	Receiving Facility 受信施設	
7	26	TS	O	R		00007	Date/Time Of Message メッセージ日付/時間	
8	40	ST	O	O		00008	Security セキュリティ	
9	15	MS	R	R		00009	Message Type メッセージ型	
		G						
10	20	ST	R	R		00010	Message Control ID メッセージ制御ID	
11	3	PT	R	R		00011	Processing ID 処理ID	
12	60	VID	R	R		00012	Version ID バージョンID	
13	15	NM	O	O		00013	Sequence Number シーケンス番号	
14	180	ST	O	O		00014	Continuation Pointer 継続ポインタ	
15	2	ID	O	O		00015	Accept Acknowledgment Type 受諾肯定応答型	
16	2	ID	O	O		00016	Application Acknowledgment Type アプリ肯定応答型	
17	3	ID	O	N		00017	Country Code 国コード	
18	16	ID	O	R	Y	00692	Character Set 文字セット	
19	250	CE	O	O		00693	Principal Language of Message 主要言語	
20	20	ID	O	O		01317	Alternate Character Set Handling Scheme 文字セット操作法	
21	427	EI	O	O		01598	Message Profile Identifier メッセージプロファイル識別子	

Optionality

- R - required
- O - optional
- C - conditional on the trigger event or on some other field(s)
- X - not used with this trigger event
- B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7

Japan (JAHIS仕様での取り扱い)

- R - required
- O - optional
- C - conditional on the trigger event or on some other field(s)
- X - not used with this trigger event
- B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7
- N - not used useally. use only on the site

Repetition

- N - no repetition
- Y - the field may repeat an indefinite or site determined number of times
- (integer)- the field may repeat up to the number of times specified in the integer

MSHフィールド定義

MSH-1 Field Separator フィールド区切文字 (ST) 00001

定義： セグメントIDと最初の実フィールド(MSH-2-コード化文字)間のセパレータ。そのようなセパレータとしての他に、残りのメッセージでセパレータとして使う文字を定義する。推奨値は | (ASCII 124)である。

MSH-2 Encoding Characters コード化文字 (ST) 00002

定義： 次の順番で並べられた4文字、つまり、成分セパレータ、反復セパレータ、エスケープ文字、副成分セパレータ。推奨値は ^~& (ASCII 94,126,92 and 38) である。メッセージ区切文字の解説を参照。

MSH-3 Sending Application 送信アプリケーション (HD) 00003

定義： 送信アプリケーションを識別するために用いる。

MSH-4 Sending Facility 送信施設 (HD) 00004

定義： 送信元施設を区別するため送信側の施設コードや略称などをセットする。

MSH-5 Receiving Application 受信アプリケーション (HD) 00005

定義： 受信アプリケーションを識別するために用いる。

MSH-6 Receiving Facility 受信施設 (HD) 00006

定義： 受信先施設を区別するため受信側の施設コードや略称などをセットする。

MSH-7 Date/time Of Message メッセージ日時 (TS) 00007

定義： 送信システムがメッセージを作成した日時。時間帯を指定した場合、それはメッセージ全体でデフォルトの時間帯として使われる。

MSH-8 Security セキュリティ (ST) 00008

定義： セキュリティの実装に関する情報であるが、その使用法は未定である。

MSH-9 Message Type メッセージ型 (MSG) 00009

Components: <message code (ID)> ^ <trigger event (ID)>

定義： 第1成分は、HL7テーブル0076 - メッセージ型にリストされているメッセージ型である。第2成分は、HL7テーブル0003 - イベント型コードにリストされているトリガーイベント・コードである。受信システムはこのフィールドを使い、認識すべきデータ・セグメントを知り、また、これを転送するアプリケーションを知る。

テーブル 0076 - Message type メッセージ型 (検査依頼結果関連のみ掲載)

Value	Description
ACK	General acknowledgment message 一般肯定応答
ADR	ADT response 患者管理(ADT)応答
ADT	ADT message 患者管理(ADT)メッセージ
ORF	Observation Result/Record Response 検査結果／診療記録応答
ORM	Order message オーダメッセージ
ORR	Order acknowledgment message オーダ肯定応答メッセージ
ORU	Observ result/unsolicited 検査結果
OSQ	Order status query オーダ状況問合せ
OSR	Order status response オーダ状況応答
QRY	Query, original Mode 問合せ

テーブル 0003 Event type イベント型 (検査依頼結果関連のみ掲載)

Value	Description
A01	ADT/ACK - Admit a patient 患者管理(ADT)/ACK - 入院／来院の通知
A02	ADT/ACK - Transfer a patient 患者管理(ADT)/ACK - 患者を転送する
A04	ADT/ACK - Register a patient 患者管理(ADT)/ACK - 患者の登録
A06	ADT/ACK - Transfer an outpatient to inpatient 患者管理(ADT)/ACK - 外来患者を入院患者に変更
A07	ADT/ACK - Transfer an inpatient to outpatient 患者管理(ADT)/ACK - 入院患者を外来患者に変更
A08	ADT/ACK - Update patient information 患者管理(ADT)/ACK - 患者情報の更新
A11	ADT/ACK - Cancel admit 患者管理(ADT)/ACK - 入院／来院通知を取り消す
A12	ADT/ACK - Cancel transfer 患者管理(ADT)/ACK - 転院の取り消し
A19	QRY/ADR - Patient query 患者の問合せ
O01	ORM - Order message オーダメッセージ
O02	ORR - Order response 一般オーダ応答メッセージORMIに対する応答
Q06	OSQ/OSR - Query for order status 検査依頼の照会
R01	ORU - Unsolicited transmission of an observation 検査結果転送
R02	QRY - Query for results of observation 検査結果の照会
R04	ORF - Response to query; transmission of requested observation 検査結果の照会応答

MSH-10 Message control ID メッセージ制御ID (ST) 00010

定義： メッセージを一意に識別する番号または他の識別子。

MSH-11 Processing ID 処理ID (PT) 00011

Components: <processing ID (ID)> ^<processing mode (ID)>

定義: メッセージを処理するかどうか決めるのに使用する。

テーブル 0103 - Processing ID 処理ID

Value	Description
D	Debugging デバギング
P	Production プロダクション
T	Training トレーニング

テーブル 0207 - Processing mode 処理モード

Value	Description
A	Archive アーカイブ
R	Restore from archive アーカイブからの復元
I	Initial load 初期ロード
T	Current processing, transmitted at intervals(scheduled or on demand) 現在の処理、とびとびに転送される (計画的又は要求に応じて)
not present	Not present (the default, meaning <i>current</i> processing) 存在しない (デフォルト、すなわち現在の処理)

MSH-12 Version ID バージョンID (VID) 00012

定義: 受信システムは、バージョンIDを認識しメッセージが確実に解釈されるようにする。

本規約のバージョンIDは2.5を指定する。

テーブル 0104 - Version ID バージョンID

Value	Description
2.0	Release 2.0 September 1988
2.0D	Demo 2.0 October 1988
2.1	Release 2.1 March 1990
2.2	Release 2.2 December 1994
2.3	Release 2.3 March 1997
2.3.1	Release 2.3.1 May 1999
2.4	Release 2.4 November 2000
2.5	Release 2.5 May 2003

MSH-13 Sequence Number シーケンス番号 (NM) 00013

定義: 値がヌルでなければ、シーケンス番号管理が行われているものとする。送信側では受信アプリケーション・施設毎にシーケンス管理することとし、増分は1とする。

MSH-14 Continuation Pointer 継続ポインタ (ST) 00014

定義: アプリケーションに特有の方法で継続を定義するのに使用する。

施設にて定義 (但し、推奨しない)。

MSH-15 Accept Acknowledgment Type 受諾肯定応答型 (ID) 00015

定義: このメッセージに応答して受諾肯定応答を返すことが要求される条件を定義する。

拡張肯定応答モードで要求される。取りうる値をHL7テーブル0155に示す。

MSH-16 Application Acknowledgment Type アプリケーション肯定応答型 (ID) 00016

定義: このメッセージに応答してアプリケーション肯定応答を返すことが要求される条件を定義する。拡張肯定応答モードで要求される。取りうる値をHL7テーブル0155に示す。

テーブル 0155 - Accept/application acknowledgment conditions アプリケーション肯定応答型

Value	Description
AL	Always 常に
NE	Never 決してない
ER	Error/reject conditions only エラー/リジェクト状態のみ
SU	Successful completion only 正常終了時のみ
注記: MSH-15とMSH-16が省略(または両方ともnull)の場合、オリジナルの肯定応答モード規則が使われる。	

MSH-17 Country Code 国コード (ID) 00017

定義： メッセージの発信国を定義する。主に通貨単位などのデフォルト要素を指定するのに使用される。ISO 3166は、使用可能な国コードのリストを提供する。
通常は本フィールドは使用しない。

MSH-18 Character Set 文字セット (ID) 00692

定義： メッセージ全体に使用する文字セットコードを定義する。有効な文字セットをHL7テーブル0211に示す。

テーブル 0211 - Character sets 文字セット

Value	Description	comment
ASCII	The printable 7-bit ASCII character set .	(このフィールドを省略する場合、これがデフォルトである)
8859/1	The printable characters from the ISO 8859/1 Character set	
8859/2	The printable characters from the ISO 8859/2 Character set	
8859/3	The printable characters from the ISO 8859/3 Character set	
8859/4	The printable characters from the ISO 8859/4 Character set	
8859/5	The printable characters from the ISO 8859/5 Character set	
8859/6	The printable characters from the ISO 8859/6 Character set	
8859/7	The printable characters from the ISO 8859/7 Character set	
8859/8	The printable characters from the ISO 8859/8 Character set	
8859/9	The printable characters from the ISO 8859/9 Character set	コードはスペースを含んでいることに注意。すなわち "ISO IR14"
ISO IR14	Code for Information Exchange (one byte) (JIS X 0201-1976)	
ISO IR87	Code for the Japanese Graphic Character set for information interchange (JIS X 0208-1990)	
ISO IR159	Code of the supplementary Japanese Graphic Character set for information interchange (JIS X 0212-1990)	日本ではJIS X 0208はエスケープシーケンスを必要としており、エスケープ技術はISO2022である。標準ASCIIでは、エスケープシーケンス"escape"\$B(16進数、1B 24 42)は以下のバイトは2バイトの幅であることを自身に知らせる。ASCIIへのもどるには1B 28 42である。 コードはスペースを含んでいることに注意。すなわち "ISO IR159"
注： 文字セットにかかわらずフィールド区切り文字は 7-bit ASCII 文字セットである。		

異なる文字セットの反復はデータ型PNとXPNのみに適用される。本フィールドの指定がないもしくは反復の第一成分がNullの場合はsingle-byte character set (ASCII (ISO IR-6))が適用される。本フィールドが出現し第一成分が特定される場合この文字セットがメッセージのデフォルト文字セットとなる。これはシングルバイト文字セットでなければならない。(例えば ISO-IR 6, ISO-IR 13, ISO-IR 14, ISO-IR 100, etc.) 第二第三成分は代替文字セットが使用できダブルバイト文字セットも含まれる。(例えば ISO IR87) デフォルト文字セットは常にシングルバイト文字セットであり、ISO-IR 6 (ISO 646) or ISO-IR 14 (JIS X 0201-1976)の G0 域である。

半角カタカナは全てのフィールドで使用しないようにすること。漢字を使用する場合~ISO IR87が一般的で、さらにJIS補助漢字を使用する場合続けて~ISO IR159とする。

MSH-19 Principal language of message 主要言語 (CE) 00693

定義： メッセージの主要言語を定義する。コードはISO 639を使用。

MSH-20 Alternate character set handling scheme 文字セット操作法 (ID) 01317

定義： 文字セットを切り替えるためのエスケープシーケンス方式を定義する。ISO 2022-1994を使用する。

MSH-21 メッセージプロファイル識別子 (ED) 01598

定義： サイトは、このフィールドを、メッセージプロファイルの準拠を主張するか、もしくは参照する際に使用することができる。メッセージプロファイルは、文法、構文および特定のメッセージやメッセージのセットの詳細化された説明を含む。

このフィールドはの反復は、メッセージプロファイルの作成と名前付けに、より柔軟性を持たせる。反復を用いることで、このフィールドは、メッセージが従うメッセージプロファイルのセットを指定できる。

V2.5 において、HL7 メッセージプロファイル識別子は適合要求や発行/購読システムに使われているかもしれない。

V2.5 より以前、このフィールドは適合文書 ID と呼ばれていた。下位互換性のため、ここでは適合文書 ID を使うことができる

7.2 NTE - Notes and Comments Segment 注釈コメントセグメント

注釈とコメントを送るためのメッセージに共通のフォーマットである。

他のメッセージやセグメントで表現可能な事項をNTEセグメントで代用してはならない。受信アプリケーションではNTEセグメントの内容を表示や印刷する以外のシステムの取り扱いにはされない事を前提とする。

NTE属性

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RP/#		ITEM #	ELEMENT NAME	NOTE
1	4	SI	O	O			00096	Set ID - NTE セットID-NTE	
2	8	ID	O	O			00097	Source of Comment コメント発生源	
3	65536	FT	O	O	Y		00098	Comment コメント	
4	250	CE	O	O			01318	Comment Typeコメントタイプ	

Optionality

- R - required
- O - optional
- C - conditional on the trigger event or on some other field(s)
- X - not used with this trigger event
- B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7

Japan (JAHIS仕様での取り扱い)

- R - required
- O - optional
- C - conditional on the trigger event or on some other field(s)
- X - not used with this trigger event
- B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7
- N - not used useally. use only on the site

Repetition

- N - no repetition
- Y - the field may repeat an indefinite or site determined number of times (integer)- the field may repeat up to the number of times specified in the integer

NTEフィールド定義

NTE-1 Set ID - NTE セットID-NTE (SI) 00096

定義: ひとつのメッセージ中に複数のNTEセグメントが含まれる場合に使用される。番号付けについては、アプリケーション・メッセージの定義に記述されなければならない。

NTE-2 Source Of Comment コメント発生源 (ID) 00097

定義: コメントの発生源を明示する。これは導入の際にサイトで拡張される可能性がある。

テーブル 0105 – Source Of Comment コメント発生源

Value	Description
L	Ancillary (filler) department is source of comment 実施者がコメント発生源である
P	Orderer (placer) is source of comment 依頼者がコメント発生源である
O	Other system is source of comment 他のシステムがコメント発生源である

NTE-3 Comment コメント (FT) 00098

定義: 先行するセグメントに従属するコメント。

NTE-4 Comment type (CE) 01318

Components : <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (IS)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (IS)>

定義: このフィールドは送信されるコメントのIDを示す。

参照 使用者定義テーブル 0364 - Comment type

使用者定義テーブル 0364 - Comment type

Value	Description
PI	Patient Instructions 患者指示
AI	Ancillary Instructions 追加指示
GI	General Instructions 一般的指示
1R	Primary Reason 一次理由
2R	Secondary Reason 二次理由
GR	General Reason 一般的理由
RE	Remark 備考
DR	Duplicate/Interaction Reason 重複/指示理由

7.3 PID - Patient Identification Segment 患者識別セグメント

PIDセグメントは、患者識別情報を通信する主要な手段としてすべてのアプリケーションによって使用される。このセグメントは患者を永久に識別する情報と調査情報を含むが、この大部分はそれほど頻繁に変化しない。

PID属性

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RP/#	ITEM#	ELEMENT NAME	NOTE
1	4	SI	O	O		00104	Set ID - Patient ID セットID－患者ID	
2	20	CX	B	B		00105	Patient ID (External ID) 患者ID(外部ID)	
3	250	CX	R	R	Y	00106	Patient ID (Internal ID) 患者ID(内部ID)	
4	20	CX	B	B	Y	00107	Alternate Patient ID - PID 代替患者ID	
5	250	XPN	R	R	Y	00108	Patient Name 患者氏名	
6	250	XPN	O	N	Y	00109	Mother's Maiden Name 母親の旧姓	
7	26	TS	O	R		00110	Date/Time of Birth 生年月日年齢	
8	1	IS	O	R		00111	Sex 性別	
9	250	XPN	B	N	Y	00112	Patient Alias 患者別名	
10	250	CE	O	N	Y	00113	Race 人種	
11	250	XAD	O	O	Y	00114	Patient Address 患者住所	
12	4	IS	B	N		00115	County Code 郡コード	
13	250	XTN	O	O	Y	00116	Phone Number - Home 電話番号－自宅	
14	250	XTN	O	O	Y	00117	Phone Number - Business 電話番号－勤務先	
15	250	CE	O	N		00118	Primary Language 言語－患者	
16	250	CE	O	O		00119	Marital Status 婚姻状況	
17	250	CE	O	N		00120	Religion 宗教	
18	250	CX	O	O		00121	Patient Account Number 患者会計番号	
19	16	ST	B	N		00122	SSN Number - Patient SSN番号－患者	
20	25	DLN	B	N		00123	Driver's Lic Num - Patient 運転免許証番号－患者	
21	250	CX	O	O	Y	00124	Mother's Identifier 母親の識別子	
22	250	CE	O	N	Y	00125	Ethnic Group 人種のグループ	
23	250	ST	O	N		00126	Birth Place 誕生場所	
24	1	ID	O	N		00127	Multiple Birth Indicator 多胎児誕生標識	
25	2	NM	O	N		00128	Birth Order 誕生順序	
26	250	CE	O	N	Y	00129	Citizenship 市民権	
27	250	CE	O	N		00130	Veterans Military Status 退役軍人状況	
28	250	CE	B	B		00739	Nationality 国籍	
29	26	TS	O	O		00740	Patient Death Date and Time 患者死亡日時	
30	1	ID	O	O		00741	Patient Death Indicator 患者死亡識別	
31	1	ID	O	O		01535	Identity Unknown Indicator 身元不明識別	
32	20	IS	O	O	Y	01536	Identity Reliability Code 身元信頼度	
33	26	TS	O	O		01537	Last Update Date/Time 最終更新日	
34	241	HD	O	O		01538	Last Update Facility 最終更新施設	
35	250	CE	C	N		01539	Species Code 種	
36	250	CE	C	N		01540	Breed Code 品種	
37	80	ST	O	N		01541	Strain 血統	
38	250	CE	O	N	2	01542	Production Class Code 製品クラスコード	
39	250	CW E	O	N	Y	01840	Tribal Citizenship 所属種族	

Optionality

- R - required
- O - optional
- C - conditional on the trigger event or on some other field(s)
- X - not used with this trigger event
- B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7

Japan (JAHIS仕様での取り扱い)

- R - required
- O - optional
- C - conditional on the trigger event or on some other field(s)
- X - not used with this trigger event
- B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7
- N - not used usually. use only on the site

Repetition

- N - no repetition
- Y - the field may repeat an indefinite or site determined number of times (integer)- the field may repeat up to the number of times specified in the integer

PIDフィールド定義

PID-1 Set ID - Patient ID セットID－患者ID (SI) 00104

定義：セグメントの反復が許されるメッセージについては、反復を識別するためにセットIDフィールドが使用される。例えば、交換及び照会のトランザクションは、セットID値1、2、3、などの多数のPIDセグメントを持つことができる。

PID-2 Patient ID (external ID) 患者ID(外部ID) (CK) 00105

定義：このフィールドは旧バージョンとの互換性のためにのみ残されている。独断的であった用語「外部ID」はこのフィールドの名前から取り除かれた。「PID-3患者IDリスト」における発行機関、保健機関、識別区分コードなどの繰り返しは特長ある識別情報を示すために許されている。このフィールドはシステムにおいては「外部」として取り決められた解釈として残されている。PID-3患者IDリストはすべての患者識別情報として使われることを推奨されている。

過去との互換性を持つことが必要な時、患者が外部の施設、事務所他来た時には、このフィールドは値を持たなければならない。そして、このフィールドでその移動元の施設で使用していた識別子が示されなければならない。この識別子は異なる施設で使用されるものであるかもしれないし、医療機関で共用しているものかもしれない。HL7表0061チェックデジットスキーマを参照のこと。

PID-3 Patient ID (internal ID) 患者ID(内部ID) (CX) 00106

定義：患者を一意的に識別するため施設によって使用されるID(たとえば患者IDやカルテ番号、請求書番号など)。患者IDを設定。

Components : <ID (ST)> ^ <check digitチェックディジット (ST)> ^ <code identifying the check digit scheme employedチェックディジット方式 (ID)> ^ <assigning authority割当権限者 (HD) > ^ <identifier type code IDタイプコード (IS)> ^ <assigning facility割当施設 (HD) > ^ <effective date 有効日付(DT)> ^ <expiration date満了日付 (DT)>

本規約では以下の形式で利用する。

成分：<患者ID>^^^^PI

患者IDが繰り返された場合は、1件目を患者IDとして解釈する。

PID-4 Alternate Patient ID - PID 代替患者ID (ST) 00107

定義：このフィールドは旧バージョンとの互換性のためにのみ残されている。すべての患者識別情報は「PID-3患者IDリスト」を使用することを推奨する。もしこのフィールドを旧バージョンのとの互換性のために使う時は、このフィールドには代替え、一時的、もしくは必要な場合には保留中のオプション患者識別情報、または補足的な患者識別情報に使用する。このフィールドはまた複数の患者IDを運ぶことに使うこともできる。その中には来院番号、来院日、社会保険番号も含む。

PID-5 Patient Name 患者氏名 (XPN) 00108

Components : <family name姓 (ST)> ^ <given name名 (ST)> ^ <middle initial or name (ST)> ^ <suffix (e.g., JR or III) (ST)> ^ <prefix (e.g., DR) (ST)> ^ <degree (e.g., MD) (ST)> ^ <name type code名前タイプ (ID)> ^ <name representation code名前表示(ID)>

本規約では以下の形式で利用する。

成分：<姓>^<名>^^^^L^<名前表示コード>

複数の名前表示形式が存在する場合には、反復セパレータにより複数記述する。また、少なくとも、英数字もしくは表音文字による患者氏名が記述されなければならない。

テーブル 0200 - Name Type 名前タイプコード

Value	Description
A	Alias Name 別名
L	Legal Name 法律上の名前
D	Display Name 表示名
M	Maiden Name 旧姓(婚姻前の名前)
C	Adopted Name 養子による名前

テーブル 0465 – Name Representation Code 名前表示コード

Value	Description
I	Ideographic (i.e., Kanji) 表意文字(漢字)
A	Alphabetic (i.e., Default or some single-byte) シングルバイトの英数字
P	Phonetic (i.e., ASCII, Katakana, Hiragana, etc.) 表音文字(ASCII,仮名)

定義：患者氏名をMSH-18文字セットで指定した文字コードで使用する。例えばMSH-18にASCII-ISO IR87をセットした場合、PID-5はYamada^Tarou^^^^L^A~山田^太郎^^^^L^I~ヤマダ^タロウ^^^^L^Pとなる。反復の順序には意味を持たない。姓と名の区別が困難な場合、姓のフィールドを代用するものとする。半角カタカナは全てのフィールドで使用しないようにすること。

患者の名札やフィルムのラベルなどと本フィールドの内容が同じであるよう、法律上の名前「L」を用いることが望ましく、運用に注意すべきである。

PID-6 Mother's Maiden Name 母親の旧姓 (XPN) 00109

定義：母親の旧姓、同じラストネームを持つ患者を明確に識別するために使用する。本フィールドに出現する名前タイプは「M」である。

通常は本フィールドは使用しない。

PID-7 Date/Time Of Birth 生年月日 (TS) 年齢 00110

定義：患者の生年月日、新生児などは誕生時刻まで記述。

生年月日に続けて年齢nnnuを記載することもできる、また年齢単位uとして Y 年令、L 月令、W 週令、D 日令を使用、省略時は年令Yとする(YYYYLLDDHHMMSS^nnnu)。例えば19900301^7 1990年3月1日生7才、^10 10才、^5D 5日齢など、和暦は不可。

本規約では「YYYYMMDD」形式による、患者の生年月日。

PID-8 Sex 性別 (IS) 00111

定義：患者の性別。 使用者定義テーブル0001－性別を推奨する。

使用者定義テーブル 0001 Sex – 性別

Value	Description
F	Female女性
M	Male男性
O	Otherその他
U	Unknown未知
A	Ambiguous 両性具有
N	Not applicable 適応外

PID-9 Patient Alias 患者の別名 (XPN) 00112

通常は本フィールドは使用しない。

PID-10 Race 人種 (CE) 00113

定義：患者の同意を得て使用することができる。

通常は本フィールドは使用しない。

PID-11 Patient Address 患者住所 (XAD) 00114

定義：患者の現住所。

PID-12 County Code 郡コード (IS) 00115

定義：患者の郡コード。

通常は本フィールドは使用しない。

PID-13 Phone Number - Home 電話番号－自宅 (XTN) 00116

PID-14 Phone Number - Business 電話番号－勤務先 (XTN) 00117

PID-15 Primary Language 言語－患者 (CE) 00118

定義：患者の主要な言語。

通常は本フィールドは使用しない。

PID-16 Marital Status 婚姻状況 (CE) 00119

Components : <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (IS)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (IS)>

本規約では以下の形式で利用する。
成分：< I D>^<テキスト>

定義：患者の(社会的)婚姻状況。 使用者定義テーブル0002－婚姻状況を推奨する。

使用者定義テーブル 0002 - Marital Status 婚姻状況

Value	Description
A	Separated 別居
D	Divorced 離婚
M	Married 既婚
S	Single 未婚
W	Widowed 死別
C	Common Law
G	Living together
P	Domestic partner
R	Registered domestic partner
E	Legally Separated
N	Annulled
I	Interlocutory
B	Unmarried
U	Unknown
O	Other
T	Unreported

PID-17 Religion 宗教 (CE) 00120

通常は本フィールドは使用しない。

PID-18 Patient Account Number 患者会計番号 (CX) 00121

定義：料金、支払いなどがすべて記録される勘定によって割り当てられる数字。患者の会計を識別するために使用される。

PID-19 SSN Number - Patient SSN番号－患者 (ST) 00122

定義：患者の社会保障番号。

通常は本フィールドは使用しない。

PID-20 Driver's License Number - Patient 患者の運転免許証番号 (DLN) 00123

定義：患者の運転免許証番号。通常は本フィールドは使用しない。

PID-21 Mother's Identifier 母親の識別子 (CX) 00124

定義：例えば新生児用にリンク・フィールドとして使用される。典型的に、患者IDあるいは会計番号が使用されるかもしれない。

PID-22 Ethnic Group 人種のグループ (CE) 00125

定義：患者の民族的起源を定義する。

通常は本フィールドは使用しない。

PID-23 Birth Place 誕生場所 (ST) 00126

定義：患者の誕生の場所を示す。

通常は本フィールドは使用しない。

PID-24 Multiple Birth Indicator多胎児誕生標識 (ID) 00127

定義：患者が多胎児の一人であったかどうか示す。Y/Nインジケータを使用。

通常は本フィールドは使用しない。

PID-25 Birth Order 誕生順序 (NM) 00128

定義：患者が多胎児の一人であった場合、誕生順序を示す値。

通常は本フィールドは使用しない。

PID-26 Citizenship 市民権 (CE) 00129

定義：患者の市民権の国を示す。推奨値として、使用者定義テーブル0171（HL7-3章）－国コード又はISO3166を参照すること。通常は本フィールドは使用しない。

PID-27 Veterans Military Status 退役軍人の状況 (CE) 00130

通常は本フィールドは使用しない。

PID-28 Nationality 国籍 (CE) 00739

定義：V2.4以降から、このフィールドは旧バージョンとの互換性のためにのみ残されている。
PID-10人種、PID-22民族、PID-26市民権を参照することを推奨する。患者の属する国籍や国グループを示す。

PID-29 Patient Death Date and Time 患者死亡日時 (TS) 00740

定義：患者死亡日時、臨床研究や管理用。

PID-30 Patient Death Indicator 患者死亡識別 (ID) 00741

定義：患者が死亡したか否かY/Nで表現。

PID-31 Identity unknown indicator 身元不明識別 (ID) 01535

定義：このフィールドは患者確認が行われているかどうかを示す。

参照 HL7 表 0136 - Yes/no indicator

Y 身元不明

N 身元確認済み

PID-32 Identity reliability code 識別情報の信頼性 (IS) 01536

定義：このフィールドは、トランザクション経由で送られた患者データの信頼性を示す。この値は、患者データのPIDの誕生日や社会保障番号が確認されたものかどうかを示す。

参照 使用者定義テーブル 0445 - Identity Reliability Code

使用者定義テーブル 0445 - Identity Reliability Code

Value	Description
US	Unknown/Default Social Security Number 社会保障番号不明
UD	Unknown/Default Date of Birth 誕生日不明
UA	Unknown/Default Address 住所不明
AL	Patient/Person Name is an Alias 患者名不明

PID-33 Last update date/time 最終更新日付 (TS) 01537

定義：このフィールドではPIDセグメントに含まれる患者／個人の識別情報や患者基本情報の最終更新日時を示す。受信側システムではこのフィールドを用いて、どのようにそのトランザクションをそのシステムで扱うかを判断するために使用する。もし、受信側システム（例えばエンタープライズマスター患者インデックス）が、既により新しい個人の情報を持っていた場合、そのトランザクションからの患者／個人基本情報、識別情報を使用しないことと判断する。

PID-34 Last update facility 最終更新施設 (HD) 01538

定義：患者PIDセグメントの最終更新施設。これを元にこの情報を受信したデータを採用するかどうかを判断する。もし、受信したサイトはそのデータが信頼性の高い物であるならばそれを利用することの判断ができる。信頼の置ける施設からの更新情報は病院にとって信頼すべき物として扱われる。

PID-35 Species code 種 (CE) 01539

Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (IS)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (IS)>

定義:生物の種。このフィールドはコーディングシステムを用いて一般名もしくは学術名を示す。SNOMED を推奨する。もしこのフィールドの値が無い場合は人間が対象である。推奨値については使用者定義表 0446 種コードを参照のこと。

参照 使用者定義テーブル 0446 - Species Code

使用者定義テーブル 0446 - Species Code

Value	Description
	No suggested values defined 推奨値はない

条件付規則：もし PID-36 品種コードまたは PID-38 製品クラスコードが値を持つ時は、このフィールドも値を持つ必要がある。

例： ...|L-80700^Canine, NOS^SNM3|...
...|L-80100^Bovine^SNM3|...
...|L-80A00^Feline^SNM3|...

PID-36 Breed code 品種 (CE) 01540

Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (IS)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (IS)>

定義：特定の動物の繁殖。このフィールドは種や血統と異なり動物に対して特有で、一般の生物には使うことができない。SNOMED が推奨されるコーディングシステムである。推奨値については使用者定義表 0447 品種コードを参照のこと。

使用者定義テーブル 0447 - Breed Code

Value	Description
	No suggested values defined 推奨値はない

条件付規則：PID-37 血統が値を持つ時は、このフィールドは値を持たなくてはならない。

例：例えば動物飼育協会が使われている

...|L-80733^ Staffordshire bull terrier^SNM3^^American Staffordshire Terrier^99AKC|...
...|L-80900^Weimaraner^SNM3|...
...|L-80439^Peruvian Paso Horse^SNM3|...

PID-37 Strain 血統 (ST) 01541

定義：このフィールドは動物の血統情報を示す。このフィールドはどのような生物の血統情報にも、また動物以外にも拡張することができる。

例： ...|DeKalb|...
...|Balb/c|...
...|DXL|...

PID-38 Production class code 製品クラスコード (CE) 01542

Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (IS)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (IS)>

定義：このフィールドはその生物が主に繁殖されたものか、成長したものかを示すコードと／もしくはテキストである。推奨値については使用者定義表 0429 製品分類コードを参照のこと。例：

参照 使用者定義テーブル 0429 - Production class Code

例： ...|DA^Dairy^L|...
...|MT^Meat^L|...
...|RA^Racing^L|...

使用者定義テーブル 0429 - Production class Code

Value	Description
BR	Breeding/genetic stock 飼育/自然保存
DA	Dairy 酪農
DR	Draft 生
DU	Dual Purpose 多目的
LY	Layer, Includes Multiplier flocks 層、多群
MT	Meat 肉
OT	Other その他
PL	Pleasure 蓄え
RA	Racing 競争
SH	Show ショウ
NA	Not Applicable 非適用
U	Unknown 不明

PID-39 Tribal Citizenship 所属種族 (CWE) 01840

このフィールドには個人の所属種族に関する情報が含まれる。もし個別に定義する場合は、使用者定義表 0171 市民権を使わなければならない。個人が複数の種族に属したことがある場合、このフィールドは繰り返す。CWE データ型のコードシステム名は種族が書かれた表によって識別される。

7.4 PV1 - Patient Visit Segment 来院情報セグメント

PV1セグメントは、来院に関する情報を通信するために登録/ADTアプリケーションによって使用される。このセグメントは複数の来院統計記録を同じ患者の会計に送るため、又は単一の来院記録を複数の会計に送るために、使用することができる。個々のサイトは必ずこのセグメントを使用しなければならない。

PV1属性

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RP/#	ITEM#	ELEMENT NAME	NOTE
1	4	SI	O	N		00131	Set ID - Patient Visit セットID-来院	
2	1	IS	R	R		00132	Patient Class 患者クラス	
3	80	PL	O	O		00133	Assigned Patient Location 患者所在場所	
4	2	IS	O	O		00134	Admission Type 入院タイプ	
5	250	CX	O	N		00135	Preadmit Number 仮入院番号	
6	80	PL	O	N		00136	Prior Patient Location 患者の以前の所在	
7	250	XCN	O	O	Y	00137	Attending Doctor 主治医	
8	250	XCN	O	O	Y	00138	Referring Doctor 紹介医師	
9	250	XCN	O	O	Y	00139	Consulting Doctor コンサルタント医師	
10	3	IS	O	N		00140	Hospital Service 病院サービス	
11	80	PL	O	N		00141	Temporary Location 一時的な所在	
12	2	IS	O	N		00142	Preadmit Test Indicator 仮入院検査標識	
13	2	IS	O	N		00143	Readmission Indicator 再入院標識	
14	6	IS	O	N		00144	Admit Source入院元	
15	2	IS	O	O	Y	00145	Ambulatory Status 外来の状況	
16	2	IS	O	O		00146	VIP Indicator VIP標識	
17	250	XCN	O	N	Y	00147	Admitting Doctor 入院許可医師	
18	2	IS	O	N		00148	Patient Type 患者タイプ	
19	250	CX	O	N		00149	Visit Number 来院番号	
20	50	FC	O	N	Y	00150	Financial Class 財務クラス	
21	2	IS	O	N		00151	Charge Price Indicator 有償価格標識	
22	2	IS	O	N		00152	Courtesy Code 優待コード	
23	2	IS	O	N		00153	Credit Rating 信用格付け	
24	2	IS	O	N	Y	00154	Contract Code 契約コード	
25	8	DT	O	N	Y	00155	Contract Effective Date 契約発効日	
26	12	NM	O	N	Y	00156	Contract Amount 契約金額	
27	3	NM	O	N	Y	00157	Contract Period 契約期間	
28	2	IS	O	N		00158	Interest Code 利息コード	
29	4	IS	O	N		00159	Transfer to Bad Debt Code 不良負債転換コード	
30	8	DT	O	N		00160	Transfer to Bad Debt Date 不良負債転換日付	
31	10	IS	O	N		00161	Bad Debt Agency Code 不良負債代理コード	
32	12	NM	O	N		00162	Bad Debt Transfer Amount 不良負債転換額	
33	12	NM	O	N		00163	Bad Debt Recovery Amount 不良負債回収額	
34	1	IS	O	N		00164	Delete Account Indicator 会計削除標識	
35	8	DT	O	N		00165	Delete Account Date 会計削除日付	
36	3	IS	O	N		00166	Discharge Disposition 退院処置	
37	47	DLD	O	N		00167	Discharged to Location 退院先	
38	250	CE	O	N		00168	Diet Type 給食タイプ	
39	2	IS	O	N		00169	Servicing Facility サービス施設	
40	1	IS	O	N		00170	Bed Status ベッド状況	
41	2	IS	O	N		00171	Account Status 会計状況	
42	80	PL	O	N		00172	Pending Location 保留所在	
43	80	PL	O	N		00173	Prior Temporary Location 退院先の一時的な所在	
44	26	TS	O	O		00174	Admit Date/Time 入院日付/時刻	
45	26	TS	O	O		00175	Discharge Date/Time 退院日付/時刻	
46	12	NM	O	N		00176	Current Patient Balance 患者の差引不足高	
47	12	NM	O	N		00177	Total Charges 合計金額	
48	12	NM	O	N		00178	Total Adjustments 合計調整金額	
49	12	NM	O	N		00179	Total Payments 合計支払金額	
50	250	CX	O	N		00180	Alternate Visit ID 代替来院ID	
51	1	IS	O	N		01226	Visit Indicator 来院識別	
52	250	XCN	O	N	Y	01224	Other Healthcare Provider 他のヘルスケア供給者	

Optionality

- R - required
- O - optional
- C - conditional on the trigger event or on some other field(s)

- X - not used with this trigger event
- B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7
- Japan (JAHIS仕様での取り扱い)
- R - required
- O - optional
- C - conditional on the trigger event or on some other field(s)
- X - not used with this trigger event
- B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7
- N - not used useally. use only on the site
- Repetition
- N - no repetition
- Y - the field may repeat an indefinite or site determined number of times
- (integer)- the field may repeat up to the number of times specified in the integer

PV1フィールド定義

PV1-1 Set ID - Patient Visit セットID－来院 (SI) 00131

定義：トランザクションを一意的に識別する番号。

PV1-2 Patient Class 患者クラス (IS) 00132

定義：サイトにおいて患者を分類するためにシステムで使われる共通のフィールド。入院、外来などの区別を表現する。

使用者定義テーブル 0004 - Patient class 患者クラス

Value	Description
E	Emergency 救急
I	Inpatient 入院患者
O	Outpatient 外来患者
P	Preadmit 予備入院
R	Recurring Patient 再来院患者
B	Obstetrics 産科
C	Checkup 人間ドック

注：「I」「O」以外を使用する場合は両者間にて調整の上、用いる。

PV1-3 Assigned Patient Location 患者所在場所 (PL) 00133

成分： <point of care 病棟・診療科・診察室など (IS)>^<room 病室 (IS)>^<bed 病床 (IS)>^<facility 施設 (HD)>^<location status 状態 (IS)>^<person location type 区分 (IS)>^<building 建物 (IS)>^<floor 階 (IS)>^<location description 詳細 (ST)>

定義：病院、診療科、病棟、病室、ベッド等を表現する。新規の場所は最初に割り当てた場所、あるいは患者の移動先の場所である。トランザクションの取消しや、退院の場合、現在の部屋番号をこのフィールド表現する。

注：PLデータ型のフィールドは値の第5の成分(ベッド状況)が存在する場合、それは、PV1-40の値に取って代わる。

本規約では通常の場合、下記内容とする。

定義：患者が最初に割り当てられた所在、あるいは患者が移動する先の所在を以下の書式で指定する。

成分：<科コード>^<病室コード>^<ベッド番号>^<病棟コード>

注：各種コードは両者間にて調整の上、用いる。

使用者定義テーブル 0116 - Bed status ベッド状況

Value	Description
C	Closed 閉鎖
H	Housekeeping 清掃
O	Occupied 使用
U	Unoccupied 空き
K	Contaminated 汚染
I	Isolated 隔離

PV1-4 Admission Type 入院タイプ (IS) 00134

定義：患者が入院していたか入院予定の状況を示す。

使用者定義テーブル 0007 - Admission type 入院タイプ

Value	Description
A	Accident 事故
E	Emergency 救急
L	Labor and Delivery 陣痛および出産
R	Routine 通常
N	Newborn (Birth in healthcare facility) 新生児 (院内で誕生)
U	Urgent 緊急
C	Elective 選択

PV1-5 Pre-admit Number 仮入院番号 (CX) 00135

定義：患者の仮入院番号を一意的に識別する。システムでは、仮入院番号を請求番号として患者が入院した後も使用し続けることもできる。

PV1-6 Prior Patient Location 患者の以前の所在 (PL) 00136

定義：新患であればここはNULLである。患者が転院されていれば、それは以前の患者所在を含んでいる。

PV1-7 Attending Doctor 主治医 (XCN) 00137

定義：主治医の情報で、複数の名前やIDを持つ場合もある。

PV1-8 Referring Doctor 紹介医師 (XCN) 00138

定義：紹介医師の情報で、複数の名前やIDを持つ場合もある。

PV1-9 Consulting Doctor コンサルティング医師 (XCN) 00139

定義：コンサルティング医師の情報。

PV1-10 Hospital Service 病院サービス (IS) 00140

定義：患者が受ける処置又は手術のタイプ。トリガーイベントA01,A02,A14,A15に関して要求されるフィールド。

PV1-11 Temporary Location 一時的な所在 (PL) 00141

定義：割り当てられた所在以外の所在であって、一時的に必要なもの(たとえばOR)。

PV1-12 Pre-admit Test Indicator 仮入院検査標識 (IS) 00142

定義：患者は入院するために仮入院検査を受けねばならないことを示す。

PV1-13 Re-admission Indicator 再入院標識 (IS) 00143

定義：患者が施設および環境に再入院することを示す。再入院はR、そうでなければNullである。再発患者の来院も示すことができる。

PV1-14 Admit Source 入院元 (IS) 00144

定義：患者がどこに入院していたかを示す。

PV1-15 Ambulatory Status 外来の状況 (IS) 00145

定義：提案値として使用者定義テーブル0009-外来状況を参照すること。

使用者定義テーブル 0009 - Ambulatory Status 外来状況

Value	Description
A0	No functional limitations 機能制限なし
A1	Ambulates with assistive device 補助機器を使用して来院
A2	Wheelchair/stretchers bound 車椅子/担架を使用して来院
A3	Comatose; non-responsive 意識不明；反応なし
A4	Disoriented 方向感覚なし
A5	Vision impaired 視力障害あり
A6	Hearing impaired 聴力障害あり
A7	Speech impaired 言語障害あり
A8	Non-English speaking 英語以外を話す
A9	Functional level unknown 機能のレベル未知
B1	Oxygen Therapy 酸素治療
B2	Special equipment (tubes, IVs, catheters) 特別の装置(チューブ、IV、カテーテル)
B3	Amputee 手足の切断手術を受けた人
B4	Mastectomy 乳房切除術

B5	Paraplegic 対麻痺
B6	Pregnant 妊婦

- PV1-16 VIP Indicator VIP標識 (IS) 00146
定義：VIPのタイプを識別する使用者定義コード。
- PV1-17 Admitting Doctor 入院時医師 (XCN) 00147
定義：入院時の医師の情報、複数の名前やIDのこともある。
- PV1-18 Patient Type 患者タイプ (IS) 00148
定義：患者のタイプを示すサイト特定の値。
- PV1-19 Visit Number 来院番号 (CX) 00149
定義：患者の各来院に割り当てられた一意的な数。
- PV1-20 Financial Class 財務クラス (FC) 00150
定義：診療報酬の源を識別する目的で患者に割り当てられた、主要な財務のクラス。
- PV1-21 Charge Price Indicator 有償価格標識 (IS) 00151
定義：部屋およびベッドの料金にどの価格表を使用するか決めるために使用されるコード。
- PV1-22 Courtesy Code 優待コード (IS) 00152
定義：患者が特定の優待を受けるかどうか示すコード。
- PV1-23 Credit Rating 信用格付け (IS) 00153
定義：過去の信用経験を決定する使用者定義コード。
- PV1-24 Contract Code 契約コード (IS) 00154
定義：会計残高を決済するための施設および保証人による契約のタイプを識別する。
- PV1-25 Contract Effective Date 契約有効日付 (DT) 00155
定義：契約が始まる日付。
- PV1-26 Contract Amount 契約金額 (NM) 00156
定義：保証人によって各期に契約ごとに支払われる金額。
- PV1-27 Contract Period 契約期間 (NM) 00157
定義：使用者が定義する期間で、契約の持続期間を指定する。
- PV1-28 Interest Code 利息コード (IS) 00158
定義：任意の未決済の金額に対し保証人に請求される利息額を示す。
- PV1-29 Transfer To Bad Debt Code 不良負債変換コード (IS) 00159
定義：会計が不良負債に転換されたこと及び理由を示す。
- PV1-30 Transfer To Bad Debt Date 不良負債変換日付 (DT) 00160
定義：会計が不良負債状況に転換された日付。
- PV1-31 Bad Debt Agency Code 不良負債代理コード (IS) 00161
定義：会計が転換された先の不良負債代理を一意的に識別する。
- PV1-32 Bad Debt Transfer Amount 不良負債転換額 (NM) 00162
定義：不良負債に転換された金額。
- PV1-33 Bad Debt Recovery Amount 不良負債回収額 (NM) 00163
定義：会計上の保証人から回収された金額。
- PV1-34 Delete Account Indicator 会計削除標識 (IS) 00164
定義：会計がファイルから削除されたこと及びその理由を示す。
- PV1-35 Delete Account Date 会計削除日付 (DT) 00165
定義：会計がファイルから削除された日付。
- PV1-36 Discharge Disposition 退院処置 (IS) 00166
定義：退院(つまり、帰宅；期限満了；など)の時の患者の処置。

- PV1-37 Discharged To Location 退院先 (DLD) 00167
定義：患者の退院先の施設を示す。
- PV1-38 Diet Type 給食タイプ (CE) 00168
定義：患者用の特別の給食タイプを示す。
- PV1-39 Servicing Facility サービス施設 (IS) 00169
定義：複数の施設環境の中でこの来院が関係している施設を示す。
- PV1-40 Bed Status ベッド状況 (IS) 00170
定義：下位互換のためののみ使用。PLデータ型の第5成分状況を使用すること。
- PV1-41 Account Status 会計状況 (IS) 00171
定義：会計状況
- PV1-42 Pending Location 保留所在 (PL) 00172
定義：患者が移動する先の看護ステーション、部屋、ベッド、施設IDおよびベッド状況を示す。第5の成分(ベッド状況)中に値がある場合、それは、PV1-40の値に取って代わる。
- PV1-43 Prior Temporary Location 以前の一時的な所在 (PL) 00173
定義：このフィールドは（手術部または放射線部門のような）患者の一時的な場所を示す時に使用される。入院患者の場合、最初の成分はナースステーションであるかもしれないし、非入院患者の場合はクリニック、診療部門、自宅のこともある。
- PV1-44 Admit Date/Time 入院日時 (TS) 00174
定義：入院の日付/時刻。
- PV1-45 Discharge Date/Time 退院日時 (TS) 00175
定義：退院の日付/時刻。
- PV1-46 Current Patient Balance 患者の差引不足額 (NM) 00176
定義：来院患者の現在の差引不足額。
- PV1-47 Total Charges 合計有償金額 (NM) 00177
定義：来院有償金額の合計
- PV1-48 Total Adjustments 合計調整金額 (NM) 00178
定義：来院調整金額の合計
- PV1-49 Total Payments 合計支払金額 (NM) 00179
定義：来院の支払い金額の合計
- PV1-50 Alternate Visit ID 代替来院ID (CX) 00180
定義：来院ID番号。このIDは入院時に患者を一意的に識別するために使用される。
- PV1-51 Visit Indicator 来院標識 (IS) 01226
定義：データ送信が患者の来院によるのか会計によるのかの識別に使用。

使用者定義テーブル 0326 - Visit Indicator 来院標識

Value	Description
A	Account Level 会計
no value	Visit Level 来院

- PV1-52 Other Healthcare Provider 他のヘルスケア供給者 (XCN) 01224
定義：他のヘルスケア供給者を示す。(例えば看護婦、付き添い、補助医師)複数の関係者に送ることができる。

7.5 ORC - Order Common Segment 共通オーダーセグメント

共通オーダーセグメント(ORC)は、すべてのオーダーに共通なデータ要素を伝達するために使用される(要求されるすべてのタイプのサービス)。場合によっては、ORCは文字列ORC|OK|<依頼者オーダー番号>|<実施者オーダー番号>|<CR>のように単純になる。

詳細内容がオーダーのために必要ないならば、オーダー詳細セグメントは省略してよい。たとえば、オーダーを保留するためには、ORCで次のフィールドを付けて伝達する(HDの値付きのORC-1ーオーダー制御、ORC-2ー依頼者オーダー番号、およびORC-3実施者オーダー番号)。

ORCのフィールドとオーダー詳細セグメントの中のフィールドとの間にいくつかの重複がある。これらは以下の節に述べる。原則として、ORCとOBRに重複する情報は、OBRセグメントのものを優先する。

ORC使用注記

a)依頼者オーダーグループ

本規格では、複数のオーダーを1つのグループに集めるメカニズムをサポートする。大抵の場合、これは1人の患者に対して「依頼セッション」を表すために使用される。

オーダーグループは、ORC-4-依頼者グループ番号に関連するオーダー(ORCs)のリストである。グループは、依頼者が最初のオーダーに依頼者グループ番号を付けた時に確立する。オーダーグループは、同じ依頼者グループ番号を有するすべてのORCsおよびすべての詳細セグメントから成る。オーダーは、グループからキャンセルを使用して除去したり、取換えや親子メカニズムを使用して追加したりできる。新規オーダーは、その他の方法でのグループへの追加はできない。

b)重複フィールド

ORCは、すべてのオーダー(すなわち要求されたサービス)に共通なフィールドを一様に定義するよう意図されている。ただし、一部のORCフィールドは、一部のオーダー詳細セグメント(たとえばOBR、RXO)では重複する。たとえば、ORC-2依頼者オーダー番号は、OBR-2依頼者オーダー番号フィールドと同じ意味および目的を持つ。これによって過去のバージョンおよびASTMとの上位互換性が保たれる。

これらのフィールドを使用する規則では、ORCに現われない値はオーダー詳細セグメントに現われねばならない。しかし、両方の箇所に値を入れて混乱を避けることが望ましい。

c)親/子 キャンセル、保留、中断

親オーダーのキャンセル、保留または中断の要求の伝達は、その要求は親オーダーおよびすべての関連の子オーダーに対して再帰的に適用されるよう意図されている。たとえば

- 1)EKGアプリケーションが3回のEKGに対するオーダーを受け、これが3日連続で毎朝行われるとする。
- 2)EKGアプリケーションは3つの子オーダーを、各々の要求されたEKGに対して1つずつ作成する。
- 3)元の親オーダーを取消す要求が受取られた時に1日目のEKGが実施されていた。(親は取消せなかった)
- 4)残りの、未実施の子は要求の結果として取り消される。

ORC属性

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RP/#	ITEM#	ELEMENT NAME	NOTE
1	2	ID	R	R		00215	Order Control オーダー制御	OBR-27を使用 放射線では「診療科」を指定し、必須
2	22	EI	C	R		00216	Placer Order Number 依頼者オーダー番号	
3	22	EI	C	O		00217	Filler Order Number 実施者オーダー番号	
4	22	EI	O	O		00218	Placer Group Number 依頼者グループ番号	
5	2	ID	O	O		00219	Order Status オーダー状態	
6	1	ID	O	O		00220	Response Flag 応答フラグ	
7	200	TQ	B	X	Y	00221	Quantity/Timing 数量/タイミング	
8	200	EIP	O	C		00222	Parent 親	
9	26	TS	O	R		00223	Date/Time of Transaction トランザクション日時	
10	250	XCN	O	O	Y	00224	Entered By 入力者	
11	250	XCN	O	O	Y	00225	Verified By 検証者	
12	250	XCN	O	R	Y	00226	Ordering Provider 依頼者	
13	80	PL	O	O		00227	Enterer's Location 入力場所	
14	250	XTN	O	O	Y/2	00228	Call Back Phone Numberコールバック用電話番号	
15	26	TS	O	O		00229	Order Effective Date/Time オーダー有効日時	
16	250	CE	O	O		00230	Order Control Code Reason オーダー制御コ	

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RP/#	ITEM#	ELEMENT NAME	NOTE
17	250	CE	O	O		00231	ードの理由 Entering Organization 入力組織	
18	250	CE	O	O		00232	Entering Device 入力装置	
19	250	XCN	O	O	Y	00233	Action By 発動者	
20	250	CE	O	O		01310	Advanced Beneficiary Notice Code 受益者注意コード	
21	250	XON	O	O	Y	01311	Ordering Facility Name オーダ施設名	
22	250	XAD	O	O	Y	01312	Ordering Facility Address オーダ施設住所	
23	250	XTN	O	O	Y	01313	Ordering Facility Phone Number オーダ施設電話番号	
24	250	XAD	O	O	Y	01314	Ordering Provider Address オーダ実施者住所	
25	250	CWE	O	O		01473	Order Status Modifier オーダ状態変更	
26	60	CWE	C	C		01641	Advanced Beneficiary Notice Override Reason 拡張利用用注意上書き理由	
27	26	TS	O	O		01642	Filler's Expected Availability Date/Time 実施者可能日時	
28	250	CWE	O	O		00615	Confidentiality Code 信頼性モード	
29	250	CWE	O	O		01643	Order Type オーダタイプ	
30	250	CNE	O	O		01644	Enterer Authorization Mode 入力者許可モード	

Optionality

- R - required
- O - optional
- C - conditional on the trigger event or on some other field(s)
- X - not used with this trigger event
- B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7

Japan (JAHIS仕様での取り扱い)

- R - required
- O - optional
- C - conditional on the trigger event or on some other field(s)
- X - not used with this trigger event
- B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7
- N - not used useally. use only on the site

Repetition

- N - no repetition
- Y - the field may repeat an indefinite or site determined number of times
(integer)- the field may repeat up to the number of times specified in the integer

ORCフィールド定義

ORC-1 Order Control オーダ制御 (ID) 00215

定義：オーダセグメントの機能を決定する。採りうる値はHL7テーブル0119 -オーダ制御を参照。コードは大別すると次の3つのカテゴリに入る。

a) イベント要求

イベントを発動するために、『NW』(新規オーダ)とか『CA』(オーダ要求のキャンセル)のようなコードが使用される。

b) イベント肯定応答承認

イベント要求に返答するために、『OK』(オーダが受け入れられた)とか『CR』(要求されたようにオーダが取り消された)のようなコードが使用される。

c) イベント通知

イベントが発生したことを他のアプリケーションに知らせるために、『OC』(オーダが取り消された)とか『OD』(オーダが中断された)のようなコードが使用される。いかなるアプリケーション応答も必要としない。

イベント要求コードは、イベントを発動することを意図する。イベント肯定応答コードは、イベントを要求したアプリケーションに応答することを意図する。イベント通知コードは、他のアプリケーションにたとえば次のようなことを知らせることを意図する。すなわち実施者がオーダに対し何かアクションをとりそれを他のアプリケーション、たとえば依頼者が知

る必要がある場合等である。

実施者、依頼者、および他のアプリケーションは、イベント要求、イベント肯定応答、およびイベント通知型トリガーイベントを相互互換的に使用できる。しかしながら、あるオーダー制御コード(例 CR)は実施者のみが生成することができ、他のオーダー制御コード(例 CA)は依頼者のみが生成することができる。

テーブル 0119 – Ordeer Control Code オーダー制御コードとその意味

Value ¹	Description	Originator ²	Field Note ³
NW	New order 新規オーダー	P	I
OK	Order accepted & OK オーダー受付 & OK	F	I(ハントシェイク時使用可)
UA	Unable to Accept Order 受付オーダーキャンセル	F	n(使用しない)
CA	Cancel order request オーダーキャンセル依頼	P	a
OC	Order canceled オーダーキャンセル完了	F	(ハントシェイク時使用可)
CR	Canceled as requested オーダーキャンセル完了(要求通り)	F	
UC	Unable to cancel オーダーキャンセル(不能)	F	b
DC	Discontinue order request オーダー中断要求	P	c(CAにて対応)
OD	Order discontinued オーダー中断	F	(CAにて対応)
DR	Discontinued as requested オーダー中断(要求通り)	F	(CAにて対応)
UD	Unable to discontinue オーダー中断(不能)	F	(CAにて対応)
HD	Hold order request オーダー保留要求	P	(使用しない)
OH	Order held オーダー保留	F	(使用しない)
UH	Unable to put on hold オーダー保留(不能)	F	(使用しない)
HR	On hold as requested オーダー保留(要求通り)	F	(使用しない)
RL	Release previous hold 前回保留オーダーを解放	P	(使用しない)
OE	Order released オーダー解放	F	(使用しない)
OR	Released as requested オーダー解放(要求通り)	F	(使用しない)
UR	Unable to release オーダー解放(不能)	F	(使用しない)
RP	Order replace request オーダー修正依頼	P	e,d,h
RU	Replaced unsolicited オーダー修正通知(実施者)	F	f,d,h(RPにて対応)
RO	Replacement order 修正後オーダー	P,F	g,d,h,I(RPにて対応)
RQ	Replaced as requested オーダー修正受理	F	d,e,g,h
UM	Unable to replace オーダー修正(不能)	F	
PA	Parent order 親オーダー	F	I
CH	Child order 子オーダー	F,P	i
XO	Change order request オーダー変更要求	P	(RPにて対応)
XX	Order changed, unsol. オーダー変更(非要求)	F	(RPにて対応)
UX	Unable to change オーダー変更(不能)	F	(RPにて対応)
XR	Changed as requested オーダー変更(要求通り)	F	(RPにて対応)
DE	Data errors データエラー	P,F	(使用しない)
RE	Observations to follow 検査付帯情報	P,F	j(使用しない)
RR	Request received 要求受付	P,F	k(使用しない)
SR	Response to send order status request 送信オーダー状態応答	F	(使用しない)
SS	Send order status request 要求	P	(使用しない)
SC	Status changed オーダー状態要求送信	F,P	(使用しない)
SN	Send order number 状態変更	F	l(使用しない)
NA	Number assigned オーダー番号送信	P	l(使用しない)
CN	Combined result 統合検査結果	F	m
RF	Refill order request 補充オーダー要求	F, P	o
AF	Order refill request approval 補充オーダー要求承認	P	p
DF	Order refill request denied 補充要求オーダー拒否	P	q
FU	Order refilled, unsolicited オーダー補充済、非要求	F	r
OF	Order refilled as requested オーダー補充済、	F	s
UF	Unable to refill 補充不可	F	t
LI	診療or医療メッセージへのリンクオーダー		(使用しない)
UF	診療or医療メッセージからのアイリンクオーダー		(使用しない)

注記:

1 オーダー制御値フィールド。

- 2 『F』: この値は、実施者から開始し、依頼者他に送られる。『P』: この値は、依頼者または、依頼者特権(インタフェースネゴシエーションにおいて同意したような)を持つ他のアプリケーションから開始する。”
- 3 コードの説明については、次のテーブルの注を見ること。

ORCのオーダー制御コードのためのテーブルの注。

- a) CA
オーダーキャンセル依頼は、以前にオーダーしたサービスを行わないようにとの要求である。キャンセル要求の確認は、実施者によっておこなわれる。たとえば、CRの(ORC-1-オーダー制御)値を持つメッセージである。
- b) UC
UC オーダーキャンセル(不能)コードは、依頼されたサービスが実施者によって取り消せないポイントにあるとき、あるいは、現場の取り決めで実施者によるキャンセルを禁止するとき使用される。このコードの使用は、ORC-6-応答フラグに従う。
- c) DC
オーダー中断要求コードは、進行中の依頼されたサービスをやめるために使用される。それは、キャンセル要求と同じではない。それは、オーダーが起こるのを防止するために使用される。
- d) RP, RQ, RU, RO
オーダー修正依頼は、以前に依頼された、1個以上のオーダーの置き換えである。取換えられたオーダーは、あたかも取り消されたオーダーのように扱われる。依頼されたサービスが取換えられるかどうか、いつ取換えるかは、現場独自で決定する。オリジナルのオーダーがもとのままであることをサイトが要求するならば、親/子オーダー制御コードを使用する。このような時は、オーダー修正コードを使用しない。
取換えられる各々のオーダーには、RP(実施者に対するオーダー修正依頼)のORC-1-オーダー制御値またはRU(実施者によって作成された、オーダー修正通知(実施者))を使用すること。RUは実施者によって使用され、依頼者および、または他のシステムに通知するためのものである。現場の取り決めによって、ORCセグメント(RPまたはRUと)の後には、そのオリジナルのオーダー詳細セグメントが続いてもよい。ORCセグメント(RPまたはRUと)の後には、RO(修正後オーダーを示す)のORC-1-オーダー制御値をもつ、ORCセグメントが続かなければならない。現場の取り決めによっては、RO値を持つORCは、オーダー詳細セグメントが後に続いてもよい。
たとえば、部門のアプリケーションが2個のOBRオーダーを3つの異なったオーダーで取換えていたと仮定する。セグメントの連続は、次の通りになる。

図 4-2. RU and RO usage (example)

Segment	Order Control	Comment
ORC OBR	RU	1st replaced ORC 1st replaced order's detail segment
ORC OBR	RU	2nd replaced ORC 2nd replaced order's detail segment
ORC OBR	RO	1st replacement ORC 1st replacement order's detail segment
ORC OBR	RO	2nd replacement ORC 2nd replacement order's detail segment
ORC OBR	RO	3rd replacement ORC 3rd replacement order's detail segment

ORC-6-応答フラグの値によって、OBRセグメントが存在せねばならないかどうか決定される。この取換え方法は、取換えのすべての可能なケースを扱う：1個から1個へ、多数から1個へ、1個から多数へ、および多数から多数へである。もし依頼者が実施者に2つのRPの付いたこの要求を送り実施者から依頼者への応答があるとする、2つのRU(オーダー修正通知(実施者))は2つのRQ(オーダー修正受理)となる。

図 4-3. RQ and RO usage (example)

Segment	Order Control	Comment
ORC OBR	RQ	1st replaced ORC 1st replaced order's detail segment

Segment	Order Control	Comment
ORC OBR	RQ	2nd replaced ORC 2nd replaced order's detail segment
ORC OBR	RO	1st replacement ORC 1st replacement order's detail segment
ORC OBR	RO	2nd replacement ORC 2nd replacement order's detail segment
ORC OBR	RO	3rd replacement ORC 3rd replacement order's detail segment

e) RP, RQ

オーダー取換要求コードは依頼アプリケーションの要求に応じて、実施者が1個以上の新規オーダーを1個以上の新規オーダーと取換えることを許可する。

f) RU

オーダー修正通知(実施者)コードは依頼アプリケーションから要求されることなしに実施アプリケーションが別なアプリケーションに知らせることを許可する。

g) RO, RQ

取換えオーダーコードは実施者のアプリケーションによってオーダーされたサービスの正確な取換えを指示する別なアプリケーションに送られる。それは上記のRPとRUのオーダー制御コードによって使用される。

h) RP, RQ, RU, RO

ROの制御値をもつORCセグメントのオーダー番号の規則は取換え型(RPまたはRU)によって決定される。

RU型(すなわち実施者からのオーダー修正通知)のときには、実施者オーダー番号は、実施アプリケーションによっていつものように生成される。依頼者オーダー番号は、RUのオーダー制御値付きの最初に送られたORCの依頼者オーダー番号と全く同一である。

RP型(すなわち別のアプリケーションから実施者へのオーダー修正依頼)のときには、依頼者オーダー番号は、新規オーダーのための手続きを使用して、依頼アプリケーションによって生成される。実施者オーダー番号は、新規オーダーのためと同一の手順を使用して、実施アプリケーションによって生成される。

取換えシーケンスがORUメッセージ(すなわち検査結果報告の間に)において使用される時の、オーダー修正に使用されるべき推奨セグメントを以下に述べる。

- 1) ROのオーダー制御値付きのORC
- 2) いくつものOBRセグメント(いくつものオーダー詳細セグメントによって変えられる)
- 3) 任意に、検査結果セグメント(OBX)が後に続く
- 4) NTEセグメントは、定型ORUメッセージにおけるのと同様にOBR(あるいはいくつものオーダー詳細セグメント)またはOBXセグメントの後に続けられる。

i) PA, CH

親(PA)と子(CH)のオーダー制御コードは親(オリジナルオーダー)を変えることなく「親オーダー」から「子オーダー」を生み出して良い。PAのORC-1-オーダー制御値を持つ1個以上のORCセグメントは、CHのORC-1-オーダー制御値を持つ1個以上のORCセグメントが後に続く。ORC-6-応答フラグの値によってOBRセグメントが存在せねばならないかどうか決定される。

たとえば、細菌培養が2つの生物と対応する感受性試験の結果を生成したと仮定する。そのときセグメントのシーケンスは、次の通りである：

図 4-4. Example of two child orders

Segment	Order Control	Comment
ORC	PA	1st parent ORC
ORC	CH	1st child ORC
OBR		1st child order
ORC	CH	2nd child ORC
OBR		2nd child order

親子パラダイムの依頼者番号の割り当ては、実施者の依頼者が子オーダを生成するかどうか、または依頼者がSN/NAトランザクションをサポートするかどうかに依存する。依頼者が子オーダを作成するならば、それはその通常の手続きに応じてそれらの依頼者番号を割り当てる。実施者が子を作成するならば、そこで2つの可能性がある：各々の子はその親の依頼者番号を受け継ぐか、あるいは、実施者は依頼者が依頼者番号を割り当てるよう要求するためにSN/NAトランザクションを使用する。どちらのケースでも、実施アプリケーションは、その通常の手続きに応じて子の実施者番号を作成する。

子オーダが送られるときは常に、ORCセグメントのORC-8-親に、親の実施者番号(実施者から開始するならば)および親の依頼者番号(実施者から開始するならば、あるいは依頼者から開始するならば)が割り振られる。

親子のメカニズムは、たとえば、毎朝、連続して3回のEKGのオーダを発行するといったように、親オーダを拡張することのために使用される。

【放射線】放射線検査の場合、親オーダはそのオーダ全体に関連する情報を記述する。例えば、患者のプロファイル情報などは親オーダ記述の中に記述する。子オーダはこの撮影に関する情報を記述する。例えば、撮影部位や使用材料などである。部位などが異なる撮影に関しては、それぞれに子オーダ記述を使用する。さらに、後述するORC(NW)を新規オーダを表す意味で、ORC(PA)の前に記述する。

ORC(NW) 新規オーダ
 ORC(PA) 親オーダ
 OBR 親オーダの記述
 ORC(CH) 1 番目の子オーダ
 OBR 1 番目の子オーダの記述
 ORC (CH) 2 番目の子オーダ
 OBR 2 番目の子オーダの記述

j) RE

検査付帯情報コードは、オーダと共に患者固有情報を送るのに使用される。オーダ詳細セグメント(たとえば、OBR)の後には、1個以上の検査セグメント(OBX)を続けることができる。ORUメッセージとして伝えることができるいかなる検査情報も、このメカニズムで伝えることができる。結果がオーダと共に送られるときは、結果は、そのオーダの直後に続けられるべきである。

次の例は、3個の処方オーダのためのセグメントのシーケンスを、REコードの使用例で示す。

図 4-5. RE usage (example)

Segment	Order Control	Comment
MSH PID ORC RXO	NW	First new order First order segment
ORC RXO	NW	2nd new order 2nd order segment
[ORC OBR] OBX OBX OBX OBX	RE	Patient-specific observation, optional in V 2.2 Observation OBR, optional in V 2.2 An observation segment Another observation segment Another observation segment Another observation segment
ORC RXO	NW	3rd order 3rd order segment

HL7のこのバージョンにおいて、結果は、1個以上のOBXセグメントとしてオーダと共に送ることができる。但し、ORCとOBRセグメントを必ずしも含む必要はない。

検査情報は、ORCを使用せずに、ORUメッセージを用いて伝えることができる。

ORUメッセージのOBRセグメントに含まれない情報を伝える必要が生じるときがある。この場合、ORCがORUメッセージに含まれることを推奨する。

REのオーダ制御値は、ORMメッセージにおいてのみ要求される。オーダの後に検査結果(OBX)が続くことを示唆するためである。REコードはORUメッセージでは必要ではない。

なぜならOBRセグメントの後に検査結果(OBX)を続けることができるからである。

k) RR

下位互換性のため。現在のバージョンにおいては、受付了解応答に等しい。要求受信コードは、オーダーメッセージが受け取られて、後で処理されることを示す。すなわち、そのオーダーは、より正確な応答をするための処理をまだ実行していないということである。

l) SN, NA, NW

オーダー番号の要求に関与する3つの状態がある(ORC-2-依頼者オーダー番号またはORC-3-実施者オーダー番号)。

- 1) 実施アプリケーションが、たとえば、HISのような集中アプリケーションからORC-3-実施者オーダー番号を要求する必要があるとき。
- 2) 実施アプリケーションが、たとえば、オーダーのような他のアプリケーションからORC-2-依頼者オーダー番号を要求する必要があるとき。
- 3) アプリケーション(実施アプリケーションでない)が新規オーダーのためにORC-3-実施者オーダー番号を割り当てたいとき

1) 実施アプリケーションが、集中実施者オーダー番号を必要とする場合。

SN 送信オーダー番号コードは、実施者のために、ORC-3-実施者オーダー番号をある、HISのような集中(その他のアプリケーションと呼ぶ)から要求するためのメカニズムを提供する、たとえば中央HISである。これはSNのORC-1-オーダー制御値を含んでいるORMメッセージを送ることによって行う。このORCはNullのORC-3-実施者オーダー番号とORC-2-依頼者オーダー番号を持つ。これらは実施者がオーダーを開始するとき、実施アプリケーションによって作成されたものである。

ORM(SN型)メッセージは、以下の2つの方法によって肯定応答される。

- i) OKのORC-1-オーダー制御値を含んでいるORRメッセージによる。要求されなかったORMメッセージは、NAのORC-1-オーダー制御値付きのORCを含んでいて、後のある時間に送られる。
- ii) 以下で述べるNAのORC-1-オーダー制御値を含んでいるORRメッセージによって実現できる。

NA番号を割り当てられたコードは、その他のアプリケーションが実施アプリケーションに、最近割り当てられた実施者オーダー番号を知らせることを許す。ORC-1-オーダー制御値は、NAの値、ORC-2-依頼者オーダー番号(SN値を持つORCから)、および最近割り当てられた実施者オーダー番号を含む。

注： 依頼者オーダー番号と実施者オーダー番号の両方が、実施者のアプリケーションIDを持つ。

Code	From	ORC-2-Placer Order Number	ORC-3-Filler Order Number
SN	filler application	placer order number^filler application ID	null
NA	Other application	placer order number^filler application ID	filler order number^filler application ID

2) 実施アプリケーションが、依頼者オーダー番号を必要とする場合

SN 送信オーダー番号コードは、実施アプリケーションがORC-2-実施者オーダー番号をその他のアプリケーションから要求するためのメカニズムを提供する。これはSNのORC-1-オーダー制御値を含んでいるORMメッセージを送ることによって行う。このORCはnullのORC-2-依頼者オーダー番号とORC-3-実施者オーダー番号を持つ。これらは実施者がオーダーを開始するとき、実施アプリケーションによって作成されたものである。

ORM(SN型)メッセージは、2つの方法によって肯定応答される

- i) OKのORC-1-オーダー制御値を含んでいるORRメッセージによって。要求されなかったORMメッセージは、NAのORC-1-オーダー制御値付きのORCを含んでいて、後のある時間に送られる。
- ii) 以下で述べるNAのORC-1-オーダー制御値を含んでいるORRメッセージによって。

NA 番号を割り当てられたコードは、『その他』アプリケーションが実施アプリケーションに、最近割り当てられたORC-2-依頼者オーダー番号を知らせることを許す。ORCは、NAのORC-1-オーダー制御値、最近割り当てられたORC-2-依頼者オーダー番号、およびORC-3-実施者オーダー番号(SN値を持つORCから)を含む。

注： 新しいORC-2-依頼者オーダー番号は、依頼者のアプリケーションIDを持っている。

Code	From	ORC-2-Placer Order Number	ORC-3-Filler Order Number
SN	Filler application	Null	filler order number^filler application ID
NA	Other application	placer order number^placer application ID	filler order number^filler application ID

3) アプリケーションが、実施者オーダー番号を割り当てたい場合

NW オーダを作成するアプリケーション(実施アプリケーションではない)が、実施者に新規
オーダーの実施者オーダー番号を割り当てたいとき、

または

RO (RO following an RP). この場合、その他のアプリケーションがORC3-実施者オーダー番号
を完成する。この時には、実施者オーダー 番号の2番目の成分として、実施アプ
リケーションIDを使用する。

Code	From	ORC-2-Placer Order Number	ORC-3-Filler Order Number
NW , RO	Other application to the filler	placer order number^placer application ID	filler order number^filler application ID

【放射線】 ORC(PA)を記述する前にORC(NW)を記述する。

ORC(NW) 新規オーダー

ORC(PA) 親オーダー

OBR 親オーダーの記述

ORC(CH) 1 番目の子オーダー

OBR 1 番目の子オーダーの記述

ORC (CH) 2 番目の子オーダー

OBR 2 番目の子オーダーの記述

m) CN

統合検査結果コードは、複数のオーダーに関連する結果を送るためのメカニズムを提供する。
この状態が、通常、放射線科医が、複数のオーダーで表示された複数の検査に対して単一の
レポートを作成するときに放射線科レポートに見られる。たとえば、リウマチ性の関節
炎患者のひざと手のフィルムは、放射線科医の側でひとつのレポートを生成することがあ
る。

そのような結果が報告されるとき、CNコードが最後のORC以外の全てのREを置き換える。
結果は最後のORCとそのOBRに続く。3つのORCに続く単一の報告の例は下記の通りであ
る：

```
MSH|...
PID|...
ORC|CN|...
OBR|A4461XA^HIS|81641^RAD|73666^Bilateral Feet|...
ORC|CN|...
OBR|A4461XB^HIS|81642^RAD|73642^Bilateral Hand PA|...
ORC|RE|...
OBR|A4461XC^HIS|81643^RAD|73916^Bilateral Knees|...
OBX|CE|73916&IMP||Radiologist's Impression|...
OBX|CE|73642&IMP||Radiologist's Impression|...
OBX|FT|73642&GDT||Description|...
```

n) UA

オーダー受付不可コードが使用されるのは、新しいオーダーを実施者が受付できないときであ
る。受付できない理由としては、その患者にアレルギーのある薬剤の処方要求したこと、
またはそのオーダーを実施するための機器が利用できないことが考えられる。これはMSAセ
グメント内で定義される通信レベルでの受付とは異なることに留意すること。

o) RF

RFは実施者または依頼者の両方による要求を受け入れる。実施者は依頼者からの補充許可
を要求しているかもしれない。依頼者システムは、補充が実施者システムによって行われる
よう要求しているかもしれない。

p) AF

AFは補充または補充の量を許可する依頼者からの返答である。

q) DF

DFは依頼者がオーダの補充を許可しないことを示す。下記のオーダ制御コード理由を使用して、要求拒否の理由を示してもよい。これらの値は、「NCPDF SCRIPT回答セグメントコードリスト修飾子」に由来することに留意すること。

AA	Patient unknown to the provider
AB	Patient never under provider care
AC	Patient no longer under provider care
AD	Patient has requested refill too soon
AE	Medication never prescribed for the patient
AF	Patient should contact provider first
AG	Refill not appropriate

r) FU

FUは依頼者に対して、実施者が補充を患者の要求によるオーダに対して発行したことを通知する。

s) OF

OFは補充に対する依頼者システムの要求に直接応答する。

t) UF

UFは実施者システムが許可補充要求に対してアプリケーションレベル拒否を示す。

ORC-2 Placer Order Number 依頼者オーダ番号 (EI) 00216

定義：依頼アプリケーションのオーダ番号

第1成分は、個々のオーダ(たとえば、(OBR))を識別する15文字までの文字列である。それは、依頼者(依頼アプリケーション)によって割り当てられる。それは、特定の依頼アプリケーションからのすべてのオーダの中から一意に一つのオーダを識別する。第2成分は依頼アプリケーションのアプリケーションIDを含む。アプリケーションIDは、アプリケーションに一意に関連する6つの文字までの文字列である。ひとつの施設または相互に通信する施設のグループは、アプリケーションで一意のリストを確立すべきである。リストは潜在的な依頼者と実施者であってもよく、そして一意なアプリケーションIDを割り当ててもよい。2つの成分は、共通の区切り文字によって分離される。

このように一意ではなく、真の依頼者がいくらかあいまいな3つの状態がある。

a) RU取替えに続く、ROのORC-1-オーダ制御値の場合；

b) CH(子オーダー)のORC-1-オーダ制御値の場合；

c) SN(番号を送ること)のORC-1-オーダ制御値の場合；

ORC-2-依頼者オーダ番号がこれらの場合どのように割り当てられるかの詳細については、ORC-1-オーダ制御の下のテーブルの注を参照すること。

ひとつの施設または相互に通信する施設のグループは、アプリケーションで一意のリストを確立すべきである。リストは潜在的な依頼者と実施者であってもよく、そして一意なアプリケーションIDを割り当ててもよい。アプリケーションIDリストは、本規格の他の箇所でも文書化されている、施設のマスタ辞書の1つになる。第三者アプリケーション(オーダの依頼者および実施者以外)がORMとORRのメッセージ送受信ができるので、このフィールドの依頼アプリケーションIDは、ネットワーク上の送信および受信アプリケーションと同じでなくともよい(MSHセグメントにおいて述べた)。

ORC-2-依頼者オーダ番号は、OBR-2-依頼者オーダ番号と同じある。依頼者オーダ番号がORCの中に存在していないならば、それは関連したOBR内に存在しなければならない。その逆もまた真である。もし両方のフィールド、すなわちORC-2-依頼者オーダ番号およびOBR-2-依頼者オーダ番号が設定されるならば、それらは同じ値でなければならない。結果がORUメッセージで送られるとき、ORCは必要ないが、依頼者オーダ識別番号がOBRセグメント内に存在せねばならない。

これらの規則は、上位互換性のためORCとOBRの両方の中に存在している他のフィールドにも適用する。(たとえば、数量/タイミング、親番号、オーダ依頼者、および依頼コールバック用電話番号)。

ORC-3 Filler Order Number 実施者オーダ番号 (EI) 00217

定義： 実施アプリケーションに関連したオーダ番号。その第1成分は、オーダ詳述セグメントを識別する15文字の文字列である(例 OBR)。それは、オーダ実施(受け取る)アプリケーションによって割り当てられる。この文字列は、特定の実施アプリケーション(例 臨床検査)の他のオーダから、そのオーダ(オーダ詳細セグメントにおいて明示されるように)を、一意に識別せねばならない。一意性は長時間にわたって持続しなければならない。

第2成分は、実施アプリケーションIDを含んでいる。実施アプリケーションIDは、6文字までの文字列であり、アプリケーションをネットワーク上の他のアプリケーションから識別する。実施者オーダ番号の第2成分は、オーダの実際の実施者を常に識別する。

ある施設または相互通信施設グループは、アプリケーションの一意のリストを確立すべきである。リストは潜在的な依頼者と実施者であってもよく、そして一意なアプリケーションIDを割り当ててもよい。アプリケーションIDリストは、本規格の他の箇所で文書化されている、施設のマスター辞書の1つになる。第三者アプリケーション(オーダの依頼者および実施者以外)がORMとORRのメッセージ送受信ができるので、このフィールドの依頼アプリケーションIDは、ネットワーク上の送信および受信アプリケーションと同じでなくともよい(MSHセグメントにおいて確認したように)。

ORC-3-実施者オーダ番号は、OBR-2-実施者オーダ番号と同じある。実施者オーダ番号がORCの中に存在していないならば、それは関連したOBR内に存在しなければならない。(この規則はORCおよびOBRの中の他の同一フィールドに対するものと同じであり、上位互換性およびASTMとの互換性を促進する。)これが特に重要なのは、結果がORUメッセージで送られる。この場合、ORCは必要ないが、実施者オーダ識別番号がOBRセグメント内に存在せねばならない。

実施者オーダ番号(OBR-3あるいはORC-3)は、オーダとその関連した検査を一意に識別する。たとえば、ある施設が検査をいくつかの関連アプリケーションから集め、それを共通のデータベースの中に入れ、この共通のデータベースがまた別のアプリケーションによって検査のために照会される、と仮定する。この場合、共通のデータベースアプリケーションによって送られた実施者オーダ番号と依頼者オーダ番号は、それぞれオリジナルの実施者および依頼者であろう。すなわち共通のデータベースアプリケーションによって割り当てられた新しいものではない。

同様に、実施者あるいは依頼者でないオーダの第三者アプリケーションが、オーダの状態を修正する(たとえば、それをキャンセルすること)権限があるならば、その第三者アプリケーションは、実施者にORMメッセージを送る。そこには、『CA』に等しいORC-1オーダ制御の付いたORCセグメント、およびオリジナル依頼者オーダ番号および実施者オーダ番号を含む。いずれもそれ自身が割り当てることではない。

本規約ではOBR-3-実施者オーダ番号と同一内容とする。

ORC-4 Placer Group Number 依頼者グループ番号 (EI) 00218

定義： オーダ依頼アプリケーションが複数セットのオーダと一緒にグループ化して後でそれを識別できるようにする。

第1成分は、15文字までの文字列であって、これがすべての他のオーダグループを特定の依頼アプリケーションから一意に識別する。それは依頼アプリケーションによって割り当てられて、ORCの依頼者オーダ番号と同じシリーズでもよいが、これは必須ではない。

第2成分は、依頼アプリケーションIDであり、これはORC-2-依頼者オーダ番号の第2成分と同じである。

ORC-5 Order Status オーダ状態(ID) (ID) 00219

定義： オーダの状態。取りうる値についてはHL7テーブル0038-オーダ状態を参照すること。このフィールドの目的は、要求された場合または状態が変更になった場合に、オーダの状態を報告することであり、オーダ自体を処理する事ではない。オーダ状態は、メッセージが送られるとき送信アプリケーションに知られていた状態を反映させる。実施者だけがこのフィールドに値を付けることができる。

HL7テーブル0038に示すオーダー状態は、HL7テーブル0119-オーダ制御と同じ様な内容を含んでいるが、目的は異なる。オーダ状態は、ORC-1-オーダ制御値のSRまたはSCにおいて典型的に使用される。これはオーダの状態を、要求を受けた時または当事者に随時報告するた

めである。
臨床検査依頼では使用しない。

テーブル 0038 - Order status オーダ状態

Value	Description
A	Some, but not all, results available 部分的完了
CA	Order was canceled オーダが取り消された
CM	Order is completed オーダが完了した
DC	Order was discontinued オーダが中断した
ER	Error, order not found エラー、オーダが見つからない
HD	Order is on hold オーダが保留
IP	In process, unspecified 進行中、不定
RP	Order has been replaced オーダが取替えられた
SC	In process, scheduled 進行中、予定

ORC-6 Response Flag 応答フラグ (ID) 00220

定義：これによって依頼者(送信)アプリケーションは、実施者から返されるべき情報の量を決定できる。要求されたレベルの応答は、即時には可能ではないかもしれない、しかし、それが可能なときは、実施者(受信)アプリケーションは、情報を送らなければならない。フィールドがnullであるとき、フィールドのデフォルト値はDである。取りうる値についてはHL7テーブル0121-応答フラグを参照のこと。

テーブル 0121 - Response flag 応答フラグ

Value	Description
E	Report exceptions only 例外のみを報告
R	Same as E, also Replacement and Parent-Child Eと同じ、また取換えおよび親子
D	Same as R, also other associated segments Rと同じ、また他の関連セグメント
F	Same as D, plus confirmations explicitly Dと同じ、プラス明確な確認
N	Only the MSA segment is returned MSAセグメントのみが返却される

ORC-7 Quantity/Timing 数量/タイミング (TQ) 00221

定義：優先度、数量、頻度およびアトミックサービスのタイミングを決定する。

【放射線】基本的に使用しない。OBR-27を使用する。使用する場合でも優先度のみ使用する。

Components: <quantity数量 (CQ)> ^ <interval時間間隔 (RI)> ^ <duration継続時間 (ST)> ^ <start date/time開始日時 (TS)> ^ <end date/time終了日時 (TS)> ^ <priority優先度 (ST)> ^ <condition条件 (ST)> ^ <textテキスト (TX)> ^ <conjunction連結 (ID)> ^ <order sequencingオーダーシーケンス化(OSD)> ^ <occurrence duration発生持続(CE)> ^ <total occurrences発生からの合計 (NM)>

Priority component 優先度成分 (ST)

定義： 要求の緊急度を述べる。次の値が提案される(優先度のデフォルトはRである)：

S	= 緊急	最も高い優先度で
A	= できるだけ早く	Sオーダの後
R	= ルーチン	デフォルト
P	= 術前	
C	= 返信	
T	= タイミングがクリティカル	要求は、要求された時間に最も近いことが重要であるという意味である。 たとえば、抗生物質血中濃度である
PRN	= As Needed	

値『T』(タイミングクリティカル)の程度は次のように明示できる：

Format:

TS<integer>	=	秒以内で
TM<integer>	=	分以内で
TH<integer>	=	時間以内で
TD<integer>	=	日以内で
TW<integer>	=	週以内で
TL<integer>	=	月以内で

ORC-8 Parent 親 (EIP) 00222

Components: <Placer Assigned Identifier (EI)> ^ <Filler Assigned Identifier (EI)>

Subcomponents for Placer Assigned Identifier (EI): <Entity Identifier (ST)> & <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (UI)> & <Universal ID Type (ID)>

Subcomponents for Filler Assigned Identifier (EI): <Entity Identifier (ST)> & <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (UI)> & <Universal ID Type (ID)>

定義：親子のメカニズムの関係が存在するとき子を親に関係付ける。親子のメカニズムは、ORC-1-オーダ制御の注のところで述べられる。第1成分は、親オーダの依頼者オーダ番号を含んでいる。それは、オーダが子であるとき要求される。

第2成分は、親オーダーの実施者オーダー番号を含んでいる。

依頼者オーダ番号と実施者オーダ番号との成分は、このフィールドの2つの成分の副成分として送られる。ORC-8-親は、OBR-29-親と同じである。

ORC-9 Date/Time Of Transaction トランザクション日時 (TS) 00223

定義：このトランザクションがオーダアプリケーションに入る日時。新規オーダを作成するメッセージの場合は、これは、オーダが入れられた日付および時間である。

たとえば、キャンセルなどの他のメッセージの場合は、このトランザクションが送信アプリケーションに入る日時である。この日付と時間は、現在のトランザクションのためのもので、オリジナルのオーダへの訂正のための『取り換え』た時刻ではない。同様に、このセグメントのORC-10-入力者、ORC-11-検証者、およびORC-13-入力の場所も現在のトランザクションに関連づけられ、オリジナルのオーダに関連づけてはいない。

ORC-10 Entered By 入力者 (XCN) 00224

定義：要求をアプリケーションに実際に打鍵した人の所属氏名。それは、要求が不正確に入れられ、関連部門が要求を明らかにする必要がある場合、監査証拠となる。現場の取り決めによって、ID 番号または名前成分は、省略されてもよい。

要求をアプリケーションに実際に打鍵した操作者のID。

ORC-11 Verified By 検証者 (XCN) 00225

定義：入れられた要求の精度を検証した人の所属氏名。それが使用されるのは、要求が技師によって入力され、看護婦などのより高い権威者によって検証される必要がある場合である。現場の取り決めによって、ID 番号や名前成分は、省略されてもよい。

ORC-12 Ordering Provider オーダ依頼者 (XCN) 00226

定義：要求を作成することに責任がある依頼する医師などの所属氏名。ORC-12-オーダ依頼者は、OBR-16-オーダ依頼者と同じである。

要求を作成することに責任がある依頼する医師などID。

ORC-13 Enterer's Location 入力者の場所 (PL) 00227

定義：要求を入力した人の場所(たとえば、部門、階)。それは、部門のあるサブカテゴリを含むためサイト固有のベースに基づいて使用されてもよい複合フィールドである。たとえば、ICU4は、4階のICUの場所の呼称とするなど。

【放射線】「診療科」を指定する。放射線では必須である。

ORC-14 Call Back Phone Number コールバック用電話番号 (XTN) 00228

定義：要求またはオーダに関して、必要な他の情報を確認するための電話番号。ORC-14-コールバック用電話番号は、OBR-17-オーダコールバック用電話番号と同じである

ORC-15 Order Effective Date/Time オーダ有効の日時 (TS) 00229

定義：変更要求が有効になった、あるいは、有効になる予定の日時。

ORC-9-トランザクション(日時)が、ORC-15-オーダ [訳注：原文はORC-16-オーダとなっているが、明らかな間違いのため修正した] 有効日時の後またはそれに等しくなっているならば、ORCおよびその下のセグメントにおけるデータ値はこの日時に有効になった。

ORC-9-トランザクション 日時がORC-15-オーダ有効日時より前ならば、ORCおよびその下位セグメントのデータ値は、オーダ有効日時に有効になるよう計画される。

有効ORC-15-オーダ有効日時が空白にしておかれるならば、その値は、ORC-9-トランザクション日時と等しいと仮定される。また、トランザクション日時が空白であるならばMSH-7-メッセージと等しいと仮定される。

ORC-15-オーダ有効日時(同じORCセグメントのオーダ制御コードイベントのために)が、ORC-7-数量/タイミングと異なる場合は、ORC-15-オーダ有効日時が優先する。一例としてORCイベントが実施者への連続オーダに対する中断要求であり、かつオーダ有効日時がORC-7-数量/タイミング終了日時の前にあるならば、オーダ有効日時が優先する。ORCの中で識別されたオーダが子を持っているならば、開始しなかった子は取り消される必要がある；プロセスに子がいるならば、それは中断される必要がある；子が中断できる点を超えて前進しているならば、その状態は影響されない。

ORC-16 Order Control Code Reason オーダ制御コード理由 (CE) 00230

定義： オーダ制御コード(HL7テーブル0119)によって述べたオーダイベントの理由の説明。コード化したあるいはテキスト形式のどちらでもよい。オーダ特定のセグメント(たとえば、RXO、ORO、OBR)の後のNTEは、その特定のセグメントのためにコメントとなる。もうひとつ、オーダ制御コード理由の目的には、そのオーダイベントの理由を拡張することがある。

ORC-1-オーダ制御がNWであるときは、ORC-16-オーダ制御コード理由に、普通は値を設定しない。ただし、設定できないわけではない。取り消されたオーダのときには、たとえば、このフィールドは、一般的に、キャンセルの理由を説明するために使用される。

良く実証されたアレルギーのために医者からの処方オーダをキャンセルした調剤システムは、このフィールドでアレルギーの事実が多分報告される。

それが薬理相互作用のためにこのオーダをキャンセルしたならば、このフィールドは、相互作用物質の少なくとも名称(およびコード、必要とするならば)となる。文章で相互作用、および相互作用の激しさの程度を述べる。

ORC-17 Entering Organization 入力組織 (CE) 00231

定義： 入力者がオーダを入力/修正した時に属していた組織

ORC-18 Entering Device 入力装置識別 (CE) 00232

定義： オーダを入力するため使用された物理的装置(端末やPC)の識別子

ORC-19 Action By 発動者 (XCN) 00233

定義： 対応するオーダ制御コードによって表されたイベントを発動した人の所属氏名。たとえば、オーダ制御コードがCA(オーダキャンセル依頼)であるならば、このフィールドは、オーダキャンセルを要求した人を表す。

ORC-20 Advanced beneficiary notice code 受益者注意コード (CE) 01310

Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (IS)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (IS)>

定義： このフィールドは患者もしくは患者の責任で保険外のサービスに対して費用の支払うことを保証していない状態を示す。この要素は、H C F Aの条件を満たす為に導入された。

参照： 使用者定義テーブル 0339 – Advanced beneficiary notice code

使用者定義テーブル 0339 – Advanced beneficiary notice code

Value	Description
1	Service is subject to medical necessity procedures サービスは医学の必要性がある手続きである
2	Patient has been informed of responsibility, and agrees to pay for service 患者は支払いの義務があり、それを通知されている
3	Patient has been informed of responsibility, and asks that the payer be billed 患者は支払いを了承し請求書を送ることを要求し
4	Advanced Beneficiary Notice has not been signed 受益者注意はサインされていない

ORC-21 Ordering facility name オーダ施設名 (XON) 01311

Components: <organization name (ST)> ^ <organization name type code (IS)> ^ <ID Number (NM)> ^ <check digit (NM)> ^ <code identifying the check digit scheme employed (ID)> ^ <assigning authority (HD)> ^ <identifier type code (IS)> ^ <assigning facility ID (HD)> ^ <name representation code (ID)>

Subcomponents of assigning authority: <namespace ID (IS)> & <universal ID (ST)> & <universal ID type (ID)>

Subcomponents of assigning facility: <namespace ID (IS)> & <universal ID (ST)> & <universal ID type (ID)>

定義： このフィールドは、オーダの発行者施設を記述する

- ORC-22 Ordering facility address オーダ施設住所 (XAD) 01312**
 Components: In Version 2.3 and later, replaces the AD data type. <street address (SAD)> ^ <other designation (ST)> ^ <city (ST)> ^ <state or province (ST)> ^ <zip or postal code (ST)> ^ <country (ID)> ^ <address type (ID)> ^ <other geographic designation (ST)> ^ <county/parish code (IS)> ^ <census tract (IS)> ^ <address representation code (ID)> ^ <address validity range (DR)>
 定義： このフィールドは、オーダの発行者施設の住所を記述する
- ORC-23 Ordering facility phone number オーダ施設電話番号 (XTN) 01313**
 Components: [NNN] [(999)]999-9999 [X99999] [B99999] [C any text] ^ <telecommunication use code (ID)> ^ <telecommunication equipment type (ID)> ^ <email address (ST)> ^ <country code (NM)> ^ <area/city code (NM)> ^ <phone number (NM)> ^ <extension (NM)> ^ <any text (ST)>
 定義： このフィールドは、オーダの発行施設の電話番号を記述する
- ORC-24 Ordering provider address オーダ提供者住所 (XAD) 01314**
 Components: In Version 2.3 and later, replaces the AD data type. <street address (SAD)> ^ <other designation (ST)> ^ <city (ST)> ^ <state or province (ST)> ^ <zip or postal code (ST)> ^ <country (ID)> ^ <address type (ID)> ^ <other geographic designation (ST)> ^ <county/parish code (IS)> ^ <census tract (IS)> ^ <address representation code (ID)> ^ <address validity range (DR)>
 定義： このフィールドは、オーダの医療提供者住所を記述する
- ORC-25 Order status modifier オーダ状態変更 (CWE) 01473**
 Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (IS)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (IS)> ^ <coding system version ID (ST)> ^ <alternate coding system version ID (ST)> ^ <original text (ST)>
 定義： このフィールドは、ORC-5 オーダ状態の変更、または、再生の記述する。定義されたオーダ状態コードの追加のレベル特性、もしくは追加の情報を提供する為に使われる。このオーダ状態はHL7により定義されたものとは異なり、APにより状態コードを任意に設定できる。データタイプはCEである。
 使用規則： このフィールドは ORC-5 状態が指定されていれば 使用される。
- ORC-26 Order status modifier 事前保険金受給通知上書き理由 (CWE) 01641**
 Components: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>
 定義： このフィールドは、患者が受益者注意コードにサインしない理由を含む。理由はコード化されるか或いは自由なテキスト形式で入力される。
 条件： このフィールドは ORC-20 受益者注意コードの値が、通知にサインされていない場合に要求される。例えば、ORC-20 が利用者定義表 0339—受益者注意コードに 3 或いは 4 の値が入力されている場合、または、関連する外部コード表で同様の値は入力されている場合、追加の資格或いは説明のための情報が正しい値として認められる。
- ORC-27 Filler's Expected Availability Date/Time 実施者サービス可能日時 (TS) 01642**
 Components: <Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>
 定義： このフィールドは、実施者がサービス可能な日時を指定する。例えば、処方箋が受け取り可能或いは研究結果が可能となる場合に記述する。
- ORC-28 Confidentiality Code 守秘コード (CWE) 00615**
 Components: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>
 定義： このフィールドは、オーダを取り巻くセキュリティレベル又或いは注意度に関する情報を含む。(例えば嚴重注意、注意不要、注意など)。可能な値に関しては、HL7 表 0177 — 守秘コード を参照のこと。特別な守秘レベルを持つデータの処理に関しては、現場特殊な交渉に委ねる。

HL7 表 0177 – 守秘コード

値	内容	コメント
AID	AIDS patient	
EMP	Employee	
ETH	Alcohol/drug treatment patient	
HIV	HIV(+) patient	
PSY	Psychiatric patient	
R	Restricted	
U	Usual control	
UWM	Unwed mother	
V	Very restricted	
VIP	Very important person or celebrity	

ORC-29 Order Type オーダタイプ (CWE) 01643

Components: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：このフィールドは、オーダが入院患者にセット、あるいは外来患者にセットされ実行されるかどうかを示している。もし、このフィールドが値を持っていないければ、システムのデフォルト値がとられる。推奨値に関しては、HL7 表 0482 – オーダタイプを参照のこと。

例：理学療法を続行するために発行されるオーダを取り消す前に、或いは地域薬局で処方箋をもらうオーダを取り消す前は、その患者は、PV1 によると入院患者だが、そのオーダ自体は外来患者に発行される場合。.

HL7 表 0482 – オーダタイプ

値	内容	コメント
I	入院患者オーダ	
O	外来患者オーダ	

ORC-30 Enterer Authorization Mode 承認モード入力 (CNE) 01644

Components: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：このフィールドは、オーダを作成或いは変更する責任を持った実行者からの記録を承認する形態を示している。推奨値に関しては、HL7 表 0483 承認モード f を参照のこと。

HL7 表 0483 – 承認モード

値	内容	コメント
EL	電子的	
EM	E-mail	
FX	Fax	
IP	本人自ら	
MA	Mail	
PA	紙	
PH	電話	

値	内容	コメント
RE	再帰的 (自動化システム)	
VC	TV 会議	
VO	口頭	

7.6 OBR - Observation Request Segment 検査要求セグメント

概説(ASTM 1238-91から抜粋)

検査要求(OBR)セグメントは、診断、検査、身体検査あるいは所見などを要求するオーダに特有な情報を伝送する。

検査要求セグメントは、診断要求(たとえば生理検査、EKG)あるいは検査要求(たとえば生体検査、身体検査)など特定要求の属性を定義する。依頼者があるまとまった検査を要求する場合、必ずオーダセグメントを指定する。画像検査(たとえば胸部X線検査)では通常、個々の検査ごとに一つの独立したオーダセグメントを生成する。

図4-8にOBRセグメント属性一覧を示す。このセグメント内の(+)項目は依頼者ではなく実施者が作成し、その値は、OBRセグメントが報告書の一部として返信されたとき必要に応じて設定する。したがって、実施者が新規オーダを受理する場合、(+)項目の値を設定することはない。ただし実施者がオーダを開始する場合は例外である。その場合、実施者オーダ番号が設定されるが、依頼者オーダ番号はblankでもよい。

OBR-7-検査日時およびOBR-8-検査終了日時は検査時間である。放射線検査の場合は、検査の開始・終了時刻を表す。

OBR属性

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RP/#	ITEM #	ELEMENT NAME	NOTE
1	4	SI	O	R		00237	Set ID - Observation Request ID設定 - 検査要求	
2	22	EI	C	R		00216	Placer Order Number 依頼者オーダ番号	
3	22	EI	C	O		00217	Filler Order Number + 実施者オーダ番号	
4	250	CE	R	R		00238	Universal Service ID 検査項目群ID	
5	2	ID	X	O		00239	Priority 優先度	
6	26	TS	X	O		00240	Requested Date/time 要求日時	
7	26	TS	C	O		00241	Observation Date/Time 検査日時	
8	26	TS	O	O		00242	Observation End Date/Time 検査終了日時	
9	20	CQ	O	N		00243	Collection Volume 採取量	
10	250	XCN	O	N	Y	00244	Collector Identifier 採取者識別子	
11	1	ID	O	N		00245	Specimen Action Code 検体処置コード	
12	250	CE	O	O		00246	Danger Code 危険(検体)コード	
13	300	ST	O	O		00247	Relevant Clinical Info. 関連臨床情報	
14	26	TS	B	N		00248	Specimen Received Date/Time 検体受理日時	
15	300	SPS	B	N		00249	Specimen Source 検体採取元	
16	250	XCN	O	O	Y	00226	Ordering Provider 依頼者	
17	250	XTN	O	O	2	00250	Order Callback Phone Number オーダコールバック用電話番号	
18	60	ST	O	O		00251	Placer field 1 依頼者フィールド1	
19	60	ST	O	O		00252	Placer field 2 依頼者フィールド2	
20	60	ST	O	O		00253	Filler Field 1 + 実施者フィールド1	
21	60	ST	O	O		00254	Filler Field 2 + 実施者フィールド2	
22	26	TS	C	O		00255	Results Rpt/Status Chng - Date/Time + 結果報告/状態変更-日時	
23	40	MOC	O	O		00256	Charge to Practice + 課金	
24	10	ID	O	O		00257	Diagnostic Serv Sect ID 診断部門ID	
25	1	ID	C	O		00258	Result Status + 結果状態	
26	400	PRL	O	O		00259	Parent Result + 親結果	
27	200	TQ	B	R	Y	00221	Quantity/Timing 数量/タイミング	
28	250	XCN	O	O	Y	00260	Result Copies To 結果配布先	
29	200	EIP	O	O		00261	Parent Number 親番号	子の場合は必須
30	20	ID	O	O		00262	Transportation Mode 患者移動モード	
31	250	CE	O	O	Y	00263	Reason for Study 検査理由	
32	200	NDL	O	O		00264	Principal Result Interpreter + 結果判定責任者	
33	200	NDL	O	O	Y	00265	Assistant Result Interpreter + 結果判定アシスタント	
34	200	NDL	O	O	Y	00266	Technician + 医療技術者	
35	200	NDL	O	O	Y	00267	Transcriptionist + 口述記録者	
36	26	TS	O	O		00268	Scheduled Date/Time + 予定日時	
37	4	NM	O	N		01028	Number of Sample Containers 検体容器数	
38	250	CE	O	N	Y	01029	Transport Logistics of Collected Sample 採取検体搬送	
39	250	CE	O	N	Y	01030	Collector's Comment 採取者コメント	
40	250	CE	O	O		01031	Transport Arrangement Responsibility 搬送調整者	

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RP/#	ITEM #	ELEMENT NAME	NOTE
41	30	ID	O	O		01032	Transport Arranged 搬送調整結果	
42	1	ID	O	O		01033	Escort Required 随行者要否	
43	250	CE	O	O	Y	01034	Planned Patient Transport Comment 計画患者搬送コメント	
44	250	CE	O	O	N	00393	Procedure Code 手続きコード	
45	250	CE	O	O	Y	01316	Procedure Code Modifier 手続きコード修飾子	
46	250	CE	O	O	Y	01474	Placer Supplemental Service Information 依頼者補給サービス情報	
47	250	CE	O	O	Y	01475	Filler Supplemental Service Information 実施補給サービス情報	
48	250	CWE	C	C	N	01646	Medically Necessary Duplicate Procedure Reason 医学的に必要な複製手続き理由	
49	2	IS	O	O	N	01647	Result Handling 結果操作	

+ : 検査依頼の場合は使用しない

Optionality

- R - required
- O - optional
- C - conditional on the trigger event or on some other field(s)
- X - not used with this trigger event
- B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7

Japan (JAHIS仕様での取り扱い)

- R - required
- O - optional
- C - conditional on the trigger event or on some other field(s)
- X - not used with this trigger event
- B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7
- N - not used useally. use only on the site

Repetition

- N - no repetition
- Y - the field may repeat an indefinite or site determined number of times (integer)- the field may repeat up to the number of times specified in the integer

OBRフィールド定義

OBR-1 Set ID - Observation Request セットID-OBR (SI) 00237

定義： 最初の送信オーダには通し番号1が割り当てられ、2番目のオーダには通し番号2が割り当てられるものとする。3番目以降同様。

上位ORCに対する通番。初期値1、増分1。

同一ORCセグメントに対して1から付番される通し番号。

OBR-2 Placer Order Number 依頼者オーダ番号 (EI) 00216

定義： ORC-2-依頼者オーダ番号に同じ。

第1成分は最大15文字の文字列で個々のOBRを識別する。これは依頼者(依頼アプリケーション)によって割り当てられ、ある依頼アプリケーションから送信されるすべてのオーダの中から特定のオーダを一意に識別する。アプリケーションIDは最大6文字の文字列で、特定のアプリケーションと一意に結び付けられている。

複数の検査オーダを一意に識別できる15文字までの文字列から構成されるオーダ番号。

OBR-3 Filler Order Number 実施者オーダ番号 (EI) 00217

定義： オーダおよびその関連する検査に対する永久的な識別子。

第1成分は個々のOBRを識別する文字列である。これは実施(受信)アプリケーションによって割り当てられ、ある実施アプリケーションからのすべてのオーダの中から特定のオーダを一意に識別する。第2成分は実施アプリケーションIDである。OBR-3-実施者オーダ番号はORC-3と同一である。

OBR-4 Universal Service ID 検査項目群ID (CE) 00238

定義： 要求された検査/試験/セットの識別子コード。このコードは、ローカル・コードまたは”汎用”コードのいずれか、もしくはその両方を基準に設定できる。”汎用”手順による

識別子を使用することが望ましい。

【放射線】親オーダの場合は検査種別を指定するコードを設定する。例えば、X線単純撮影、CTなどを指定するコードである。子オーダの場合は検査部位を指定するコードを設定する。例えば、胸部、腹部などを指定するコードである。

また、"汎用"コードとしては、JJ1017 Ver 3.0を使用することが望ましい。JJ1017 Ver 3.0を使用する場合の規約を、「付録2 JJ1017 Ver3.0の使用規約」に示す。

OBR-5 Priority 優先度 (ID) 00239

定義： 使用せず。以前の優先度はOBR-27-数量/タイミングの第6成分で指示する。

OBR-6 Requested Date/Time 要求日時 (TS) 00240

定義： このフィールドは単に下位互換性のためだけに残されている。これは使用しない。以前の要求日付/時間は、OBR-27-数量/タイミングの第4の成分中で指示する。

OBR-7 Observation Date/Time 検査日時 (TS) 00241

定義： 検査開始日時。

OBR-8 Observation End Date/Time 検査終了日時 (TS) 00242

定義： 検査終了日時。

OBR-9 Collection Volume 採取量 (CQ) 00243

定義： 検体検査の場合検体量。

【放射線】放射線では使用しない。

OBR-10 Collector Identifier 採取者ID (XCN) 00244

定義： 検体検査が要求された場合、このフィールドは、検体を採取した個人、部門あるいは施設を識別する。

【放射線】放射線では使用しない。

OBR-11 Specimen Action Code 検体処置コード (ID) 00245

定義： このオーダに伴ってあるいは先行して実施される検体処置。

【放射線】放射線では使用しない。

OBR-12 Danger Code 危険(検体)コード (CE) 00535

定義： 危険であることが知られている、あるいは疑われる患者・検体を示すコードかテキスト、あるいはその両方(たとえば陽性結核患者、肝炎患者の血液などの感染情報)。コードとテキストのどちらかあるいはいずれも指定しない場合がある。

成分:<危険情報コード(CE)>^<危険情報テキスト(TX)>

OBR-13 Relevant Clinical Information 関連臨床情報 (ST) 00247

定義： このフィールドには、患者に関する追加臨床情報が記述される。このフィールドは、検査診断が要求された場合、疑われる病状や臨床所見を報告するのに使用する。たとえば、血中ガスの二酸化炭素量、パップ試験時の月経周期、および検査診断に影響を及ぼすその他の条件を報告する場合など。

ただし、オーダセグメントの直後に一連のOBXセグメントを追加することで、より構造化された形式でこの種の情報を送ることが可能である。したがって、身体情報(身長・体重やバイタルサインなど)、検査情報、投薬情報などはOBXセグメントを利用することを推奨する。

OBR-14 Specimen Received Date/Time 検体受領日時 (TS) 00248

定義： 診断サービスの実際のログイン時間/検体受領日時。

【放射線】放射線では使用しない。

OBR-15 Specimen Source 検体採取元(検査材料) (SPS) 00249

成分:<検体採取元名あるいはコード(CE)>^<添加剤(TX)>^<フリーテキスト(TX)>^<部位(CE)>^<部位修飾子(CE)>^<採取方法修飾子(CE)>

定義： 検体の採取部位や医療サービスの対象となる部位や検査材料を示す。

【放射線】放射線では使用しない。

- OBR-16 Ordering Provider 依頼者 (XCN) 00226**
 定義： 検査依頼者のID。IDコードあるいは名前、またはその両方を指定できる。これはORC-12-依頼者と同じである。検査依頼医師をセットする。
- OBR-17 Order Callback Phone Number オーダコールバック用電話番 (XTN) 00250**
 定義： 状態あるいは結果を標準フォーマットで報告するさいの電話番号。可能であれば、内線または呼出番号(あるいはその両方)も併せて指定する。
- OBR-18 Placer Field #1 依頼者フィールド#1 (ST) 00251**
 定義： 依頼者フィールド#1。依頼者によって送られたテキストは、結果と共に返される。
- OBR-19 Placer Field #2 依頼者フィールド#2 (ST) 00252**
 定義： 依頼者フィールド#1に類似。
- OBR-20 Filler Field #1 実施者フィールド#1 (ST) 00253**
 定義： 実施者(診断サービス)により任意の使用目的に定義可能。
- OBR-21 Filler Field #2 実施者フィールド#2 (ST) 00254**
 定義： 実施者フィールド#1に類似（実施者により任意の使用目的に定義可能）。
- OBR-22 Results Rpt/Status Cheng - Date/Time 結果報告/状態変更-日時 (TS) 00255**
 定義： 結果の報告日時、あるいは状態の変更日時。このフィールドでは、結果を報告書に書込み・発行した日時を示す。あるいはオーダ状態に定義にされたような状態が入力・変更された日時を示す。通常、依頼側は最後に結果を受信した日時(前回更新日)より後で報告された結果だけ入力すべきである。(電文発信日ではない)
- OBR-23 Charge To Practice 課金 (MOC) 00256**
 HISは検査項目から課金情報を生成する。
- OBR-24 Diagnostic Serv Sect ID 診断サービス部門ID (ID) 00257**
 定義： 診断を実施した診断サービス部門。検査が外部サービスによって実施された場合、そのサービスのIDがここに記録される。採りうる値については、HL7テーブル0074-診断サービス部門ID-を参照のこと。

テーブル 0074 - Diagnostic service section ID 診断サービス部門ID

Value	Description	Value	Description
AU	Audiology	OUS	OB Ultrasound
BG	Blood gases	OT	Occupational Therapy
BLB	Blood bank	OTH	Other
CUS	Cardiac Ultrasound	OSL	Outside Lab
CTH	Cardiac catheterization	PHR	Pharmacy
CT	CAT scan	PT	Physical Therapy
CH	Chemistry	PHY	Physician (Hx. Dx, admission note, etc.)
CP	Cytopathology	PF	Pulmonary function
EC	Electrocardiac (e.g., EKG, EEC, Holter)	RAD	Radiology
EN	Electroneuro (EEG, EMG, EP, PSG)	RX	Radiograph
HM	Hematology	RUS	Radiology ultrasound
ICU	Bedside ICU Monitoring	RC	Respiratory Care (therapy)
IMM	Immunology	RT	Radiation therapy
LAB	Laboratory	SR	Serology
MB	Microbiology	SP	Surgical Pathology
MCB	Mycobacteriology	TX	Toxicology
MYC	Mycology	VUS	Vascular Ultrasound
NMS	Nuclear medicine scan	VR	Virology
NMR	Nuclear magnetic resonance	XRC	Cineradiograph
NRS	Nursing service measures		

OBR-25 Result Status 結果状態 (ID) 00258

定義： このオーダーの結果状態。状態は、オーダーに関連する結果すべてに適用される。オーダー状態の照会のさい、OBXセグメントで実現されるレベルの応答より詳細なレベルの応答が必要でないときに、このフィールドがよく使用される。このフィールドへは、実施者しか値を設定することができない。各結果の状態が必要な場合、OBX-11-検査結果状態を使用することができる。採りうる値については、HL7テーブル0123-結果状態-を参照のこと。

テーブル 0123 - Result status 結果状態

Value	Description
O	Order received; specimen not yet received オーダ受信；検体未到着
I	No results available; specimen received, procedure incomplete 結果無効；検体到着、手続き不完全
S	No results available; procedure scheduled, but not done 結果無効；手続き予定未実施
A	Some, but not all, results available 部分的結果あり
P	Preliminary: A verified early result is available, final results not yet obtained 予備；初期結果確認無効、最終結果未確認
C	Correction to results 結果訂正
R	Results stored; not yet verified 結果ストア；未確認
F	Final results; results stored and verified. Can only be changed with a corrected result. 最終結果；結果格納・確認済。 訂正結果のみ書き換え可能
X	No results available; Order canceled. 結果無効；オーダーキャンセル
Y	No order on record for this test. (Used only on queries) オーダによらない検査結果(参照のみ可能)
Z	No record of this patient. (Used only on queries) 患者に対する結果なし(参照のみ可能)

到着確認時 ‘I’、部分結果報告時 ‘A’、未承認結果報告時 ‘R’、最終結果報告時 ‘F’とする

OBR-26 Parent Result 親結果 (PRL) 00259

Components : <Parent Observation Identifier (CE)> ^ <Parent Observation Sub-identifier (ST)> ^ <Parent Observation Value Descriptor (TX)>

Subcomponents for Parent Observation Identifier (CE) : <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)>

定義： このフィールドは他のタイプ(たとえば毒物学)との連携を可能にするために定義される。この重要な情報は、OBR-29-親番号の情報と組合せて、このオーダーに関する親結果のOBXセグメントを一意に識別する。

OBR-27 Quantity/Timing 数量/タイミング (TQ) 00221

定義： 優先度、数量、頻度およびアトミックサービスのタイミングを決定する。

【放射線】優先度のみ使用する。

Components: <quantity数量 (CQ)> ^ <interval時間間隔 (RI)> ^ <duration継続時間 (ST)> ^ <start date/time開始日時 (TS)> ^ <end date/time終了日時 (TS)> ^ <priority優先度 (ST)> ^ <condition条件 (ST)> ^ <textテキスト (TX)> ^ <conjunction連結 (ID)> ^ <order sequencingオーダーシーケンス化(OSD)> ^ <occurrence duration発生持続(CE)> ^ <total occurrences発生からの合計 (NM)>

優先度は以下に示す通りであるが、優先度を指定しない場合でも、デフォルトの”R”を指定する必要がある、省略はできない。

例) ^^^^^R

Priority component 優先度成分 (ST)

定義： 要求の緊急度を述べる。次の値が提案される(優先度のデフォルトはRである)：

S	= 緊急	最も高い優先度で
A	= できるだけ早く	Sオーダーの後
R	= ルーチン	デフォルト
P	= 術前	
C	= 返信	
T	= タイミングがクリティカル	要求は、要求された時間に最も近いことが重要であるという意味である。 たとえば、抗生物質血中濃度である
PRN	= As Needed	

値『T』(タイミングクリティカル)の程度は次のように明示できる：

Format:

TS<integer>	=	秒以内で
TM<integer>	=	分以内で
TH<integer>	=	時間以内で
TD<integer>	=	日以内で
TW<integer>	=	週以内で
TL<integer>	=	月以内で

OBR-28 Result Copies To 結果配布先 (XCN) 00260

定義： 検査報告書を受け取る人。ローカルの取り決めによって、ID番号あるいは名前のいずれかを省略してもよい。報告書送付先として科別や病棟を指示してもよい。

OBR-29 Parent Number 親番号 (EIP) 00261

定義： ORC-8-親と同一。但し、ORUメッセージ（到着確認／検査結果）では、ORMメッセージのORC-2(,ORC-3)と同一。子オーダの場合に、このフィールドが必要になる。親フィールドには、成分が2つある。第1成分には親の依頼者オーダ番号が入る。第2成分はオプションであり、ここには親の実施者オーダ番号が入る。このフィールドは、副成分をもつ、依頼者オーダ番号成分と実施者オーダ番号成分の2つの成分で伝達される。

OBR-30 Transportation Mode 患者移動モード (ID) 00262

定義： 適用可能な場合、患者を移動するかどうか(あるいは移動方法)。採りうる値に関しては、HL7テーブル0124-患者移動モードを参照のこと

テーブル 0124 - Transportation Mode 移動モード

Value	Description
CART	Cart – patient travels on cart or gurney 患者はカートまたは担架で移動する
PORT	The examining device goes to patient's location 検査装置が患者のもとへ移動する
WALK	Patient walks to diagnostic service 患者は歩行により移動する
WHLC	Wheelchair 車いすを使用する

OBR-31 Reason For Study 検査理由 (CE) 00263

定義： 適切な回答をうるのにこのフィールドを使用しなければならない検査もある。

OBR-32 Principal Result Interpreter 結果判定責任者 (NDL) 00264

定義： 検査を診断し、報告書の内容に責任を負う医師あるいは臨床医のID。

OBR-33 Assistant Result Interpreter 結果判定アシスタント (NDL) 00265

定義： この検査の診断を支援した立会臨床医。

OBR-34 Technician 医療技術者 (NDL) 00266

定義： 実施担当臨床技師。

OBR-35 Transcriptionist 口述筆記者 (NDL) 00267

定義： 報告書の口述筆記を担当する人、通常は本フィールドは使用しない。

OBR-36 Scheduled - Date/Time スケジュール日時 (TS) 00268

定義： 実施者がスケジュールした検査日時。このフィールドは、ある特定の検査をスケジュールして欲しいという要求に対する結果を表しており、これによりスケジュールされた検査日時を依頼者に通知することができる(結果専用)。

OBR-37 Number Of Sample Containers 検体容器数 (NM) 01028

定義： 受領検体容器の数。

【放射線】放射線では使用しない。

OBR-38 Transport Logistics Of Collected Sample 採取検体搬送 (CE) 01029

定義： このフィールドは診断サービス実施者への検体到着で意味がある。

【放射線】放射線では使用しない。

OBR-39 Collector's Comment 採取者コメント (CE) 01030

定義： 検体に関する付加的コメント。

【放射線】放射線では使用しない。

OBR-40 Transport Arrangement Responsibility 搬送調整者 (CE) 01031

定義：予約検査などで検体搬送の手配などを行った者。例えば依頼者、実施者、患者など。

OBR-41 Transport Arranged 搬送調整結果 (ID) 01032

定義：検体搬送手配の結果状態。

テーブル 0224 - Transport Arranged 搬送調整

Value	Description
A	Arranged 手配済み
N	Not Arranged 未手配
U	Unknown 不明

OBR-42 Escort Required 随行者要否 (ID) 01033

定義：患者が診断サービス部門へ出向くに必要な随行者の要否。OBR-43の併用が一般的。

テーブル 0225 - Escort Required 随行者要否

Value	Description
R	Required 必要
N	Not Required 不要
U	Unknown 不明

OBR-43 Planned Patient Transport Comment 患者搬送コメント (CE) 01034

定義：患者が診断サービス部門へ出向く際の搬送や随行に関するコメント。

OBR-44 Procedure code 手続きコード (CE) 00393

Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (IS)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (IS)>

定義：このフィールドのもしあればフィールド4において報告された汎用サービスIDと共に関連した手続きに割り当てられた唯一の識別子である。使用者定義テーブル 0088－手続きコード（HL7-節 6.5.4.3 参照）に定義されたテーブルの値を使用される。このフィールドは、臨床関連のシステムと互換性を取る為CEタイプである。

OBR-45 Procedure code modifier 手続きコード修飾子 (CE) 01316

Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (IS)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (IS)>

定義：このフィールドはフィールド44において報告された手続きコードに適用できれば手続きコード修飾子を含む。

OBR-46 Placer supplemental service information 依頼者補給サービス情報 (CE) 01474

Components: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)>

定義：このフィールドは、依頼者システムから OBR-4 汎用サービス ID で報告された手続きコードにより実施者システムまで送られた補給サービス情報を含む。このフィールドは OBR セグメントの他の不明なオーダ詳細情報を解決する為に使われる。多重補給サービス情報要素は報告される。

参照： 使用者定義テーブル 0411 - Supplemental service information values.

このフィールドは、検査が右、または、左に行われるべきであるかどうかのような詳細について述べるために使われ得る。例えば、腕の治療及びオーダは右か左かを区別しないし、また、その治療が対比されるかに関わらない（オーダ基本ファイルがそのような区別をしないとき）。

【放射線】撮影方向や部位の左右記述（右方向、右手など）については、OBR-4 Universal Service ID にコード化して記述することを推奨する。

OBR-47 Filler supplemental service information 実施者補給サービス情報 (CE) 01475

Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (IS)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (IS)>

定義：このフィールドは、OBR-4 汎用サービス ID によって報告された処置コードにより依頼者システムから実施者システムに送られる補給サービス情報として使われる。このフィールドは OBR セグメントの他の不明なオーダ詳細情報を解決する為に使われる。典型的に、それは OBR-46 依頼者補給情報により実施者システムに反映される、そのオーダが修正されない限り実施者システムは実際にこれを用いて遂行された物のどちらかのケースを報告するのに使われる。多重補給サービス情報要素は報告される。

参照：使用者定義テーブル 0411 - *Supplemental service information values*.

このフィールドは、検査が右、または、左に行われるべきであるかどうかのような詳細について述べるために使われ得る。例えば、腕の治療及びオーダは右か左かを区別しないし、その治療が対比されるかに関わらない（オーダ基本ファイルがそのような区別をしないとき）。

使用者定義テーブル 0411 - Supplemental service information values

Value	Description
	No suggested values Individual implementations may use vocabularies such as the SNOMED DICOM Micro-glossary (SDM) or private (local) entries. 特別な導入では SNOMED や DICOM, マイクログロッサリ, そして私用な物も用いられる

OBR-48 Medically Necessary Duplicate Procedure Reason 医学的に必要な複製手続き理由 (CWE) 01646

Components: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：この項目は OBR-44(手続きコード)の理由を文書で証明するために使用される。医学的に必要な事項、患者のために同じ日や以前に行われたサービスなどの複写である。理由はコード化されるかもしれないし、あるいは、それは自由なテキスト・エントリーする。

この項目は会計用情報としてその行為を複写したものである。

OBR-49 Result Handling 検査結果操作 (IS) 01647

定義：結果の取り扱いに関する情報を送信する。例えば、オーダーは、リクエスターへのリターンのための患者に結果(例えば X 線フィルム)が与えられることを明示する。

特別なこと無ければ使用しない。

テーブル 0507 – Observation Result Handling 検査結果操作

Value	Description
F	Film-with-patient
N	Notify provider when ready

7.7 OBX - Observation/Result Segment 検査結果セグメント

OBXセグメントは単一検査あるいは部分検査を転送するのに使用される。それは分割不可能なレポートの最小単位に相当する。その構造を図7-9に要約する。

その主な機能はレポート・メッセージで検査関連情報を伝達することである。しかし、OBXを検査オーダーに含めることもできる。この場合、実施者が作成する検査結果を解釈できるように、実施者が必要とする臨床情報をOBXで伝送する。

OBX属性

SEQ	LEN	DT	OP T	Japan	RP/#	ITEM#	ELEMENT NAME	NOTE
1	4	SI	O	O		00569	Set ID – Observational SimpleセットID	
2	2	ID	C	R		00570	Value Type 値型	
3	250	CE	R	R		00571	Observation Identifier 検査項目	
4	20	ST	C	C		00572	Observation Sub-ID 検査副ID	
5	65536	*	C	C	Y	00573	Observation Value 検査値	
6	250	CE	O	O		00574	Units 単位	
7	60	ST	O	N		00575	References Range 基準値範囲	
8	5	IS	O	O	5	00576	Abnormal Flags 異常フラグ	
9	5	NM	O	N		00577	Probability 確率	
10	2	ID	O	N	Y	00578	Nature of Abnormal Test 異常検査の性質	
11	1	ID	R	R		00579	Observ Result Status 検査結果状態	
12	26	TS	O	N		00580	Date Last Obs Normal Values 最終検査正常値日付	
13	20	ST	O	N		00581	User Defined Access Checks 使用者定義アクセス点検	
14	26	TS	O	O		00582	Date/Time of the Observation 検査日時	
15	250	CE	O	O		00583	Producer's ID 実施者ID	
16	250	XCN	O	O	Y	00584	Responsible Observer 検査責任者	
17	250	CE	O	N	Y	00936	Observation Method 検査方法	
18	22	EI	O	O	Y	01479	Equipment Instance Identifier 装置コード	
19	26	TS	O	O		01480	Date/Time of the Analysis 分析日付	

Optionality

- R - required
- O - optional
- C - conditional on the trigger event or on some other field(s)
- X - not used with this trigger event
- B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7

Japan (JAHIS仕様での取り扱い)

- R - required
- O - optional
- C - conditional on the trigger event or on some other field(s)
- X - not used with this trigger event
- B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7
- N - not used usually, use only on the site

Repetition

- N - no repetition
- Y - the field may repeat an indefinite or site determined number of times
- (integer)- the field may repeat up to the number of times specified in the integer

検査結果コメントの例

検査材料、検査方法、検査結果への補足、検査できなかったことへの説明、などのコメントは検査結果のOBXに続くOBXで表現する。コメントの値型はSTやTXが代表的と考えられるがコメントコードでの運用しか出来ない場合は二者間の協議で値型CEでコードでの運用も可能である。出来る限りコメント内容に制限のないフリーテキストを推奨する。

OBXフィールド定義

OBX-1 Set ID - Observation Simple セットID-単純検査 (SI) 00569

定義： 同一のOBRセグメントに対し1から付番される通し番号。

OBX-2 Value Type値型 (ID) 00570

定義: OBX内の検査結果値のフォーマット。値がCEである場合、結果はコード化入力値でなければならない。値型がTXまたはFTである場合、結果はテキスト群である。値型の検査で採りうる値はHL7テーブル0125-値型に列記される(5.4データ型を参照)。たとえば、PNは成分区切り文字により分離した6つの成分から成る。NMは有効な型であるが、通常数字として報告される検査では、結果の一部として非数値文字が報告されることがあるので(結果が測定器で計りきれないことを示すために>300を使う場合など)、文字列(ST)データ型を持つことがある。たとえば">300"では、">"は記号であり桁"300"は数値と考えられる。以下を除くすべてのHL7データ型が有効である。

CM: 特定のデータ型でないから、

CQ: OBX-5-検査値の単位は、OBX-6-単位に必ず明示的に指定されるから、

SIシーケンスID: HL7メッセージセグメント以外に適用されないから。

実際の検査値がOBXでは送られていないが、他のどこかに存在する場合、RP値(参照ポインタ)を使用しなければならない。たとえば、検査が画像(ドキュメント関連画像あるいは医学関連画像)から成る場合、画像そのものはOBXで送ることができない。その場合送信システムは、参照ポインタを送信するよう選択することができる。受信システム側は、ACR-NEMAなどの他の標準インターフェースにより、あるいは適切なデータベースサーバーにより実際の画像へアクセスする必要がある場合は、いつでもこの参照ポインタを使用することができる。

テーブル 0125 - Value type 値型

Value	Description
AD	Address
CE	Coded Entry
CF	Coded Element With Formatted Values
CK	Composite ID With Check Digit
CN	Composite ID And Name
CP	Composite Price
CX	Extended Composite ID With Check Digit
DT	Date
ED	Encapsulated Data
FT	Formatted Text (Display)
MO	Money
NM	Numeric
PN	Person Name
RP	Reference Pointer
SN	Structured Numeric
ST	String Data.
TM	Time
TN	Telephone Number
TS	Time Stamp (Date & Time)
TX	Text Data (Display)
XAD	Extended Address
XCN	Extended Composite Name And Number For Persons
XON	Extended Composite Name And Number For Organizations
XPN	Extended Person Number
XTN	Extended Telecommunications Number

値型の構成成分については 6.4データ型を参照のこと

OBX-3 Observation Identifier 検査項目ID (CE) 00571

成分: <識別子> ^ <テキスト> ^ <コーディング方式名> ^ <代替識別子> ^ <代替テキスト> ^ <代替コーディング方式名>

定義: 検査項目を表す一意な識別子。検査結果コメントをセットする場合検査項目IDを接尾辞で修飾したコードを用いる。検査結果コメントの扱いを参照。

大半のシステムでは、識別子は受信システムが検査情報を処理するために、他の検査属性を列記した検査項目マスタテーブルを参照するために使用される。検査IDと検査項目マスタテーブルとの関係は、請求記録中の課金コードと課金マスタテーブルの関係に類似している。

OBX-4 Observation Sub-ID 検査サブID (ST) 00572

定義: 1つのOBRの下で編成された複数のOBXセグメントが同じ検査項目IDを持つ場合、それぞれのOBXセグメントを識別するのに使う。たとえば、胸部X線レポートには独立した3つの診断が含まれることがある。標準では、3つのOBXセグメント(1つの診断所見に1つのOBXセグメント)が必要である。これらのOBXセグメントの1番目のサブIDに1、2番目のサブIDに2、

および3番目のサブIDに3を入れることにより、HL7は、編集あるいは交換に際し各OBXセグメントを一意に識別することができる。

サブ識別子は、外科病理学などのレポートで関連成分をグループ化するのにも使われる。外科病理学レポートでは、1回の手術により得られた組織をすべて1つのレポートにまとめるということは昔からよくある。胆嚢および虫垂の検査を記述した単一の外科病理学レポートを考えてみる。このレポートは概ね図7-10に示すように転送されるだろう。

図 7-10. Example of sub-identifier usage

```
OBR|1|||88304&SURG PATH REPORT...
OBX|1|CE|88304&ANT|1|T57000^GALLBLADDER^SNM...
OBX|2|TX|88304&GDT|1|THIS IS A NORMAL GALLBLADDER...
OBX|3|TX|88304&MDT|1|MICROSCOPIC EXAM SHOWS HISTOLOGICALLY
    NORMAL GALLBLADDER TISSUE...
OBX|4|CE|88364&IMP|1|M-00100^NML^SNM...
OBX|5|CE|88304&ANT|2|T66000^APPENDIX^SNM...
OBX|6|TX|88304&GDT|2|THIS IS A RED, INFLAMED, SWOLLEN, BOGGY APPENDIX...
OBX|7|TX|88304&MDT|2|INFILTRATION WITH MANY PMN's - INDICATING INFLAMMATORY
    CHANGE...
OBX|8|CE|88304&IMP|2|M-40000^INFLAMMATION NOS^SNM...
```

図7-10の例では、レポートの各成分に対して2つのセグメントがある(2つある組織のそれぞれに対して1つのセグメント)。このように、88304&ANTセグメントが2個存在する；88304&GDTセグメントが2個存在する。88304&MDTセグメントが2個存在する。胆嚢に適用されるセグメントはすべてサブ識別子として1を持つ。虫垂に適用されるセグメントはすべてサブ識別子「2」を持つ。

OBX-5 Observation Value 検査結果値 (*) 00573

定義： 検査実施者により検査された検査結果値。検査結果値はこのセグメント中のOBX-2一値型で設定されるデータ型に応じて表記される。このフィールドはOBXセグメントの必須フィールドである。数値なのかあるいは短いテキストなのかどうかに拘らず、回答はASCII文字コードで記録されるものとする。

数値型の検査結果であっても比較演算子や接尾辞を持つ場合、値型が文字列STの場合と構造化数値SNの場合によって、検査結果値の表記が異なるので注意、例えば、ST型では100以上(>100)や2+であるが、SN型では>^100や^2^+となる。可能な限りSN型を使用することを推奨する。

論理上独立している検査の報告

放射線検査や「病歴・身体計測」などの叙述的レポートの主要箇所は、個別のOBXセグメントとして報告される。また、論理上独立している個々の検査は、個別のOBXセグメントで報告すべきである；つまり、1個のOBXセグメントには、論理上独立している複数検査の“結果”を含んではならない。この要求事項により、OBX-6一単位およびOBX-8一異常フラグ、およびOBX-9一確率の内容が明白に解釈ができるようになる。たとえば電解質およびバイタルサイン・セットは、4つの個別のOBXセグメントとして報告されるだろう。2つの診断(うつ血性心不全と肺炎など)は、それが退院サマリの一部として報告されたのかあるいは胸部X線レポートの一部として報告されたのかに拘らず、さらに2つの個別のOBXセグメントとして報告されるだろう。同様に、単一の細菌培養内で分離された2つの細菌性生物は、2つの個別のOBXセグメントとして報告されるだろう。

1つのOBXセグメントで、独立した2つの診断“記述文”を報告することはできないが、2つの診断“記述文”がそれぞれ一部(修飾子)として一緒になって1つの診断記述文を構築するのであれば、定性値として複数回答することができる(通常、反復区切り文字により分離されたCEデータ型として)。たとえば、右上葉(1つのコードとして記録される)と肺炎(別のコードとして記録される)の両方を1つのOBXセグメントで報告できるだろう。そのような複数の“値”は反復区切り文字により分離されるだろう。

共通の検査IDとサブIDを持つ複数のOBXセグメント

いくつかのシステムでは、単一の検査に複数データ型の“一部”が含まれることがある。よくある例は、数値結果の後にコード化注記(CE)が続くことである。この場合、論理検査情報は複数のOBXセグメントで送ることができる。たとえば、あるセグメントは、数値結果を表すための数値データ型あるいは文字列データ型であるが、もう1つのセグメントはコード化注

記を表すCEデータ型である場合など。実施者が複数のコード化注記を報告しているとする、その複数のコード化注記はすべて単一の論理検査情報を修正してしまうので、反復区切り文字で分離された1つのOBXセグメントで送信されるだろう。同じ検査IDとサブIDを持つ複数のOBXセグメントは、最も重要なOBXセグメント(正常なフラグ/単位、および/あるいは、基準値および状態フラグを持つOBXセグメント)を最初に指定して、常に連続して送信すべきである。OBX6~12の値は、同じOBX-3-検査項目とOBX-4-検査サブIDを持つ後続のOBXセグメントではnullとすべきである。置換または削除をする場合、同じ検査IDとサブIDを持つ複数のOBXセグメントは1単位として扱われる。どれか1つが置換または削除されると、すべてが置換される。

コード化値

OBXセグメントにCEデータ型の値が含まれる場合、検査はコードおよび(または)テキストの組合せとして保管される。(「OBR 1」の1番目と2番目のOBXセグメント、「OBR 2」の1番目と2番目のOBXセグメントに記述されている結果。)検査は、(推奨検査を表す)検査セットID、(診断を表す)診断コードか所見、または病理学レポートで使う部位、あるいは他の任意の種類のコッド化結果などである。

コード化検査に保管された情報は必ずしもコード化する必要はない。たとえば、胸部X線診断がCEデータ型であったとしても、純粋テキストとして転送することができるだろう。この場合は、たとえば以下のように記述して、“結果コード”の第2成分としてテストを記録しなければならない。

OBX|1|CE|71020&IMP|1|^CONGESTIVE HEART FAILURE.

しかし、個別の診断、指導などは、純粋テキストとして記録するとしても、個別の結果セグメントに記録すべきである。すなわち、うっ血性心不全と肺炎は、

OBX|1|CE|71020&IMP|1|^CONGESTIVE HEART FAILURE AND PNEUMONIA|

ように送信するのではなく、以下のように送信すること。

OBX|1|CE|71020&IMP|1|^CONGESTIVE HEART FAILURE|

OBX|2|CE|71020&IMP|2|^PNEUMONIA|.

テキスト記述(成分2)の代わりに、あるいはテキスト記述(成分2)に加えて、コンピュータが理解し得るコードを含む完全コード化結果(成分1)を送信すればさらによい。

OBX-6 Units 単位 (CE) 00574

定義： 単位のデータ型はCEデータ型である。

OBX-7 References Range 基準値範囲 (ST) 00575

定義： 検査で有毒物質の量を計測する場合、範囲の上限により毒性限界を表す。

【放射線】放射線検査では使用しない。

OBX-8 Abnormal Flags 異常フラグ (ID) 00576

定義： 結果の正常状態を示すテーブルルックアップ。所見（正常、異常）フラグに用いる。

OBX-9 Probability 確率 (NM) 00577

定義： 定性値を持つ結果の場合、結果が真である確率(結果が特定のコードとなる確率)。

【放射線】放射線検査では使用しない。

OBX-10 Nature Of Abnormal Test 異常検査の特質 (ID) 00578

定義： 判定の元になった集団を指示。

【放射線】放射線検査では使用しない。

OBX-11 Observ Result Status 検査結果状態 (ID) 00579

定義： 採りうるコードについては、HL7テーブル0085-検査結果状態-を参照。このフィールドは、1つの検査項目についての、現在の結果完了状態を反映する。

検査依頼時に動的に検査要求を指定しなければならない場合、たとえば糖負荷試験におけるサンプリング時間（前、30、60、120分など）、OBXセグメントの結果状態を"O"とすることでORMメッセージにおける検査項目の定義として使用できる。その場合検査項目は必須であるがOBX-2、OBX-5はNullである。

【放射線】検査依頼メッセージでは、‘O’のみ使用する。但し、プロフィール情報など検査に必要な情報の場合は、検査依頼メッセージであっても、検査済みのプロフィール情報という意味で、‘P’を使用する。

テーブル 0085 - Observation Result Status Codes Interpretation 検査結果状態

Value	Description
C	Record coming over is a correction and thus replaces a final result 到着レコードは修正であり結果を書き換え
D	Deletes the OBX record OBXレコードを削除する
F	Final results; Can only be changed with a corrected result. 最終結果： 修正結果でのみ変更可能
I	Specimen in lab; results pending 臨床検査室の検体；結果保留
N	Not asked; used to affirmatively document that the observation identified in the OBX was not sought when the universal service ID in OBR-4 implies that it would be sought.
O	Order detail description only (no result) 依頼詳細記述（結果なし）
P	Preliminary results 事前結果
R	Results entered -- not verified 結果を入力 -- 未検証
S	Partial results 部分結果
X	Results cannot be obtained for this observation この検査では、結果は得られない
U	Results status change to Final. Without retransmitting results already sent as 'preliminary'. 結果状態を最終へ変更。結果は変化しなかった(テストを転送しない) たとえば、放射線科により状態が事前から最終へ変更される
W	Post original as wrong, e.g., transmitted for wrong patient

OBX-12 Effective Date Last Obs Normal Value 最新正常値有効日付 (TS) 00580

定義： 測定方法の変更により、旧方式で得られた値が新規方式で得られた値と比較できなくなる場合、そのような測定方法の変更などを表す。

【放射線】放射線検査では使用しない。

OBX-13 User Defined Access Checks 利用者定義アクセス点検 (ST) 00581

定義： これにより実施者は、受信システムで検査を分類するのに使用する結果依存コードを記録できるようになる。

【放射線】放射線検査では使用しない。

OBX-14 Date-Time Of the Observation 検査日時 (TS) 00582

定義： 検査日時は撮影検査が行われた日時である。

OBX-15 Producer's ID 実施者ID (CE) 00583

定義： 検査実施責任者の一意な識別子。

OBX-16 Responsible Observer 検査責任者 (XCN) 00584

定義： 要求された場合、検査に直接責任を負う個人(つまり検査を実行、もしくは検証した人)の識別子。

OBX-17 Observation Method 検査方法 (CE) 00936

定義： 検査項目案内などで公表している検査方法と異なる検査方法を実施した場合などはここに明示する。

【放射線】放射線検査では使用しない。

OBX-18 Equipment instance identifier 装置識別 I D (EI) 01479

Components: <entity identifier (ST)> ^ <namespace ID (IS)> ^ <universal ID (ST)> ^ <universal ID type (ID)>

定義： このフィールドは検査に用いられる装置の識別 I Dである。

OBX-19 Date/time of the analysis 分析日付 (TS) 01480

定義： このフィールドは、実装置 I Dで指定された機器によって分析結果の世代と関連したタイムスタンプを転送する為に使われる。

【放射線】放射線検査では使用しない。

7.8 MSA - Message Acknowledgment Segmentメッセージ応答セグメント

MSAセグメントは、他のメッセージの肯定応答の特性を定義する。

MSA属性

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RP/#	ITEM #	ELEMENT NAME	NOTE
1	2	ID	R	R		00018	Acknowledgment Code 肯定応答コード	
2	20	ST	R	R		00010	Message Control ID メッセージ制御ID	
3	80	ST	B	B		00020	Text Message テキストメッセージ	
4	15	NM	O	O		00021	Expected Sequence Number 予想シーケンス	
5			取消	取消		00022	Delayed Acknowledgment Type 遅延肯定応答タイプ	
6	250	CE	B	B		00023	Error Condition エラー状態	

Optionality

- R - required
- O - optional
- C - conditional on the trigger event or on some other field(s)
- X - not used with this trigger event
- B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7

Japan (JAHIS仕様での取り扱い)

- R - required
- O - optional
- C - conditional on the trigger event or on some other field(s)
- X - not used with this trigger event
- B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7
- N - not used usually. use only on the site

Repetition

- N - no repetition
- Y - the field may repeat an indefinite or site determined number of times
- (integer)- the field may repeat up to the number of times specified in the integer

MSAフィールド定義

MSA-1 Acknowledgment Code 肯定応答コード (ID) 00018

定義： このフィールドでは肯定応答コードを含んでおり、メッセージ処理規則に従っている。
HL7テーブル0008－肯定応答コードを参照。

テーブル 0008 - Acknowledgment Code 肯定応答タイプ

Value	Description
AA	基本モード:アプリケーション受諾 拡張モード:アプリケーション肯定応答:受諾
AE	基本モード:アプリケーションエラー 拡張モード:アプリケーション肯定応答:エラー
AR	基本モード:アプリケーションリジェクト 拡張モード:アプリケーション肯定応答:リジェクト
CA	拡張モード:受諾肯定応答:コミット受諾
CE	拡張モード:受諾肯定応答:コミットエラー
CR	拡張モード:受諾肯定応答:コミットリジェクト

MSA-2 Message Control IDメッセージ制御ID (ST) 00010

定義： このフィールドは送信システムから送られてきたメッセージのメッセージ制御IDを含んでいる。送信システムは、この応答と、それが目的とするメッセージに関連づける。

MSA-3 Text Message テキストメッセージ (ST) 00020

定義： エラー条件をより詳細に記述するオプションのテキストフィールド。このテキストは、エラーログに印刷するか、あるいはエンドユーザに提示することができる。

MSA-4 Expected Sequence Number 次に来るべきシーケンス番号 (NM) 00021

定義： シーケンス番号プロトコルで使用するオプションの数値フィールド。

MSA-5 Delayed Acknowledgment Type 遅延肯定応答タイプ (ID) 00022

定義： このフィールドは下位互換性のためのものである。

テーブル 0102 - Delayed acknowledgment type 遅延肯定応答タイプ

Value	Description
D	メッセージが受領され、後の処理に備えて蓄積された
F	処理の後の承認

注意:MSA-5はv2.2で否定されたので、詳細はv2.5の規格からは削除されている。

MSA-6 Error Condition エラー条件 (CE) 00023

Components: <identifier (ID)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ST)> ^ <alternate identifier (ID)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ST)>

定義：このフィールドは肯定応答システムがユーザ定義のエラーコードを使用し、ARタイプまたはAEタイプの肯定応答をさらに規定することができる。このフィールドは、MSA-3—テキストメッセージの代わりに一般に使われる。

※エラーコードに関しては両者間で調整の上用いる。

7.9 ERR - Error Segment エラーセグメント

ERR セグメントを使用して、エラーコメントを肯定応答メッセージに加える。

ERR属性

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RP/#	TBL#	ITEM #	ELEMENT NAME	NOTE
1	493	ELD	B	B	Y		00024	エラーコードと位置	
2	18	ERL	O	O	Y		01812	エラー位置	
3	705	CWE	R	R		0357	01813	HL7エラーコード	
4	2	ID	R	R		0516	01814	影響度	
5	705	CWE	O	O		0533	01815	アプリケーションエラーコード	
6	80	ST	O	O	10		01816	アプリケーションエラーパラメータ	
7	2048	TX	O	O			01817	診断情報	
8	250	TX	O	O			01818	ユーザメッセージ	
9	20	IS	O	O	Y	0517	01819	人への通知指標	
10	705	CWE	O	O		0518	01820	無効型	
11	705	CWE	O	O	Y	0519	01821	無効理由コード	
12	652	XTN	O	O	Y		01822	ヘルプデスクコンタクトポイント	

Optionality

- R - required
- O - optional
- C - conditional on the trigger event or on some other field(s)
- X - not used with this trigger event
- B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7

Japan (JAHIS仕様での取り扱い)

- R - required
- O - optional
- C - conditional on the trigger event or on some other field(s)
- X - not used with this trigger event
- B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7
- N - not used useally. use only on the site

Repetition

- N - no repetition
- Y - the field may repeat an indefinite or site determined number of times
- (integer)- the field may repeat up to the number of times specified in the integer

ERRフィールド定義

ERR-1 エラーコードとロケーション (ELD) 00024

成分: <セグメント ID (ST)> ^ <セグメントシーケンス (NM)> ^ <フィールドポジション (NM)> ^ <コード識別エラー (CE)>
 コード識別エラーの副成分 for Code Identifying Error (CE): <識別子 (ST)> & <テキスト (ST)> & <コード体系名称 (ID)> &
 <代替識別子 (ST)> & <代替テキスト (ST)> & <代替コード体系名称 (ID)>

定義:このフィールドは別のメッセージ内の誤ったセグメントを識別する。V2.5 のみにおいて下位互換性のため維持される:ERR-2 と ERR-3 をかわりに参照のこと。

有効な値については HL7 表 0357 メッセージエラー条件コード を参照のこと

ERR-2 エラー位置 (ERL) 01812

成分: <セグメントID (ST)> ^ <セグメントシーケンス(NM)> ^ <フィールドポジション (NM)> ^ <フィールド頻度 (NM)> ^ <成分番号 (NM)> ^ <副成分番号 (NM)>

定義:識別されたエラー、警告、もしくはメッセージに関係するメッセージ内の位置を識別する。もし複数の反復が存在した場合、エラーは場所を組み合わせた値に起因する。

ERR-3 HL7 エラーコード (CWE) 01813

成分: <識別子 (ST)> ^ <テキスト (ST)> ^ <コード体系名称 (ID)> ^ <代替識別子 (ST)> ^ <代替テキスト (ST)> ^ <代替コード体系名称 (ID)> ^ <コード体系バージョンID (ST)> ^ <代替コード体系バージョンID (ST)> ^ <オリジナルテキスト (ST)>

定義:HL7(コミュニケーション)エラーコードを識別する。有効な値については HL7 表 0357-メッセージエラー条件コードを参照のこと。

HL7 表 0357 - メッセージエラー条件表

値	説明	コメント
0	メッセージ受諾	成功。オプションでは、AAが成功を伝えるだけ。常時状態コードを返す必要があるシステムのために利用される
100	セグメントシーケンスエラー	エラー:メッセージセグメントが適当な順番でないか、要求されたセグメントが失われている
101	要求されたフィールドの消失	エラー:要求されたセグメントが消失している
102	データ型エラー	エラー:フィールドが不正なエラーを含んでいる。例えば NM フィールドが"FOO"を含んでいる
103	表の値が見つからない	エラー: データ型 ID か IS のフィールドが対応する表と比較され、合致するものがない
200	提供されていないメッセージ型	却下:そのメッセージ型は提供されていない
201	提供されていないイベントコード	却下:そのイベントコードは提供されていない
202	提供されていない処理 ID	却下:その処理 ID は提供されていない
203	提供されていないバージョン ID	却下:そのヴァージョン ID は提供されていない
204	不明なキー識別子	却下: 患者、オーダ等の ID が見つからない。付加以外ではトランザクションに用いられる。例えば存在しない患者の転送
205	キー識別子の重複	却下:患者やオーダ等の ID が既に存在している。付加トランザクションの応答で用いられる(許可、新オーダ等)
206	アプリケーションレコードがロックされている	トランザクションが、アプリケーション格納レベルで実行することができなかった(例えばデータベースのロック)
207	アプリケーション内部エラー	却下: 他のコードで明示的に対象としていない、包括的な内部エラー用

ERR-4 影響度 (ID) 01814

定義:アプリケーションエラーの影響度を識別する。もし何かがエラーであるとわかると、警告や情報にアプリケーションがそのエラー内容に対処する方法が示される。有効な値は HL7 表 0516-エラー影響度を参照のこと。もし ERR-3 の値が"0"の場合、ERR-4 の値は"1"となる。

例:警告は、注意すべきことがあるが、それは自動的に処理されず、さらに情報が消失してしまったことを示すために使われる。

情報の例:要求を受理した際、受理者は下限値の範囲内であることを示してよい。

HL7 表 0516 - エラー影響度

値	説明	コメント
W	警告	トランザクションは成功したが、何か問題がある
I	情報	トランザクションは成功したが、何か情報を含む、例)患者へ伝えるべき情報
E	エラー	トランザクションが失敗した。

ERR-5 アプリケーションエラーコード (CWE) 01815

成分: <識別子 (ST)>^<テキスト (ST)>^<コード体系名称 (ID)>^<代替識別子 (ST)>^<代替テキスト (ST)>^<代替コード体系名称 (ID)>^<コード体系バージョンID (ST)>^<代替コード体系バージョンID (ST)>^<オリジナルテキスト (ST)>

定義:発生した特定のエラーを識別するためのアプリケーション特定のコード。推奨される値はユーザ定義表 0533-アプリケーションエラーコードを参照のこと。

もしコードと関連するメッセージにパラメータがある場合、メッセージは java .text.MessageFormat approach⁴フォーマットで表されることが推奨されている。このスタイルはパラメータ型の情報に数値、データ、時間を供給することができ、それらは言語に合わせて適当にフォーマットされる。

ユーザ定義表 0533 - アプリケーションエラーコード

値	記述	コメント
	推奨値なし	

ERR-6 アプリケーションエラーパラメータ (ST) 01816

定義:特別なエラー条件/警告/その他を理解するために、アプリケーションエラーコードと共に付加される追加情報。このフィールドは最大 10 パラメータまで反復が可能である。

例:ERR-5 で指定されているアプリケーションエラーコードが英語のメッセージ”この患者は、{1,日付,媒体}までの期間、{0,数字,通貨単位}の免責をうけることができる”と一致し、ERR-6 の最初の 2 つの反復が”250”と”20021231”であった場合、アメリカの受信アプリケーションは”この患者は 2002 年 12 月 31 日までの期間、250 ドルの免責をうけることができる”というメッセージを表示する。

ERR-7 診断情報 (TX) 01817

定義:ヘルプデスクや、問題を診断するサポート人物によって使われる情報。

ERR-8 ユーザメッセージ (TX) 01818

定義:アプリケーションユーザに対して表示されるテキストメッセージ。

例:

|この問題は他のシステムとの通信トラブルです。ヘルプデスクに連絡して下さい。|

これは実際のエラーコードと違い、より詳細な診断情報を提供する。

ERR-9 人への通知指標 (IS) 01819

定義:誰(だれでも)に対してエラーを知らせるかを示すコード。このフィールドはまた、特定の人物にエラーを知らせてはいけない場合にも使用される(患者に知らせてはいけない場合など)。推奨される値はユーザ定義表 0517-情報人物コードを参照のこと

ユーザ定義表 0517-情報人物コード

値	説明	コメント
PAT	患者に知らせる	
NPAT	患者に知らせてはいけない	
USR	ユーザに知らせる	
HD	ヘルプデスクに知らせる	

ERR-10 無効型 (CWE) 01820

成分: <識別子 (ST)> ^ <テキスト (ST)> ^ <コード体系名称 (ID)> ^ <代替識別子 (ST)> ^ <代替テキスト (ST)> ^ <代替コード体系名称 (ID)> ^ <コード体系バージョンID (ST)> ^ <代替コード体系バージョンID (ST)> ^ <オリジナルテキスト (ST)>

定義: 特定のエラーを無効にする際に使われる無効型を識別する。推奨される値はユーザ定義表 0518 無効型を参照のこと。

ユーザ定義表 0518 - 無効型

値	説明	コメント
EXTN	拡張無効	命令された期間より長くサービスを実行する際に指定する無効
INLV	間隔無効	命令された間隔よりも早くサービスの回復を実行する際に指定される無効
EQV	等価無効	システムが事前に命令されたサービスと等価であると認識できない命令を実行する際に指定される無効

ERR-11 無効理由コード (CWE) 01821

成分: <識別子 (ST)> ^ <テキスト (ST)> ^ <コード体系名称 (ID)> ^ <代替識別子 (ST)> ^ <代替テキスト (ST)> ^ <代替コード体系名称 (ID)> ^ <コード体系バージョンID (ST)> ^ <代替コード体系バージョンID (ST)> ^ <オリジナルテキスト (ST)>

定義: エラーを発生させたアプリケーション規則を無効にした際に使われた無効コードのリストを提供する。推奨される値はユーザ定義表 0519-無効理由を参照のこと

ユーザ定義表0519－無効理由

値	説明	コメント
...	推奨値なし	

ERR-12 ヘルプデスクコンタクトポイント (XTN) 01822

成分: <記述電話番号 (ST)> ^ <遠距離通話使用コード (ID)> ^ <遠距離通話機器型 (ID)> ^ <Eメールアドレス (ST)> ^ <国コード (NM)> ^ <地域/町コード (NM)> ^ <地域番号 (NM)> ^ <拡張 (NM)> ^ <任意テキスト (ST)> ^ <拡張電話局番 (ST)> ^ <特別ダイヤルコード (ST)> ^ <形式外電話番号 (ST)>

定義: 特定のエラーに関するヘルプデスクサポートの電話、E メール、ファックスその他関係のある番号のリスト。

7.10 QRD – Query Definition Segment 問合せ定義セグメント

QRDセグメントを使用して問合せを定義する。応答では問い合わせメッセージのQRDセグメントをエコーバックする。

QRD属性

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RP/#	ITEM#	ELEMENT NAME	NOTE
1	26	TS	R	R		00025	Query Date/Time 照会日付/時間	
2	1	ID	R	R		00026	Query Format Code 照会フォーマットコード	
3	1	ID	R	R		00027	Query Priority 照会優先度	
4	10	ST	R	R		00028	Query ID 照会ID	
5	1	ID	O	N		00029	Deferred Response Type 遅延応答型	
6	26	TS	O	N		00030	Deferred Response Date/Time 遅延応答日付/時間	
7	10	CQ	R	R		00031	Quantity Limited Request 量限定要請	
8	250	XCN	R	R	Y	00032	Who Subject Filter 対象人物フィルタ	
9	250	CE	R	R	Y	00033	What Subject Filter 対象主題フィルタ	
10	250	CE	R	R	Y	00034	What Department Data Code 対象部門データコード	
11	20	VR	O	O	Y	00035	What Data Code Value Qual. 対象データコード修飾子	
12	1	ID	O	O		00036	Query Results level 照会結果レベル	

Optionality

- R - required
- O - optional
- C - conditional on the trigger event or on some other field(s)
- X - not used with this trigger event
- B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7

Japan (JAHIS仕様での取り扱い)

- R - required
- O - optional
- C - conditional on the trigger event or on some other field(s)
- X - not used with this trigger event
- B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7
- N - not used useally. use only on the site

Repetition

- N - no repetition
- Y - the field may repeat an indefinite or site determined number of times (integer)- the field may repeat up to the number of times specified in the integer

QRDフィールド定義

QRD-1 Query Date/Time 問合せ日時 (TS) 00025

定義：このフィールドはアプリケーションプログラムが問合せを作成した日付を含んでいる。

QRD-2 Query Format Code 問合せフォーマットコード (ID) 00026

定義：このフィールドでは、採りうるコードについては、HL7テーブル0106－問合せフォーマットコードを参照。

通常はR（診療記録用モード）を指定する。

テーブル0106－ Query/Response Format Code 問合せフォーマットコード

Value	Description
D	応答が表示モードにある
R	応答が診療記録用モードにある
T	応答が表用フォーマットにある

QRD-3 Query Priority 問合せ優先度 (ID) 00027

定義：このフィールドは応答が期待される時間枠を含んでいる。採りうるコードについては、HL7テーブル0091－問合せ優先度参照。テーブル値と以降のフィールドは、応答の時間枠を指

定する。

D (遅延応答) はバッチ問合せ時に、ホスト側の処理の問題で即時応答が保証できない様な場合に使用する。応答日付/時間指定遅延応答は処理や運用が複雑になる可能性があり、通常は使用しない。

テーブル0091 - Query Priority 問合せ優先度

Value	Description
D	延引
I	即時

QRD-4 Query ID 問合せID (ST) 00028

定義：このフィールドはその問合せに対する一意な識別子を含んでいる。問合せアプリケーションが割り当てる。応答アプリケーションがそのまま返す。

QRD-5 Deferred Response Type 遅延応答タイプ (ID) 00029

定義：このフィールドでは採りうる値については、HL7テーブル0107－遅延応答タイプを参照。QRD-3で記述した理由により通常は使用しない。

テーブル0107- Deferred Response Type 遅延応答タイプ

Value	Description
B	指定された日付/時間の前に
L	指定された日付/時間の後に

QRD-6 Deferred Response Date/Time 遅延応答日時 (TS) 00030

定義：このフィールドは遅延応答を送る前か後の日時を含んでいる。存在しない場合、応答は可能になった時点で送ることができる（上記QRD-5－遅延応答タイプを参照）。

QRD-3で記述した理由により通常は使用しない。

QRD-7 Quantity Limited Request 数量限定要求 (CQ) 00031

Components: <quantity (NM) ^ <units (CE)>

定義：このフィールドは要求システムが受諾できる応答の最大長を含んでいる。有効な応答は、第2成分内で指定した単位で与えられた数値である。採りうる値については、HL7テーブル0126－数量限定要求を参照。デフォルトはLIである。

臨床検査システムにおいては通常RD（診療記録）を指定する。

テーブル0126- Quantity Limited Request 量限定要請

Value	Description
CH	文字
LI	行
PG	ページ
RD	診療記録
ZO	ローカルに定義される

QRD-8 Who Subject Filter 対象人物フィルタ (XCN) 00032

Components: <ID number (ST)> ^ <family name (ST)> ^ <given name (ST)> ^ <middle initial or name (ST)> ^ <suffix (e.g., JR or III) (ST)> ^ <prefix (e.g., DR) (ST)> ^ <degree (e.g., MD) (ST)> ^ <source table (IS)> ^ <assigning authority (HD)> ^ <name type code (ID)> ^ <code identifying the check digit scheme employed (ID)> ^ <identifier type code (IS)> ^ <assigning facility ID (HD)>

Subcomponents of assigning authority: <namespace ID (IS)> & <universal ID (ST)> & <universal ID type (ID)>

Subcomponents of assigning facility: <namespace ID (IS)> & <universal ID (ST)> & <universal ID type (ID)>

定義：対象人物、つまりだれに関する問合せかを識別する。

通常の運用では次のフォーマットになる。

患者ID^姓^名

ここで、姓・名は半角カナ以外の文字とする。（２バイトコードも可）

（注）このフィールドは繰り返し可であるが、複数の患者を指定した場合はQRD-10（対象部門データコード）で指定する内容と各患者の対応が判別できなくなるため、このフィールドを用いて複数の患者を指定する場合はQRD-10を使用しないものとする。

QRD-9 What Subject Filter 対象主題フィルタ（CE）00033

Components: <identifier (ID)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ST)> ^ <alternate identifier (ID)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ST)>

定義：このフィールドは要求に応えるために必要な情報の種類を記述する。有効なコードはトランザクション問合せのタイプを定義し、実装時に施設で拡張することができる。

OSQメッセージ（オーダ照会）においてはORDを使用する。

テーブル0048- What Subject Filter 対象主題フィルタ

Value	Description
ADV	助言／診断
ANU	看護ユニットルックアップ（ベッドにいる患者を返す。空きベッドは除く）
APN	患者名ルックアップ
APP	医師ルックアップ
ARN	看護ユニットルックアップ（ベッドの患者を返す。空きベッドも含む）
APM	カルテ番号問合せ。そのカルテ番号の受付け番号を返す。
APA	口座番号問合せ。一致した受付け番号を返す。
CAN	取り消し。問合せを取り消すために使用される。
DEM	デモグラフィックス
FIN	財務
GOL	目標
MRI	最も最近の入院患者
MRO	最も最近の来院患者
NCK	ネットワーク時刻
NSC	ネットワーク状態変更
NST	ネットワーク統計
ORD	オーダ
OTH	他
PRB	問題
PRO	手順
RES	結果
RAR	処方管理情報
RER	処方コード化オーダ情報
RDR	処方調剤情報
RGR	処方投与情報
ROR	処方箋情報
SAL	すべての予約関連情報。空いた予約枠、予約された予約枠、予約停止枠予約枠を含む
SBK	識別された予定における予約された予約枠
SBL	識別された予定における予約停止枠予約枠
SOP	識別された予定における空いた予約枠
SSA	単一の予約に利用できる時間予約枠
SSR	再度の予約に利用できる時間予約枠
STA	状態
VXI	予防接種情報

QRD-10 What Department Data Code 対象部門データコード（CE）00034

Components: <identifier (ID)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ST)> ^ <alternate identifier (ID)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ST)>

定義：このフィールドは検査番号、手順番号、薬剤コード、項目番号、オーダ番号などが指定可能である。このフィールドの内容は、直前のフィールドの内容により決定される。このフィールドには、反復区切り文字で区切ることにより、複数の発生を含むことができる。

本フィールドには、原則としてORC-2（依頼者番号）を指定するものとする。

検体番号等でやり取りする必要がある場合には、HIS側－LIS側両者で話し合って内容を決めておくこと。

QRD-11 What Data Code Value Qual. 対象データ・コード値修飾子 (VR) 00035

Components: <first data code value (ST)> ^ <last data code value (ST)>

定義：このフィールドは対象データコード値修飾子を含んでいる。その問合せをさらに規定するウィンドウまたは範囲。このフィールドには、成分セパレータによって区切られた開始／停止が含まれることがある。

QRD-10で指定する番号の範囲指定はこのフィールドで行う。

QRD-12 Query Results level 結果レベル (ID) 00036

定義：このフィールドは結果の詳細レベルを制御するのに使用する。採りうるコードについては、HL7テーブル0108－問合せ結果レベルを参照。

臨床検査依頼照会では通常はO（オーダーとオーダー状態）を指定する。

臨床検査結果照会では通常はT（すべての結果）を指定する。

テーブル0108- Query Results level 問合せ結果レベル

Value	Description
O	オーダーとオーダー状態
R	長文を除いた結果
S	状態のみ
T	すべての結果

7.11 QRF – Query Filter Segment 問合せフィルタセグメント

QRFセグメントはQRDセグメントとともに使用し、問合せの内容をさらに細かくする。応答では問い合わせメッセージのQRFセグメントをエコーバックする。

QRF属性

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RP/#	ITEM#	ELEMENT NAME	NOTE
1	20	ST	R	R	Y	00037	Where Subject Filter 対象場所フィルタ	
2	26	TS	O	O		00038	When Data Start Date/Time 対象データ開始日時	
3	26	TS	O	O		00039	When Data End Date/Time 対象データ終了日時	
4	60	ST	O	N	Y	00040	What User Qualifier 対象ユーザ資格名	
5	60	ST	O	N	Y	00041	Other QRY Subject Filter 他のQRY主題フィルタ	
6	12	ID	O	O	Y	00042	Which Date/Time Qualifier 対象日時修飾子	
7	12	ID	O	O	Y	00043	Which Date/Time Status Qualifier 対象日時状態修飾子	
8	12	ID	O	O	Y	00044	Date/Time Selection Qualifier 日時選択修飾子	
9	60	TQ	O	O		00694	When Quantity/Timing Qualifier 数量/タイミング修飾子	
10	10	NM	O	O	Y	01442	Search Confidence Threshold サーチ範囲	

Optionality

- R - required
- O - optional
- C - conditional on the trigger event or on some other field(s)
- X - not used with this trigger event
- B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7

Japan (JAHIS仕様での取り扱い)

- R - required
- O - optional
- C - conditional on the trigger event or on some other field(s)
- X - not used with this trigger event
- B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7
- N - not used useally. use only on the site

Repetition

- N - no repetition
- Y - the field may repeat an indefinite or site determined number of times
- (integer)- the field may repeat up to the number of times specified in the integer

QRFフィールド定義

QRF-1 Where Subject Filter 対象場所フィルタ (ST) 00037

定義：このフィールドはその問合せが関連する部門、システム、サブシステムを識別する。
このフィールドは、LAB~HEMOなどのように繰り返すことができる。

QRF-2 When Data Start Date/Time 対象データ開始日時 (TS) 00038

定義：このフィールドは対象となるデータの開始日時の情報を含んでいる。ここで指定した値も含む。

QRF-3 When Data End Date/Time 対象データ終了日時 (TS) 00039

定義：このフィールドは対象となるデータの終了日時の情報を含んでいる。ここで指定した値も含む。

QRF-4 What User Qualifier 対象ユーザ修飾子 (ST) 00040

定義：このフィールドは関心データの特性をさらに定義する識別子を含んでいる。
通常は本フィールドは使用しない。

QRF-5 Other QRY Subject Filter 他のQRY対象フィルタ (ST) 00041

定義：このフィールドは2つのシステム間で使用する施設定義のフィルタを含んでいる。このフィルタは、関係するアプリケーションや施設に対し特定の意味を持つコードとフィールド定義を使用する。

通常は本フィールドは使用しない。

QRF-6 Which Date/Time Qualifier 対象日時修飾子 (ID) 00042

定義：このフィールドはQRF-2ー対象データ開始日時とQRF-3ー対象データ終了日時で参照される日付のタイプを指定する。

臨床検査依頼照会では通常はSCHD（予定日時）を指定する。

テーブル0156- Which Date/Time Qualifier 対象日時修飾子

Value	Description
ANY	範囲内の任意の日時
COL	収集日時。フィルムまたはサンプル収集日時と同等
ORD	オーダー日時
RCT	取り消し日時。検体受領日時。臨床検査部門での検体の受領
REP	結果報告日時。臨床検査部門での報告日時
SCHED	予定日時

QRF-7 Which Date/Time Status Qualifier 対象日時状況修飾子 (ID) 00043

定義：このフィールドはQRF-2ー対象データ開始日時およびQRF-3対象データ終了日時により定義された日付範囲で選択した対象の状況のタイプを示す。

通常はANY（任意の状態）を指定する。

テーブル0157- Which Date/Time Status Qualifier 対象日時状況修飾子

Value	Description
ANY	任意の状態
CFN	現在の最終値。最終か修正かを問わない。
COR	修正のみ（修正付きの最終なし）
FIN	最終のみ（修正なし）
PRE	予備
REP	報告完了日時

QRF-8 Date/Time Selection Qualifier 日時選択修飾子 (ID) 00044

定義：このフィールドはその日時範囲で特定のタイプの値が指定できる。

通常はREV（範囲内の全ての値）を指定する。

テーブル0158- Date/Time Selection Qualifier 日時選択資格要素

Value	Description
1 ST	範囲内の最初の値
ALL	範囲内のすべての値
LST	範囲内の最終値
REV	範囲内のすべての値であって、日時の逆順に返されたもの（別途指示がないかぎりこれがデフォルトである）

QRF-9 When Quantity/Timing Qualifier タイミング／量修飾のとき (TQ) 00694

Components: <quantity (CQ)> ^ <interval (CM)> ^ <duration> ^ <start date/time (TS)> ^ <end date/time (TS)> ^ <priority (ID)> ^ <condition (ST)> ^ <text (TX)> ^ <conjunction (ID)> ^ <order sequencing>

定義：このフィールドによって、間隔定義が使用され問合せに対する多重応答を指定することができる。この実施者を追加すると、新しい問合せ使用は、「QRF-2ーデータ開始日付／時間の時」および「QRF-3ーデータ終了日付／時間の時」を将来の導入において使用できなくなる。

QRF-10 Search confidence threshold サーチ範囲 (NM) 01442

定義： このフィールドは、条件に合った数値を確立した、数値を含んでいる。この値は応答システムの条件に合った患者のレコードを返すとき、利用される。

例: |0.50| or |8.25|

オプションフィールドの使い方として、検索システムが患者とのマッチ数を採用する数値アルゴリズムを潜在的に決定する。

注: 付録では検査コードに JJ1017 V3.0 (2005 年 3 月 1 日版) を使用したメッセージの例を載せている。
しかし 2005 年 4 月現在、JJ1017 V3.0 コードは仕様確定には至っていない状況である。そのため、
JJ1017 V3.0 コードを用いた実装時には適切なコードを使用することに注意されたい。

HISからRISへV2.5仕様の日本語を含む検査依頼メッセージmn123を2005年1月30日に送信。

```
MSH|^~\&|HIS||RIS||20050130||ORM^O01|mn123|P|2.5||||~|ISO IR87||ISO 2022-1994<cr>
```

このメッセージは検査依頼例であることを依頼側が注釈

NTE||P|Example Order<cr>

患者氏名は東京太郎、男、1950年12月14日生、患者IDは12345678である。

PID|||12345678^P||東京^太郎^L^|~トウキョウ^タロウ^L^P||19501214|M||

東京都港区虎ノ門1-19-9¹⁰⁵⁰⁰⁰¹||^PRN^PH⁰³^55693150<cr>

患者さんは外来で内科にかかっており主治医は中田隆先生である。患者さんには視覚障害がある。

PV1||Q|01|||^中田^隆^^^^^^| ^^^^^|||A5<cr>

中田隆先生は2005年1月20日の10時10分に単純撮影の胸部(A→P)と胸部(L→R)および腹部(A→P)と腹部(L→R)を依頼、オーダ番号は200501200001である。患者さんの血液型はA型Rh+である。

ORCINW|2005012000100|||200501201010||^中田^隆^^^^^^L^^^^||01<cr>

ORCIDPA|2005012000100|||||200501201010|||^中田^隆^^^^^^L^^^^||01<cr>

OBR|1|2005012000100||1000000000000000^X線單純撮影^JJ1017-16P|||||||^中田^隆^L^R<cr>

OBX|1|CE|5H0100000018101^血液型-ABO 式^JC10|1|1^A^LBLABO|||||P<cr>

ORC|CH|2005012000101|||||2005012000100|200501201010||||^中田^隆^^^^^^L^^^^||01<cr>

OBR|1|2005012000101||10000000200000200000001000000000胸部.X線単純撮影.正面(A→P)JJ1017-32
||200501201010||||||中田隆 ^^^^^^L ^^^^^^R||20050120001<cr>

ORC|CH|2005012000102|||||2005012000100|200501201010||||^中田^隆^^^^^^L^^^^||01<cr>

OBR|1|2005012000102||10000000200000600000001000000000^胸部.X線単純撮影.側面(L→R)^JJ1017-32
||200501201010|||||||^中田隆^^^^^^L^^^^|||^^^^R||20050120001<cr>

ORC|CH|2005012000103|||||2005012000100|200501201010||||^中田^隆^^^^^^L^^^^||01<cr>

OBR|1|2005012000103||1000000251000200000010000000000^腹部(KUB).X線単純撮影.正面(A→P)^JJ1017-32
||200501201010|||||||^中田^隆^AAAAAAAA^AAAA^|||||||^AAAA^R||20050120001<cr>

ORC|CH|2005012000104|||||2005012000100|200501201010||||^中田^隆^^^^^^L^^^^||01<cr>

OBR|1|2005012000104||100000002510006000000010000000000^腹部(KUB).X線単純撮影.側面(L→R)^JJ1017-32
||200501201010||||||中田^隆^L^R|||R||20050120001<cr>

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Field Separator フィールド区切文字	
2	Encoding Characters コード化文字	^~\&
3	Sending Application 送信アプリケーション	HIS
4	Sending Facility 送信施設	
5	Receiving Application 受信アプリケーション	RIS
6	Receiving Facility 受信施設	
7	Date/Time Of Message メッセージ日付/時間	20050130
8	Security セキュリティ	
9	Message Type メッセージ型	ORM^O01 (Order message)
10	Message Control ID メッセージ制御ID	mn123
11	Processing ID 処理ID	P (Production)
12	Version ID バージョンID	2.5
13	Sequence Number シーケンス番号	
14	Continuation Pointer 継続ポインタ	
15	Accept Acknowledgment Type 受諾肯定応答型	
16	Application Acknowledgment Type アプリ肯定応答型	
17	Country Code 国コード	

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
18	Character Set 文字セット	~ISO IR87
19	Principal Language of Message 主要言語	
20	Alternate Character Set Handling Scheme	ISO 2022-1994
21	Conformance Statement ID 適合文書ID	

NTE属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Set ID - NTE セットID-NTE	
2	Source of Comment コメント発生源	P (依頼者)
3	Comment コメント	Example Order
4	Comment Typeコメントタイプ	

PID属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Set ID - Patient ID セットID-患者ID	
2	Patient ID (External ID) 患者ID(外部ID)	
3	Patient ID (Internal ID) 患者ID(内部ID)	12345678
4	Alternate Patient ID - PID 代替患者ID	
5	Patient Name 患者氏名	東京 太郎 (漢字氏名) トウキョウ タロウ (カナ氏名)
6	Mother's Maiden Name 母親の旧姓	
7	Date/Time of Birth 生年月日年齢	19501214
8	Sex 性別	M(男性)
9	Patient Alias 患者別名	
10	Race 人種	
11	Patient Address 患者住所	東京都港区虎ノ門1-19-9 〒105-0001
12	County Code 郡コード	
13	Phone Number - Home 電話番号-自宅	03-5569-3150
14	Phone Number - Business 電話番号-勤務先	
15	Primary Language 言語-患者	
16	Marital Status 婚姻状況	
17	Religion 宗教	
18	Patient Account Number 患者会計番号	
19	SSN Number - Patient SSN番号-患者	
20	Driver's Lic Num - Patient 運転免許証番号-患者	
21	Mother's Identifier 母親の識別子	
22	Ethnic Group 人種のグループ	
23	Birth Place 誕生場所	
24	Multiple Birth Indicator 多胎児誕生標識	
25	Birth Order 誕生順序	
26	Citizenship 市民権	
27	Veterans Military Status 退役軍人状況	
28	Nationality 国籍	
29	Patient Death Date and Time 患者死亡日時	
30	Patient Death Indicator 患者死亡識別	
31	Identity Unknown Indicator 身元不明識別	
32	Identity Reliability Code 身元信頼度	
33	Last Update Date/Time 最終更新日	
34	Last Update Facility 最終更新施設	
35	Species Code 種	
36	Breed Code 品種	
37	Strain 血統	
38	Production Class Code 製品クラスコード	
39	Tribal Citizenship 所属種族	

PV1属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Set ID - Patient Visit セットID-来院	
2	Patient Class 患者クラス	O (外来患者)
3	Assigned Patient Location 患者所在場所	01 (内科)
4	Admission Type 入院タイプ	
5	Preadmit Number 仮入院番号	

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
6	Prior Patient Location 患者の以前の所在	中田 隆
7	Attending Doctor 主治医	
8	Referring Doctor 紹介医師	
9	Consulting Doctor コンサルタント医師	
10	Hospital Service 病院サービス	
11	Temporary Location 一時的な所在	
12	Preadmit Test Indicator 仮入院検査標識	A5 : 視覚異常
13	Readmission Indicator 再入院標識	
14	Admit Source入院元	
15	Ambulatory Status 外来の状況	
16	VIP Indicator VIP標識	
17	Admitting Doctor 入院許可医師	
18	Patient Type 患者タイプ	
19	Visit Number 来院回数	
20	Financial Class 財務クラス	
21	Charge Price Indicator 有償価格標識	
22	Courtesy Code 優待コード	
23	Credit Rating 信用格付け	
24	Contract Code 契約コード	
25	Contract Effective Date 契約発効日	
26	Contract Amount 契約金額	
27	Contract Period 契約期間	
28	Interest Code 利息コード	
29	Transfer to Bad Debt Code 不良負債転換コード	
30	Transfer to Bad Debt Date 不良負債転換日付	
31	Bad Debt Agency Code 不良負債代理コード	
32	Bad Debt Transfer Amount 不良負債転換額	
33	Bad Debt Recovery Amount 不良負債回収額	
34	Delete Account Indicator 会計削除標識	
35	Delete Account Date 会計削除日付	
36	Discharge Disposition 退院処置	
37	Discharged to Location 退院先	
38	Diet Type 給食タイプ	
39	Servicing Facility サービス施設	
40	Bed Status ベッド状況	
41	Account Status 会計状況	
42	Pending Location 保留所在	
43	Prior Temporary Location 退院先の一時的な所在	
44	Admit Date/Time 入院日付/時刻	
45	Discharge Date/Time 退院日付/時刻	
46	Current Patient Balance 患者の差引不足高	
47	Total Charges 合計金額	
48	Total Adjustments 合計調整金額	
49	Total Payments 合計支払金額	
50	Alternate Visit ID 代替来院ID	
51	Visit Indicator 来院識別	
52	Other Healthcare Provider 他のヘルスケア供給者	

ORC属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Order Control オーダ制御	NW（新規オーダ）、 PA（親オーダ）、 CH（子オーダ） 2005012000100（NWの時）、 2005012000100（PAの時）、 2005012000101（CHの時）、 2005012000102（CHの時）、 2005012000103（CHの時）、 2005012000104（CHの時）
2	Placer Order Number 依頼者オーダ番号	
3	Filler Order Number 実施者オーダ番号	
4	Placer Group Number 依頼者グループ番号	
5	Order Status オーダ状態	
6	Response Flag 応答フラグ	
7	Quantity/Timing 数量/タイミング	

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
8	Parent 親	2005012000100 (CHの時)
9	Date/Time of Transaction トランザクション日時	200501201010
10	Entered By 入力者	
11	Verified By 検証者	
12	Ordering Provider 依頼者	中田 隆
13	Enterer's Location 入力場所	01 (内科)
14	Call Back Phone Number コールバック用電話番号	
15	Order Effective Date/Time オーダ有効日時	
16	Order Control Code Reason オーダ制御コードの理由	
17	Entering Organization 入力組織	
18	Entering Device 入力装置	
19	Action By 発動者	
20	Advanced Beneficiary Notice Code 受益者注意コード	
21	Ordering Facility Name オーダ施設名	
22	Ordering Facility Address オーダ施設住所	
23	Ordering Facility Phone Number オーダ施設電話番号	
24	Ordering Provider Address オーダ実施者住所	
25	Order Status Modifier オーダ状態変更	
26	Advanced Beneficiary Notice Override Reason 事前保険 金受給通知上書き理由	
27	Filler's Expected Availability Date/Time 実施可能日時	
28	Confidentiality Code 守秘コード	
29	Order Type オーダタイプ	
30	Enterer Authorization Mode 承認モード入力	

OBR属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Set ID – Observation Request ID設定 – 検査要求	1
2	Placer Order Number 依頼者オーダ番号	2005012000100 (PAの時)、 2005012000101 (CHの時)、 2005012000102 (CHの時)、 2005012000103 (CHの時)、 2005012000104 (CHの時)
3	Filler Order Number + 実施者オーダ番号	
4	Universal Service ID 検査項目群ID	10000000000000000000^X線単純撮影 ^JJ1017-16P (PAの時) 10000002000002000000001000000 0000^胸部.X線単純撮影.正面(A→ P)^JJ1017-32、(CHの時) 10000002000006000000001000000 0000^胸部.X線単純撮影.側面(L→ R)^JJ1017-32、(CHの時) 10000002510002000000001000000 0000^腹部(KUB).X線単純撮影.正面 (A→P)^JJ1017-32、(CHの時) 10000002510006000000001000000 0000^腹部(KUB).X線単純撮影.側面 (L→R)^JJ1017-32 (CHの時)
5	Priority 優先度	
6	Requested Date/time 要求日時	
7	Observation Date/Time 検査日時	200501201010
8	Observation End Date/Time 検査終了日時	
9	Collection Volume 採取量	
10	Collector Identifier 採取者識別子	
11	Specimen Action Code 検体処置コード	
12	Danger Code 危険(検体)コード	
13	Relevant Clinical Info. 関連臨床情報	
14	Specimen Received Date/Time 検体受理日時	
15	Specimen Source 検体採取元	
16	Ordering Provider 依頼者	中田 隆
17	Order Callback Phone Number オーダコールバック用電話 番号	
18	Placer field 1 依頼者フィールド1	

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
19	Placer field 2 依頼者フィールド2	
20	Filler Field 1 + 実施者フィールド1	
21	Filler Field 2 + 実施者フィールド2	
22	Results Rpt/Status Chng – Date/Time + 結果報告/状態変更-日時	
23	Charge to Practice + 課金	
24	Diagnostic Serv Sect ID 診断部門ID	
25	Result Status + 結果状態	
26	Parent Result + 親結果	
27	Quantity/Timing 数量/タイミング	R (ルーチン)
28	Result Copies To 結果配布先	
29	Parent Number 親番号	2005012000100
30	Transportation Mode 患者移動モード	
31	Reason for Study 検査理由	
32	Principal Result Interpreter + 結果判定責任者	
33	Assistant Result Interpreter + 結果判定アシスタント	
34	Technician + 医療技術者	
35	Transcriptionist + 口述記録者	
36	Scheduled Date/Time + 予定日時	
37	Number of Sample Containers 検体容器数	
38	Transport Logistics of Collected Sample 採取検体搬送	
39	Collector's Comment 採取者コメント	
40	Transport Arrangement Responsibility 搬送調整者	
41	Transport Arranged 搬送調整結果	
42	Escort Required 随行者要否	
43	Planned Patient Transport Comment 計画患者搬送コメント	
44	Procedure Code 手続きコード	
45	Procedure Code Modifier 手続きコード修飾子	
46	Placer Supplemental Service Information 依頼者補給サービス情報	
47	Filler Supplemental Service Information 実施補給サービス情報	
48	Medically Necessary Duplicate Procedure Reason 医学的に必要な複製手続き理由	
49	Result Handling 結果操作	

OBX属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Set ID – Observational SimpleセットID — 単純検査	1 (検査依頼時連番として)
2	Value Type 値型	CE
3	Observation Identifier 検査項目	5-H10100000018101^ (日本検査医学会コード) 血液型ABO式
4	Observation Sub-ID 検査副ID	1 (検査項目に対し連番)
5	Observation Value 検査値	1 (ローカルコード) A,
6	Units 単位	
7	References Range 基準値範囲	
8	Abnormal Flags 異常フラグ	
9	Probability 確率	
10	Nature of Abnormal Test 異常検査の性質	
11	Observ Result Status 検査結果状態	P (事前結果)
12	Date Last Obs Normal Values 最終検査正常値日付	
13	User Defined Access Checks 使用者定義アクセス点検	
14	Date/Time of the Observation 検査日時	
15	Producer's ID 実施者ID	
16	Responsible Observer 検査責任者	
17	Observation Method 検査方法	
18	Equipment Instance Identifier 設備段階項目	
19	Date/Time of the Analysis 分析の日時	

(2) 血管造影検査オーダーメッセージ

HISからRISへV2.5仕様の日本語を含む検査依頼メッセージmn123を2005年1月20日に送信。

MSH|^~&|HIS||RIS||20050120||ORM^O01|mn123|P|2.5||||~ISO IR87||ISO 2022-1994<cr>

患者氏名は、福岡千尋、女性、1980年10月21日生、患者IDは97531111である。

PID||||97531111^^^P|||フクオカ^チヒロ^^^^L^P~福岡^千尋^^^^L^||19801021|F||

東京都港区虎ノ門1-19-9^^^^1050001||^PRN^PH^^03^35068010<cr>

患者さんは入院で循環器科にかかっており、主治医は田中一郎先生である。

PV1|||04^21^^E02||||^田中^一郎^^^^L^^^^||<cr>

高橋和夫先生は2005年1月20日の16時50分にアンギオ検査を依頼。検査部位は肺動脈。オーダー番号は20050120005である。造影剤としてイオメロン350 100mlを使用するように指示。

患者の血液型はA型、感染情報として、HBs抗原が陰性である。

ORC|NW|2005012000500|||||200501201650|^高橋^和夫^^^^L^^^^||

^高橋^和夫^^^^L^^^^||04||||04^循環器科<cr>

ORC|PA|2005012000500|||||200501201650|^高橋^和夫^^^^L^^^^||

^高橋^和夫^^^^L^^^^||04||||04^循環器科<cr>

OBR|1|2005012000500||300010000000000000^X線血管撮影^JJ1017-16P|||||

^高橋^和夫^^^^L^^^^|||^^^^R<cr>

OBX|1|CE|MD0015390^血液型-ABO式^L||01^A^L|||||P<cr>

OBX|2|CE|03-01^HBs抗原^L||01^A^L|||||P<cr>

ORC|CH|2005012000501|||||2005012000500|200501201650|^高橋^和夫^^^^L^^^^||

^高橋^和夫^^^^L^^^^||04||||04^循環器科<cr>

OBR|1|2005012000501||3000100462000000000000100000000000^肺動脈.X線血管撮影^JJ1017-32

||200501201650|||||^高橋^和夫^^^^L^^^^|||^^^^R||20050120005-00<cr>

OBX|1|ZRD|3000100462000000000000100000000000&MED^肺動脈.X線血管撮影&使用薬剤^JJ1017-32

||3003^イオメロン350 100ml^L|||||O<cr>

MSH属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Field Separator フィールド区切文字	
2	Encoding Characters コード化文字	^~&
3	Sending Application 送信アプリケーション	HIS
4	Sending Facility 送信施設	
5	Receiving Application 受信アプリケーション	RIS
6	Receiving Facility 受信施設	
7	Date/Time Of Message メッセージ日付/時間	20050120
8	Security セキュリティ	
9	Message Type メッセージ型	ORM^O01 (Order message)
10	Message Control ID メッセージ制御ID	mn123
11	Processing ID 処理ID	P (Production)
12	Version ID バージョンID	2.5
13	Sequence Number シーケンス番号	
14	Continuation Pointer 継続ポインタ	
15	Accept Acknowledgment Type 受諾肯定応答型	
16	Application Acknowledgment Type アプリ肯定応答型	
17	Country Code 国コード	
18	Character Set 文字セット	~ISO IR87
19	Principal Language of Message 主要言語	
20	Alternate Character Set Handling Scheme	ISO 2022-1994
21	Conformance Statement ID 適合文書ID	

PID属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Set ID - Patient ID セットID-患者ID	
2	Patient ID (External ID) 患者ID(外部ID)	
3	Patient ID (Internal ID) 患者ID(内部ID)	97531111
4	Alternate Patient ID - PID 代替患者ID	
5	Patient Name 患者氏名	フクオカ チヒロ (カナ氏名) 福岡 千尋 (漢字氏名)
6	Mother's Maiden Name 母親の旧姓	
7	Date/Time of Birth 生年月日年齢	19801021
8	Sex 性別	F (女性)

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
9	Patient Alias 患者別名	
10	Race 人種	
11	Patient Address 患者住所	東京都港区虎ノ門1-19-9 〒105-0001
12	County Code 郡コード	
13	Phone Number - Home 電話番号－自宅	03-3506-8010
14	Phone Number - Business 電話番号－勤務先	
15	Primary Language 言語－患者	
16	Marital Status 婚姻状況	
17	Religion 宗教	
18	Patient Account Number 患者会計番号	
19	SSN Number - Patient SSN番号－患者	
20	Driver's Lic Num - Patient 運転免許証番号－患者	
21	Mother's Identifier 母親の識別子	
22	Ethnic Group 人種のグループ	
23	Birth Place 誕生場所	
24	Multiple Birth Indicator 多胎児誕生標識	
25	Birth Order 誕生順序	
26	Citizenship 市民権	
27	Veterans Military Status 退役軍人状況	
28	Nationality 国籍	
29	Patient Death Date and Time 患者死亡日時	
30	Patient Death Indicator 患者死亡識別	
31	Identity Unknown Indicator 身元不明識別	
32	Identity Reliability Code 身元信頼度	
33	Last Update Date/Time 最終更新日	
34	Last Update Facility 最終更新施設	
35	Species Code 種	
36	Breed Code 品種	
37	Strain 血統	
38	Production Class Code 製品クラスコード	
39	Tribal Citizenship 所属種族	

PV1属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Set ID - Patient Visit セットID－来院	
2	Patient Class 患者クラス	I (入院患者)
3	Assigned Patient Location 患者所在場所	04 (循環器) E02病棟 21病室
4	Admission Type 入院タイプ	
5	Preadmit Number 仮入院番号	
6	Prior Patient Location 患者の以前の所在	
7	Attending Doctor 主治医	田中 一郎
8	Referring Doctor 紹介医師	
9	Consulting Doctor コンサルタント医師	
10	Hospital Service 病院サービス	
11	Temporary Location 一時的な所在	
12	Preadmit Test Indicator 仮入院検査標識	
13	Readmission Indicator 再入院標識	
14	Admit Source入院元	
15	Ambulatory Status 外来の状況	
16	VIP Indicator VIP標識	
17	Admitting Doctor 入院許可医師	
18	Patient Type 患者タイプ	
19	Visit Number 来院回数	
20	Financial Class 財務クラス	
21	Charge Price Indicator 有償価格標識	
22	Courtesy Code 優待コード	
23	Credit Rating 信用格付け	
24	Contract Code 契約コード	
25	Contract Effective Date 契約発効日	
26	Contract Amount 契約金額	
27	Contract Period 契約期間	
28	Interest Code 利息コード	
29	Transfer to Bad Debt Code 不良負債転換コード	
30	Transfer to Bad Debt Date 不良負債転換日付	

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
31	Bad Debt Agency Code 不良負債代理コード	
32	Bad Debt Transfer Amount 不良負債転換額	
33	Bad Debt Recovery Amount 不良負債回収額	
34	Delete Account Indicator 会計削除標識	
35	Delete Account Date 会計削除日付	
36	Discharge Disposition 退院処置	
37	Discharged to Location 退院先	
38	Diet Type 給食タイプ	
39	Servicing Facility サービス施設	
40	Bed Status ベッド状況	
41	Account Status 会計状況	
42	Pending Location 保留所在	
43	Prior Temporary Location 退院先の一時的な所在	
44	Admit Date/Time 入院日付/時刻	
45	Discharge Date/Time 退院日付/時刻	
46	Current Patient Balance 患者の差引不足高	
47	Total Charges 合計金額	
48	Total Adjustments 合計調整金額	
49	Total Payments 合計支払金額	
50	Alternate Visit ID 代替来院ID	
51	Visit Indicator 来院識別	
52	Other Healthcare Provider 他のヘルスケア供給者	

ORC属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Order Control オーダ制御	NW(新規オーダー)、 PA(親オーダー)、 CH(子オーダー)
2	Placer Order Number 依頼者オーダー番号	2005012000500(NWの時)、 2005012000500(PAの時)、 2005012000501(CHの時)
3	Filler Order Number 実施者オーダー番号	
4	Placer Group Number 依頼者グループ番号	
5	Order Status オーダ状態	
6	Response Flag 応答フラグ	
7	Quantity/Timing 数量/タイミング	
8	Parent 親	2005012000500(CHの時)
9	Date/Time of Transaction トランザクション日時	200501201650
10	Entered By 入力者	高橋 和夫
11	Verified By 検証者	
12	Ordering Provider 依頼者	高橋 和夫
13	Enterer's Location 入力場所	04(循環器科)
14	Call Back Phone Number コールバック用電話番号	
15	Order Effective Date/Time オーダ有効日時	
16	Order Control Code Reason オーダ制御コードの理由	
17	Entering Organization 入力組織	04(循環器科)
18	Entering Device 入力装置	
19	Action By 発動者	
20	Advanced Beneficiary Notice Code 拡張利用用注意コード	
21	Ordering Facility Name オーダ施設名	
22	Ordering Facility Address オーダ施設住所	
23	Ordering Facility Phone Number オーダ施設電話番号	
24	Ordering Provider Address オーダ提供者アドレス	
25	Order Status Modifier オーダ状態修正	
26	Advanced Beneficiary Notice Override Reason 事前保険 金受給通知上書き理由	
27	Filler's Expected Availability Date/Time 実施可能日時	
28	Confidentiality Code 守秘コード	
29	Order Type オーダタイプ	
30	Enterer Authorization Mode 承認モード入力	

OBR属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Set ID – Observation Request ID設定 – 検査要求	1
2	Placer Order Number 依頼者オーダー番号	2005012000500 (PAの時)、 2005012000501 (CHの時)
3	Filler Order Number + 実施者オーダー番号	
4	Universal Service ID 検査項目群ID	30001000000000000000^X線血管撮影 ^JJ1017-16P (PAの時) 300010046200000000000010000000 000^肺動脈.X線血管撮影 ^JJ1017-32 (CHの時)
5	Priority 優先度	
6	Requested Date/time 要求日時	
7	Observation Date/Time # 検査/採取日時	200501201650
8	Observation End Date/Time # 検査/採取終了日時	
9	Collection Volume * 採取量	
10	Collector Identifier * 採取者識別子	
11	Specimen Action Code * 検体処置コード	
12	Danger Code 危険(検体)コード	
13	Relevant Clinical Info. 関連臨床情報	
14	Specimen Received Date/Time * 検体受理日時	
15	Specimen Source * 検体採取元	
16	Ordering Provider 依頼者	高橋 和夫
17	Order Callback Phone Number オーダーコールバック用電話番号	
18	Placer field 1 依頼者フィールド1	
19	Placer field 2 依頼者フィールド2	
20	Filler Field 1 + 実施者フィールド1	
21	Filler Field 2 + 実施者フィールド2	
22	Results Rpt/Status Chng – Date/Time + 結果報告/状態変更- 日時	
23	Charge to Practice + 課金	
24	Diagnostic Serv Sect ID 診断部門ID	
25	Result Status + 結果状態	
26	Parent Result + 親結果	
27	Quantity/Timing 数量/タイミング	R (ルーチン)
28	Result Copies To 結果配布先	
29	Parent Number * 親番号	2005012000500
30	Transportation Mode 患者移動モード	
31	Reason for Study 検査理由	
32	Principal Result Interpreter + 結果判定責任者	
33	Assistant Result Interpreter + 結果判定アシスタント	
34	Technician + 医療技術者	
35	Transcriptionist + 口述記録者	
36	Scheduled Date/Time + 予定日時	
37	Number of Sample Containers * 検体容器数	
38	Transport Logistics of Collected Sample * 採取検体搬送	
39	Collector's Comment * 採取者コメント	
40	Transport Arrangement Responsibility 搬送調整者	
41	Transport Arranged 搬送調整結果	
42	Escort Required 随行者要否	
43	Planned Patient Transport Comment 患者搬送コメント	
44	Procedure Code 手順コード	
45	Procedure Code Modifier 手順コード修正子	
46	Placer Supplemental Service Information 依頼者発行の追加サービス情報	
47	Filler Supplemental Service Information 実施者発行の追加サービス情報	
48	Medically Necessary Duplicate Procedure Reason 医学的に必要な複製手続き理由	
49	Result Handling 結果操作	

OBX属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Set ID – Observational SimpleセットID – 単純検査	1,2 (上位ORCに対して通番)

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
2	Value Type 値型	CE
3	Observation Identifier 検査項目	ZRD (放射線検査用薬剤) MD0015390^血液型-ABO式、 03-01(ローカルコード)HBs抗原 300000000000000000^X線血管撮影 &MED^使用薬剤^JJ1017-16P
4	Observation Sub-ID 検査副ID	01 (ローカルコード) A 01 (ローカルコード) -、 3003 イオメロン350 100ml O (検査依頼項目)
5	Observation Value 検査値	
6	Units 単位	
7	References Range 基準値範囲	
8	Abnormal Flags 異常フラグ	
9	Probability 確率	
10	Nature of Abnormal Test 異常検査の性質	
11	Observ Result Status 検査結果状態	
12	Date Last Obs Normal Values 最終検査正常値日付	
13	User Defined Access Checks 使用者定義アクセス点検	
14	Date/Time of the Observation 検査日時	
15	Producer's ID 実施者ID	
16	Responsible Observer 検査責任者	
17	Observation Method 検査方法	
18	Equipment Instance Identifier 設備段階項目	
19	Date/Time of the Analysis 分析の日時	

(3) 造影CT検査オーダーメッセージ

HISからRISへV2.5仕様の日本語を含む検査依頼メッセージmn123を2005年1月20日に送信。

MSH|^~\&||HIS||RIS|20050120||ORM^O01|mn123|P|2.5||||~ISO IR87||ISO 2022-1994 <cr>

患者氏は虎ノ門一郎、男、1960年4月11日生、患者ID 22333444、郵便番号105-0001、住所 東京都港区虎ノ門1-19-9、電話番号03-3506-8010である。

PID|||22333444^^^P|||

TORANOMON^ICHIRO^^^^L^A~虎ノ門^一郎^^^^L^I~とらのもん^いちろう^^^^L^P||

19600411|M||東京都港区虎ノ門1-19-9^^^1050001||^PRN^PH^^03^35068010 <cr>

患者さんは入院で内科にかかっており主治医は中田隆先生である。入院日は2005年1月1日で、病棟は南棟3階30号室である。患者さんには聴覚異常がある。

PV1|||01^30^^南棟 3|||^中田^隆^^^^^^L^^^^^||||||A6|||||||||||||||||20050101 <cr>

中田隆先生は2005年1月20日 9:30に上腹部の造影CT検査を依頼、オーダ番号は20050120003である。患者さんは血液型AB、造影剤の副作用はない。検査には造影剤としてイオパミロン300シリンジ100mlを使用するよう指示。

ORC|NW|2005012000300|||||200501200930||^中田^隆^^^^^^L^^^^^|01<cr>

ORC|PA|2005012000300|||200501200930||^中田^隆^^^^^^L^^^^^|01<cr>

OBR|1|2005012000301||6000000000000000^X線CT検査^JJ1017-16P||200501200930

```
||||||| ^中田^隆 ^^^^^^L ^^^^^^| ||||| ||||| ^^^^^^R <cr>
```

OBX|1|CE|5H0100000018101^血液型-ABO 式^JC10||4^AB^LBLABO|||||P <cr>

OBX|2|CE|03-01^造影剂副作用^L||0^無し^LRSLT1||||P <cr>

ORC|CH|2005012000301|||||2005012000300|200501200930||^中田^隆^^^^^L^^^^^|01<cr>

OBR|1|2003012000501||600010025500000000000000000000^上腹部.X線CT検査^JJ1017-32

|||200501200930|||^^^中田^隆^^^^^^L^^^^^^|^^^R||20050120003-00 <cr>

OBX|1|ZRD|60001002550000000000000000000000&MED^上腹部.X線CT検査&使用薬剤^JJ1017-32

||8001^イオパミロン 300 シリンジ 100ml^L|||||O <cr>

MSH属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Field Separator フィールド区切文字	
2	Encoding Characters コード化文字	^~\&
3	Sending Application 送信アプリケーション	
4	Sending Facility 送信施設	HIS
5	Receiving Application 受信アプリケーション	
6	Receiving Facility 受信施設	RIS
7	Date/Time Of Message メッセージ日付/時間	20050120
8	Security セキュリティ	
9	Message Type メッセージ型	ORM^O01(Order message)
10	Message Control ID メッセージ制御ID	mn123
11	Processing ID 処理ID	P(Production)
12	Version ID バージョンID	2.5
13	Sequence Number シーケンス番号	
14	Continuation Pointer 継続ポインタ	
15	Accept Acknowledgment Type 受諾肯定応答型	
16	Application Acknowledgment Type アプリ肯定応答型	
17	Country Code 国コード	
18	Character Set 文字セット	~ISO IR87
19	Principal Language of Message 主要言語	
20	Alternate Character Set Handling Scheme	ISO 2022-1994
21	Conformance Statement ID 適合文書ID	

PID属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Set ID - Patient ID セットID-患者ID	22333444
2	Patient ID (External ID) 患者ID(外部ID)	
3	Patient ID (Internal ID) 患者ID(内部ID)	
4	Alternate Patient ID - PID 代替患者ID	

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
5	Patient Name 患者氏名	TORANOMON ICHIRO (英字氏名) 虎ノ門 一郎 (漢字氏名) とらのもん いちろう (カナ氏名)
6	Mother's Maiden Name 母親の旧姓	
7	Date/Time of Birth 生年月日年齢	19600411
8	Sex 性別	M(男性)
9	Patient Alias 患者別名	
10	Race 人種	
11	Patient Address 患者住所	東京都港区虎ノ門1-19-9 〒105-0001
12	County Code 郡コード	
13	Phone Number - Home 電話番号－自宅	03-3506-8010
14	Phone Number - Business 電話番号－勤務先	
15	Primary Language 言語－患者	
16	Marital Status 婚姻状況	
17	Religion 宗教	
18	Patient Account Number 患者会計番号	
19	SSN Number - Patient SSN番号－患者	
20	Driver's Lic Num - Patient 運転免許証番号－患者	
21	Mother's Identifier 母親の識別子	
22	Ethnic Group 人種のグループ	
23	Birth Place 誕生場所	
24	Multiple Birth Indicator 多胎児誕生標識	
25	Birth Order 誕生順序	
26	Citizenship 市民権	
27	Veterans Military Status 退役軍人状況	
28	Nationality 国籍	
29	Patient Death Date and Time 患者死亡日時	
30	Patient Death Indicator 患者死亡識別	
31	Identity Unknown Indicator 身元不明識別	
32	Identity Reliability Code 身元信頼度	
33	Last Update Date/Time 最終更新日	
34	Last Update Facility 最終更新施設	
35	Species Code 種	
36	Breed Code 品種	
37	Strain 血統	
38	Production Class Code 製品クラスコード	

PV1属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Set ID - Patient Visit セットID－来院	
2	Patient Class 患者クラス	I(入院患者)
3	Assigned Patient Location 患者所在場所	01 (内科) 南棟3階 30号室
4	Admission Type 入院タイプ	
5	Preadmit Number 仮入院番号	
6	Prior Patient Location 患者の以前の所在	
7	Attending Doctor 主治医	中田 隆
8	Referring Doctor 紹介医師	
9	Consulting Doctor コンサルタント医師	
10	Hospital Service 病院サービス	
11	Temporary Location 一時的な所在	
12	Preadmit Test Indicator 仮入院検査標識	
13	Readmission Indicator 再入院標識	
14	Admit Source入院元	
15	Ambulatory Status 外来の状況	A6 (聴力障害あり)
16	VIP Indicator VIP標識	
17	Admitting Doctor 入院許可医師	
18	Patient Type 患者タイプ	
19	Visit Number 来院回数	
20	Financial Class 財務クラス	
21	Charge Price Indicator 有償価格標識	
22	Courtesy Code 優待コード	
23	Credit Rating 信用格付け	
24	Contract Code 契約コード	

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
25	Contract Effective Date 契約発効日	
26	Contract Amount 契約金額	
27	Contract Period 契約期間	
28	Interest Code 利息コード	
29	Transfer to Bad Debt Code 不良負債転換コード	
30	Transfer to Bad Debt Date 不良負債転換日付	
31	Bad Debt Agency Code 不良負債代理コード	
32	Bad Debt Transfer Amount 不良負債転換額	
33	Bad Debt Recovery Amount 不良負債回収額	
34	Delete Account Indicator 会計削除標識	
35	Delete Account Date 会計削除日付	
36	Discharge Disposition 退院処置	
37	Discharged to Location 退院先	
38	Diet Type 給食タイプ	
39	Servicing Facility サービス施設	
40	Bed Status ベッド状況	
41	Account Status 会計状況	
42	Pending Location 保留所在	
43	Prior Temporary Location 退院先の一時的な所在	
44	Admit Date/Time 入院日付/時刻	20050101
45	Discharge Date/Time 退院日付/時刻	
46	Current Patient Balance 患者の差引不足高	
47	Total Charges 合計金額	
48	Total Adjustments 合計調整金額	
49	Total Payments 合計支払金額	
50	Alternate Visit ID 代替来院ID	
51	Visit Indicator 来院識別	
52	Other Healthcare Provider 他のヘルスケア供給者	

ORC属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Order Control オーダ制御	NW(新規オーダ) PA (親オーダ) CH (子オーダ)
2	Placer Order Number 依頼者オーダ番号	2005012000300 (NWの時)、 2005012000300 (PAの時)、 2005012000301 (CHの時)
3	Filler Order Number 実施者オーダ番号	
4	Placer Group Number 依頼者グループ番号	
5	Order Status オーダ状態	
6	Response Flag 応答フラグ	
7	Quantity/Timing 数量/タイミング	
8	Parent 親	20050120000300 (CHの時)
9	Date/Time of Transaction トランザクション日時	200501200930
10	Entered By 入力者	
11	Verified By 検証者	
12	Ordering Provider 依頼者	中田 隆
13	Enterer's Location 入力場所	01 (内科)
14	Call Back Phone Number コールバック用電話番号	
15	Order Effective Date/Time オーダ有効日時	
16	Order Control Code Reason オーダ制御コードの理由	
17	Entering Organization 入力組織	
18	Entering Device 入力装置	
19	Action By 発動者	
20	Advanced Beneficiary Notice Code 拡張利用注意コード	
21	Ordering Facility Name オーダ施設名	
22	Ordering Facility Address オーダ施設住所	
23	Ordering Facility Phone Number オーダ施設電話番号	
24	Ordering Provider Address オーダ提供者アドレス	
25	Order Status Modifier オーダ状態修正	

OBR属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Set ID – Observation Request ID設定 — 検査要求	1
2	Placer Order Number 依頼者オーダー番号	2005012000301 (PAの時)、 2005012000301 (CHの時)
3	Filler Order Number + 実施者オーダー番号	
4	Universal Service ID 検査項目群ID	60000000000000000000^X線CT検査 ^JJ1017-16P (PAの時) 600010025500000000000000000000 000^上腹部X線CT検査 ^JJ1017-32 (CHの時)
5	Priority 優先度	
6	Requested Date/time 要求日時	
7	Observation Date/Time # 検査/採取日時	200501200930
8	Observation End Date/Time # 検査/採取終了日時	
9	Collection Volume * 採取量	
10	Collector Identifier * 採取者識別子	
11	Specimen Action Code * 検体処置コード	
12	Danger Code 危険(検体)コード	
13	Relevant Clinical Info. 関連臨床情報	
14	Specimen Received Date/Time * 検体受理日時	
15	Specimen Source * 検体採取元	
16	Ordering Provider 依頼者	中田 隆
17	Order Callback Phone Number オーダーコールバック用電話番号	
18	Placer field 1 依頼者フィールド1	
19	Placer field 2 依頼者フィールド2	
20	Filler Field 1 + 実施者フィールド1	
21	Filler Field 2 + 実施者フィールド2	
22	Results Rpt/Status Chng – Date/Time + 結果報告/状態変更- 日時	
23	Charge to Practice + 課金	
24	Diagnostic Serv Sect ID 診断部門ID	
25	Result Status + 結果状態	
26	Parent Result + 親結果	
27	Quantity/Timing 数量/タイミング	R(ルーチン)
28	Result Copies To 結果配布先	
29	Parent Number * 親番号	2005012000300
30	Transportation Mode 患者移動モード	
31	Reason for Study 検査理由	
32	Principal Result Interpreter + 結果判定責任者	
33	Assistant Result Interpreter + 結果判定アシスタント	
34	Technician + 医療技術者	
35	Transcriptionist + 口述記録者	
36	Scheduled Date/Time + 予定日時	
37	Number of Sample Containers * 検体容器数	
38	Transport Logistics of Collected Sample * 採取検体搬送	
39	Collector's Comment * 採取者コメント	
40	Transport Arrangement Responsibility 搬送調整者	
41	Transport Arranged 搬送調整結果	
42	Escort Required 随行者要否	
43	Planned Patient Transport Comment 患者搬送コメント	
44	Procedure Code 手順コード	
45	Procedure Code Modifier 手順コード修正子	
46	Placer Supplemental Service Information 依頼者発行の追加サービス情報	
47	Filler Supplemental Service Information 実施者発行の追加サービス情報	

OBX属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Set ID – Observational SimpleセットID — 単純検査	1,2 (上位ORCに対して通番)
2	Value Type 値型	CE(Coded Element); ZRD (放射線検査用薬剤)

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
3	Observation Identifier 検査項目	5H0100000018101(日本検査医学会) 血液型ABO式 03-01(α-カルド)造膜作用 6000000000000000^X線CT検査 &MED^使用薬剤^JJ1017-16P
4	Observation Sub-ID 検査副ID	
5	Observation Value 検査値	4(α-カルド)AB; 0(α-カルド)無し; 8001(α-カルド)カパミ300シリンジ 100ml
6	Units 単位	
7	References Range 基準値範囲	
8	Abnormal Flags 異常フラグ	
9	Probability 確率	
10	Nature of Abnormal Test 異常検査の性質	
11	Observ Result Status 検査結果状態	P(事前結果); O(依頼詳細記述)
12	Date Last Obs Normal Values 最終検査正常値日付	
13	User Defined Access Checks 使用者定義アクセス点検	
14	Date/Time of the Observation 検査日時	
15	Producer's ID 実施者ID	
16	Responsible Observer 検査責任者	
17	Observation Method 検査方法	
18	Equipment Instance Identifier 設備段階項目	
19	Date/Time of the Analysis 分析の日時	

(4) 核医学検査オーダーメッセージ

HISからRISへV2.5仕様の日本語を含む検査依頼メッセージmn123を2005年1月20日に送信。

MSH|^~&||HIS||RIS|20050120||ORM^O01|mn123|P|2.5||||~ISO IR87||ISO 2022-1994<cr>

患者氏名は那須野一、男性、1970年8月10日生、患者ID 98765432、郵便番号105-0001、住所東京都港区虎ノ門1-19-9、電話番号 03-3506-8010である。

PID||98765432^^^P||NASUNO^HAJIME^^^^L^A~那須野一^^^^L^I~なすの^はじめ^^^^L^P||19700810|M||

東京都港区虎ノ門1-19-9^^^1050001||^PRN^PH^^^03^35068010<cr>

患者さんは入院で内科にかかっており主治医は佐々木治朗先生である。入院日は、2005年1月5日で病棟は、南棟3階35号室である。

PV1|||01^35^^南棟 3|||^佐々木^治朗^^^^^^L^^^^|||20050105<cr>

佐々木治朗先生は2005年1月20日 15:30にガリウムシンチを依頼、オーダー番号は20050120004である。患者の血液型は、O型。検査には、造影剤としてクエン酸ガリウム(67Ga)を使用するように指示。

ORC|NW|2005012000400|||200501201530||^佐々木^治朗^^^^^^L^^^^||01<cr>

ORC|PA|2005012000400|||200501201530||^佐々木^治朗^^^^^^L^^^^||01<cr>

OBR|1|2005012000400||84G00000000000000000000^核医学検査^JJ1017-16P||200501201530|||

^佐々木^治朗^^^^^^L^^^^|||^^^^R<cr>

OBX|1|CE|5H0100000018101^血液型-ABO 式^JC10|03^O^LBLABO|||P<cr>

ORC|CH|2005012000401|||2005012000400|200501201530||^佐々木^治朗^^^^^^L^^^^||01<cr>

OBR|1|2005012000401||84G540055000000000034410000000000^全身.核医学検査^JJ1017-32

|||||^佐々木^治朗^^^^^^L^^^^|||^^^^R||20050120004-00<cr>

ORC|CH|2005012000402|||2005012000400|200501201530||^佐々木^治朗^^^^^^L^^^^||01<cr>

OBR|1|2005012000402||84G5400550W0000000035000000000000^全身.核医学検査^JJ1017-32

|||||^佐々木^治朗^^^^^^L^^^^|||^^^^R||20050120004-00<cr>

MSH属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Field Separator フィールド区切文字	
2	Encoding Characters コード化文字	^~\&
3	Sending Application 送信アプリケーション	
4	Sending Facility 送信施設	HIS
5	Receiving Application 受信アプリケーション	
6	Receiving Facility 受信施設	RIS
7	Date/Time Of Message メッセージ日付/時間	20050120
8	Security セキュリティ	
9	Message Type メッセージ型	ORM^O01(Order message)
10	Message Control ID メッセージ制御ID	mn123
11	Processing ID 処理ID	P(Production)
12	Version ID バージョンID	2.5
13	Sequence Number シーケンス番号	
14	Continuation Pointer 継続ポインタ	
15	Accept Acknowledgment Type 受諾肯定応答型	
16	Application Acknowledgment Type アプリ肯定応答型	
17	Country Code 国コード	
18	Character Set 文字セット	~ISO IR87
19	Principal Language of Message 主要言語	
20	Alternate Character Set Handling Scheme	ISO 2022-1994
21	Conformance Statement ID 適合文書ID	

PID属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Set ID - Patient ID セットID一患者ID	
2	Patient ID (External ID) 患者ID(外部ID)	
3	Patient ID (Internal ID) 患者ID(内部ID)	98765432
4	Alternate Patient ID - PID 代替患者ID	
5	Patient Name 患者氏名	NASUNO HAJIME(英字氏名) 那須野 一(漢字氏名) なすの はじめ(カナ氏名)
6	Mother's Maiden Name 母親の旧姓	

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
7	Date/Time of Birth 生年月日年齢	1970810
8	Sex 性別	M(男性)
9	Patient Alias 患者別名	
10	Race 人種	
11	Patient Address 患者住所	東京都港区虎ノ門1-19-9 〒105-0001
12	County Code 郡コード	
13	Phone Number - Home 電話番号－自宅	03-3506-8010
14	Phone Number - Business 電話番号－勤務先	
15	Primary Language 言語－患者	
16	Marital Status 婚姻状況	
17	Religion 宗教	
18	Patient Account Number 患者会計番号	
19	SSN Number - Patient SSN番号－患者	
20	Driver's Lic Num - Patient 運転免許証番号－患者	
21	Mother's Identifier 母親の識別子	
22	Ethnic Group 人種のグループ	
23	Birth Place 誕生場所	
24	Multiple Birth Indicator 多胎児誕生標識	
25	Birth Order 誕生順序	
26	Citizenship 市民権	
27	Veterans Military Status 退役軍人状況	
28	Nationality 国籍	
29	Patient Death Date and Time 患者死亡日時	
30	Patient Death Indicator 患者死亡識別	
31	Identity Unknown Indicator 身元不明識別	
32	Identity Reliability Code 身元信頼度	
33	Last Update Date/Time 最終更新日	
34	Last Update Facility 最終更新施設	
35	Species Code 種	
36	Breed Code 品種	
37	Strain 血統	
38	Production Class Code 製品クラスコード	

PV1属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Set ID - Patient Visit セットID－来院	
2	Patient Class 患者クラス	I(入院患者)
3	Assigned Patient Location 患者所在場所	内科 (01) 南棟3階 35号室
4	Admission Type 入院タイプ	
5	Preadmit Number 仮入院番号	
6	Prior Patient Location 患者の以前の所在	
7	Attending Doctor 主治医	佐々木 治朗
8	Referring Doctor 紹介医師	
9	Consulting Doctor コンサルタント医師	
10	Hospital Service 病院サービス	
11	Temporary Location 一時的な所在	
12	Preadmit Test Indicator 仮入院検査標識	
13	Readmission Indicator 再入院標識	
14	Admit Source入院元	
15	Ambulatory Status 外来の状況	
16	VIP Indicator VIP標識	
17	Admitting Doctor 入院許可医師	
18	Patient Type 患者タイプ	
19	Visit Number 来院回数	
20	Financial Class 財務クラス	
21	Charge Price Indicator 有償価格標識	
22	Courtesy Code 優待コード	
23	Credit Rating 信用格付け	
24	Contract Code 契約コード	
25	Contract Effective Date 契約発効日	
26	Contract Amount 契約金額	
27	Contract Period 契約期間	
28	Interest Code 利息コード	
29	Transfer to Bad Debt Code 不良負債転換コード	

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
30	Transfer to Bad Debt Date 不良負債転換日付	
31	Bad Debt Agency Code 不良負債代理コード	
32	Bad Debt Transfer Amount 不良負債転換額	
33	Bad Debt Recovery Amount 不良負債回収額	
34	Delete Account Indicator 会計削除標識	
35	Delete Account Date 会計削除日付	
36	Discharge Disposition 退院処置	
37	Discharged to Location 退院先	
38	Diet Type 給食タイプ	
39	Servicing Facility サービス施設	
40	Bed Status ベッド状況	
41	Account Status 会計状況	
42	Pending Location 保留所在	
43	Prior Temporary Location 退院先の一時的な所在	
44	Admit Date/Time 入院日付/時刻	20050105
45	Discharge Date/Time 退院日付/時刻	
46	Current Patient Balance 患者の差引不足高	
47	Total Charges 合計金額	
48	Total Adjustments 合計調整金額	
49	Total Payments 合計支払金額	
50	Alternate Visit ID 代替来院ID	
51	Visit Indicator 来院識別	
52	Other Healthcare Provider 他のヘルスケア供給者	

ORC属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Order Control オーダ制御	NW(新規オーダ) PA (親オーダ) CH (子オーダ)
2	Placer Order Number 依頼者オーダ番号	2005012000400 (NWの時)、 2005012000400 (PAの時)、 2005012000401 (CHの時)、 2005012000402 (CHの時)
3	Filler Order Number 実施者オーダ番号	
4	Placer Group Number 依頼者グループ番号	
5	Order Status オーダ状態	
6	Response Flag 応答フラグ	
7	Quantity/Timing 数量/タイミング	
8	Parent 親	2005012000400 (CHの時)
9	Date/Time of Transaction トランザクション日時	200501201530
10	Entered By 入力者	
11	Verified By 検証者	
12	Ordering Provider 依頼者	佐々木 治朗
13	Enterer's Location 入力場所	01 (内科)
14	Call Back Phone Number コールバック用電話番号	
15	Order Effective Date/Time オーダ有効日時	
16	Order Control Code Reason オーダ制御コードの理由	
17	Entering Organization 入力組織	
18	Entering Device 入力装置	
19	Action By 発動者	
20	Advanced Beneficiary Notice Code 拡張利用注意コード	
21	Ordering Facility Name オーダ施設名	
22	Ordering Facility Address オーダ施設住所	
23	Ordering Facility Phone Number オーダ施設電話番号	
24	Ordering Provider Address オーダ提供者アドレス	
25	Order Status Modifier オーダ状態修正	

OBR属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Set ID - Observation Request ID設定 - 検査要求	1
2	Placer Order Number 依頼者オーダ番号	2005012000400 (PAのとき)、 2005012000401 (CHの時)、 2005012000402 (CHの時)

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
3	Filler Order Number + 実施者オーダー番号	
4	Universal Service ID 検査項目群ID	84G00000000000000000000^核医学検査 ^JJ1017-16P (PAの時) 84G540055000000000003441000000 0000^全身.核医学検査^JJ1017-32 (CHの時、注射) 84G5400550W000000003541000000 0000^全身.核医学検査^JJ1017-32 (CHの時、撮影)
5	Priority 優先度	
6	Requested Date/time 要求日時	
7	Observation Date/Time # 検査/採取日時	200501201530
8	Observation End Date/Time # 検査/採取終了日時	
9	Collection Volume * 採取量	
10	Collector Identifier * 採取者識別子	
11	Specimen Action Code * 検体処置コード	
12	Danger Code 危険(検体)コード	
13	Relevant Clinical Info. 関連臨床情報	
14	Specimen Received Date/Time * 検体受理日時	
15	Specimen Source * 検体採取元	
16	Ordering Provider 依頼者	佐々木 治朗
17	Order Callback Phone Number オーダーコールバック用電話番号	
18	Placer field 1 依頼者フィールド1	
19	Placer field 2 依頼者フィールド2	
20	Filler Field 1 + 実施者フィールド1	
21	Filler Field 2 + 実施者フィールド2	
22	Results Rpt/Status Chng - Date/Time + 結果報告/状態変更- 日時	
23	Charge to Practice + 課金	
24	Diagnostic Serv Sect ID 診断部門ID	
25	Result Status + 結果状態	
26	Parent Result + 親結果	
27	Quantity/Timing 数量/タイミング	R(ルーチン)
28	Result Copies To 結果配布先	
29	Parent Number * 親番号	2005012000400
30	Transportation Mode 患者移動モード	
31	Reason for Study 検査理由	
32	Principal Result Interpreter + 結果判定責任者	
33	Assistant Result Interpreter + 結果判定アシスタント	
34	Technician + 医療技術者	
35	Transcriptionist + 口述記録者	
36	Scheduled Date/Time + 予定日時	
37	Number of Sample Containers * 検体容器数	
38	Transport Logistics of Collected Sample * 採取検体搬送	
39	Collector's Comment * 採取者コメント	
40	Transport Arrangement Responsibility 搬送調整者	
41	Transport Arranged 搬送調整結果	
42	Escort Required 随行者要否	
43	Planned Patient Transport Comment 患者搬送コメント	
44	Procedure Code 手順コード	
45	Procedure Code Modifier 手順コード修正子	
46	Placer Supplemental Service Information 依頼者発行の追加サービス情報	
47	Filler Supplemental Service Information 実施者発行の追加サービス情報	

OBX属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Set ID - Observational SimpleセットID - 単純検査	
2	Value Type 値型	CE(Coded Element)、
3	Observation Identifier 検査項目	5-H0100000018101 血液型ABO式
4	Observation Sub-ID 検査副ID	

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
5	Observation Value 検査値	03(p-カルド)O 6002 クエン酸ガリウム
6	Units 単位	
7	References Range 基準値範囲	
8	Abnormal Flags 異常フラグ	
9	Probability 確率	
10	Nature of Abnormal Test 異常検査の性質	
11	Observ Result Status 検査結果状態	P(事前結果) O(依頼詳細記述)
12	Date Last Obs Normal Values 最終検査正常値日付	
13	User Defined Access Checks 使用者定義アクセス点検	
14	Date/Time of the Observation 検査日時	
15	Producer's ID 実施者ID	
16	Responsible Observer 検査責任者	
17	Observation Method 検査方法	
18	Equipment Instance Identifier 設備段階項目	
19	Date/Time of the Analysis 分析の日時	

シンチグラムのMSG記述例(※MSH、PID、PV1は、省略)

(1) 手技で注射を記述し、注射と撮影を一括で送信する場合

```

ORC|NW|2003012000400|||||200301201530||^佐々木^治朗^^^^^^L^^^^^|01<cr>
ORC|PA|2003012000400|||||200301201530||^佐々木^治朗^^^^^^L^^^^^|01<cr>
OBR|1|2003012000400||84G0000000000000^核医学検査^JJ1017-16P
|||||||佐々木^治朗^^^^^^L^^^^^||||||||^^^^^R<cr>
OBX|1|CE|5H0100000018101^血液型-ABO 式^JC10||03^O^LBLABO|||||P<cr>
ORC|CH|2003012000401|||||2003012000400|200301201530||^佐々木^治朗^^^^^^L^^^^^|01<cr>
OBR|1|2003012000401||84G540055000000000344100000000000^全身.核医学検査^JJ1017-32
||20030120|||||||佐々木^治朗^^^^^^L^^^^^||||||||^^^^^R||20030120004-00<cr>
ORC|CH|2003012000402|||||2003012000400|200301201530||^佐々木^治朗^^^^^^L^^^^^|01<cr>
OBR|1|2003012000402||84G5400550W0000000350000000000000^全身.核医学検査^JJ1017-32
||20030120|||||||佐々木^治朗^^^^^^L^^^^^||||||||^^^^^R||20030120004-00<cr>

```

(2) 手技で注射を記述し、注射と撮影を別々で送信する場合

```

ORC|NW|2003012000400|||||200301201530||^佐々木^治朗^^^^^^L^^^^^|01<cr>
ORC|PA|2003012000400|||||200301201530||^佐々木^治朗^^^^^^L^^^^^|01<cr>
OBR|1|2003012000400||84G00000000000000^核医学検査^JJ1017-16P
|||||||佐々木^治朗^^^^^^L^^^^^||||||||^^^^^R<cr>
OBX|1|CE|5H0100000018101^血液型-ABO 式^JC10||03^O^LBLABO|||||P<cr>
ORC|CH|2003012000401|||||2003012000400|200301201530||^佐々木^治朗^^^^^^L^^^^^|01<cr>
OBR|1|2003012000401||84G540055000000000344100000000000^全身.核医学検査^JJ1017-32
||20030120|||||||佐々木^治朗^^^^^^L^^^^^||||||||^^^^^R||20030120004-00<cr>

```

```

-----
ORC|NW|2003012000500|||||200301201530||^佐々木^治朗^^^^^^L^^^^^|01<cr>
ORC|PA|2003012000500|||||200301201530||^佐々木^治朗^^^^^^L^^^^^|01<cr>
OBR|1|2003012000500||84G00000000000000^核医学検査^JJ1017-16P
|||||||佐々木^治朗^^^^^^L^^^^^||||||||^^^^^R<cr>
OBX|1|CE|5H0100000018101^血液型-ABO 式^JC10||03^O^LBLABO|||||P<cr>
ORC|CH|2003012000501|||||2003012000400|200301201530||^佐々木^治朗^^^^^^L^^^^^|01<cr>
OBR|1|2003012000501||84G5400550W0000000350000000000000^全身.核医学検査^JJ1017-32
||20030120|||||||佐々木^治朗^^^^^^L^^^^^||||||||^^^^^R||20030120004-00<cr>

```

(5) MR撮影検査オーダーメッセージ

HISからRISへV2.5仕様の日本語を含む検査依頼メッセージsampleB001を2005年1月20日に送信。
MSH|^~&|HIS|RIS||200501201120||ORM^O01|sampleB001|P|2.5||||~ISO IR87|ISO 2022-1994<cr>

患者名は新橋花子、女性、1940年1月12日生、患者ID 00001002、住所は〒105-0001東京都港区虎ノ門
1-19-9、電話番号 03-3506-8010である。

PID|||00001002^^^^P|||SINBASI^HANAKO^^^^L^A~新橋^花子^^^^L^I~しんばし^はなこ^^^^L^P
||19400112|F|||東京都港区虎ノ門1-19-9^^^^1050001||^PRN^PH^^^03^35068010<cr>

患者さんは外来で主治医は内科の中田隆先生である。

PV1||O|||||^中田^隆^^^^^^L^^^^^I

中田隆先生が2005年1月20日11:20に依頼。オーダー番号は20050120002である。

ORC|NW|2005012000200|||||200501201120|||^中田^隆^^^^^^L^^^^^I|01<cr>

検査はMRの単純撮影。血液型はB型、想定病名は"骨盤腫瘍"である。

ORC|PA|2005012000200|||||200501201120|||^中田^隆^^^^^^L^^^^^I|01<cr>

OBR|1|2005012000200||70000000000000000000^MRI検査^JJ1017-16P

||200501201120|||||^中田^隆^^^^^^L^^^^^I|||||||^^^^^R<cr>

OBX|1|CE|5H0100000018101^血液型-ABO式^JC10||02^B^L|||||P<cr>

OBX|2|CE|MD0022790^現疾患.診断.名称^L|1|D487^骨盤腫瘍^I10|||||P<cr>

検査項目は骨盤単純MR撮影である。

ORC|CH|2005012000201|||||2005012000200|200501201120|||^中田^隆^^^^^^L^^^^^I|01<cr>

OBR|1|2005012000201||7000000320000000000000000000000000^骨盤.MRI検査^JJ1017-32

||200501201120|||||^中田^隆^^^^^^L^^^^^I|||||||^^^^^R||20050120002-00<cr>

MSH属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Field Separator フィールド区切文字	
2	Encoding Characters コード化文字	^~&
3	Sending Application 送信アプリケーション	HIS
4	Sending Facility 送信施設	
5	Receiving Application 受信アプリケーション	RIS
6	Receiving Facility 受信施設	
7	Date/Time Of Message メッセージ日付/時間	200501201120
8	Security セキュリティ	
9	Message Type メッセージ型	ORM^O01(Order message)
10	Message Control ID メッセージ制御ID	sampleB001
11	Processing ID 処理ID	P(Production)
12	Version ID バージョンID	2.5
13	Sequence Number シーケンス番号	
14	Continuation Pointer 継続ポインタ	
15	Accept Acknowledgment Type 受諾肯定応答型	
16	Application Acknowledgment Type アプリ肯定応答型	
17	Country Code 国コード	
18	Character Set 文字セット	~ISO IR87
19	Principal Language of Message 主要言語	
20	Alternate Character Set Handling Scheme	ISO 2022-1994
21	Conformance Statement ID 適合文書ID	

PID属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Set ID - Patient ID セットIDー患者ID	
2	Patient ID (External ID) 患者ID(外部ID)	
3	Patient ID (Internal ID) 患者ID(内部ID)	00001002
4	Alternate Patient ID - PID 代替患者ID	
5	Patient Name 患者氏名	SINBASI HANAKO(英字氏名) 新橋 花子(漢字氏名) しんばし はなこ(カナ氏名)
6	Mother's Maiden Name 母親の旧姓	
7	Date/Time of Birth 生年月日年齢	19400112
8	Sex 性別	F(女性)
9	Patient Alias 患者別名	
10	Race 人種	
11	Patient Address 患者住所	東京都港区虎ノ門1-19-9 〒105-0001
12	County Code 郡コード	
13	Phone Number - Home 電話番号ー自宅	03-3506-8010
14	Phone Number - Business 電話番号ー勤務先	
15	Primary Language 言語ー患者	
16	Marital Status 婚姻状況	
17	Religion 宗教	
18	Patient Account Number 患者会計番号	
19	SSN Number - Patient SSN番号ー患者	
20	Driver's Lic Num - Patient 運転免許証番号ー患者	
21	Mother's Identifier 母親の識別子	
22	Ethnic Group 人種のグループ	
23	Birth Place 誕生場所	
24	Multiple Birth Indicator 多胎児誕生標識	
25	Birth Order 誕生順序	
26	Citizenship 市民権	
27	Veterans Military Status 退役軍人状況	
28	Nationality 国籍	
29	Patient Death Date and Time 患者死亡日時	
30	Patient Death Indicator 患者死亡識別	
31	Identity Unknown Indicator 身元不明識別	
32	Identity Reliability Code 身元信頼度	
33	Last Update Date/Time 最終更新日	
34	Last Update Facility 最終更新施設	
35	Species Code 種	
36	Breed Code 品種	
37	Strain 血統	
38	Production Class Code 製品クラスコード	

PV1属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Set ID - Patient Visit セットIDー来院	
2	Patient Class 患者クラス	O(外来患者)
3	Assigned Patient Location 患者所在場所	
4	Admission Type 入院タイプ	
5	Preadmit Number 仮入院番号	
6	Prior Patient Location 患者の以前の所在	
7	Attending Doctor 主治医	中田 隆
8	Referring Doctor 紹介医師	
9	Consulting Doctor コンサルタント医師	
10	Hospital Service 病院サービス	
11	Temporary Location 一時的な所在	
12	Preadmit Test Indicator 仮入院検査標識	
13	Readmission Indicator 再入院標識	
14	Admit Source入院元	
15	Ambulatory Status 外来の状況	
16	VIP Indicator VIP標識	
17	Admitting Doctor 入院許可医師	
18	Patient Type 患者タイプ	
19	Visit Number 来院回数	
20	Financial Class 財務クラス	

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
21	Charge Price Indicator 有償価格標識	
22	Courtesy Code 優待コード	
23	Credit Rating 信用格付け	
24	Contract Code 契約コード	
25	Contract Effective Date 契約発効日	
26	Contract Amount 契約金額	
27	Contract Period 契約期間	
28	Interest Code 利息コード	
29	Transfer to Bad Debt Code 不良負債転換コード	
30	Transfer to Bad Debt Date 不良負債転換日付	
31	Bad Debt Agency Code 不良負債代理コード	
32	Bad Debt Transfer Amount 不良負債転換額	
33	Bad Debt Recovery Amount 不良負債回収額	
34	Delete Account Indicator 会計削除標識	
35	Delete Account Date 会計削除日付	
36	Discharge Disposition 退院処置	
37	Discharged to Location 退院先	
38	Diet Type 給食タイプ	
39	Servicing Facility サービス施設	
40	Bed Status ベッド状況	
41	Account Status 会計状況	
42	Pending Location 保留所在	
43	Prior Temporary Location 退院先の一時的な所在	
44	Admit Date/Time 入院日付/時刻	
45	Discharge Date/Time 退院日付/時刻	
46	Current Patient Balance 患者の差引不足高	
47	Total Charges 合計金額	
48	Total Adjustments 合計調整金額	
49	Total Payments 合計支払金額	
50	Alternate Visit ID 代替来院ID	
51	Visit Indicator 来院識別	
52	Other Healthcare Provider 他のヘルスケア供給者	

ORC属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Order Control オーダ制御	NW(新規オーダ) PA (親オーダ) CH (子オーダ)
2	Placer Order Number 依頼者オーダ番号	2005012000200 (NWの時)、 2005012000200 (PAの時)、 2005012000201 (CHの時)
3	Filler Order Number 実施者オーダ番号	
4	Placer Group Number 依頼者グループ番号	
5	Order Status オーダ状態	
6	Response Flag 応答フラグ	
7	Quantity/Timing 数量/タイミング	
8	Parent 親	2005012000201 (CHの時)
9	Date/Time of Transaction トランザクション日時	200501201120
10	Entered By 入力者	
11	Verified By 検証者	
12	Ordering Provider 依頼者	中田 隆
13	Enterer's Location 入力場所	01 (内科)
14	Call Back Phone Number コールバック用電話番号	
15	Order Effective Date/Time オーダ有効日時	
16	Order Control Code Reason オーダ制御コードの理由	
17	Entering Organization 入力組織	
18	Entering Device 入力装置	
19	Action By 発動者	
20	Advanced Beneficiary Notice Code 拡張利用注意コード	
21	Ordering Facility Name オーダ施設名	
22	Ordering Facility Address オーダ施設住所	
23	Ordering Facility Phone Number オーダ施設電話番号	
24	Ordering Provider Address オーダ提供者アドレス	
25	Order Status Modifier オーダ状態修正	

OBR属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Set ID – Observation Request ID設定 – 検査要求	1
2	Placer Order Number 依頼者オーダー番号	2005012000200 (PAの時)、 2005012000201 (CHの時)
3	Filler Order Number + 実施者オーダー番号	
4	Universal Service ID 検査項目群ID	70000000000000000000^MR I 検査 ^JJ1017-16P (PAの時) 70000000320000000000000000000000 0^骨盤:MR I 検査^JJ1017-32 (CHの 時)
5	Priority 優先度	
6	Requested Date/time 要求日時	
7	Observation Date/Time # 検査/採取日時	200501201120
8	Observation End Date/Time # 検査/採取終了日時	
9	Collection Volume * 採取量	
10	Collector Identifier * 採取者識別子	
11	Specimen Action Code * 検体処置コード	
12	Danger Code 危険(検体)コード	
13	Relevant Clinical Info. 関連臨床情報	
14	Specimen Received Date/Time * 検体受理日時	
15	Specimen Source * 検体採取元	
16	Ordering Provider 依頼者	中田 隆
17	Order Callback Phone Number オーダーコールバック用電話番号	
18	Placer field 1 依頼者フィールド1	
19	Placer field 2 依頼者フィールド2	
20	Filler Field 1 + 実施者フィールド1	
21	Filler Field 2 + 実施者フィールド2	
22	Results Rpt/Status Chng – Date/Time + 結果報告/状態変更- 日時	
23	Charge to Practice + 課金	
24	Diagnostic Serv Sect ID 診断部門ID	
25	Result Status + 結果状態	
26	Parent Result + 親結果	
27	Quantity/Timing 数量/タイミング	R (ルーチン)
28	Result Copies To 結果配布先	
29	Parent Number * 親番号	2005012000200 (CHの場合)
30	Transportation Mode 患者移動モード	
31	Reason for Study 検査理由	
32	Principal Result Interpreter + 結果判定責任者	
33	Assistant Result Interpreter + 結果判定アシスタント	
34	Technician + 医療技術者	
35	Transcriptionist + 口述記録者	
36	Scheduled Date/Time + 予定日時	
37	Number of Sample Containers * 検体容器数	
38	Transport Logistics of Collected Sample * 採取検体搬送	
39	Collector's Comment * 採取者コメント	
40	Transport Arrangement Responsibility 搬送調整者	
41	Transport Arranged 搬送調整結果	
42	Escort Required 随行者要否	
43	Planned Patient Transport Comment 患者搬送コメント	
44	Procedure Code 手順コード	
45	Procedure Code Modifier 手順コード修正子	
46	Placer Supplemental Service Information 依頼者発行の追 加サービス情報	
47	Filler Supplemental Service Information 実施者発行の追加 サービス情報	

OBX属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Set ID – Observational SimpleセットID — 単純検査	1,2（上位ORCに対して通番）
2	Value Type 値型	CE
3	Observation Identifier 検査項目	血液型の場合：5H0100000018101^血液型-ABO式^JC10 送手病名の場合：MD0022790^現疾患診断名称^L
4	Observation Sub-ID 検査副ID	
5	Observation Value 検査値	血液型のB型：02^B^L 想定病名の場合：D487^骨盤腫瘍^Y10
6	Units 単位	
7	References Range 基準値範囲	
8	Abnormal Flags 異常フラグ	
9	Probability 確率	
10	Nature of Abnormal Test 異常検査の性質	
11	Observ Result Status 検査結果状態	P(事前結果)
12	Date Last Obs Normal Values 最終検査正常値日付	
13	User Defined Access Checks 使用者定義アクセス点検	
14	Date/Time of the Observation 検査日時	
15	Producer's ID 実施者ID	
16	Responsible Observer 検査責任者	
17	Observation Method 検査方法	
18	Equipment Instance Identifier 設備段階項目	
19	Date/Time of the Analysis 分析の日時	

(6) X線ポータブル撮影検査オーダーメッセージ

HISからRISへV2.5仕様の日本語を含む検査依頼メッセージmn123を2005年1月30日に送信。

MSH|^~\&||HIS||RIS|20050130||ORM^O01|mn123|P|2.5||||~ISO IR87||ISO 2022-1994<cr>

患者氏名は永田ひかる、女性、1959年11月14日生、患者ID 55666777、住所は〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-19-9、自宅電話番号は03-3506-8010である。

PID||55666777^P||NAGATA^HIKARU^~~~~~L^A~永田^ひかる^~~~~~L^I~ながた^ひかる^~~~~~L^P
||19591114|F||東京都港区虎ノ門1-19-9^1050001||^PRN^PH^03^35068010<cr>

患者さんは外科西棟1階の17号室に入院しており、主治医は外科の小林幸恵先生である。

PV1||||02^17^西棟 1|||^小林^幸恵^~~~~~L|||||||20050115<cr>

小林幸恵先生は2005年1月20日 10:30に放射線検査を依頼。オーダー番号は20050120006である。

ORC|NW|2005012000600|||||200501201030|||^小林^幸恵^~~~~~L^~~~~~I|02<cr>

患者プロフィール(血液型:B 型)を親オーダー情報として指定。

ORC|PA|2005012000600|||||200501201030|||^小林^幸恵^~~~~~L^~~~~~I|02<cr>

OBR|1|2005012000600||*****0000000000^X線単純撮影*****JJ1017-16P

||200501201030|||||||^小林^幸恵^~~~~~L^~~~~~I|||||||*****R<cr>

OBX|1|CE|MD0015390^血液型-ABO 式^L|02^B^L|||||P<cr>

検査種別情報(X 線単純ポータブル、検査部位は頸部、方向は指定無し)を子オーダー情報として指定。

ORC|CH|2005012000601|||||2005012000600|200501201030|||^小林^幸恵^~~~~~L^~~~~~I|02<cr>

OBR|1|2005012000601||*****00170000000000000000000000000000^頸部.X線単純撮影*****JJ1017-32

||200501201030|||||||^小林^幸恵^~~~~~L^~~~~~I|||||||*****R||20050120006-00<cr>

注)

JJ1017 V3.0において、2005年4月現在、ポータブル検査はコードに存在しない。そのため、メッセージ例ではコード及び名称の一部を ***** として記載している。

MSH属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Field Separator フィールド区切文字	
2	Encoding Characters コード化文字	^~\&
3	Sending Application 送信アプリケーション	
4	Sending Facility 送信施設	HIS
5	Receiving Application 受信アプリケーション	
6	Receiving Facility 受信施設	RIS
7	Date/Time Of Message メッセージ日付/時間	20050130
8	Security セキュリティ	
9	Message Type メッセージ型	ORM^O01(Order message)
10	Message Control ID メッセージ制御ID	mn123
11	Processing ID 処理ID	P(Production)
12	Version ID バージョンID	2.5
13	Sequence Number シーケンス番号	
14	Continuation Pointer 継続ポインタ	
15	Accept Acknowledgment Type 受諾肯定応答型	
16	Application Acknowledgment Type アプリ肯定応答型	
17	Country Code 国コード	
18	Character Set 文字セット	~ISO IR87
19	Principal Language of Message 主要言語	
20	Alternate Character Set Handling Scheme	ISO 2022-1994
21	Conformance Statement ID 適合文書ID	

PID属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Set ID - Patient ID セットID-患者ID	
2	Patient ID (External ID) 患者ID(外部ID)	
3	Patient ID (Internal ID) 患者ID(内部ID)	55666777
4	Alternate Patient ID - PID 代替患者ID	
5	Patient Name 患者氏名	NAGATA HIKARU(英字氏名) 永田 ひかる(漢字氏名) ながた ひかる(カナ氏名)
6	Mother's Maiden Name 母親の旧姓	
7	Date/Time of Birth 生年月日年齢	1959年11月14日

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
8	Sex 性別	F(女性)
9	Patient Alias 患者別名	
10	Race 人種	
11	Patient Address 患者住所	東京都港区虎ノ門1-19-9 〒105-0001
12	County Code 郡コード	
13	Phone Number - Home 電話番号－自宅	03-3506-8010
14	Phone Number - Business 電話番号－勤務先	
15	Primary Language 言語－患者	
16	Marital Status 婚姻状況	
17	Religion 宗教	
18	Patient Account Number 患者会計番号	
19	SSN Number - Patient SSN番号－患者	
20	Driver's Lic Num - Patient 運転免許証番号－患者	
21	Mother's Identifier 母親の識別子	
22	Ethnic Group 人種のグループ	
23	Birth Place 誕生場所	
24	Multiple Birth Indicator 多胎児誕生標識	
25	Birth Order 誕生順序	
26	Citizenship 市民権	
27	Veterans Military Status 退役軍人状況	
28	Nationality 国籍	
29	Patient Death Date and Time 患者死亡日時	
30	Patient Death Indicator 患者死亡識別	
31	Identity Unknown Indicator 身元不明識別	
32	Identity Reliability Code 身元信頼度	
33	Last Update Date/Time 最終更新日	
34	Last Update Facility 最終更新施設	
35	Species Code 種	
36	Breed Code 品種	
37	Strain 血統	
38	Production Class Code 製品クラスコード	

PV1属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Set ID - Patient Visit セットID－来院	
2	Patient Class 患者クラス	I (入院患者)
3	Assigned Patient Location 患者所在場所	外科(02) 西棟 1 階 17号室
4	Admission Type 入院タイプ	
5	Preadmit Number 仮入院番号	
6	Prior Patient Location 患者の以前の所在	
7	Attending Doctor 主治医	小林 幸恵
8	Referring Doctor 紹介医師	
9	Consulting Doctor コンサルタント医師	
10	Hospital Service 病院サービス	
11	Temporary Location 一時的な所在	
12	Preadmit Test Indicator 仮入院検査標識	
13	Readmission Indicator 再入院標識	
14	Admit Source入院元	
15	Ambulatory Status 外来の状況	
16	VIP Indicator VIP標識	
17	Admitting Doctor 入院許可医師	
18	Patient Type 患者タイプ	
19	Visit Number 来院回数	
20	Financial Class 財務クラス	
21	Charge Price Indicator 有償価格標識	
22	Courtesy Code 優待コード	
23	Credit Rating 信用格付け	
24	Contract Code 契約コード	
25	Contract Effective Date 契約発効日	
26	Contract Amount 契約金額	
27	Contract Period 契約期間	
28	Interest Code 利息コード	
29	Transfer to Bad Debt Code 不良負債転換コード	
30	Transfer to Bad Debt Date 不良負債転換日付	

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
31	Bad Debt Agency Code 不良負債代理コード	
32	Bad Debt Transfer Amount 不良負債転換額	
33	Bad Debt Recovery Amount 不良負債回収額	
34	Delete Account Indicator 会計削除標識	
35	Delete Account Date 会計削除日付	
36	Discharge Disposition 退院処置	
37	Discharged to Location 退院先	
38	Diet Type 給食タイプ	
39	Servicing Facility サービス施設	
40	Bed Status ベッド状況	
41	Account Status 会計状況	
42	Pending Location 保留所在	
43	Prior Temporary Location 退院先の一時的な所在	
44	Admit Date/Time 入院日付/時刻	2005年1月15日
45	Discharge Date/Time 退院日付/時刻	
46	Current Patient Balance 患者の差引不足高	
47	Total Charges 合計金額	
48	Total Adjustments 合計調整金額	
49	Total Payments 合計支払金額	
50	Alternate Visit ID 代替来院ID	
51	Visit Indicator 来院識別	
52	Other Healthcare Provider 他のヘルスケア供給者	

ORC属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Order Control オーダ制御	NW(新規オーダー) PA (親オーダー) CH (子オーダー)
2	Placer Order Number 依頼者オーダー番号	2005012000600 (NWの時)、 2005012000600 (PAの時)、 2005012000601 (CHの時)
3	Filler Order Number 実施者オーダー番号	
4	Placer Group Number 依頼者グループ番号	
5	Order Status オーダ状態	
6	Response Flag 応答フラグ	
7	Quantity/Timing 数量/タイミング	
8	Parent 親	2005012000600 (CHの時)
9	Date/Time of Transaction トランザクション日時	200501201030
10	Entered By 入力者	
11	Verified By 検証者	
12	Ordering Provider 依頼者	小林 幸恵
13	Enterer's Location 入力場所	02 (外科)
14	Call Back Phone Number コールバック用電話番号	
15	Order Effective Date/Time オーダ有効日時	
16	Order Control Code Reason オーダ制御コードの理由	
17	Entering Organization 入力組織	
18	Entering Device 入力装置	
19	Action By 発動者	
20	Advanced Beneficiary Notice Code 拡張利用用注意コード	
21	Ordering Facility Name オーダ施設名	
22	Ordering Facility Address オーダ施設住所	
23	Ordering Facility Phone Number オーダ施設電話番号	
24	Ordering Provider Address オーダ提供者アドレス	
25	Order Status Modifier オーダ状態修正	

OBR属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Set ID - Observation Request ID設定 - 検査要求	1
2	Placer Order Number 依頼者オーダー番号	2005012000600 (PAの時)、 2005012000601 (CHの時)
3	Filler Order Number + 実施者オーダー番号	

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
4	Universal Service ID 検査項目群ID	*****00000000000^X線単純撮影 *****^JJ1017-16P (PAの時) *****00170000000000000000000000 0^頸部.X線単純撮影*****^JJ1017-32 (CHの時)
5	Priority 優先度	
6	Requested Date/time 要求日時	
7	Observation Date/Time # 検査/採取日時	200501201030
8	Observation End Date/Time # 検査/採取終了日時	
9	Collection Volume * 採取量	
10	Collector Identifier * 採取者識別子	
11	Specimen Action Code * 検体処置コード	
12	Danger Code 危険(検体)コード	
13	Relevant Clinical Info. 関連臨床情報	
14	Specimen Received Date/Time * 検体受理日時	
15	Specimen Source * 検体採取元	
16	Ordering Provider 依頼者	小林 幸恵
17	Order Callback Phone Number オークールバック用電話番号	
18	Placer field 1 依頼者フィールド1	
19	Placer field 2 依頼者フィールド2	
20	Filler Field 1 + 実施者フィールド1	
21	Filler Field 2 + 実施者フィールド2	
22	Results Rpt/Status Chng - Date/Time + 結果報告/状態変更- 日時	
23	Charge to Practice + 課金	
24	Diagnostic Serv Sect ID 診断部門ID	
25	Result Status + 結果状態	
26	Parent Result + 親結果	
27	Quantity/Timing 数量/タイミング	R(ルーチン)
28	Result Copies To 結果配布先	
29	Parent Number * 親番号	2005012000600
30	Transportation Mode 患者移動モード	
31	Reason for Study 検査理由	
32	Principal Result Interpreter + 結果判定責任者	
33	Assistant Result Interpreter + 結果判定アシスタント	
34	Technician + 医療技術者	
35	Transcriptionist + 口述記録者	
36	Scheduled Date/Time + 予定日時	
37	Number of Sample Containers * 検体容器数	
38	Transport Logistics of Collected Sample * 採取検体搬送	
39	Collector's Comment * 採取者コメント	
40	Transport Arrangement Responsibility 搬送調整者	
41	Transport Arranged 搬送調整結果	
42	Escort Required 随行者要否	
43	Planned Patient Transport Comment 患者搬送コメント	
44	Procedure Code 手順コード	
45	Procedure Code Modifier 手順コード修正子	
46	Placer Supplemental Service Information 依頼者発行の追加サービス情報	
47	Filler Supplemental Service Information 実施者発行の追加サービス情報	

OBX属性

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
1	Set ID - Observational SimpleセットID — 単純検査	1
2	Value Type 値型	CE
3	Observation Identifier 検査項目	MD0015390^血液型—ABO式 (MEDISコード)
4	Observation Sub-ID 検査副ID	
5	Observation Value 検査値	02(0-カルコト)B
6	Units 単位	
7	References Range 基準値範囲	
8	Abnormal Flags 異常フラグ	
9	Probability 確率	

SEQ	ELEMENT NAME	NOTE
10	Nature of Abnormal Test 異常検査の性質	P(事前結果)
11	Observ Result Status 検査結果状態	
12	Date Last Obs Normal Values 最終検査正常値日付	
13	User Defined Access Checks 使用者定義アクセス点検	
14	Date/Time of the Observation 検査日時	
15	Producer's ID 実施者ID	
16	Responsible Observer 検査責任者	
17	Observation Method 検査方法	
18	Equipment Instance Identifier 設備段階項目	
19	Date/Time of the Analysis 分析の日時	

付録-2. JJ1017 V3.0 の使用規約

わが国ではオーダ時に詳細情報を指定することが多い。そこで、検査種別、検査部位、検査詳細、検査材料などの階層構造を実現するために、ORCセグメントで、撮影全体に関する情報を親オーダ、個々の撮影に関する情報を子オーダとして記述し、紐付けすることにした。具体的な例を挙げて説明する。図1の例では、X線単純撮影の胸部正面(A→P)と胸部側面(L→R)及び、腹部正面(A→P)と腹部側面(L→R)を依頼している。

```
MSH|^~\&|HIS||RIS||20030120100000||ORM^O01|20030120000010|P|2.5|||||
~ISO IR87||ISO 2022-1994<cr>
PID|||12345678^^^^P||東京^太郎^^^^L^|~トウキョウ^タロウ^^^^L^P||19501214|M||
  東京都港区虎ノ門1-19-9^^^^1050001||^PRN^PH^^^^03^35068010<cr>
PV1||O|01||||D12345^中田^隆^^^^^^L^^^^^|<cr>
ORC|NW|200301200001|||||20030120100000||D12345^中田^隆^^^^^^L^^^^^|01<cr>
ORC|PA|20030120000100|||||20030120100000||D12345^中田^隆^^^^^^L^^^^^|01<cr>
OBR|1|200301200001||100000000000000000^X線単純撮影^JJ1017-16P||200301201030|||||||
D12345^中田^隆^^^^^^L^^^^^|01|||||^^^^^R<cr>
OBX||NM|01-02^体重||62|kg||||P<cr>
ORC|CH|20030120000101|||||20030120000100|20030120100000||D12345^中田^隆^^^^^^L^^^^^|01<cr>
OBR|1|20030120000101||10000002000102000001000000000000
^胸部.X線単純撮影.立位正面(A→P)^JJ1017-32||200301201030|||||||
D12345^中田^隆^^^^^^L^^^^^|01|||||^^^^^R||200301200001<cr>
ORC|CH|20030120000102|||||20030120000100|20030120100000||D12345^中田^隆^^^^^^L^^^^^|01<cr>
OBR|1|20030120000102||10000002000106000001000000000000
^胸部.X線単純撮影.立位側面(L→R)^JJ1017-32||200301201030|||||||
D12345^中田^隆^^^^^^L^^^^^|01|||||^^^^^R||200301200001<cr>
ORC|CH|20030120000103|||||20030120000100|20030120100000||D12345^中田^隆^^^^^^L^^^^^|01<cr>
OBR|1|20030120000103||10000002510102000001000000000000
^腹部(KUB).X線単純撮影.立位正面(A→P)^JJ1017-32||200301201030|||||||
D12345^中田^隆^^^^^^L^^^^^|01|||||^^^^^R||200301200001<cr>
ORC|CH|20030120000104|||||20030120000100|20030120100000||D12345^中田^隆^^^^^^L^^^^^|01<cr>
OBR|1|20030120000104||10000002510106000001000000000000
^腹部(KUB).X線単純撮影.立位側面(L→R)^JJ1017-32||200301201030|||||||
D12345^中田^隆^^^^^^L^^^^^|01|||||^^^^^R||200301200001<cr>
```

図1：放射線検査依頼メッセージ例

ORC-1を‘PA’と記述しているのが親オーダであり、OBR-4で検査種別を、OBX-3,5で患者プロフィール情報(図1の例では体重)を記述している。一方、ORC-1を‘CH’と記述しているのが子オーダであり、OBR-4で検査部位や検査詳細(方向)を記述している。部位などが異なる撮影に関しては、それぞれを子オーダで記述する。そして、親オーダと子オーダをORC-8やOBR-29で紐付けている。すなわち、患者プロフィール情報と、検査種別(X線撮影、CT撮影など)、検査部位(胸部、腹部など)、検査詳細(撮影方向など)、検査材料(薬剤、フィルムなど)をすべてOBR/OBXセグメントで記述する。新規オーダを表すORC(NW)などは、ORC(PA)の前に記述する。親子メッセージの関係を図2に示す。

なお、項目コードは、JJ1017委員会(主査：浜松医科大学の木村通男教授)で検討された標準コードを推奨する。Ver1.1では、IHE-Jコネクタソンやフィールドでの実装がしやすいよう、JJ1017マスタ(Ver3.0)に準拠してメッセージサンプルを記している。

ORC(NW) 新規オーダー
 ORC(PA) 親オーダー
 OBR 親オーダーの記述(検査種別を指定)
 ORC(CH) 1番目の子オーダー
 OBR 1番目の子オーダーの記述(撮影部位、方向等を指定)
 ORC(CH) 2番目の子オーダー
 OBR 2番目の子オーダーの記述(撮影部位、方向等を指定)

図2：親子メッセージの関係

JJ1017マスタ(Ver3.0)のコード構造は図3の通りである。項目は、保険診療上必要な前半16桁部分(JJ1017-16Mという)に、伝票種別に相当するモダリティコードの他、検査を同定するための手技(大分類、小分類)、部位(左右区分含む)、体位方向などが設定されている。そして、後半16桁部分(JJ1017-16Sという)には、その他の詳細情報が設定されている。これらのコードの組み合わせにより、指示内容を32桁(JJ1017-32という)で表現する。詳細については、JJ1017委員会から発信される情報を参照されたい。親オーダーのOBR-4にはオーダーを括るためのJJ1017-16Pを設定する。JJ1017-16Mのうち、先頭の3桁分(モダリティ+手技大分類)をセットし、他のコードを0で埋めた形式を標準形とするが、施設の事情により設定する内容を変更(例えば、モダリティコードの1桁のみ、あるいは手技全体コードの7桁に)してもよい。子オーダーのOBR-4にはJJ1017-16M+JJ1017-16Sの32桁(JJ1017-32)を設定する。

JJ1017-16M															
モダリティ	手技大分類		手技小分類		手技拡張		部位			左右	体位	撮影方向		拡張	
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
					0	0								0	0
JJ1017-16S															
詳細体位		特殊指示		核種		拡張									
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
JJ1017-16P															
モダリティ	手技大分類		手技小分類		拡張		部位			左右	体位	撮影方向		拡張	
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

図3：JJ1017マスタ (Ver3.0) のコード構造